

(9) 8-7号井戸（第188図、P.L110・134）

概要 本井戸は8区側の北東部に在って、8-36号住居を切って位置する小型の井戸である。

本井戸も透水層を示す記録がなく、またアグリもないことから湧水点を確認することはできなかった。

遺物 出土遺物は認められなかった。

時期 本井戸は覆土から中世の所産と認識されるものであり、1号屋敷に伴うものとして扱ったが、明確な時期の特定には至っていない。

規模 径：74×76cm 底径：36×34cm 深さ：84cm

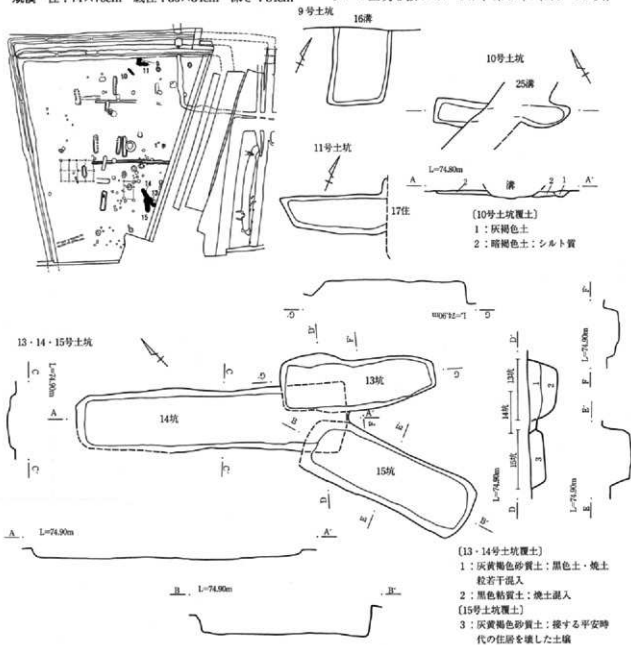
構造 本井戸は確認面では方形に近い円形プランを呈し、底面では円形のプランを呈する。

掘削形態は井筒型である。

(10) 1号屋敷内の土坑群

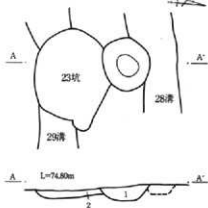
（第189～191図、P.L111～115・132・133）

概要 1号屋敷内には多くの土坑が在った。本項ではこのうち覆土から中世の所産と判断されたもの、及び形態的に中世城館址に伴うことの多い長方形プランの土坑を扱っているが、第2章（150～162頁）



第189図の1 1号屋敷内の土坑群（その1）

17号土坑



[17号土坑覆土]

1: 暗褐色砂質土: As-B混入

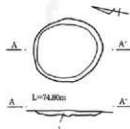
[23号土坑覆土]

2: 暗褐色粘質土: 黄褐色シルト・黒色土混入

[20号土坑覆土]

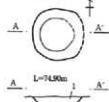
1: 褐色砂質土: As-B混入

19号土坑

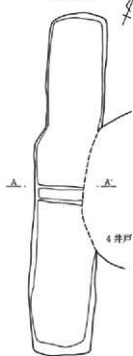


[19号土坑覆土]
1: 灰黄褐色土: やや砂質。As-Bと黒色土混入

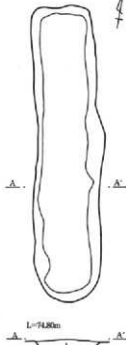
20号土坑



22号土坑



24号土坑

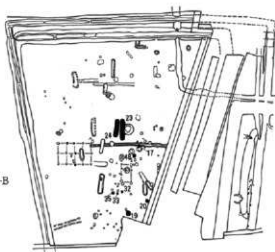


[24号土坑覆土]

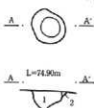
1: 灰黄褐色砂質土: As-B混入

[22号土坑覆土]

1: 暗灰色土: シルト質。As-B・As-C混入



32号土坑



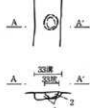
[32号土坑覆土]

1: 灰黄褐色土: やや砂質。As-Bと黒色土混入

[地山層土]

2: にぶい黄褐色土: やや砂質。Hr-FAで埋没

33号土坑



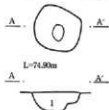
[33号土坑覆土]

1: にぶい黄褐色土: やや砂質。Hr-FAで埋没

[33号溝覆土]

2: 灰黄褐色土: やや砂質。As-Bと黒色土混入

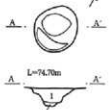
35号土坑



[35号土坑覆土]

1: 灰黄褐色土: やや砂質。As-Bと黒色土混入

48号土坑



[48号土坑覆土]

1: 灰黄褐色土: やや砂質。As-B混入
2: 黒褐色土と1層土の混入



に掲載した8区東部の土坑群の中にも1号屋敷に伴う可能性のあるものがあるので付記しておく。

尚、本項で扱う土坑は何れも8区の遺構で、8・9・11・13・15・17・19・20・

第189図の2 1号屋敷内の土坑群と出土遺物(その2)

22・24・32・33・35・48～50・55・57～59・68・69・74・79・86・87・90・97・107・122・124・128・132号の34基の土坑である。尚、位置不詳の43号土坑出土と注記される銅銭についても本項に掲載することとする。

土坑群は8区では西側では一連の水路群に重複し、東側では堅穴住居の集中域と重なり、9区側では現代に至る水路に大きく削られ、或いは8区東端部以東は後世の削平によって遺構が失われる傾向が見られたため、その全容は明らかにすることはできなかった。しかし僅かに確認範囲についてみれば、短冊形の大形の土坑が8区側の中程に南北に連なるように遺存していることを見ることができた。

確認範囲、即ち8区の土坑のうち、5基の土坑が重複しているが、このうち14号土坑は13号土坑に切られ、15号土坑を切るが、86・87号土坑との新旧関係は特定できなかった。また多くの土坑が、他の土坑や溝等と重複しており、新旧の特定できないものもあったが、このうち10号土坑は8-25号溝に切られ、17号土坑は8-28号溝と8-56号土坑を切っている。また8-33号溝との関係では33号土坑がこれを切り、86・87号土坑は切られている。

これらの土坑の掘削意図は何れも確認できなかったが、銅銭5枚の出土した128号土坑は人骨の出土もなく形態的にも土壙墓とは認識されなかったが、或いは8-1号掘立柱建物の北東隅の柱穴13と同様、地鎮に伴うもので、或いは柱穴の可能性も有する。

遺物 本土坑群のうち11・13・15・17・24・50・55・58・68・69・74・79・97・107・122・124・128・132号土坑からは古墳時代前期と平安時代を中心とする時期の、14・20号土坑からは平安時代を中心とする時期の出土遺物が得られた。このうち14・17・20・24・50・55・58・74・79・122・128号の各土坑からの出土量は少なかった。他の土坑からの出土遺物は見られなかった。

尚、図示し得る資料としては須恵器碗（50土坑-1）緑釉陶器盤（97土坑-1）、土師（97土坑-2）、銅銭（69土坑-1、128土坑-1～5、43土坑-1）があった。

時期 本土坑群の各土坑は室町時代後期以降の1号屋敷に伴うものとして扱っているが、このうち128号土坑は1号屋敷に伴うものと判断されるものの、他の土坑については時期を想定するに至らず、1号屋敷に伴うか否かを判断することはできなかった。

尚、15・17・19・20・22・24・32・33・48・50・55・57・58・59・68・86・87号土坑は覆土から概ね中世の所産と確認される。

規模（9号土坑）径：(120)×90cm 深さ：10cm

（10号土坑）径：210×40cm 深さ：10cm

（11号土坑）径：160×68cm 深さ：25cm

（13号土坑）径：246×78cm 深さ：36cm

（14号土坑）径：(429)×90cm 深さ：15cm

（15号土坑）径：(285)×90cm 深さ：24cm

（17号土坑）径：82×74cm 深さ：26cm

（19号土坑）径：108×100cm 深さ：9cm

（20号土坑）径：(106)×80cm 深さ：9cm

（22号土坑）径：540×105cm 深さ：9cm

（24号土坑）径：465×105cm 深さ：15cm

（32号土坑）径：56×48cm 深さ：28cm

（33号土坑）径：24×20cm 深さ：10cm

（35号土坑）径：72×66cm 深さ：35cm

（48号土坑）径：74×68cm 深さ：28cm

（49号土坑）径：54×52cm 深さ：7cm

（50号土坑）径：382×122cm 深さ：26cm

（55号土坑）径：338×60cm 深さ：10cm

（57号土坑）径：78×72cm 深さ：18cm

（58号土坑）径：(98)×72cm 深さ：24cm

（59号土坑）径：52×44cm 深さ：25cm

（60号土坑）径：95×50cm 深さ：18cm

（68号土坑）径：90×81cm 深さ：69cm

（69号土坑）径：510×119cm 深さ：14cm

（74号土坑）径：270×81cm 深さ：9cm

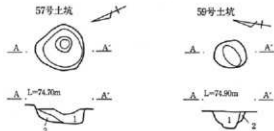
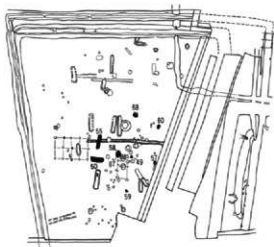
（79号土坑）径：466×98cm 深さ：10cm

（86号土坑）径：(98)×(58)cm 深さ：26cm

（87号土坑）径：(72)×(62)cm 深さ：14cm

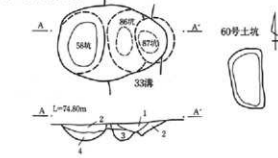
（90号土坑）径：399×126cm 深さ：24cm

（97号土坑）径：490×76cm 深さ：24cm

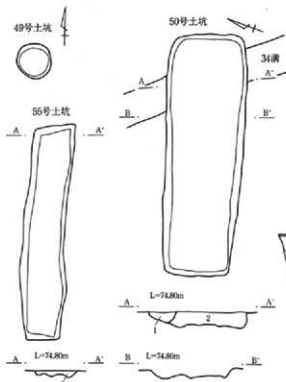


[57号土坑覆土]
 1: 灰黄褐色土: As-Bと黒色土混入
 2: 黒褐色土: やや粘性あり

[59号土坑覆土]
 1: 灰黄褐色土: やや砂質。As-Bと黒色土混入
 2: に近い黄褐色土: やや砂質。Hr-FAで埋没

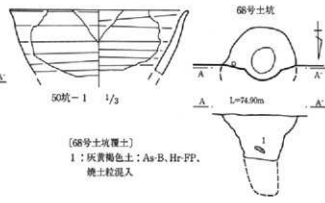


[58・86・87号土坑覆土]
 1: 褐色砂質土: As-B混入
 2: 褐色砂質土: As-Bと黒色土(径1cm)混入
 3: 褐色砂質土: As-Bと黒色土(径0.5~2cm)混入
 4: 褐色砂質土: As-Bと黒色土(径3~5cm)混入



[34号溝覆土]
 1: 明黄褐色砂質土: 黒色粘質土とHr-FA多量に混入

[50・55号土坑覆土]
 2: 灰褐色土: やや砂質。黒色粘質土とAs-B, Hr-PP(粘)が混入



[68号土坑覆土]
 1: 灰黄褐色土: As-B, Hr-PP, 焼土粒混入

第190図 1号屋敷内の土坑群と出土遺物(その3)

- (122号土坑) 径: 368×118cm 深さ: 38cm
- (124号土坑) 径: 138×(72) cm 深さ: 14cm
- (128号土坑) 径: 70×67cm 深さ: 7cm
- (132号土坑) 径: 270×96cm 深さ: 48cm
- (107号土坑) 径: 258×192cm 深さ: 32cm

構造 本土坑群の各土坑間には大小があり、9・14・22・24・50・69・79・90・107号土坑は大型に、11・13・15・19・55・68・74・97・122・124・132号土坑が中型に、10・17・20・32・33・35・48・49・57・58・59・60・86・89・128号土坑が小型に分類されるが、前章に記した8区1面の土坑群に比し、その規模は全体にかなり大きい。プランは10・11・13~15・22・24・50・55・69・

74・79・90・97・122・132号土坑が短冊形、17・19・20・32・48・49・59・128号土坑が円形、58・86・87号土坑が楕円形、35・57号土坑が隅丸方形、60・107・124号土坑が長方形を呈するが、全体的に中・大型のものは短冊形のものが多く、また重複等によって全容が詳らかでない9号土坑は短冊形、33・68号土坑は円形を呈するものと想定される。

底面の掘削形態は、32・48・87号土坑が尖底、33・35・58・86号土坑が丸底を呈するが、大型のものが多くもあって殆どの土坑は平底を呈していた。

(11) 1号屋敷内のピット群 (第192図)

概要 本項では1号屋敷所在のピットとして処理された遺構を扱うが、その規模は上述の土坑と変わらないものも少なくない。何れも8区に位置するもので、1号屋敷の西部及び北西部での分布が確認されている8-1～7・9～12・11b・12b号ピットの13基のピットである。

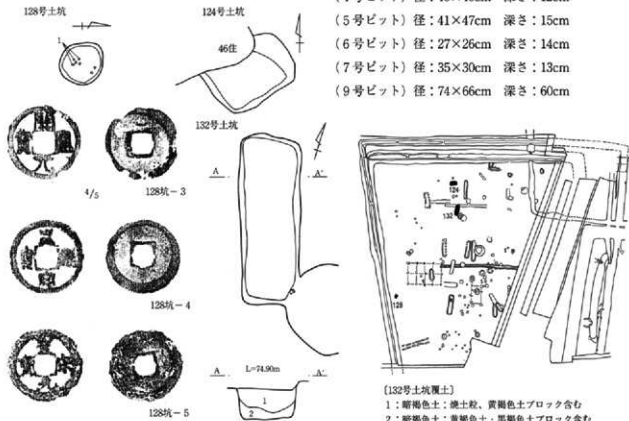
このうち重複する11・12号ピットの新旧は特定できなかった。また、1・2号ピットは8-15号溝の覆土中に在るが、断面を確認できたに過ぎなかった。

これらのピットの掘削意図は特定できなかったが、その規模と形状から推して、中小規模のものは柱穴となるものが多いものと思われるものの、掘立柱建物の抽出には至らなかった。

遺物 9・11・12号ピットからは古墳時代前期と平安時代を中心とする時期の遺物が出土した。このうち9号ピットのものは少量だったが、12号ピット、特に11号ピットからの出土遺物は、図示すべき遺物には角釘 (12号ピット-1) があつた。

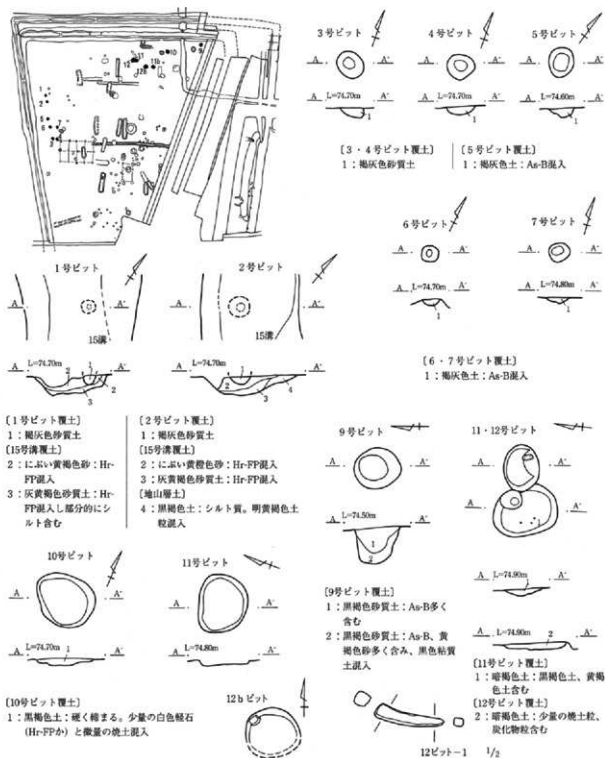
時期 各ピットは1号屋敷に伴うものとしたが、何れも時期は特定できなかった。尚、5～7号ピットは、覆土の状況から概ね中世の所産と認識される。

規模 (1号ピット) 径：(21)cm 深さ：16cm
 (2号ピット) 径：(33)cm 深さ：12cm
 (3号ピット) 径：38×45cm 深さ：20cm
 (4号ピット) 径：40×40cm 深さ：12cm
 (5号ピット) 径：41×47cm 深さ：15cm
 (6号ピット) 径：27×26cm 深さ：14cm
 (7号ピット) 径：35×30cm 深さ：13cm
 (9号ピット) 径：74×66cm 深さ：60cm



第191図の2 1号屋敷内の土坑群と出土遺物 (その5)

第3章 発見された遺構と遺物 (その2 中環屋敷遺構)



第192図 1号屋敷内のピット群と出土遺物

(10号ピット) 径: 92×86cm

深さ: 11cm

(11号ピット) 径: 56×72cm 深さ: 11cm

(12号ピット) 径: 100×(79)cm 深さ: 11cm

(11b号ピット) 径: 76×92cm 深さ: 12cm

(12b号ピット) 径: 86×(79)cm 深さ: 4cm

構造 ピットには大小があるが、プランは楕円形若しくは隅丸方形を呈するものが多い。

底面は小型のものは九底気味、大型のものは平底を呈するものが多い。

第3節 2号屋敷

概要 先に述べたように8区北東部から9区北部にかけて位置する2号屋敷は南西及び南側に1・3号屋敷と重複するが、この中で最も古い。

本屋敷は北側が調査区外に出て全体に削平が進み、9-4号溝（圃場整備前の水路）による破壊もあって全体的に遺存状態は良くなかった。

本屋敷は単郭の屋敷遺構と認識される。また周堀が一重であること、及び遺構が少ないことから、比較的短期間の使用であったものと思慮される。

時期 出土遺物や建物の形態等から、概ね室町時代の所産として把握される。

規模 全体：99.9×(46.4)m

〔郭〕：91.1×(40.7)m

構造 本屋敷は北側が調査区外に出るため全容は詳らかでないが、プランはやや北に開く逆台形を呈し、一重の周堀が廻る。虎口は確認できなかった。

9区側の調査区北西隅部に掘立柱建物1棟を確認したが、この建物はやや南に寄ると想定されるため主殿とは考え辛い。また郭内の遺構は少なく、郭内の様子を確認することもできなかった。

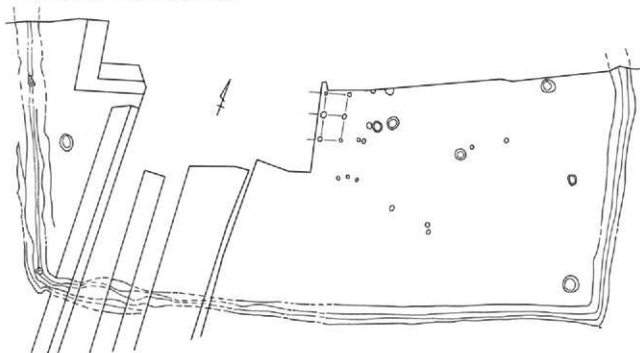
(1) 周堀（第193図、P.L108・118・133・134）

概要 2号屋敷に伴う周堀は8区の8-26号溝と9区の9-20号溝で、両溝は同一のもので、両者の中間に在るものが8・9区境の公道下の調査で確認されている。

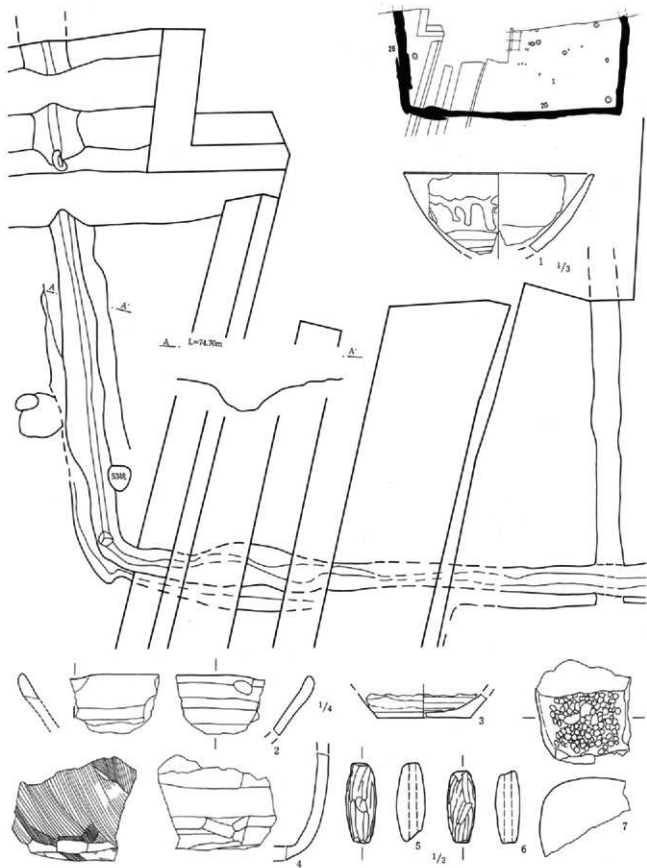
遺物 周堀のうち、8-26号溝からは施軸陶器平碗(1)や軟質陶器鉢(2)、鉢と思われる軟質陶器(3)、焼締陶器甕(4)などの破片の他、土錘(5・6)、台石(7・8)、砥石(9)、磨石(10)、敲石(11)などを含む、古墳時代前期、或いは平安時代を中心とする時期の土器片を中心に比較的多くの出土遺物が見られた。一方、9-20号溝からは僅かに青磁碗(1)と砥石(2)の出土が見られたに過ぎなかった。また、8・9区境の公道下の区域からの出土遺物は得られなかった。

時期 細かい時期は特定できなかったが、出土遺物から推して凡そ室町時代の所産と把握される。

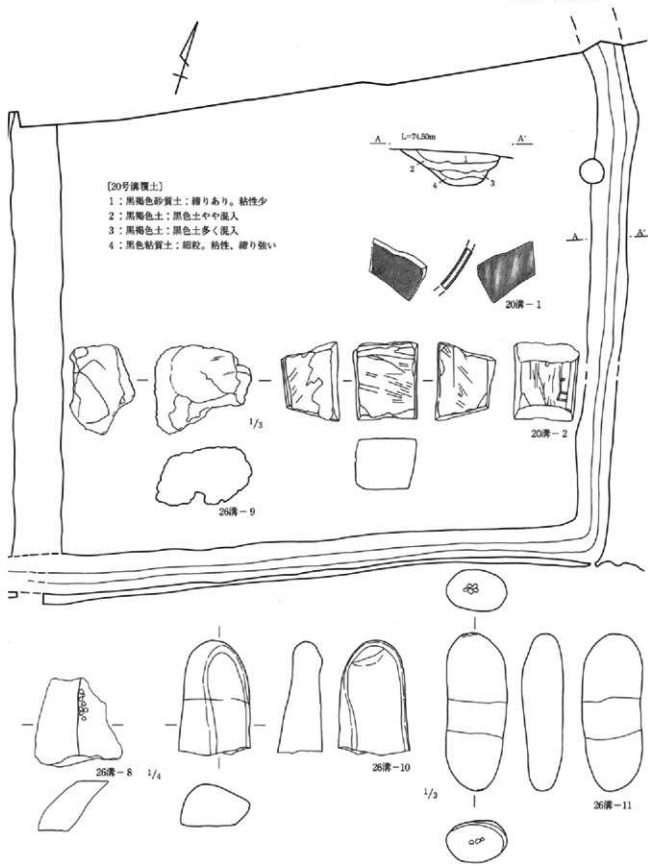
規模 長さ：84.55m（8-26号溝：22.9m、公道下部分：7.4m、9-20号溝：48.4m）幅：264cm
深さ：71cm



第193図 2号屋敷全体図



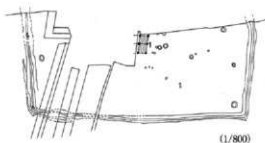
第194図の1 8-26・9-20号溝と出土遺物 (平面図S=1/150、エレベーション図S=1/150)



第194図の2 8-26・9-20号溝と出土遺物

構造 8-26号溝・9-20号溝及びその中間部からなる2号屋敷周堀は、調査区にあっては北に向かってやや広がりを見せるコ字状を呈する。走向は北北西-南南東、或いは東北東-西南西方向を向く。

掘削形態は全体的に薬研堀状を呈するものであったが、部分的に箱堀状を呈し、或いは肩部が広い箇所が見られ、傾斜のきつい箇所は溝幅は凡そ90～150cm程を測る。



(2) 9-1号掘立柱建物（第195図、P.L118）

概要 9-1号掘立柱建物は2号屋敷の東西方向の中央、調査区の北端近くに位置する。

本建物は6基の柱穴をしているが、本建物の西側及び北側は調査区外となっているため全容は詳らかでない。しかし少なくとも西側には広がり、或いは北側方向にも広がるものと推定している。従って本建物の確認された柱穴は建物の東部或いは東南部に位置するもので、建物は中規模以上の総柱建物だったものと想定している。

本建物は上述のように東西方向にあっては郭の中心線近くに建てられているのであるが、郭が方形状とするならば南北方向に対しては南に寄っているため、主屋建物ではなかったものと思慮される。

遺物 本建物からの出土遺物は認められなかった。

時代 本掘立柱建物は想定される形態から推して室町時代以降の特徴を示すものであるが、時期の特定には至らなかった。

規模 範囲：216×390cm以上

〔建物規模〕172～188×363～368cm以上

（平均：178.67×365.50cm）

〔梁行〕171～193cm（平均：182.25cm）

〔桁行〕172～188cm（平均：178.67cm）

〔柱穴1〕径：30×24cm 深さ：30cm

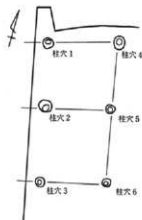
〔柱穴2〕径：34×33cm 深さ：44cm

〔柱穴3〕径：23×26cm 深さ：32cm

〔柱穴4〕径：29×25cm 深さ：52cm

〔柱穴5〕径：23×22cm 深さ：44cm

〔柱穴6〕径：23×21cm 深さ：23cm

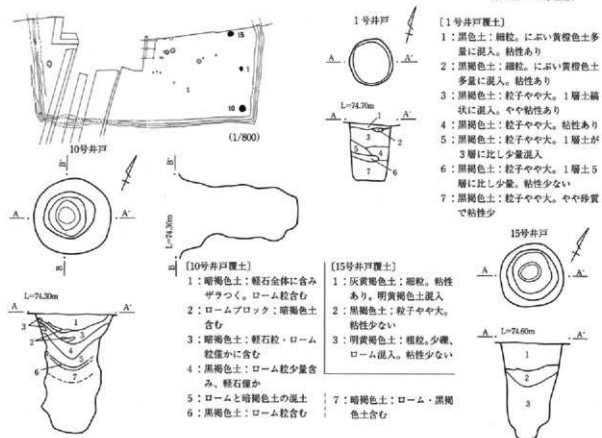


第195図 9-1号掘立柱建物

構造 本建物は現況では2×1間の建物として確認しているが、梁間2間以上の東西に長い総柱の掘立柱建物であったものと推定している。主軸は東北東-西南西方向に向いて、周堀の走向に対して並行である。比較的整った柱穴の配置を示すが、柱間寸法は梁間、桁間共に1.8m程の中世の平均的な長さであり、1号屋敷の8-1号掘立柱建物より古い様相を示している。また梁間は北側列に対し南側のものの方が20cm程長い。

各柱穴のプランは柱穴2がやや円形に近いものの、全体として隅丸方形を呈している。柱穴の規模は全体的に小さいのに対し、掘削深度は何れも中内村前遺跡の全体的な中世の柱穴に比して深い。掘削底面は丸底気味であるようである。尚、恐らく調査が充分でなかったようで、柱穴2の底面に、径19×17cm、深さ18cmの柱痕と見られるものが残っている。

上屋の構造は不明であるが、棟持柱を持つ南北朝期以降の建物の特徴を持つ高床式の建物が建てられていたものと推定される。



第196図 9-1・10・15号井戸

(3) 9-1号井戸 (第196図, P L118)

概要 本井戸は、調査区に於ける郭中東隅部に位置し、他遺構との重複は見られなかった。

本井戸は湧水点の記録もなく、アグリも認められないことから、湧水層は確認できなかった。

遺物 本井戸からは平安時代の土師器・須恵器片1点ずつが出土したに過ぎず、図示すべきものもなかった。

時期 本井戸は2号屋敷に伴うものとして扱っているが、時期の特定には至らなかった。

規模 径: 66×75cm 底径: 57×67cm 深さ: 89cm

構造 本井戸は円形に近い楕円形のプランを呈する。

掘削形態はきれいな井筒型で、底面も平らである。

(4) 9-10号井戸 (第196図, P L118・134)

概要 本井戸は、2号屋敷の南東隅部に位置する。

他遺構との重複は見られなかった。

本井戸も湧水点の記録がなかったが、底面から36cm付近に見られた、高さ34cm、奥行き12cm程を測るアグリ付近に透水層があったものと判断される。

遺物 本井戸からは平安時代の土師器・須恵器片が各3点出土したに過ぎず、これらの中に図示すべきものも見られなかった。

時期 本井戸も2号屋敷に伴うものとして扱っているが、時期の特定には至らなかった。

規模 径: 126×119cm 底径: 40×41cm 深さ: 187cm

構造 本井戸は確認面のプランは円形に近く、底面のプランは楕円形を呈する。

掘削形態は開きが上に寄る井筒朝顔型を呈する。

(5) 9-15号井戸 (第196図)

概要 本井戸は郭東部の調査区北端に位置する。

他の遺構との切り合いは見られなかった。

本井戸は湧水点の記録もなく、アグリも認められないことから、湧水層は確認できなかったが、底面が一段掘り込まれていることから、底面付近に透水層のあった可能性が考えられる。

遺物 本井戸からの出土遺物は認められなかった。

時期 本井戸も2号屋敷に伴うものとして扱っているが、時期の特定には至らなかった。

規模 径:99×101cm 底径:36×27cm 深さ:155cm

構造 本井戸は確認面では円形のプランを呈する井筒型の掘削形態を有する井戸であるが、確認面下130cm程で隅丸形状のプランとなり、丸底気味に段が作られる。その段の中央付近に楕円形プランに高さ21cmの掘り込みが掘削され、底面となっている。

(6) 2号屋敷内の土坑群 (第197図)

概要 2号屋敷の区域には、調査区に於ける郭北西部に9-1～3号土坑の3基の土坑を調査している。

これらの土坑のうち1号土坑はその西端で風倒木痕の一つと重複するが、記録が明瞭ではないが、これを切っているようである。2・3号土坑と他の遺構との重複は確認されなかった。

尚、1～3号土坑は規模と形態が近似するため同様の使用が行われたものと思慮されるが、何れも掘削意図を特定することはできなかった。また、異なる時期であることが確認できなかったため、2号屋敷に含むものとして扱っているが、確実に2号屋敷に伴うものであるか否かも確認することはできていない。

遺物 本土坑群のうち2号土

坑からは平安時代の土師器・須恵器片合わせて3点の出土が見られたものの、これらの中に図示すべきものは見られなかった。また1・3号土坑からの出土遺物は認められなかった。

時期 何れの土坑も近世後期以降に下る時期のものではなかったが、2号土坑が概ね平安時代以降の所産と認識されるものの、各土坑共にその時期を特定することはできなかった。

規模 (1号土坑) 径:82×78cm 深さ:24cm

(2号土坑) 径:94×86cm 深さ:29cm

(3号土坑) 径:86×82cm 深さ:33cm

構造 1～3号土坑は何れも円形、若しくは円形に近いプランを呈する。

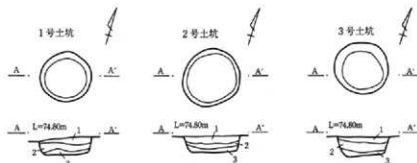
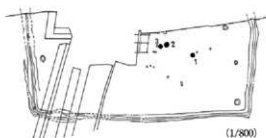
掘削形態は箱状で、底面は何れも平坦である。

(7) 2号屋敷内のピット群 (第198図)

概要 2号屋敷区域には、郭西部に2P-1～13号ピットの11基のピットを確認、調査している。

これらのうち9・10号ピットは重複していたが、新旧を特定することはできなかった。また各ピット共に他の遺構との重複は認められなかった。

またこれらのピットの掘削意図を特定することはできなかった。しかし乍ら平面形態が9-1号掘立柱建物の柱穴と近似したものが多いため、1号ピットを除くピットには柱穴であった可能性が考慮される。



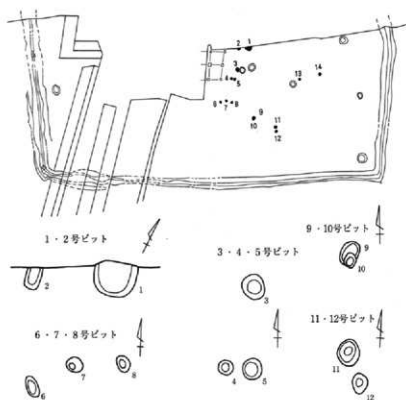
〔1・2・3号土坑覆土〕

1: 黒褐色砂質土: As-C多く混入。粘性弱。よく締まる。

2: 黒褐色砂質土: As-Cの混入少ない。粘性弱

3: 黒褐色土: 細砂。黄褐色土層かに混入。粘性あり

第197図 2号屋敷内所在土坑



第198図 2号屋敷内所在ピット

一方、小型のピットには杭の打設痕、或いは樹木の根の痕跡である可能性も考えられる。尚、3～5号ピットには9-1号掘立柱建物との関連も考慮されるが、これらのピットから掘立柱建物を想定することはできなかった。

遺物 14基のピットからの出土遺物は確認できなかった。

時期 本ピット群のピットは2号屋敷の範囲にあることから、2号屋敷の遺構として扱っているが、何れのピットも時期を特定することはできなかった。

規模 (1号ピット) 径：69×57cm

深さ：15cm

(2号ピット) 径：24×(36) cm 深さ：17cm

(3号ピット) 径：32×40cm 深さ：32cm

(4号ピット) 径：25×21cm 深さ：6 cm

(5号ピット) 径：31×31cm 深さ：6 cm

(6号ピット) 径：19×33cm 深さ：25cm

(7号ピット) 径：26×21cm 深さ：22cm

(8号ピット) 径：19×25cm 深さ：16cm



(9号ピット) 径：30×40cm

深さ：10cm

(10号ピット) 径：21×19cm

深さ：23cm

(11号ピット) 径：36×36cm

深さ：26cm

(12号ピット) 径：24×30cm

深さ：28cm

(13号ピット) 径：27×22cm

深さ：23cm

(14号ピット) 径：36×35cm

深さ：14cm

構造 本ピット群のピットのプランは1・3・9・10・11号ピットが隅丸方形、2号ピットが長方形、4・5・14号ピットが円形、6号ピットが長円形、7・8・12・13号ピットが楕円形を呈するものであった。

断面の記録が残せなかったためはつきりしないが、掘削底面は1号ピットは平底を呈し、3号ピットは尖底、他のピットは丸底か丸底に近いものと判断される。



第4節 3号屋敷

概要 3号屋敷は9区南部に位置し、西側で1号屋敷と、北側で僅かに2号屋敷と重なるが、1号屋敷より古く、2号屋敷より新しい。

本屋敷は南側が調査区外に出ており、西端は圃場整備前の水路に壊されるが、遺存状態は比較的良好で、多くの遺構を確認調査することができた。また建物が4期以上あることから、比較的長期間に亘って使用された屋敷遺構であったものと判断される。

時期 出土遺物や建物の形態等から、概ね室町時代頃の所産として把握される。

規模 全体：(43.2) × (35.9) m

〔郭〕：(38.3) × (32.7) m

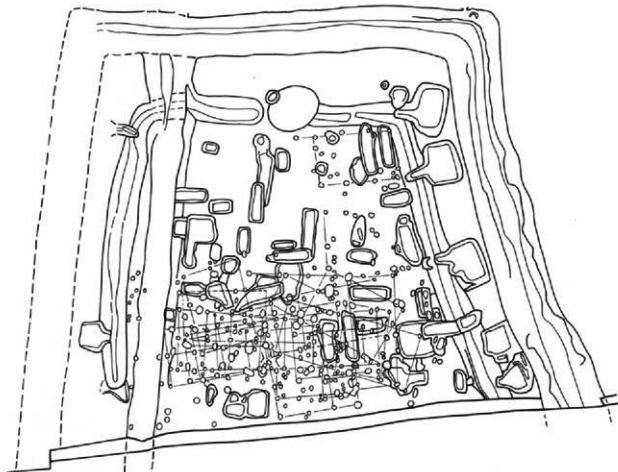
構造 上述のように本屋敷の全容は詳らかでない

が、プランは台形状を呈し、少なくともある段階では二重の周堀が廻る構造であったことが窺われる。虎口は内堀の北側中央と、西側の調査区南端に確認されたが、外堀の虎口は確認できなかった。

郭内の遺構は柱穴が調査範囲の南部の中から西寄りに多く、それを取り巻くように土坑群及び井戸群が分布していた。このうち内堀から出入りしている地下式坑に似た土坑群が特筆される。

(1) 周堀（第200図、P L117・118・134）

概要 3号屋敷に伴う周堀は9区の9-6・22号溝で、6号溝が外堀、22号溝が内堀に当る。尚、6号溝西部は後世の9-4号溝に壊されて失われていた。



第199図 3号屋敷全体図（S=1/300）

[A-A' セクション]

[4号溝覆土]

- 1: 灰色砂質土: As-B多く含む
- 2: 暗褐色土: ローム粒・黒褐色土粒含む
- 3: 黒褐色土: ローム含む
- 4: ロームと灰色土の混入

[22号溝覆土]

- 5: 暗褐色土: ロームとAs-B少量含む
- 6: 黒褐色粘質土
- 7: 暗褐色土: ローム粒ミナ状に含み多からしい。As-B粒中に含む
- 8: 暗褐色土: As-B, ローム, 木質含む

[B-B' セクション]

[22号溝覆土]

- 1: 暗褐色土: ローム, ローム粒とAs-B含む
- 2: 暗褐色土: ローム粒含むが1層に比し多い
- 3: 暗褐色土: 上層よりやや暗い, ロームやや多く含む

[C-C' セクション]

[22号溝覆土]

- 1: 暗褐色土: As-B含む。酸化鉄による褐色部分あり
- 2: 灰色粘質土
- 3: 暗褐色土: 1層に似るが色調暗い
- 4: 暗褐色土: As-B含む。上層より暗い
- 5: 暗褐色土: As-B含むが上層より少なく、暗い

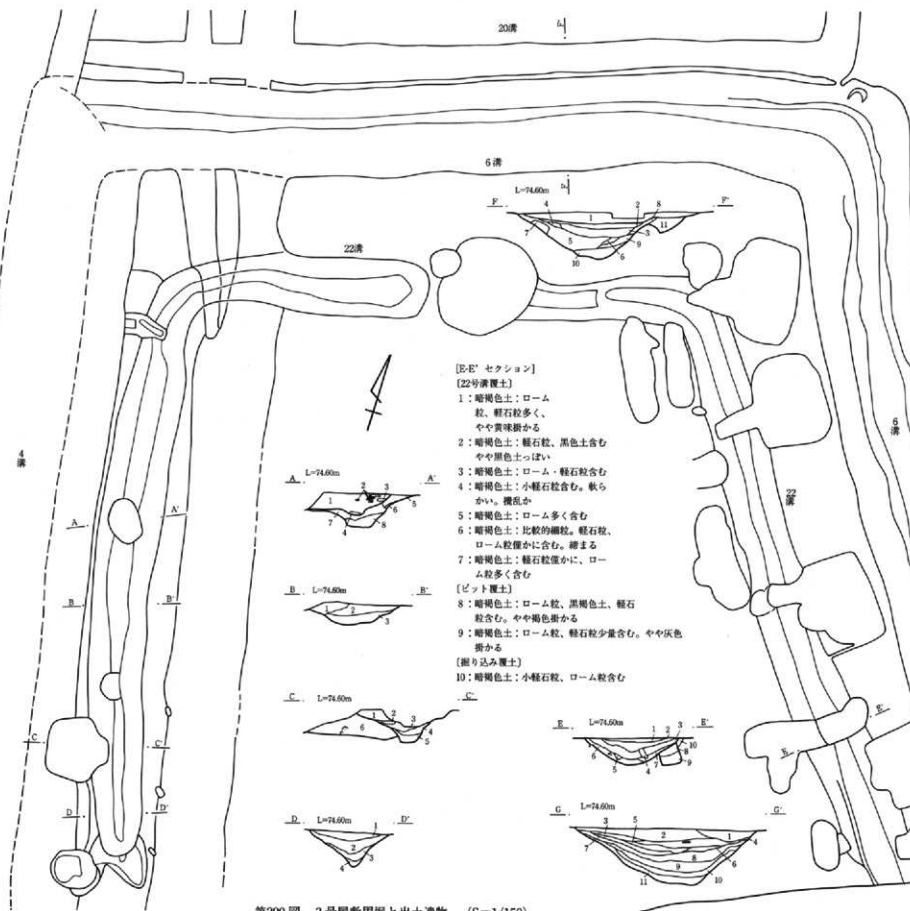
[3号1号土坑覆土]

- 6: 暗褐色土: As-Bとローム含む。1-5層より明るい

[D-D' セクション]

[22号溝覆土]

- 1: 暗褐色土: 鉄分凝縮層所あり。As-B含む
- 2: 暗褐色土: 上層に比しAs-B少ない
- 3: 暗褐色粘質土: As-Bと重塩の鉄分凝縮層所少ない。1-2層より暗い
- 4: 暗褐色土: ローム粒少量含む



[E-E' セクション]

[22号溝覆土]

- 1: 暗褐色土: ローム粒、軽石粒多く、やや黄味掛かる
- 2: 暗褐色土: 軽石粒、黒色土含む。やや黒色土っぽい
- 3: 暗褐色土: ローム・軽石粒含む
- 4: 暗褐色土: 小軽石粒含む。軟らかい。薄気か
- 5: 暗褐色土: ローム多く含む
- 6: 暗褐色土: 比較的細粒。軽石粒、ローム粒中に含む。締まる
- 7: 暗褐色土: 軽石粒僅かに、ローム粒多く含む
- 8: 暗褐色土: ローム粒、黒褐色土、軽石粒含む。やや黄色掛かる
- 9: 暗褐色土: ローム粒、軽石粒少量含む。やや灰色掛かる

[掘り込み覆土]

- 10: 暗褐色土: 小軽石粒、ローム粒含む

[F-F' セクション]

[溝埋没後の埋め土]

- 1: 黒褐色土: 細粒で粘性強く固く締まる。As-Cと僅かな黄褐色土混入

[6号溝後期覆土]

- 2: 暗灰色砂質土: やや粗粒。As-Cと少量の黄褐色土、黒色土混入
- 3: 黒褐色土: やや粗粒で粘性少。締り固。黄褐色土混入
- 4: 黒褐色土: 黄褐色土3層に比し多く、5層より少ない
- 5: 黒褐色土: 黄褐色土の混入3層に比し少量
- 6: 暗褐色土: 細粒で粘性あり。黄褐色土混入
- 7: 暗褐色土: 粗粒。粘性少
- 8: 暗褐色土: 細粒で粘性少なく、As-C混入
- 9: 暗褐色土: 上層より黄褐色土混入多し
- 10: 黒褐色土: 細粒で粘性少。締まる。小軽多混入
- 11: 暗褐色土: 細粒で粘性少なく、黄褐色土混入

[G-G' セクション]

[6号溝覆土]

- 1: 暗褐色土: 軽石粒、ローム粒含む。やや褐色掛かる
- 2: 暗褐色土: ロームと軽石粒含む
- 3: 暗褐色土: 軽石粒とローム粒含む
- 4: 暗褐色土: 軽石粒と少量のローム含む
- 5: 暗褐色土: 軽石粒とローム粒含むがやや少量
- 6: 暗褐色土: 軽石粒とローム粒含む。やや暗い
- 7: 暗褐色土: 上層より暗い
- 8: 暗褐色土: ロームと僅かな軽石粒含む
- 9: 暗褐色土: 軽石粒少なくローム僅かに含む。やや暗い
- 10: 暗褐色土: ロームやや多く含む。軽石少ない
- 11: 暗褐色粘質土: 細粒。ロームと軽石粒少量含む

第200図 3号屋敷周囲と出土遺物 (S=1/150)

遺物 出土遺物は少なく、僅かに6号溝から古瀬戸の合子が出土したに過ぎなかった。

時期 6号溝の出土遺物は14世紀前半という時期を示しているが、細かい時期特定には至らなかった。

規模 (6号溝)長さ:59.7m 幅:453cm

深さ:146cm

(22号溝)長さ:57.8m 幅:246cm 深さ:66cm

構造 22号溝は調査範囲では台形に開くコ字状を呈している。また6号溝は鉤型のプランを呈するが、元々は22号溝と同形態であったものと判断される。尚、22号溝と6号溝の間は2.3~3.6m程離れている。

走向は西側が北北西-南南東方向、北側が東北東-西南西方向、東側が北西-南東方向に向く。

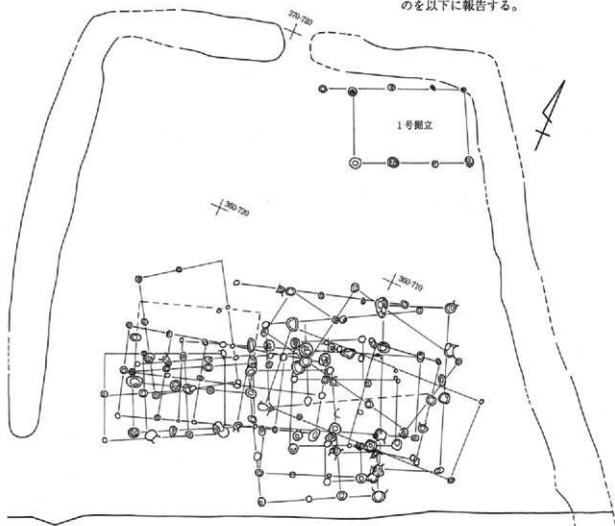
また22号溝にあっては北側の中央付近が3.4m以

下、恐らくは1.2m程途絶えて土橋を形成し、調査区の南西隅部で4.2m以上途絶えて虎口を作っている。

掘削形態は6号溝、22号溝共に全体的に蕨研掘状を呈するものであったが、底面はやや広い印象を有するものであった。

(2) 掘立柱建物群 (第201図)

概要 発掘調査時点で3号屋敷に伴うものとして幾つかの掘立柱建物が認識調査されていた。しかし、これらは形態に無理のあるものや、現在の中世建物の解析方法に照らして問題のあるものもあったため、当事業団の飯森康広に再分析を依頼した。この結果、14基の建物と2列の柱穴列が抽出され、これに調査時点で認識されていた柱穴列2列を併せたものを以下に報告する。



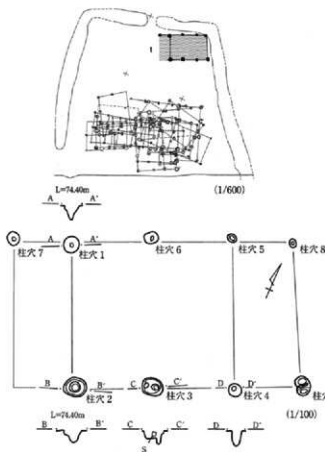
第201図 3号屋敷の掘立柱建物及び柱穴列群 (S=1/200)

尚、発掘調査時点での建物番号との混乱を避けるため、今回抽出した建物と柱穴列には頭に「3P-」を付した番号を付与した。また、航空写真等には調査時点での柱穴が写りこんでいるので記しておく。

これらの建物は、3P-1号獨立柱建物が郭北東隅部にある以外は、調査区に於ける郭南部に集中して位置している。また、その棟方向が異なることから、3・13・14号獨立柱建物は3号屋敷に伴わない遺構である可能性を有する。

遺物 新たに建物を抽出したこともあって、出土遺物については選別し切れなかった。尚、旧番号に基づく獨立柱建物からは平安時代のものを中心とする僅かな遺物の出土が見られたに過ぎなかった。

時期 建物の細かい時期を特定することはできなかったが、14号獨立柱建物が中世全体に一般的な梁間1間型の建物の特徴を示す以外は、室町時代以降の建物の傾向を示している。



第202図 3P-1号獨立柱建物

(3) 3P-1号獨立柱建物（第202図）

概要 本建物は3号屋敷の郭北東隅部に位置する。

本建物はその規模から推して付属屋と認識されるが、建物の使用目的を特定することはできなかった。尚、郭の縁辺隅部に本建物が建てられていることから3号屋敷の内堀際には土塁の設けられなかった可能性が考えられる。

遺物 前項に述べた理由によって出土遺物を特定することはできなかった。

時期 本建物は形態的に中世の所産と認識されるが、東西両側に庇を持つと判断されるため、概ね室町時代の所産と認識される。

規模 範囲：770×588cm

〔建物規模〕774×371～405cm

（平均：451.00×389.75cm）

〔梁行〕371～405cm（平均：389.75cm）

〔桁行〕209～215cm（平均：212.50cm）

〔庇幅〕163～182cm（平均：173.33cm）

〔柱穴1〕径：37×42cm 深さ：23cm

〔柱穴2〕径：62×52cm 深さ：32cm

〔柱穴3〕径：54×46cm 深さ：34cm

〔柱穴4〕径：33×34cm 深さ：40cm

〔柱穴5〕径：26×22cm 深さ：32cm

〔柱穴6〕径：38×30cm 深さ：42cm

〔柱穴7〕径：33×37cm 深さ：14cm

〔柱穴8〕径：36×24cm 深さ：36cm

〔柱穴9〕径：17×20cm 深さ：28cm

構造 本建物は1×2間の建物を身舎として東西両側に庇を持つ建物として認識される。身舎の棟は西北西-東南東方向を向く。

各柱穴のプランは柱穴1・4が円形、柱穴7が隅丸方形、他の柱穴が楕円形を呈する。底面は何れも丸底気味であったが、柱穴2・3の底面に塑性変形が見られた。

尚、上屋の構造は不明であるが、棟持柱を伴う方形プランの建物で、上述のように左右（東西）両側に庇が付けられていたものと思慮される。

(4) 3 P-2号独立柱建物 (第203図)

概要 本建物は調査区の郭南東部に位置する。

本建物はその規模等から付属屋と認識されるが、南

辺の延長線上が西側虎口の北端に一致することから虎口通路に面して建てられた建物と認識される。

遺物 本建物に於いても出土遺物を特定することはできなかった。

時期 本建物は所謂梁間1間型の建物であるため中世の所産と認識

されるもので、棟方向から3号屋敷に付属するものと判断されるものであるが、細かい時期特定には至らなかった。

規模 範囲：686×382cm

〔建物規模〕 637～643×322～337cm

(平均：640.00×328.50cm)

〔梁行〕 322～337cm (平均：328.50cm)

〔桁行〕 186～232cm (平均：213.33cm)

〔柱穴1〕 径：30×26cm 深さ：39cm

〔柱穴2〕 径：54×49cm 深さ：53cm

〔柱穴3〕 径：36×32cm 深さ：44cm

〔柱穴4〕 径：30×45cm 深さ：44cm

〔柱穴5〕 径：25×18cm 深さ：26cm

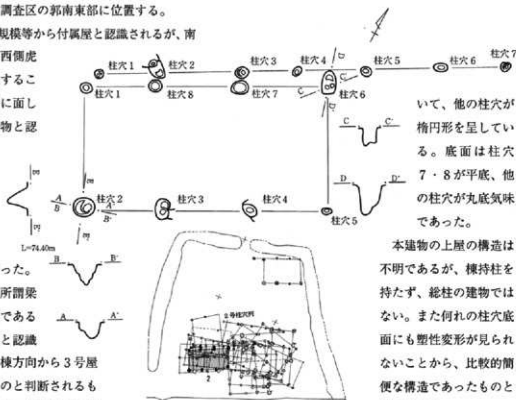
〔柱穴6〕 径：25×(24) cm 深さ：84cm

〔柱穴7〕 径：44×38cm 深さ：8 cm

〔柱穴8〕 径：34×32cm 深さ：13cm

構造 本建物は1×3間の所謂梁間1間型の総柱ではない掘立柱建物である。その構造は単純で、比較的均等な柱の配置を見せ、棟は東北東-西南西方向を向くものである。

各柱穴のプランは柱穴1・2・8が円形を呈して



第203図 3 P-2号掘立柱建物及び3 P-2号柱穴列

いて、他の柱穴が楕円形を呈している。底面は柱穴7・8が平底、他の柱穴が丸底気味であった。

本建物の上屋の構造は不明であるが、棟持柱を持たず、総柱の建物ではない。また何れの柱穴底面にも塑性変形が見られないことから、比較的簡便な構造であったものと思慮される。

(5) 3 P-2号柱穴列 (第203図)

概要 本柱穴列は調査区の郭南西部、3 P-2号掘立柱建物跡の北側に、柱通りで32～40cm程隔たって位置している。

本柱穴列は建物である可能性も有するが、その位置から2号掘立柱建物跡に伴う構列と認識される。

遺物 本柱穴列の出土遺物は確認できなかった。

時期 本柱穴列の時期は2号掘立柱建物と同時期と思慮されるが、時期特定には至らなかった。

規模 範囲：1104cm [構列規模] 1086cm

〔柱間〕 143～220cm (平均：184.17cm)

〔柱穴1〕 径：22×22cm 深さ：33cm

〔柱穴2〕 径：31×(23) cm 深さ：—cm

〔柱穴3〕 径：34×30cm 深さ：39cm

〔柱穴4〕 径：27×20cm 深さ：15cm

〔柱穴5〕 径：27×24cm 深さ：—cm

〔柱穴6〕 径：36×22cm 深さ：—cm

〔柱穴7〕 径：26×24cm 深さ：15cm

構造 本構列は東北東-西南西に軸を取り、直線的なプランを呈する。

柱穴1は円形プランを呈し、他の柱穴はだ円形のプランを呈する。底面形態は何れも丸底気味である。

(6) 3P-3号掘立柱建物(第204図)

概要 本建物は調査区に於ける郭南西部に在る。

その規模から推して付属屋と認識されるが、その建築目的等は特定できなかった。

尚、本建物は棟方向から推して3号屋敷に伴わない可能性を有するものである。

遺物 本建物に於いても出土遺物を特定することはできなかった。

時期 本建物はその形態から概ね室町時代の所産と認識されるが、細かい時期は特定できなかった。

規模 範囲：484×651cm

[建物規模] 442～452×610～624cm

(平均：446.00×617.00cm)

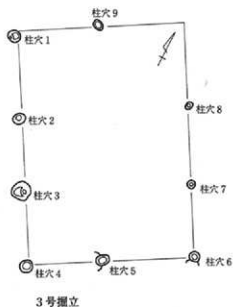
[梁間] 200～245cm (平均：225.67cm)

[桁間] 193～215cm (平均：202.20cm)

(柱穴1) 径：34×32cm 深さ：19cm

(柱穴2) 径：33×28cm 深さ：34cm

(柱穴3) 径：51×52cm 深さ：28cm



3号掘立

(柱穴4) 径：34×34cm 深さ：25cm

(柱穴5) 径：34×28cm 深さ：38cm

(柱穴6) 径：26×25cm 深さ：14cm

(柱穴7) 径：20×21cm 深さ：12cm

(柱穴8) 径：21×19cm 深さ：38cm

(柱穴9) 径：26×26cm 深さ：20cm

構造 本建物は棟持柱を有する2×3間の掘立柱建物であるが、北東隅の柱穴は確認できなかった。棟方向は北西-南東方向に向いている。

本建物の柱穴は柱穴4が円形を呈する以外はだ円形のプランを呈する。掘削底面は丸底気味である。

建物の上層構造は不明であるが、総柱の建物ではなく、柱穴底面にも組成変形は見られなかったので、比較的簡便な構造の建物であったと思慮される。

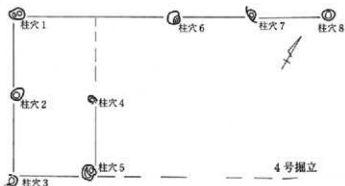
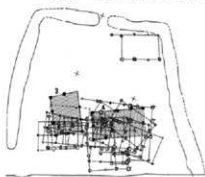
(7) 3P-4号掘立柱建物(第204図)

概要 本建物は調査区南部に位置する。

本建物は遺存状態が悪く、建築の性格も不明だがその形態から主屋になる可能性を有する。

遺物 本建物も出土遺物が特定できなかった。

時期 本建物はその形態から推して南北朝以降、概ね室町時代の所産と認識されるものであるが、細かい時期を特定することはできなかった。



4号掘立

第204図 3P-3・4号掘立柱建物

規模 範囲：859×469cm

〔建物規模〕829×439cm

〔梁間〕188～234cm（平均：217.00cm）

〔桁間〕198～215cm（平均：207.75cm）

〔柱穴1〕径：42×(21)cm 深さ：20cm

〔柱穴2〕径：30×33cm 深さ：38cm

〔柱穴3〕径：(22)×28cm 深さ：44cm

〔柱穴4〕径：23×(20)cm 深さ：(29)cm

〔柱穴5〕径：36×42cm 深さ：36cm

〔柱穴6〕径：34×36cm 深さ：35cm

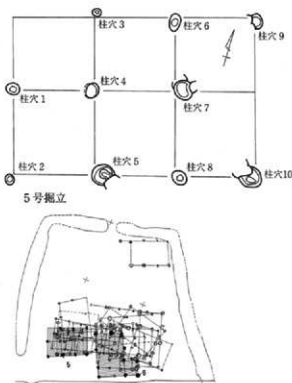
〔柱穴7〕径：28×20cm 深さ：47cm

〔柱穴8〕径：33×30cm 深さ：14cm

構造 本建物は未確認の柱穴が多く、全容は詳らかでないが、2×5間以上の総柱建物と認識される。

柱穴のプランは柱穴1・4が楕円形を呈する以外は隅丸方形を呈する。掘削底面は柱穴2・3・8が平底気味で、他は丸底気味である。

本建物は総柱建物であるが、柱穴底面に塑性変型も見られないので、比較的単純な構造を持つ上屋建物であったものと思慮される。



第205図 3P-5・6号掘立柱建物

(8) 3P-5号掘立柱建物 (第205図)

概要 本建物は調査区に於ける郭南西部に在って、3P-2号掘立柱建物に重なるように位置する。

本建物は位置・形態的に付属屋と判断されるが、南辺の西側延長が西側虎口の北端附近に当たるため、2号建物同様、虎口通路に面した建物と認識される。

遺物 本建物も出土遺物は特定できなかった。

時期 本建物は形態的に南北朝期以降、概ね室町時代の所産と認識されるが、細かい時期は不明である。

規模 範囲：677×459cm

〔建物規模〕641×423～434cm

(平均：641.00×430.00cm)

〔梁間〕180～234cm（平均：217.40cm）

〔桁間〕188～251cm（平均：215.71cm）

〔柱穴1〕径：36×31cm 深さ：28cm

〔柱穴2〕径：23×24cm 深さ：35cm

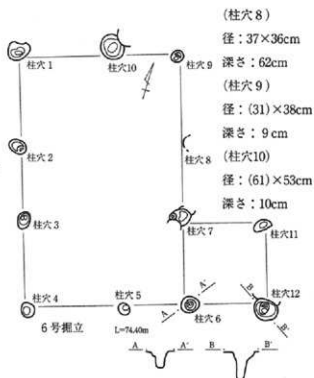
〔柱穴3〕径：23×20cm 深さ：26cm

〔柱穴4〕径：33×38cm 深さ：1cm

〔柱穴5〕径：57×54cm 深さ：(12)cm

〔柱穴6〕径：27×44cm 深さ：27cm

〔柱穴7〕径：(49)×52cm 深さ：55cm



構造 本建物は一部柱穴を確認できていない箇所もあるが、2×3間の総柱の小型建物である。棟方向は東北東-西南西方向を向く。

各柱穴のプランは長径の長短はあるが、概ね楕円形を呈する。底面は柱穴4・7・9・10が平底を呈し、他は丸底状である。

上屋構造は詳らかでないが、柱穴5の底面には塑性変形が見られ、総柱建物であることから、棟持柱を持つ構造のある程度しっかりした建物であったことが窺われる。

(9) 3P-6号独立柱建物（第205図）

概要 本建物は調査区に於ける郭南部中央に位置している。

本建物は規模は小さいが拡張部を有するため、主屋建物若しくは主屋建物の一部を構成する建物と考えられる。

遺物 本建物に於いても出土遺物を特定することはできなかった。

時期 本建物は棟持柱を有するため、南北朝期以降、概ね室町時代の所産と認識されるが、時期特定には至らなかった。

規模 範囲：675×744cm

〔建物規模〕627～631×654～692cm

（平均：629.00×676.67cm）

〔身舎規模〕416～433×654～692cm

（平均：423.67×676.67cm）

〔張り出し規模〕195～211×227～238cm

（平均：203.00×232.50cm）

〔梁間〕167～265cm（平均：213.75cm）

〔桁間〕187～257cm（平均：224.00cm）

〔柱穴1〕径：(49)×57cm 深さ：39cm

〔柱穴2〕径：34×45cm 深さ：41cm

〔柱穴3〕径：43×32cm 深さ：30cm

〔柱穴4〕径：36×35cm 深さ：39cm

〔柱穴5〕径：30×28cm 深さ：cm

〔柱穴6〕径：42×47cm 深さ：43cm

〔柱穴7〕径：43×(41)cm 深さ：37cm

〔柱穴8〕径：(30)×(8)cm 深さ：-1cm

〔柱穴9〕径：30×31cm 深さ：20cm

〔柱穴10〕径：69×63cm 深さ：34cm

〔柱穴11〕径：(29)×43cm 深さ：19cm

〔柱穴12〕径：55×63cm 深さ：77cm

構造 本建物の身舎は北北西-南南東に棟方向を持つ2×3間の掘立柱建物で、東辺南部に張り出しを有する。身舎の柱間は東半の梁間が170cm弱なものに対し、西半の梁間が260cm前後と広く、また南北側の桁間が230～250cm程なのに対して中側の桁間が190cm程と狭いという特徴を持っている。

柱穴のプランは柱穴4～6が円形であるのに対し、形態の不明瞭な柱穴8以外は楕円形のプランを呈する。底面は柱穴3・6が平底状のものに対し、他は丸底気味である。

上屋構造は不明であるが、やや東に寄った位置に棟を持つ建物で東南に上述のように張り出しを持つ。柱穴底面に塑性変形も見られることから、比較的しっかりした建物であったものと思慮される。

(10) 3P-7号独立柱建物（第206図）

概要 本建物は調査区の郭南西部に、3P-2・5号建物に重なって位置している。

本建物は位置的に中央より西に寄り、西側虎口前の通路に面しているが、3区屋敷内では比較的大きな建物であり、主屋建物の一部を形成する可能性も否定できない。

遺物 本建物も出土遺物は特定できなかった。

時期 本建物は棟持柱を持つ総柱建物であり、南北朝期以降、概ね室町時代の所産と認識されるが、細かい時期の特定には至らなかった。

規模 範囲：1085×499cm

〔建物規模〕1052～1060×389～472cm

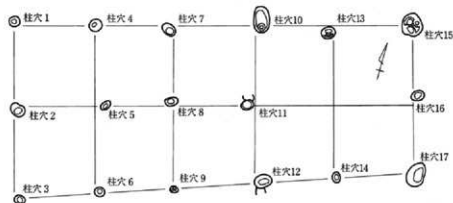
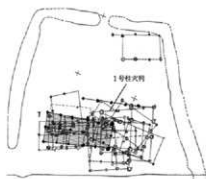
（平均：1055.00×424.50cm）

〔梁間〕187～237cm（平均：216.50cm）

〔桁間〕175～242cm（平均：194.43cm）

〔柱穴1〕径：28×28cm 深さ：32cm

〔柱穴2〕径：37×34cm 深さ：37cm



柱穴のプランは柱穴1・15が隅丸方形、柱穴4・6が円形を呈する他は楕円形を呈し、柱穴3・10・11・17が平底状である他は丸底気味であった。

上屋は比較的大型の総柱建物であること等から、比較的しっかりした建物であったと想定される。

第206図 3P-7号掘立柱建物と3P-1号柱穴列

(柱穴3) 径：27×23cm 深さ：28cm

(柱穴4) 径：33×31cm 深さ：45cm

(柱穴5) 径：26×24cm 深さ：26cm

(柱穴6) 径：28×26cm 深さ：32cm

(柱穴7) 径：26×38cm 深さ：32cm

(柱穴8) 径：34×23cm 深さ：23cm

(柱穴9) 径：20×16cm 深さ：17cm

(柱穴10) 径：40×69cm 深さ：31cm

(柱穴11) 径：33×26cm 深さ：—cm

(柱穴12) 径：44×34cm 深さ：35cm

(柱穴13) 径：34×29cm 深さ：21cm

(柱穴14) 径：22×26cm 深さ：19cm

(柱穴15) 径：52×62cm 深さ：19cm

(柱穴16) 径：33×27cm 深さ：15cm

(柱穴17) 径：47×60cm 深さ：31cm

構造 本建物は棟方向を東西に近い西南西—東北東方向に取る、2×5間の総柱の掘立柱建物である。その配置は梁方向で、西側より東側が30ないし60cm程狭くなっている。

(11) 3P-1号柱穴列 (第206図)

概要 本柱穴列は調査区の郭中央部に位置し、3P-7号掘立柱建物の北側に柱通りで319～330cm、3P-10号掘立柱建物の北側に柱通りで291～323cm程隔たって位置している。

本柱穴列は建物の一部である可能性も有するが、その位置から推して7号掘立柱建物、或いは10号掘立柱建物に関連する欄列ではないかと考えられる。

遺物 本柱穴列からの出土遺物を確認することはできなかった。

時期 本柱穴列の時期は7或いは10号掘立柱建物と同時期と思われるが、時期特定には至らなかった。

規模 範囲：932cm [欄列規模] 906cm

[柱間] 212～248cm (平均：226.25cm)

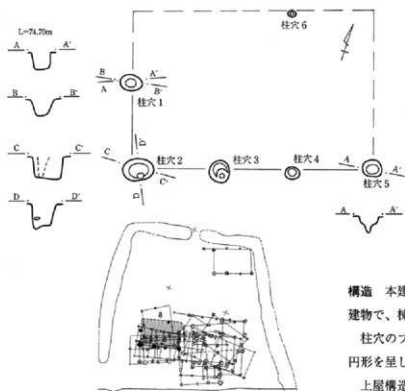
(柱穴1) 径：26×22cm 深さ：22cm

(柱穴2) 径：37×(40)cm 深さ：21cm

(柱穴3) 径：28×28cm 深さ：16cm

(柱穴4) 径：24×28cm 深さ：10cm

(柱穴5) 径：39×28cm 深さ：10cm



第207図 3P-8号掘立柱建物

構造 本横列はほぼ東西方向直線的な配列を示す。

柱穴1は円形、柱穴2は楕円形、柱穴3・5は隅丸方形、柱穴4は隅丸三角形のプランを呈し、底面形態は何れも丸底気味である。

(12) 3P-8号掘立柱建物（第207図）

概要 本建物は調査区に於ける郭南西部に、新旧関係不特定の3P-3・5・7号掘立柱建物に重なるように位置している。

本建物は確認できなかった柱穴も多いため明確ではないが、位置的、形態的に付属屋と認識される。

遺物 本建物も出土遺物は特定できなかった。

時期 本建物の時期は特定できなかったが、棟持柱を持つ建物であり、南北朝期以降、概ね室町時代の所産と認識される。

規模 範囲：686×449cm

〔建物規模〕620×427cm

〔梁間〕230cm

〔桁間〕187～220cm（平均：206.67cm）

（柱穴1）径：56×43cm

深さ：44cm

（柱穴2）径：81×57cm

深さ：69cm

（柱穴3）径：52×57cm

深さ：37cm

（柱穴4）径：36×33cm

深さ：12cm

（柱穴5）径：51×43cm

深さ：41cm

（柱穴6）径：20×17cm

深さ：11cm

構造 本建物は棟持柱を持つ2×3間の掘立柱建物で、棟方向は東北東—西西南方向に向く。

柱穴のプランは柱穴3・4が円形で、他は楕円形を呈し、底面は平底気味のものが多く、

上屋構造は不明であるが、柱穴には大きいものが多かった。

(13) 3P-9号掘立柱建物（第208図）

概要 本建物は調査区に於ける郭南部の東寄りに位置し、新旧関係不明の3P-4・12～13号掘立柱建物に重なるように位置している。

本建物は位置的、形態的に付属屋と認識される。

遺物 本建物も出土遺物は特定できなかった。

時期 本建物は3号屋敷に伴うものと判断しているが、形態的には中世に一般的な梁間1間型の建物で、時期の特定はできなかった。

規模 範囲：426×935cm

〔建物規模〕341～360×861～864cm

（平均：351.33×862.50cm）

〔梁間〕341～360cm（平均：351.33cm）

〔桁間〕194～220cm（平均：207.33cm）

（柱穴1）径：65×(64)cm 深さ：30cm

（柱穴2）径：61×57cm 深さ：49cm

（柱穴3）径：30×(59)cm 深さ：28cm

（柱穴4）径：54×(60)cm 深さ：43cm

（柱穴5）径：44×28cm 深さ：69cm

(柱穴6) 径: 54×53cm 深さ: 20cm

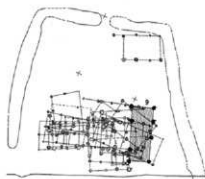
(柱穴7) 径: (60)×69cm 深さ: 44cm

(柱穴8) 径: (38)×43cm 深さ: 16cm

構造 本建物は確認できなかった柱穴もあるが、1×4間の梁間1間型の掘立柱建物と認識される。

柱穴のプランは柱穴1・2・7が円形、柱穴3・6が隅丸方形、他の柱穴が楕円形を呈する。底面は柱穴3・6・7が平底で、他は丸底気味である。

上屋構造は不明であるが、柱穴が大きいため比較的しっかりした建物であったものと想定される。



(14) 3 P-10号掘立柱建物 (第209図)

概要 本建物は調査区に於ける郭南部中央付近に位置する。新旧関係の特定できない3 P-7・11号掘立柱建物等と重複している。

本建物は位置的、形態的に主屋建物である可能性が高いものと思慮される。

遺物 本建物に於いても出土遺物を特定することはできなかった。

時期 本建物は中世に一般的な梁間1間型の建物であるが、やや広柱間を併用するため、概ね室町時代の所産と認識される。

規模 範囲: 1310×509cm

[建物規模] 1280~1284×618~662cm

(平均: 1282.00×644.25cm)

[身舎規模] 1280~1284×405~458cm

(平均: 1282.00×431.86cm)

[張り出し規模] 595~604×191~225cm

(平均: 599.50×207.75cm)

[梁間] 405~458cm (平均: 431.86cm)

[桁間] 177~245cm (平均: 217.60cm)

[張り出し桁間] 177~242cm (平均: 199.83cm)

(柱穴1) 径: 20×19cm 深さ: 5cm

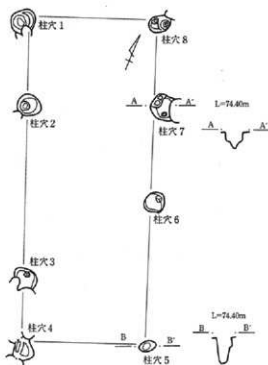
(柱穴2) 径: 16×15cm 深さ: -cm

(柱穴3) 径: (45)×(42)cm 深さ: 46cm

(柱穴4) 径: 34×48cm 深さ: 47cm

(柱穴5) 径: 53×47cm 深さ: 44cm

(柱穴6) 径: 48×60cm 深さ: 34cm



第208図 3 P-9号掘立柱建物

(柱穴7) 径: 20×26cm 深さ: 41cm

(柱穴8) 径: 32×28cm 深さ: 41cm

(柱穴9) 径: 33×52cm 深さ: 48cm

(柱穴10) 径: 42×(25)cm 深さ: 27cm

(柱穴11) 径: 79×46cm 深さ: 20cm

(柱穴12) 径: 70×66cm 深さ: (13)cm

(柱穴13) 径: 50×55cm 深さ: 32cm

(柱穴14) 径: 28×28cm 深さ: 24cm

(柱穴15) 径: 41×34cm 深さ: 29cm

(柱穴16) 径: 26×27cm 深さ: 24cm

(柱穴17) 径: 15×17cm 深さ: 27cm

(柱穴18) 径: (38)×37cm 深さ: 43cm

構造 本建物は1×6間の梁間1間型の単純な構造の掘立柱建物を身舎として南側に桁間3間の庇状の張り出し部を伴っている。

柱のプランは柱穴1・2・7・8・12~14・16・18が円形、柱穴3が隅丸方形で、他が楕円形を呈する。底面は丸底気味のものが多い。

上屋構造は不明であるが、規模の大きな柱穴が多いため、比較的しっかりした建物と思慮される。

(15) 3 P-11号掘立柱建物（第209図）

概要 本建物は調査区に於ける郭南部中央付近に位置する。新旧関係の特定できない3 P-7・10号掘立柱建物等と重複している。

本建物も位置的、形態的に主屋建物である可能性が考慮される。

遺物 本建物も出土遺物を特定できなかった。

時期 本建物は中世に一般的な梁間1間型の建物を身舎とするものと解釈しているが、張り出しの状態から概ね室町時代の所産と認識される。

規模 範囲：598×772cm

〔建物規模〕542~543×727~735cm

（平均：542.50×731.00cm）

〔身舎規模〕542~543×337~365cm

（平均：542.50×347.67cm）

〔北張り出し規模〕349×174~191cm

（平均：349.00×182.50cm）

〔南張り出し規模〕166~183×179~204cm

（平均：174.50×191.50cm）

〔梁間〕337~365cm（平均：347.67cm）

〔桁間〕166~206cm（平均：179.50cm）

〔北張り出し桁間〕171~178cm（平均：180.00cm）

〔柱穴1〕径：30×30cm 深さ：20cm

〔柱穴2〕径：50×47cm 深さ：32cm

〔柱穴3〕径：35×(30)cm 深さ：19cm

〔柱穴4〕径：37×32cm 深さ：30cm

〔柱穴5〕径：52×50cm 深さ：32cm

〔柱穴6〕径：20×18cm 深さ：17cm

〔柱穴7〕径：17×21cm 深さ：21cm

〔柱穴8〕径：33×37cm 深さ：21cm

〔柱穴9〕径：48×49cm 深さ：19cm

〔柱穴10〕径：19×21cm 深さ：9cm

〔柱穴11〕径：36×35cm 深さ：18cm

〔柱穴12〕径：20×34cm 深さ：35cm

〔柱穴13〕径：57×48cm 深さ：49cm

構造 本建物は全ての柱穴が確認できてはいないが、身舎は1×3間の梁間1間型を呈する掘立柱建物で、北側に桁行2間、梁間1間、南側に桁行1間、梁間1間規模の庇状の張り出しを伴う。尚、本建物はこの張り出しがそれぞれ東西に延びて南北両側に幅広い庇を持っていた可能性も考慮される。

柱穴のプランは柱穴1・2・3~5・8・9が円形を呈し、他の柱穴は楕円形を呈するものであった。また掘削底面は丸底状のものも多く見られた。

上屋構造は不詳であるが、柱穴底面に塑性変型のものが多いため、しっかりした構造の建物であった可能性が窺われる。

(16) 3 P-12号掘立柱建物（第210図）

概要 本建物は調査区に於ける郭南東部に位置し、新旧関係の特定できない3 P-13・14号掘立柱建物等と重複する。

本建物は形態的に付属屋と認識される。尚、本建物は、その棟方向から3号屋敷に伴わない可能性も考慮される。

遺物 本建物に於いても出土遺物を特定することはできなかった。

時期 本建物は中世に一般的な梁間1間型の建物であるが、細かい時期の特定にはいたらなかった。

規模 範囲：401×577cm

〔建物規模〕348~378×532~568cm

（平均：362.25×550.00cm）

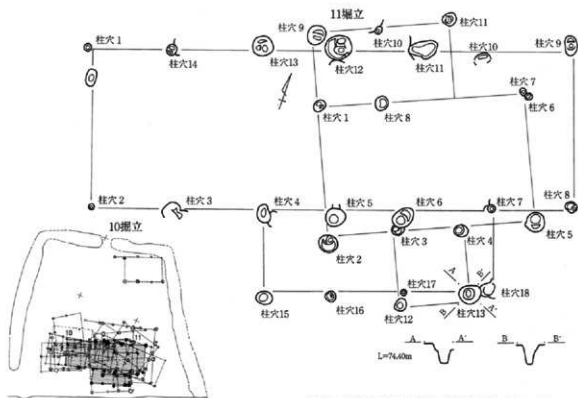
〔梁間〕348~378cm（平均：362.25cm）

〔桁間〕157~236cm（平均：185.33cm）

〔柱穴1〕径：58×32cm 深さ：(15)cm

〔柱穴2〕径：36×38cm 深さ：-cm

〔柱穴3〕径：26×24cm 深さ：-cm



第209図 3P-10・11号掘立柱建物

(柱穴4) 径：23×17cm 深さ：28cm

(柱穴5) 径：24×35cm 深さ：47cm

(柱穴6) 径：48×36cm 深さ：51cm

(柱穴7) 径：51×41cm 深さ：16cm

(柱穴8) 径：33×23cm 深さ：35cm

構造 本建物は1×3間の梁間1間型の掘立柱建物で、棟は南北に近い北北西-東南東を向く。

柱穴のプランは柱穴2・3・7が隅丸方形、柱穴6が不整形を呈する以外は楕円形を呈し、底面は柱穴6・7が平底を呈する以外は丸底気味である。

上屋構造は詳らかでないが、棟持柱を持たない建物で、簡単な構造のものと思定される。

(17) 3P-13号掘立柱建物 (第210図)

概要 本建物は調査区に於ける郭南東部に位置し、新旧関係不特定の3P-12・14号掘立柱建物等と重複している。

本建物は位置的に付属屋と認識されるが、その棟方向から本建物は3号屋敷に伴わない可能性が高い。

遺物 本建物も出土遺物を特定できなかった。

時期 本建物は身舎の形態から南北朝期以降の所産と認識されるが、庇状の張り出しを伴うことから概ね室町時代の所産として把握される。

規模 範囲：972×518cm

[建物規模] 910～933×460～475cm

(平均：921.50×467.33cm)

[身舎規模] 633～677×460～475cm

(平均：655.67×467.33cm)

[張り出し規模] 278～279×245～285cm

(平均：278.50×265.00cm)

[梁間] 131～340cm (平均：237.75cm)

[桁間] 174～230cm (平均：205.75cm)

(柱穴1) 径：38×40cm 深さ：23cm

(柱穴2) 径：36×31cm 深さ：43cm

(柱穴3) 径：64×54cm 深さ：33cm

(柱穴4) 径：(38)×(44)cm 深さ：29cm

(柱穴5) 径：39×39cm 深さ：—cm

(柱穴6) 径：35×50cm 深さ：51cm

(柱穴7) 径：52×36cm 深さ：25cm

(柱穴8) 径：27×27cm 深さ：46cm

（柱穴9）径：36×25cm 深さ：35cm

（柱穴10）径：45×42cm 深さ：30cm

（柱穴11）径：36×37cm 深さ：67cm

構造 本建物は2×3間の掘立柱建物を身舎として
いる。身舎の棟方向は東西に近い西北西-東南東方
向を向いているが、梁行の柱間は南側のもとの北側
のものでは凡そ2：1程の割合で前者の方が長く、
棟の位置は建物の中心よりやや北側に寄っている。
また身舎の西側の棟の延長線より南側には1×1間
の張り出しを有するが、張り出し部の桁間は身舎の
桁間よりやや長めである。

各柱穴のプランは柱穴1・7・9が楕円形、柱穴
4・8が隅丸方形を呈する以外は円形を呈するもの
であった。また掘削底面は柱
穴3・4が平底状である以
外は丸底気味である。

上屋構造は不明である
が、柱穴の規模がやや大き
めで底面に塑性変型のある
ものが多いため、しっかり
した構造の建物であった可
能性が窺われる。

（18） 3 P-14号掘立柱建物（第210図）

概要 本建物は調査区の郭南東部に位置し、新旧間
係の特定できない3 P-12・13号掘立柱建物等と重
複している。

本建物は位置的、形態的に付属屋と認識される。
尚、本建物もその棟方向から13号掘立柱建物と同様
3号屋敷に伴わない可能性のあるものと思慮される。

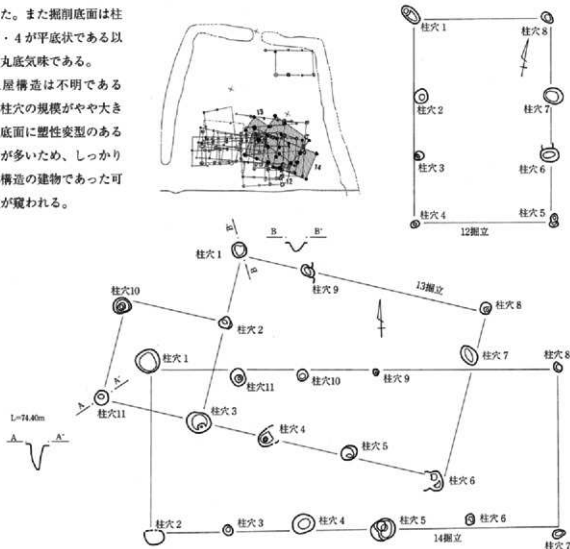
遺物 本建物も出土遺物を特定できなかった。

時期 本建物は中世に一般的な梁間1間型の建物で
あるが、細かい時期の特定にはいたらなかった。

規模 範囲：1132×518cm

〔建物規模〕1074×1090×395～460cm

（平均：1082.00×422.60cm）



第210図 3 P-12・13・14号掘立柱建物

〔梁間〕395～460cm (平均:422.60cm)
 〔桁間〕167～246cm (平均:210.88cm)
 (柱穴1) 径:61×61cm 深さ:15cm
 (柱穴2) 径:(52)×(37)cm 深さ:55cm
 (柱穴3) 径:25×67cm 深さ:41cm
 (柱穴4) 径:55×51cm 深さ:40cm

(柱穴5) 径:62×
 58cm 深さ:59cm
 (柱穴6) 径:21×
 29cm 深さ:15cm
 (柱穴7) 径:32×
 22cm 深さ:36cm
 (柱穴8) 径:24×
 18cm 深さ:-cm
 (柱穴9) 径:14×
 16cm 深さ:-cm
 (柱穴10)

径:26×30cm

深さ:15cm

(柱穴11)

径:41×46cm

深さ:20cm

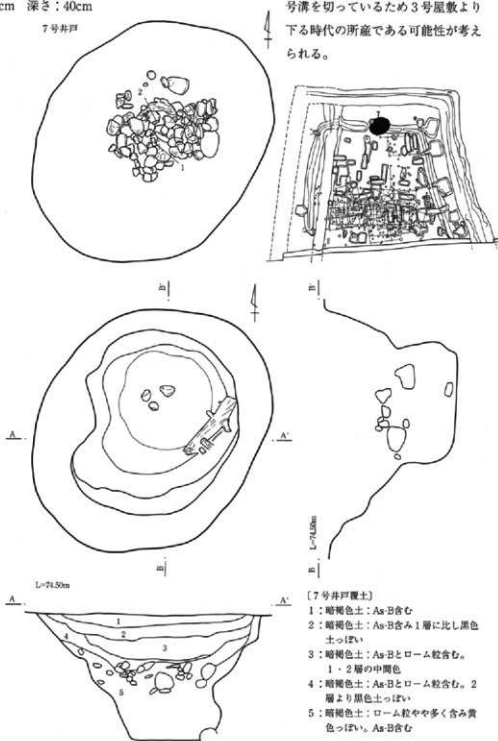
構造 本建物は1×
 5間の梁間1間型の
 掘立柱建物で、棟は
 南北に近い東西方向
 を向く。

柱穴のプランは柱
 穴1・6・10・11
 が隅丸方形で他は楕
 円形。底面は柱穴
 1・2・4が平底を
 呈する他は丸底気味
 である。

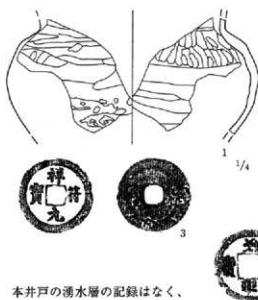
上屋構造は詳らか
 でないが、比較的簡
 単な構造であったと
 想定される。

(19) 9-7号井戸 (第211・212図)

概要 本井戸は3区屋敷の北側虎口のやや東寄り、
 3号屋敷の内堀である9-22号溝の北側虎口東側の
 端部と重複して位置している。本井戸は3号屋敷に
 伴うものとして報告しているが、22
 号溝を切っているため3号屋敷より
 下る時代の所産である可能性が考え
 られる。



第211図 9-7号井戸



本井戸の湧水層の記録はなく、井戸周囲の堆積層の記録も残されていない。従って、湧水層は特定できないのであるが、底面に沿うように高さ70cm以下、奥行き13cm以下のアグリが東壁から北壁附近にかけて形成されているのが見られ、このアグリの最も深くなる底面から40cm附近に湧水層があったものと判断される。

また井戸の廃棄に当っては、底面から1m程埋め戻した、埋没していた段階で人頭大以下の礫を多量に投棄していた。

遺物 本井戸からの出土遺物は少なかったが、古墳時代前期の土師器片3点、或いは平安時代頃の土師器片2点と甕(1)等須恵器片3点の出土が見られた。その他、砥石(2)や模範銭3枚(3-5)の出土も見られた。また、上述のように覆土の中位を中心に礫の投棄が多く見られ、底部近くでは自然木の出土もあった。

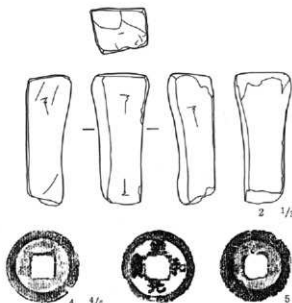
時期 本井戸は模範銭の出土が見られたこと等から概ね室町時代の所産と認識することができるが、残念乍ら細かい時期の特定には至らなかった。

規模 径：340×417cm 深さ：199cm

底径：168×152cm

構造 本井戸のプランは楕円形を呈し、底面のプランは円形状を呈する。

掘削形態は井筒朝顔型であったが、その中程を境にして上位は広く開いている。



第212図 9-7号井戸出土遺物

(20) 9-11号井戸（第213図、P L 118・134）

概要 本井戸は3区屋敷の郭西北部の東寄り、内堀の北側虎口の南西に近接して位置し、北側虎口前に想定される通路に近接するように掘削されている。

本井戸は南側で9-55号土坑と重複しているが、新旧関係を特定することはできなかった。

本井戸の湧水層の記録はないが、底面より50cm程の辺りに形成される高さ42cm程、奥行き8cm以下の弱いアグリ附近にあったものと思慮される。

またその形態から揚水にハネツルベを用いた可能性が考慮される。一方、井戸の廃棄に当っては確認面から50-60cm付近に人頭大以下の礫がまとめて投棄されていた。

遺物 出土遺物は僅かで、須恵器高台付碗(1)と短冊形の小板片(2)の出土が見られたに過ぎない。

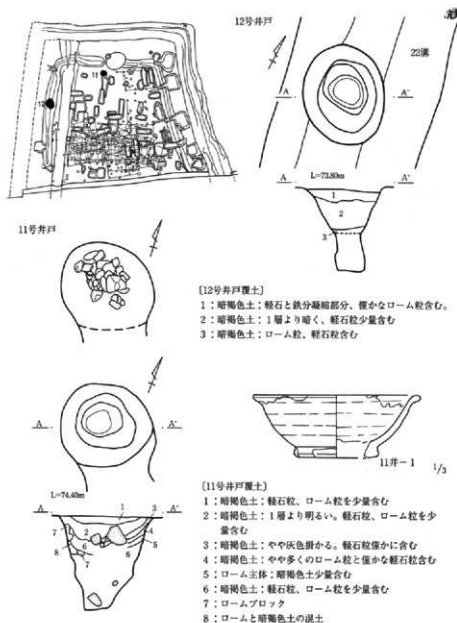
時期 本井戸は位置的に3区屋敷に伴うものと判断しているが、出土遺物も僅かで、細かい時期の特定には至らなかった。

規模 径：132×146cm 深さ：147cm

底径：34×38cm

構造 本井戸のプランは確認面、底面双方に於いて円形に近い楕円形を呈するものであった。

掘削形態は井筒型で、上1/3区東側が広がっている。



第213図 9-11・12号井戸と出土遺物

(21) 9-12号井戸 (第213図, P.L118)

概要 本井戸は3区屋敷の西部、内堀である9-22号溝の中に位置していた。22号溝との新旧関係は特定できず、本井戸は3号屋敷に先行する、或いは廃棄後の遺構であった可能性も考えられるが、掘削位置が22号溝にきれいに取まっているため、後述する9-52号土坑等の土坑が22号溝底面を入口として使用している、即ち22号溝底面の通路としての使用が窺われることと併せて、22号溝と同時期使用の井戸として認識されるものである。

(22) 9-18号井戸 (第214図)

概要 本井戸は3区屋敷の北部、内堀(9-22号溝)の北側に位置している。

内堀の北部虎口の東側を切る9-7号井戸の北東に接しており、これに切られている。また本井戸の掘削位置は内堀の虎口部分に在るため22号溝使用時に於いてはこれに伴うものではない。また内堀・外堀間の土塁または地形に伴うものと思われる覆土が、上位に入るため、3号屋敷の古い段階、或いはこれに先行する遺構の可能性も考慮される。

本井戸の湧水層の記録は残されていないが、底面に沿うように高さ33cm以下、奥行き4cm以下のアグリがあり、このアグリ附近に湧水層があったものと判断される。

遺物 本井戸からは僅かに古墳時代前期と平安時代の土師器・須恵器片合わせて6点が出土したに過ぎなかった。

時期 本井戸の細かい時期の特定はできなかったが、概ね3号屋敷に伴う室町時代の所産として把握される。尚、本井戸は上述のように22号溝に伴う時期の所産として認識される。

規模 径:128×161cm

深さ:132cm

底径:46×39cm

構造 プランは確認面、底面共に楕円形状を呈するものであった。

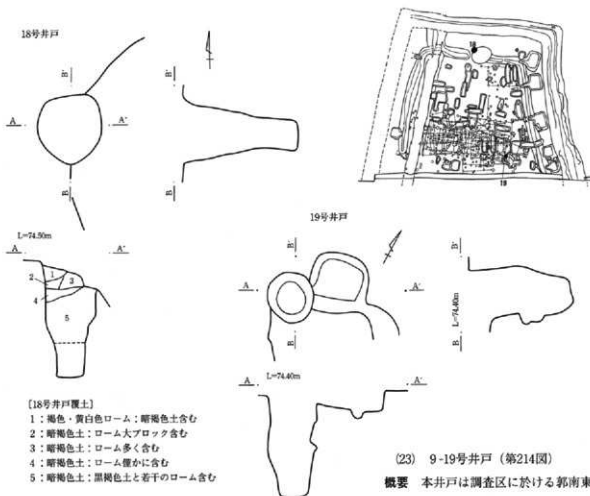
掘削形態は井筒朝顔型で、上半部は広く開いている。

[12号井戸覆土]

- 1: 暗褐色土: 軽石と鉄分凝縮部分、僅かなローム粒含む。
- 2: 暗褐色土: 1層より暗く、軽石粒少量含む
- 3: 暗褐色土: ローム粒、軽石粒含む

[11号井戸覆土]

- 1: 暗褐色土: 軽石粒、ローム粒を少量含む
- 2: 暗褐色土: 1層より明るい。軽石粒、ローム粒を少量含む
- 3: 暗褐色土: やや灰色掛かる。軽石粒僅かに含む
- 4: 暗褐色土: やや多くのローム粒と僅かな軽石粒含む
- 5: ローム主体: 暗褐色土少量含む
- 6: 暗褐色土: 軽石粒、ローム粒を少量含む
- 7: ロームブロック
- 8: ロームと暗褐色土の混土



〔18号井戸覆土〕

- 1：褐色・黄白色ローム：暗褐色土含む
- 2：暗褐色土：ローム大ブロック含む
- 3：暗褐色土：ローム多く含む
- 4：暗褐色土：ローム僅かに含む
- 5：暗褐色土：黒褐色土と若干のローム含む

第214図 9-18・19号井戸

本井戸の湧水層の記録は残されておらず、アグリの形成も見られなかったため、湧水層を確認することはできなかった。

遺物 本井戸からは古墳時代遺構の土師器、須恵器、女瓦各1点が出土したに過ぎなかった。

時期 本井戸は平安時代以降所産の井戸跡としては認識されるものの、時期の特定には至らなかった。また3号屋敷の遺構として報告しているが、上述のように3号屋敷に伴わない可能性も有している。

規模 径：102×111cm 深さ：184cm

底径：78×72cm

構造 本井戸のプランは確認面、底面共、円形に近い楕円形を呈する。

掘削形態は井筒型であるが、中位に段があって壁面が上半部は全体に若干広がる。

(23) 9-19号井戸（第214図）

概要 本井戸は調査区に於ける郭南東部に在り、東側で9-86・87号土坑に重なるが、新旧関係は特定できなかった。

本井戸も湧水層の記録が残されていないが、底面より60cm附近に高さ40cm余りを測り、奥行き19cm程のアグリが形成されているため、このアグリ附近に湧水層があったものと思慮される。

遺物 本井戸からの出土遺物は得られなかった。

時期 本井戸は3号屋敷に伴うものとして扱っており、位置的にも齟齬はないのであるが、時期の特定には至っていない。

規模 径：79×75cm 深さ：159cm

底径：48×49cm

構造 本井戸は確認面、底面共に円形に近い長円形のプランを呈している。

掘削形態は井筒型であり、前述の9-18号のようにはっきりしたものではないが、中位に段があって、上半部の壁面が若干広がっている。

(24) 3号屋敷の土坑群(その1) 一倉庫一

(第215~218図, P L 121・123~125・135)

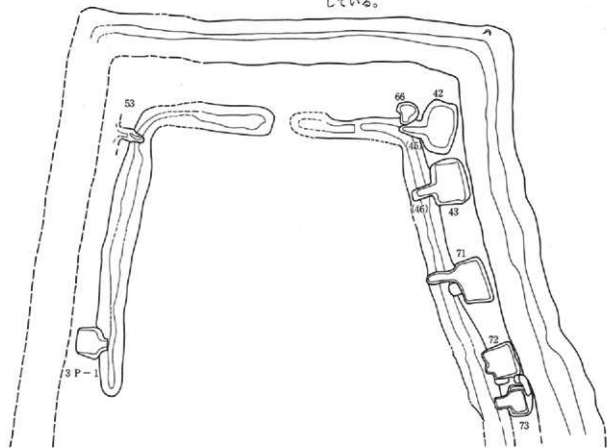
概要 3号屋敷では以下に述べるように多くの土坑を確認している。これらは明確には確認できていないが、多くが3号屋敷に伴うものと認識されるものである。

このうち本項では形態的に地下式坑に近い9・42・43・53・66・71・72・73号土坑と3P-1号土坑の合わせて8基の土坑について述べる。尚、42号土坑は調査時点では凸部が45号土坑と遺構番号が振られ、43号土坑も同じく凸部が46号土坑として調査されていた。特に43号土坑では本体と凸部を通す覆土の観察では本体の43号土坑を突出部の46号土坑が切っているように見えるものの、底面が繋がっている点などに鑑みて同一の遺構であると認識し一遺構として報告することとする。尚、本体側の番号(42・43)を採って遺構番号として報告することとする。また

53号土坑は別種の土坑である可能性も有するのであるが、凸部のみが遺存しているものと認識して、本項に報告することとする。

これらの土坑は内堀である9・22号溝と外堀である9・6号溝の間に在る帯郭状の区域に掘削されているもので、何れも凸部が入口と認識される。43号土坑では22号溝の最終段階では既に埋設していたことが確認され、71号土坑にもそうした状態が窺われるが、帯郭状の区域にきれいに収まって掘削されていることや、何れも凸部が22号溝側に掘り込まれていること等から推して、内堀(22号溝)と外堀(6号溝)の存在に規制された遺構で、内堀の堀底に下りてから出入するように設計されていた遺構群であるものと思慮される。

尚、本土坑群の各土坑は掘削位置や配置、形態、数量等から推して、竪穴建物と近似した構造を持つ地下式、或いは半地下式の倉庫であったものと解釈している。



第215図 3号屋敷の倉庫型土坑群(その1, 全体図) S = (1/300)

遺物 これらの土坑のうち、53号土坑と3P-1号土坑からの出土遺物は得られなかったが、他の土坑からは古墳時代前期と平安時代を中心とする時期の土師器・須恵器片の出土が見られ、43号土坑からは14世紀後半期の知多産焼締陶器甕片（43土坑-5）が出土し、この他、土錘（43土坑-6）砥石（43土坑-1・71土坑-1・2）、こも編み石（42土坑-1）・磨石（43土坑-2～4）の出土も見られた。

時期 本土坑群の土坑は内堀である22号溝と一体の構造と判断されるため、3号屋敷に伴うものと思慮されるが、上述のように43号土坑からは14世紀後半期の知多産焼締陶器甕片の出土は見られたものの、何れの土坑についても細かい時期の特定には至らなかった。

規模（42号土坑）径：413×440cm

〔本体〕幅：413 奥行き：262cm 深さ：72cm

〔凸部〕幅：90cm 長さ：216cm 深さ：58cm

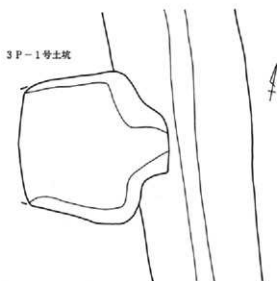
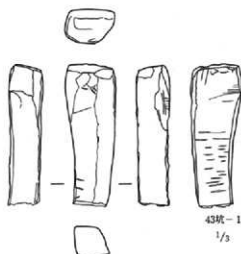
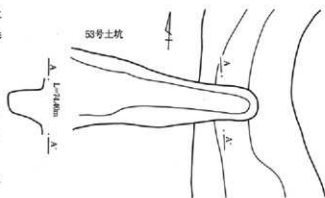
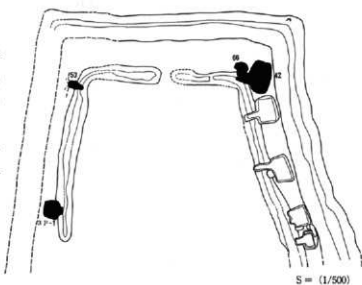
（43号土坑）径：351×465cm

〔本体〕幅：351cm 奥行き：277cm 深さ：73cm

〔凸部〕幅：82cm 長さ：184cm 深さ：12cm

（53号土坑）径：（54）×（296）cm

〔凸部〕幅：54cm 長さ：296cm 深さ：55cm



第216図の1 3号屋敷の倉庫型土坑群と出土遺物（その2）

(66号土坑) 径: 164×175cm

[本体] 幅: 165cm 奥行き: 124cm

深さ: 51cm

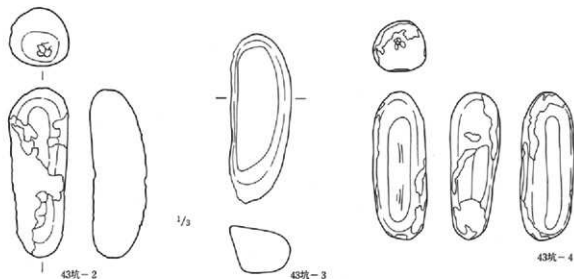
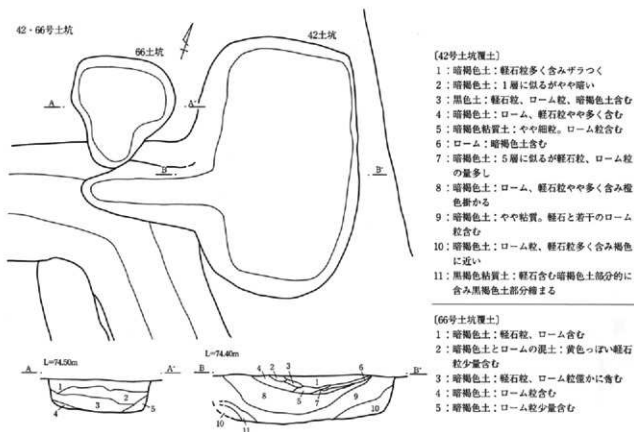
[凸部] 幅: 93cm 長さ: 70cm 深さ: 51cm

(71号土坑) 径: 366×468cm

[本体] 幅: 366cm 奥行き: 228cm

深さ: 75cm

[凸部] 幅: 87cm 長さ: 238cm 深さ: 68cm



第216図の2 3号屋敷の倉庫型土坑群と出土遺物(その3)

(72号土坑) 径：(280)×262cm

[本体] 幅：(280)cm 奥行き：246cm 深さ：64cm

[凸部] 幅：93cm 長さ：48cm 深さ：71cm

(73号土坑) 径：262×371cm

[本体] 幅：262cm 奥行き：189cm 深さ：81cm

[凸部] 幅：103cm

長さ：122cm

深さ：81cm

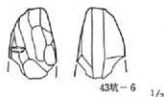
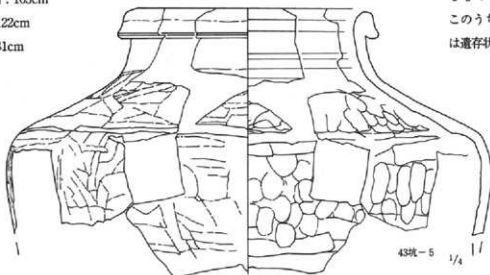
(3 P-1号土坑) 径：240×240cm

[本体] 幅：240cm 奥行き：196cm 深さ：70cm

[凸部] 幅：96cm 長さ：66cm 深さ：70cm

構造 本土坑群の各土坑は上述のように内堀である22号溝と外堀である9-6号溝の間に限って掘削されるものであった。

このうち53号土坑は遺存状態が悪く、



[ピット覆土]

1：暗褐色土：軽石含む

[43号土坑覆土]

2：暗褐色土：ローム粒、軽石粒含む

3：暗褐色土：やや明るい軽石粒少量含む

4：ロームと黒褐色土の混土：締まる

5：暗褐色土：2層に比し明るく、ローム粒やや多く含む

6：暗褐色土：軽石粒、ローム粒を少量含む。やや明るい。細粒で締まる

7：暗褐色土：灰色掛かる。ローム粒やや多く、軽石少量含む

8：暗褐色土：小軽石粒、ローム粒少量含む

9：暗褐色土：ロームと軽石粒多く含む

10：ロームと褐色土の混土

11：暗褐色土：ローム多く、軽石粒僅かに含む

12：暗褐色土：やや灰色掛かる。若干のロームと多くの軽石粒含みザラつく

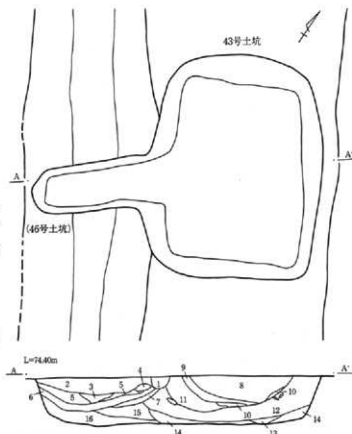
13：暗褐色土：ローム粒多く含み明るい

14：暗褐色土：12層に似るが軽石粒少ない

[凸出部（旧46号土坑）覆土]

15：暗褐色土：軽石粒とローム含む

16：ロームと黒色土、暗褐色土の混土

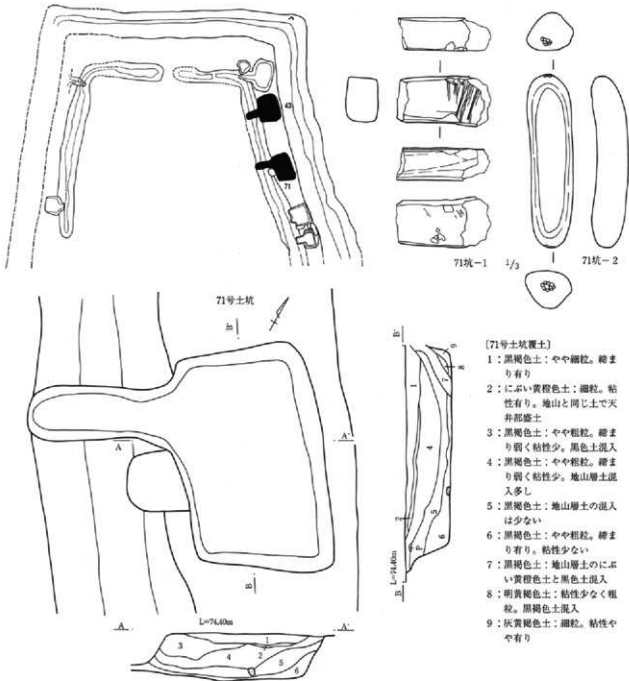


第217図の1 3号屋敷の倉庫型土坑群と出土遺物（その4）

その一部を確認できたに過ぎず、3P-1号土坑も本体が一部失われていたため全容は確認できなかった。

本土坑群の土坑の規模については一部しか確認できなかった53号土坑を除くと相対的に長軸の長さで2m及び3mを境として大中小があり、66号土坑が小型、72・73・3P-1号土坑が中型、42・43・71号土坑が大型に分類されるものであった。一方、各

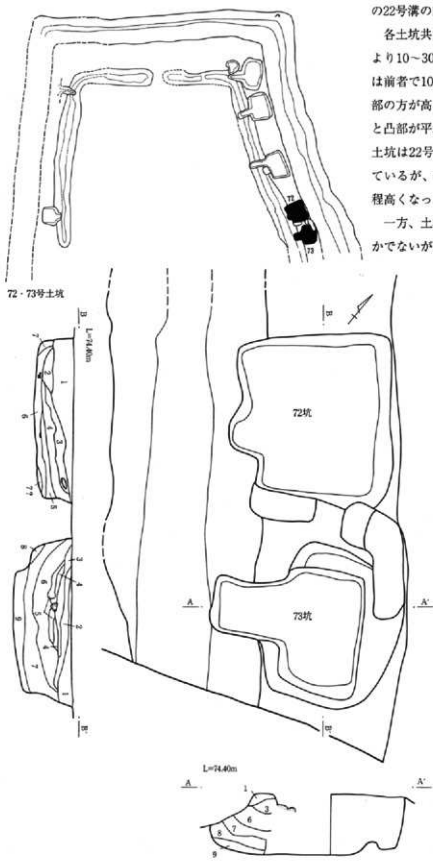
土坑の形態は土坑により若干の相異はあるものの、その構造は全体として横長の隅丸長方形のプランを呈する竪穴状の本体と、その長辺の一方に溝状の凸部を有する構造のものであった。この凸部は何れも内郭側を向き、22号溝の中に突き出して掘削されているが、42・43・71号土坑は22号溝の底面を更に掘削しており、特に後2者は突き抜けてはいないもの



[71号土坑覆土]

- 1: 黒褐色土: やや細粒。締まり有り
- 2: にぶい黄褐色土: 細粒。粘性有り。地山と同じ土で天井部盛土
- 3: 黒褐色土: やや粗粒。締まり弱く粘性少。黒色土混入
- 4: 黒褐色土: やや粗粒。締まり弱く粘性少。地山層土混入多し
- 5: 黒褐色土: 地山層土の混入は少ない
- 6: 黒褐色土: やや粗粒。締まり有り。粘性少ない
- 7: 黒褐色土: 地山層土のにぶい黄褐色土と黒色土混入
- 8: 明黄褐色土: 粘性少なく粗粒。黒褐色土混入
- 9: 灰黄褐色土: 細粒。粘性やや有り

第217図の2 3号屋敷の倉庫型土坑群と出土遺物(その5)



第218図 3号屋敷の倉庫型土坑群（その6）

の22号溝の内壁まで達している。

各土坑共にその本体底面は22号溝の底面より10～30cm程低い。また42・72号土坑は前者で10cm、後者で20cm程本体より凸部の方が高くなっているが、全体的に本体と凸部が平坦であるものが多い。高、63号土坑は22号溝底面より50cm程掘り込まれているが、西端では22号溝底面より30cm程高くなっている。

一方、土坑の上位の構造については詳らかでないが、71～73号土坑の覆土の状況から推して、屋根が掛けられ、その上に盛土の施されていたことが窺われる。またこの盛土は前述の3P-1号掘立柱建物の存在に鑑みれば、高土居であった可能性も考慮される。

〔72号土坑覆土〕

- 1：黒褐色土：やや細粒、締り強く粘性弱
- 2：黒色土
- 3：1層土と明黄褐色土の混土：天井の盛土
- 4：明褐色土
- 5：黒褐色土とぶい黄褐色土の混土
- 6：黒褐色土：粗粒、締り弱く粘性少
- 7：地山土のブロック層

〔73号土坑覆土〕

- 1：黒褐色土：やや細粒、締り強く粘性弱
- 2：明黄褐色土：地山層土使用の天井盛土
- 3：黒褐色土：やや細粒でやや粘性あり
- 4：灰黄褐色土：やや細粒で粘性あり
- 5：黒褐色土：細粒で粘性あり
- 6：明褐色土：細粒で粘性あり
- 7：黒褐色土：粗粒で締まり弱く粘性少
- 8：黒色土と地山層土とぶい黄褐色土の混土
- 9：黒褐色土：細粒で締まり、粘性有り

(25) 3号屋敷の土坑群(その2)

(第219~224図, P L 119~127)

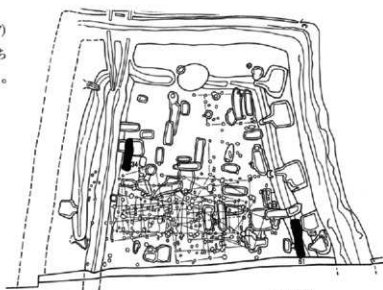
概要 本項では3号屋敷所在土坑のうちそのプランが長方形を呈する土坑を扱う。

本項で扱う土坑は9・20~29・34・36~41・44・47・49~51・56・57・59・60・62~65・69・73c・74・76・83・84・86・87号土坑及び重複のためそのプランが明瞭ではないが長方形を呈するものと判断される9-44b・48・55・60b・70・71b・72b・73b・75・90・93f号土坑の合わせて49基の土坑群である。

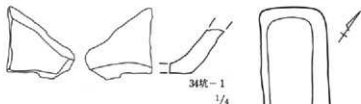
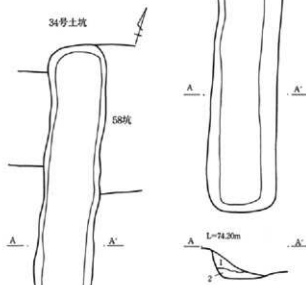
これらの土坑は比較的大型のものが多く、調査区に於ける郭北半部と南東部、及び一部が東部の(9-22号溝)と外堀(9-6号溝)の間の帯郭状の区域に分布しているが、概して掘立柱建物群の北から東側を包む位置に掘削されるものが多かった。

これらの土坑群の掘削意図は確認できなかったが、その形態と規模は近・現代の所謂芋穴に近似し、主に建物域の外周に掘削される掘削位置に照らして、何らかの貯蔵に用いられたものと思慮される。

遺物 これらの土坑の中からは量の多少はあるものの20・22・28・34・38・40・48・51・56・59・65・69・76・86・87号土坑からは古墳時代前期及び平安時代のものを中心とする土器類が、23・25・27・29・36・39・41・44・57・62・63・90号土坑からは平安時代のものを中心とする時期の土師器・須恵器の出土が見られた。このうち59・86号土坑からは比較的多くの遺物が出土しており、34号土坑から時期不明の軟質陶器鉢片(34土坑-1)の出土も見られた。尚、21・24・26・37・47・49・55・60・64・70・71b・72b・73b・73c・74・75・83・84号土坑からの出土遺物は見られなかった。



51号土坑

34坑-1
1/4

34号土坑

58坑

A

A'

A

A'

L=71.80m

A

A'

L=74.30m

A

A'

- [34号土坑覆土]
- 1: 暗褐色土: ローム含む
 - 2: 暗褐色土: ローム、黒褐色土含む。ローム層より多し
 - 3: 黒褐色土: ローム含む

- [51号土坑覆土]
- 1: 黒褐色土とロームの混土
 - 2: 黄褐色ローム: 黒褐色土含む

第219図 3号屋敷の土坑群と出土遺物(その1)

時期 これら長方形プランの土坑は3号屋敷に伴うものとして解釈したが、近世以前で34号土坑が概ね室町時代以降、多くは平安時代以降の所産として把握されるものの細かな時期特定には至らなかった。

規模 (20号土坑) 径: 318×102cm 深さ: 40cm

(21号土坑) 径: 259×138cm 深さ: 31cm

(22号土坑) 径: 324×128cm 深さ: 39cm

(23号土坑) 径: 308×106cm 深さ: 36cm

(24号土坑) 径: 178×110cm 深さ: 26cm

(25号土坑) 径: 308×106cm 深さ: 18cm

(26号土坑) 径: 210×108cm 深さ: 25cm

(27号土坑) 径: 120×90cm 深さ: 16cm

(28号土坑) 径: 166×98cm 深さ: 21cm

(29号土坑) 径: 146×(106)cm 深さ: 16cm

(34号土坑) 径: 414×91cm 深さ: 44cm

(36号土坑) 径: 332×92cm 深さ: 13cm

(37号土坑) 径: 122×52cm 深さ: 6cm

(38号土坑) 径: 396×112cm 深さ: 24cm

(39号土坑) 径: 104×70cm 深さ: 70cm

(40号土坑) 径: (248)×106cm 深さ: 32cm

(41号土坑) 径: 364×107cm 深さ: 28cm

(44号土坑) 径: 332×146cm 深さ: 53cm

(44b号土坑) 径: 115×(84)cm 深さ: 30cm

(47号土坑) 径: 350×112cm 深さ: 53cm

(48号土坑) 径: (110)×106cm 深さ: 38cm

(49号土坑) 径: 292×128cm 深さ: 48cm

(50号土坑) 径: 190×98cm 深さ: 68cm

(51号土坑) 径: 502×104cm 深さ: 31cm

(55号土坑) 径: (118)×108cm 深さ: 42cm

(56号土坑) 径: 176×136cm 深さ: 52cm

(57号土坑) 径: 188×94cm 深さ: 35cm

(59号土坑) 径: 164×138cm 深さ: 32cm

(60号土坑) 径: 79×52cm 深さ: 49cm

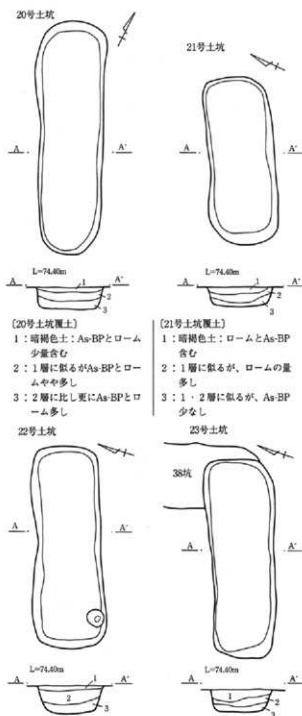
(60b号土坑) 径: 34×(16)cm 深さ: 25cm

(62号土坑) 径: 242×118cm 深さ: 64cm

(63号土坑) 径: 234×108cm 深さ: 19cm

(64号土坑) 径: 380×112cm 深さ: 53cm

(65号土坑) 径: (258)×128cm 深さ: 33cm



第220図の1 3号屋敷の土坑群 (その2)

[20号土坑覆土]

- 1: 暗褐色土: As-BPとローム少量含む
- 2: 1層に似るがAs-BPとロームやや多し
- 3: 2層に比し更にAs-BPとローム多し

[21号土坑覆土]

- 1: 暗褐色土: ロームとAs-BP含む
- 2: 1層に似るが、ロームの量多し
- 3: 1・2層に似るが、As-BP少なし

[22号土坑覆土]

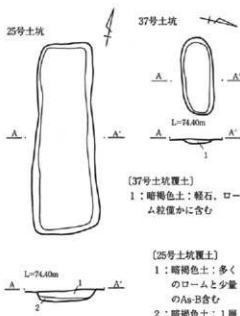
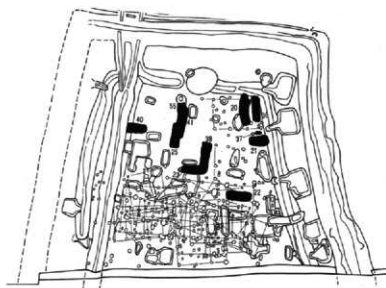
- 1: 暗褐色土: ローム多くAs-BP少量含む
- 2: 暗褐色土: As-BPと多くのローム含む
- 3: 暗褐色土: 若干のロームと少量のAs-BP含む

[23号土坑覆土]

- 1: 暗褐色土: ローム多く含む
- 2: 1層よりローム少ない
- 3: 2層よりローム少ない

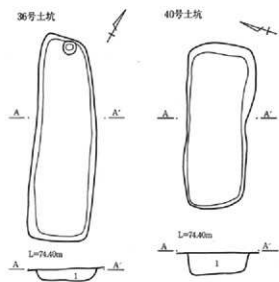
(69号土坑) 径: 114×78cm 深さ: 27cm

(70号土坑) 径: 108×(66)cm 深さ: 30cm



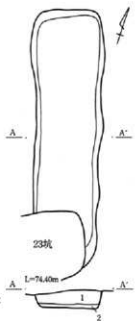
〔37号土坑覆土〕
1：暗褐色土：軽石、ローム粒僅かに含む

〔25号土坑覆土〕
1：暗褐色土：多くのロームと少量のAs-Bを含む
2：暗褐色土：1層に比し黒色土っぽい。ロームとAs-B少量含む

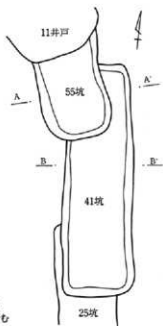


〔36号土坑覆土〕
1：暗褐色土：ローム粒、軽石粒僅かに含む

〔40号土坑覆土〕
1：暗褐色土：多くのロームと若干の軽石粒含む



〔38号土坑覆土〕
1：暗褐色土：ローム多く含む
2：黄褐色ローム：暗褐色土含む



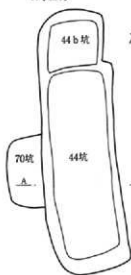
〔41号土坑覆土〕
1：暗褐色土：ロームと軽石粒や多く含む
2：暗褐色土：ロームと黒色土及び少量の軽石含む
3：暗褐色土：軽石粒と含まずローム2層に比し多し

- (71b号土坑) 径：(98)×96cm 深さ：43cm
- (72b号土坑) 径：108×(50) cm 深さ：18cm
- (73b号土坑) 径：(77)×68cm 深さ：40cm
- (73c号土坑) 径：(158)×48cm 深さ：60cm
- (74号土坑) 径：190×54cm 深さ：14cm
- (75号土坑) 径：98×(78) cm 深さ：17cm
- (76号土坑) 径：74×50cm 深さ：36cm
- (83号土坑) 径：212×120cm 深さ：34cm
- (84号土坑) 径：104×82cm 深さ：13cm

第220図の2 3号屋敷の土坑群 (その3)

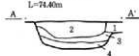
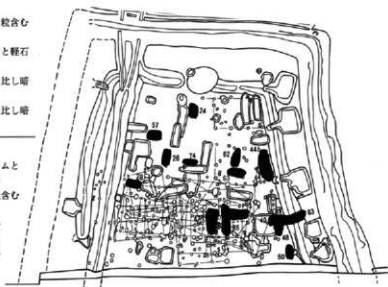
第3章 発見された遺構と遺物 (その2 中世屋敷遺構)

44号土坑



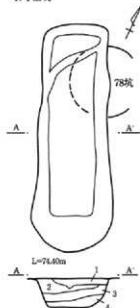
- 【土坑構築後の埋土】
 1: 黒褐色土: ローム粒含む
 (44号土坑覆土)
 2: 暗褐色土: ロームと軽石粒多く含む
 3: 暗褐色土: 2層に比し暗い、ローム含む
 4: 暗褐色土: 3層に比し暗くローム含む

- 【47号土坑覆土】
 1: 暗灰褐色土: ロームと軽石粒を多く含む
 2: ローム: 暗褐色土含む
 3: 暗褐色土: ロームと黒色土含む
 4: 暗褐色土: ロームと軽石粒少量含む

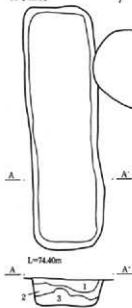


- 【65号土坑覆土】
 1: 暗褐色土: ロームと多くの軽石粒含む
 2: 砂質ロームと暗褐色土の混土
 3: 暗褐色土: 軽石多く含む

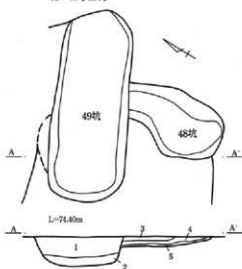
47号土坑



65号土坑



48・49号土坑



- 【49号土坑覆土】
 1: 暗褐色土: ローム粒、軽石粒を多く含む
 2: 暗褐色土: ローム粒、軽石粒含むが1層に比し少ない
 74号土坑
 【48号土坑覆土】
 3: 暗褐色土: ロームと軽石粒含む
 4: 砂層: 暗褐色土若干含む
 5: 黒褐色土: ローム粒含む

(86号土坑) 径: 251 × (144) cm 深さ: 68cm

(87号土坑) 径: (154) × 106cm 深さ: 54cm

(90号土坑) 径: 96 × (64) cm 深さ: 20cm

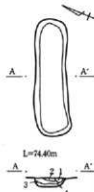
(93号土坑) 径: 87 × (52) cm 深さ: 20cm

構造 本項では長方形プランの土坑を扱っているが、縦横比の違いによって4つのグループに分けられる。

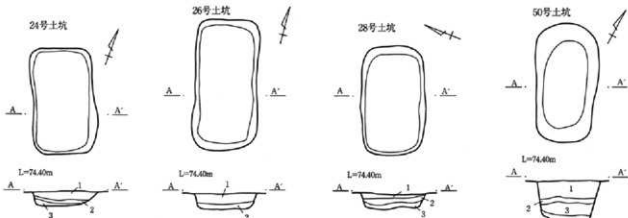
第1のグループは短冊形のプランを呈するもので34・

【74号土坑覆土】

- 1: 黒褐色土: ローム含む
 2: ローム: 黒褐色土含む
 3: ロームと黒褐色土の凝状の混土
 4: 黄褐色土: ローム主体。暗褐色土混入。やや暗い



第221図の1 3号屋敷の土坑群 (その4)



〔24号土坑覆土〕

- 1: 暗褐色土と暗褐色土含むロームの斑状の混土
- 2: 暗褐色土・ローム多く含む
- 3: 黄褐色ローム・暗褐色土若干混入

〔26号土坑覆土〕

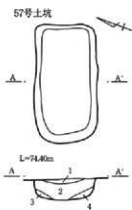
- 1: 暗褐色土・As-Bと多くのローム、少量の黒褐色土含む
- 2: 暗褐色土・As-B含みザラつく

〔28号土坑覆土〕

- 1: 暗褐色土・ロームとAs-B含む
- 2: 1層に似るがやや粘質
- 3: 1層に似るがやや黒色土っぽい

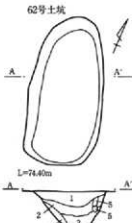
〔50号土坑覆土〕

- 1: 暗褐色土・ローム多量に含む
- 2: 黒褐色土・ローム多く含む
- 3: 暗黄褐色土・1層に比しローム粒多し
- 4: 暗黄褐色ローム・暗褐色土、黒褐色土若干含む



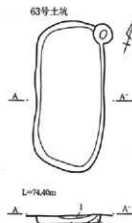
〔57号土坑覆土〕

- 1: 暗褐色土・ロームと軽石含む
- 2: 暗褐色土・ロームと少量の軽石含む
- 3: 暗褐色土・ローム多く含む
- 4: 暗褐色土・ローム粒僅かに含む



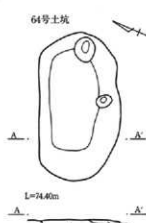
〔62号土坑覆土〕

- 1: 黒褐色土・細粒
- 2: 黒褐色土・細粒で1層より粘質
- 3: 黒褐色土・細粒で2層より粘質
- 4: 黒褐色粘質土・ローム含む
- 5: ロームブロック



〔63号土坑覆土〕

- 1: 暗褐色土・軽石・ローム粒含む
- 2: 暗褐色土・軽石粒、ローム粒多く含む
- 3: 暗褐色土・ローム粒含む。やや粘質



〔64号土坑覆土〕

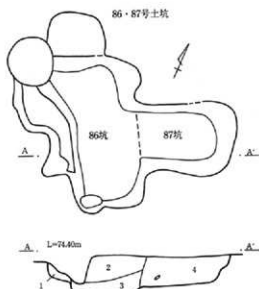
- 1: 暗灰褐色土・軽石含む
- 2: 暗黄褐色土・ローム多く含む



第221図の2 3号屋敷の土坑群 (その5)

51号土坑が該当する。第2グループは縦横比が3:1前後を測るもので、20・23・25・36・38・40・44・47・49・65・73c・74号土坑が該当し、48号土坑もこれに含まれるものと判断される。第3のグループは縦横比が2:1前後を測るもので、24・26・28・57・62・63・64・83・86号土坑が該当し、55・87号土坑もこれに含まれるものと判断している。そして第4のグループは縦横比が3:2前後のもので、27・29・39・56・59・60・69・76・84号土坑が該当する。

第3章 発見された遺構と遺物 (その2 中世屋敷遺構)



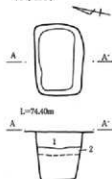
[86号土坑覆土]

- 1: 暗褐色土: ローム含む
- 2: 暗褐色土: ロームと黒褐色土多く含む
- 3: 暗褐色土: ロームと黒褐色土少量含む

[87号土坑覆土]

- 4: 暗褐色土: ロームと黒褐色土含む

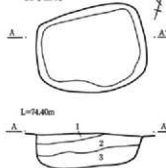
39号土坑



[39号土坑覆土]

- 1: 暗褐色土: 多くのロームと若干の軽石含む
- 2: 暗褐色土: ローム多く含む

56号土坑



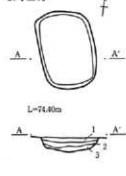
[56号土坑覆土]

- 1: 暗褐色土: ローム・黒褐色土含む、少量の軽石粒含む
- 2: 暗褐色土: 1層と同じだがローム多く明るい
- 3: 暗褐色土: 2層に比し黒っぽい、ローム粒と黒褐色土含む

[59号土坑覆土]

- 1: 暗褐色土: 軽石多く含む。ザラつく。ロームを少量含む
- 2: 暗褐色土: ローム1層に比し多く含む
- 3: 暗褐色土: ローム層土主体。暗褐色土含む

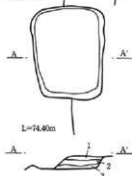
27号土坑



[27号土坑覆土]

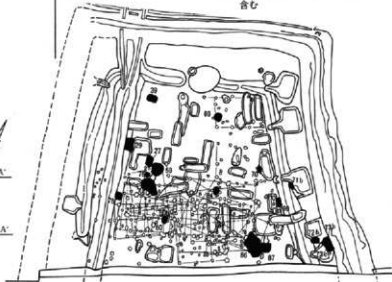
- 1: 暗褐色土: ローム含む
- 2: 暗褐色土: ローム少量含む
- 3: 黒褐色土: やや粘質。ローム粒含む

29号土坑

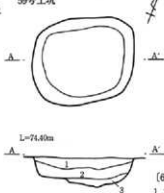


[29号土坑覆土]

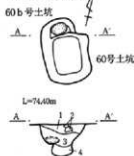
- 1: 暗褐色土: As-B多く含む
- 2: 暗褐色土: ローム、黒褐色土、As-B含む
- 3: 暗褐色土: ローム、As-B少量含む



59号土坑



60・60b号土坑



[60・60b号土坑覆土]

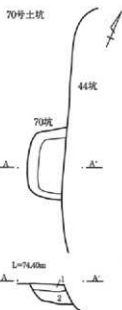
- 1: 暗褐色土: 軽石と少量のローム粒含む
- 2: ロームと暗褐色土の混土
- 3: 暗褐色土: 軽石粒とローム含む
- 4: 暗褐色土: やや粘質。ローム粒含む

第222図の1 3号屋敷の土坑群 (その6)



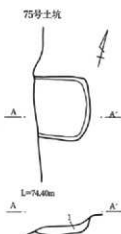
〔69号土坑覆土〕

- 1: 黒褐色土: ローム粒少量、軽石粒多く含む
- 2: 黒褐色土とロームの混土
- 3: ロームブロック
- 4: 黒褐色土: ローム粒、軽石粒少量含む



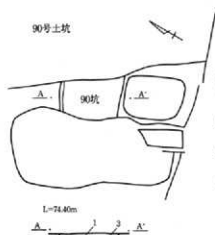
〔70号土坑覆土〕

- 1: 暗褐色土: ロームと軽石粒含む
- 2: 暗褐色土: ローム多く含む軽石粒含む



〔75号土坑覆土〕

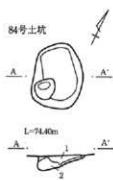
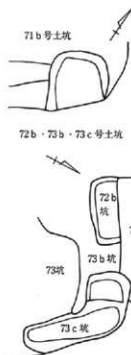
- 1: 暗褐色土: やや粘質で、ロームと軽石粒、黒褐色土を含む



〔90号土坑覆土〕

- 1: 黒褐色土: ローム含む
- 2: 黒褐色土ブロック
- 3: 黄褐色土: 黒褐色土少量含む
- 4: 黄褐色土: 黒褐色土層かに混入

第222図の2 3号屋敷の土坑群 (その7)



〔84号土坑覆土〕

- 1: 暗褐色土: 細粒で粘性有り。軽石混入
- 2: 明黄褐色土: やや粗粒。粘性強

尚、本項に示した土坑はその幅に於いて近似したものが多く、各グループ内の土坑の規模には似たようなものが多かった。こうした中において第2グループの中の37・74号土坑、第4グループの60・76・84号土坑は小型であった。

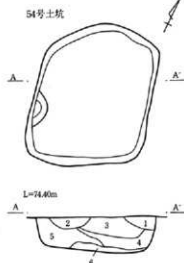
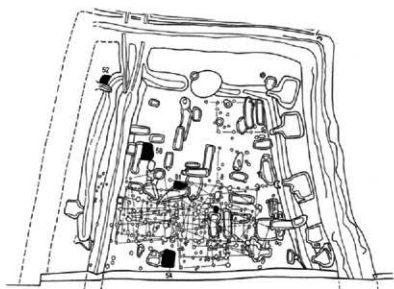
掘削形態は何れも箱形を呈しており、底面は平底を呈するものであった。

(26) 3号屋敷の土坑群 (その3)

(第223図, P L 122 - 123)

概要 本項では3号屋敷に所在する土坑のうち正方形、若しくは隅丸方形様のプランを呈する土坑を扱う。本項で扱う土坑は9・54・58・79号土坑、及び重複や削平のためプランが明瞭ではないものの正方形様のプランになるものと想定される9・52・91号土坑を合わせた5基の土坑である。

これらの土坑はやや小型の79号土坑を除き、他の4基の土坑は比較的大型のものが多い。またその掘削位置は郭の西半部、掘立柱建物群の外側寄りに分布するもので、52号土坑は前述の倉庫と認識した土坑群と同様に、内堀(9・22号溝)と外堀(9・6号溝)



〔別遺構覆土〕

1: 暗褐色土: 黒色土少量含む

〔54号土坑覆土〕

2: ロームと黒褐色土の混土

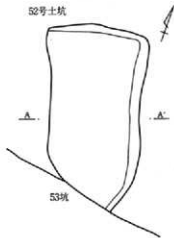
3: ローム: 暗褐色土と黒褐色土やや多く含む

4: 3層に似るが暗褐色土の量多し

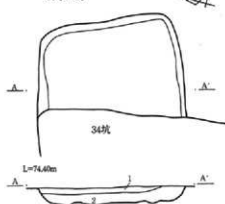
5: 黄褐色ローム: 暗褐色土若干含む

6: 暗褐色土: やや粘性有り。締まる

52号土坑



58号土坑



53号

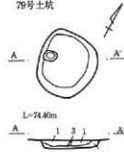


〔58号土坑覆土〕

1: 暗褐色土: ローム含む

2: 暗褐色土: ロームやや多く含む

79号土坑



〔79号土坑覆土〕

1: 明灰褐色土: やや粗粒。やや粘性有り。軽石含む

2: 明黄褐色土と明灰褐色土の混土

3: 明黄褐色土: 細粒で粘性有り

〔52号土坑覆土〕

1: 暗褐色土: 軽石粒多く含みざらつく。ローム粒少量含む

2: 暗褐色土: 軽石僅かに含む

3: 暗褐色土: ローム粒多く含み、黄味掛かる

4: 黒褐色土: ローム粒多く含む

91号土坑



〔91号土坑覆土〕

1: 暗褐色土: ローム含む

2: 暗褐色土とロームの混土: 暗黄褐色を呈す

3: 暗褐色土: ローム粒・ローム含む

の間の帯郭状の空間に掘削されるものであった。

第223図 3号屋敷の土坑群 (その8)

これらの土坑についても掘削意図等を特定することはできなかったのであるが、79号土坑以外の土坑

は、その形態と規模が前述の倉庫群と想定した9-42号土坑等一群の土坑群の本体部分のそれに似てい

ることから、42号土坑等と同様に倉庫的な機能を有していたものと想定している。尚、52号土坑はその掘削位置から推して、前述の9-43号土坑同様に内堀（9-22号溝）のコーナー部分に在って、内堀内から出入りするタイプの倉庫であった可能性も考慮される。

遺物 本土坑群の土坑のうち79号土坑からの出土遺物は見られなかった。しかし乍ら出土量こそ多くなかったが、52・58号土坑からは古墳時代前期と平安時代を中心とする時期の土師器、或いは須恵器片が、54・91号土坑からは平安時代頃の土師器、須恵器片と共に、54号土坑からは現代の陶器壺片、91号土坑からは軟質陶器壺片の出土も見られた。尚、54号土坑から出土した現代陶器壺片は54号土坑の覆土の状態等に鑑みて同土坑に伴うものではなく、流れ込みによるものと判断される。

時期 本項に述べている正方形様プランを5基の土坑も3号屋敷に含まれるものとして報告しているが、これらは何れも近世以前の所産であることは確認されるものの、91号土坑が概ね室町時代以降の所産である可能性を持つだけで、多くは平安時代以降の所産と認識される程度のもので、全ての土坑について時期の特定には至らなかった。

規模 (52号土坑) 径: 284×144cm 深さ: 57cm
(54号土坑) 径: 214×178cm 深さ: 58cm
(58号土坑) 径: 226×142cm 深さ: 31cm
(79号土坑) 径: 104×94cm 深さ: 21cm
(91号土坑) 径: 202×46cm 深さ: 46cm

構造 上述のように本項で扱う土坑のうち79号土坑は小型であるが、他の52・54・58・91号土坑は大型のものであった。プランは小型の79号土坑は隅丸方形を呈しているが、全体を詳らかにすることのできなかった58・91号土坑を含め、大型の土坑はやや隅部が丸みを持ち或いは縁部が膨らむものが見られたものの、全体としては正方形に近い形状を呈するものであった。

掘削形態は箱状を呈するもので、底面の形態は平底であった。

(27) 3号屋敷の土坑群（その4）

(第224図、P.L124～126・135)

概要 本項では3号屋敷所在土坑のうち円形或いは楕円形のプランを呈する土坑群について扱う。該当する土坑は9-61・67・68・77・78・80・81・81b・82・93a・93b・93c・93d・93e号土坑の10基の土坑であり、これらは調査区に於ける郭の南西部と、同じく北東部から内堀（9-22号溝）と外堀（9-6号溝）の間の帯郭状の区域の北東部にかけて分布するものであった。

尚、このうち当初は93号土坑という一括の遺構として調査していた93a・93b・93c・93d・93e号土坑の5基の土坑は、先に述べた9-93f号土坑と併せてまとまって重複するものであった。この6基の土坑は93c号土坑が93d号土坑を切り、93a号土坑が93f・93b号土坑を切るようである。しかし乍ら覆土の断面観察に於いても93b・93c・93f号土坑の新旧を識別することはできず、他についても新旧を特定することはできなかった。

また形態的に67・82号土坑は柱穴である可能性を有するものの、何れの土坑についても掘削目的等を特定することはできなかった。

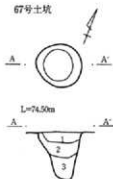
遺物 これらの土坑のうち61・80・81・81b・93a～93e号土坑からの出土遺物を見ることはできなかった。また他の土坑からの出土遺物も量的には僅かなものであったが、78号土坑からは古墳時代前期の土師器片、68・77・78・82号土坑からは平安時代頃の土師器、須恵器片の出土が見られた。尚、67号土坑からは時期不特定の磨石（67土坑-1）の出土が見られた。

時期 本項に述べた各土坑は3号屋敷に伴うものと判断して報告しているが、各土坑共に近世以前の所産であることは確認でき、68・77・78・82号土坑が平安時代以降と認識できるだけで、何れの土坑についても細かい時期の特定には至らなかった。

規模 (61号土坑) 径: 164×102cm 深さ: 44cm
(67号土坑) 径: 70×68cm 深さ: 72cm
(68号土坑) 径: 100×96cm 深さ: 38cm

第3章 発見された遺構と遺物 (その2 中飯屋敷遺構)

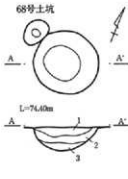
67号土坑



〔67号土坑覆土〕

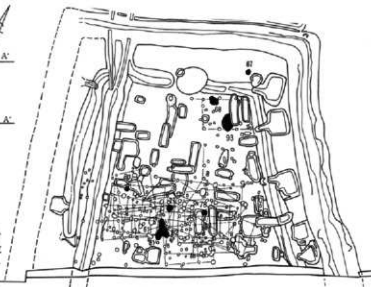
- 1: 暗褐色土: 軽石多く含むみザラつく。ローム粒少量含む
- 2: 暗褐色土: 軽石多く含むみザラつく。ローム粒1層より多く含む
- 3: 暗褐色土: 軽石多く含むみザラつく。ローム粒やや多く含む明るい

68号土坑



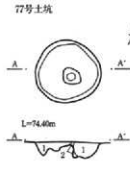
〔68号土坑覆土〕

- 1: 暗褐色土: 軽石粒、ローム粒含む
- 2: 暗褐色土: 軽石粒とやや多くのローム粒含む
- 3: 暗褐色土: 多くのロームと少量の軽石含む



61・81号土坑

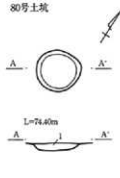
77号土坑



〔77号土坑覆土〕

- 1: 暗褐色土: 軽石粒含む
- 2: 暗褐色土: ローム粒多く含む

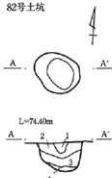
80号土坑



〔ビット覆土〕

- 1: 暗灰色土: ローム、暗褐色土と多くのAs-B含む
- 2: 暗褐色土: 若干のAs-Cと少量のローム粒を含む
- 3: 暗褐色土: As-C粒ど含まず
- 4: 暗褐色土: ローム多く含む

82号土坑



〔80号土坑覆土〕

- 1: 暗褐色土: As-Cとローム含む

(77号土坑) 径: 108×96cm 深さ: 44cm

(78号土坑) 径: 124×120cm 深さ: 53cm

(80号土坑) 径: 68×60cm 深さ: 9cm

(81号土坑) 径: 118×(63)cm 深さ: 19cm

(81b号土坑) 径: (89)×85cm 深さ: 18cm

(82号土坑) 径: 68×58cm 深さ: 53cm

(93a号土坑) 径: (96)×(81)cm 深さ: 25cm

(93b号土坑) 径: (67)×(63)cm 深さ: 29cm

(93c号土坑) 径: (70)×(65)cm 深さ: 36cm

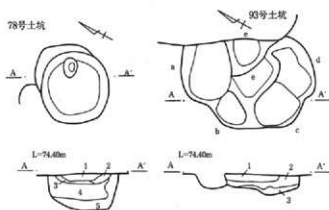
(93d号土坑) 径: 101×(46)cm 深さ: 31cm

(93e号土坑) 径: (72)×(64)cm 深さ: 46cm

〔81号土坑覆土〕

- 1: 暗褐色土: 軽石多く含むみザラつく
 - 2: 暗褐色土: 灰色掛かり軽石含む。柱状覆土
 - 3: 暗褐色土: 3層土にローム含む。柱状覆土
 - 4: ロームと暗褐色土の混土
 - 5: ロームブロック
- 〔61号土坑覆土〕
- 6: 黒褐色土: やや粘質。軽石粒、ローム含む
 - 7: 黒褐色粘質土: ローム含む
 - 8: 暗褐色土: やや粘質。ローム粒やや多く含む
 - 9: ロームと暗褐色土の混土
 - 10: 暗褐色土: ローム粒と黒褐色土含む
 - 11: 黒褐色粘質土: 締まる

第224図の1 3号屋敷の土坑群 (その9)



〔78号土坑覆土〕

- 1: 暗褐色土: 軽石粒含む
- 2: 暗褐色土: ロームと黒色土多く含む
- 3: 暗褐色土: ローム少量、黒色土やや多く含む
- 4: 暗褐色土: ローム含む黄味土層から
- 5: 暗褐色土: 軽石粒少量含む

〔93号土坑覆土〕

- 1: 暗褐色土: As-Cとローム粒少量含む
- 2: 暗褐色土: 黒褐色土、軽石粒、ローム粒含む
- 3: 黒褐色土: 軽石粒、ローム粒僅かに含む

第224図の2 3号屋敷の土坑群 (その10)

構造 本項で扱った土坑は相対的に大中小があり、67・80・82号土坑は小型、61号土坑は大型、他の土

坑は中型に分類できる。61・81・82・93a~93e号土坑のプランは楕円形を呈し、67・68・77・78・80・81b号土坑のプランは円形を呈するものであった。

尚、掘削形態は67・82号土坑が柱穴状を呈する他は箱状のものが多く、掘削底面は67・68・82号土坑は丸底状、他の土坑は平底を呈するものであった。

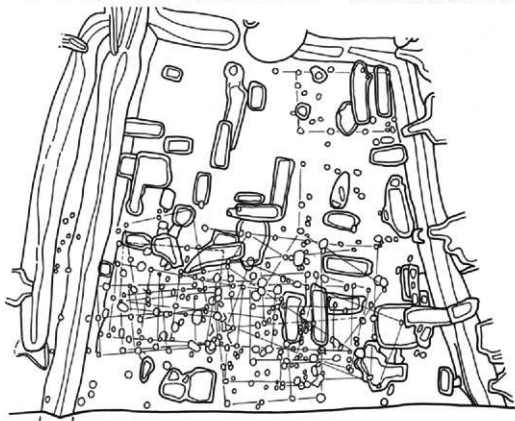
(28) 3号屋敷のピット群

(第225~227図, P L 127・128)

概要 3号屋敷に於いては上述の土坑群に重なって、前述の14棟の掘立柱建物や2列の柱穴群の柱穴の他にも多数のピットが確認された。本項では掘立柱建物や柱穴列に取上げなかった、3 P-1~176・128b号ピットの177基のピットについて、以下述べるのであるが、これらのピットの他にも別遺構の断面に確認されたもの、或いは本ピット内に掘削された可能性を持つ等、更なるピットの存在も窺われる。

さて、本項に取上げたピットのうち7基のピットは、前述の掘立柱建物に含まれる16基と併せて、調

査時点で遺構(ピット)番号が付され、出土遺物も該当する遺構番号で取上げられ注記も施されているのであるが、最終的にこれを大きく上回る数のピットが確認され、且つピット番号を持つピットも複数のピットに分割されるものがあつた。加えて前述のように掘立柱建物の抽出を新たに行ったことから、混乱を避けるため3号屋敷を現す「3 P-」を附した新たなピット番号

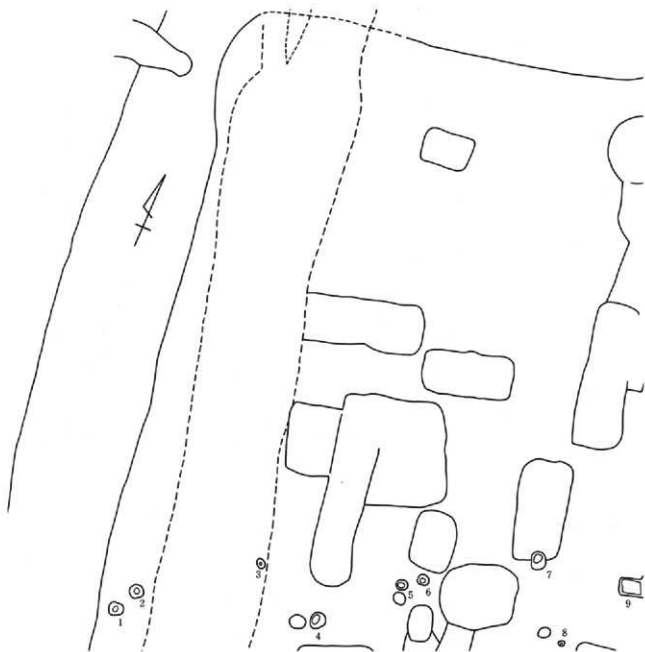


第225図 3号屋敷のピット群 (全体図)

を付した。本項ではこの新たな遺構番号によって報告していることを記しておく。

さて、これらのピットは郭内に広くその分布が確認されているのであるが、郭北西部には分布が見られない区域があり、内堀（9-22号溝と）と外堀（9-6号溝）の間の帯郭状の区域にも分布は見られなかった。また、前述の掘立柱建物群の分布域に重なるように、調査区に於ける郭中南部にやや分布が濃い傾向が見られた。

各ピットの掘削意図は特定できなかったが、小型のものは柱穴であったものと思慮され、より小型のものは杭の打設痕であったものと思慮される。特に下位で柱痕のみが掘削されていると判断される掘削の不足しているらしい9・12・89・98・101・171号ピットは柱穴と断定される。軸方向が斜めに入る一部のピットは樹木の根の痕跡である可能性も有するものである。また、大型のものは土坑として別の機能があったものと思慮される。

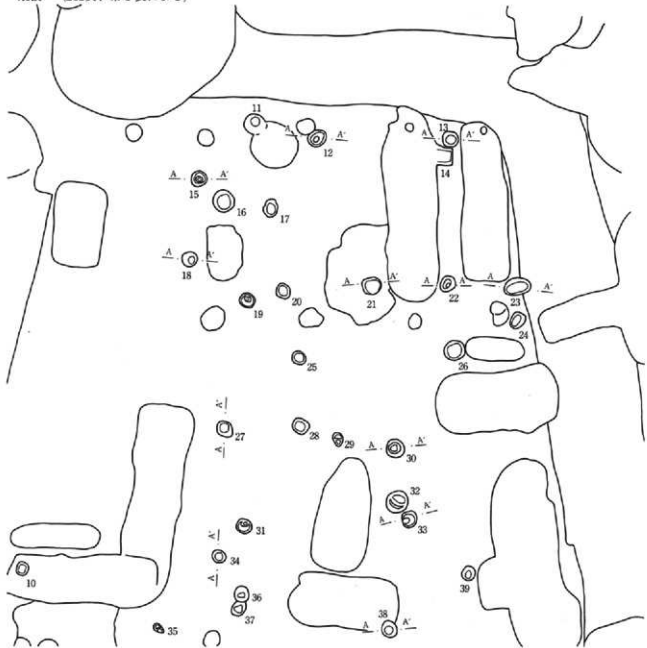
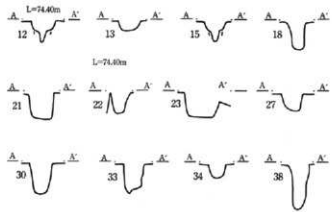


第226図の1 3号屋敷のピット群（その1）（S=1/80）

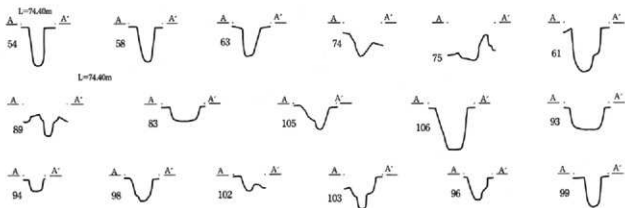
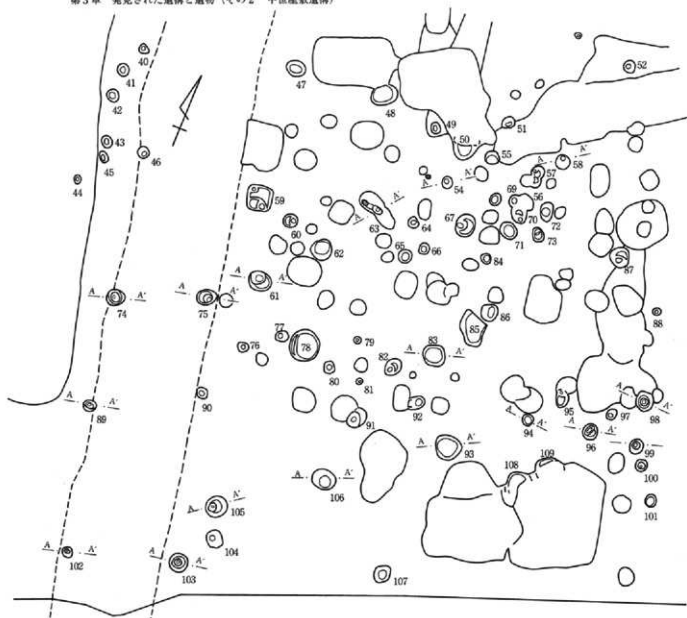
遺物 確認できた範囲では、ピット群の出土遺物としては71・73・74・75・127・162・175号ピットから平安時代頃所産の僅かな土師器・須恵器片の出土が見られ、また75号ピットから古墳時代前期の僅かな量の土師器片の出土が見られたに過ぎず、多くのピットからの出土遺物は認められなかった。

時期 これらのピットは掘削位置等から推して3号屋敷に伴うものと判断しているが、個々のピットについて時期を特定することはできなかった。

規模 (262頁、第1表による)



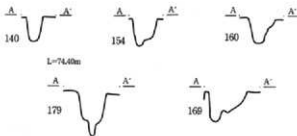
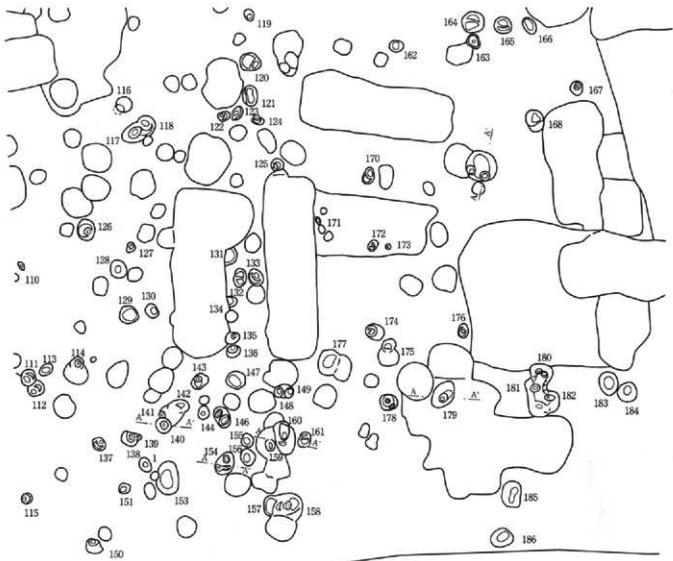
第226図の2 3号屋敷のピット群 (その1) (S=1/80)



第227図の1 3号屋敷のピット群 (その2) (S=1/80)

構造 これらのピットには相対的に大小が見られたが、その規模は径に於いては8~82cmと幅があっ

た。径の平均は32.57cmであったが、標準偏差は11.59とやはりやや幅があった。一方、確認面から



第227図の2 3号屋敷のピット群(その2)(S=1/80)

の深さは8~82cmとこれも差が大きかったのであるが、平均28.56cm(標準偏差13.65)であった。高、この規模は本遺跡3区の中世屋敷遺構の柱穴群と同様のものではあった。

プランは隅丸形状を呈するものが59基、楕円形

状を呈するものが57基、円形状を呈するものが41基と多く、重複等でその形状が明確ではないものの、この3者に含まれると判断されるものはそれぞれ2基、3基、1基あった。その他の形態を呈するものは14基であり、方形を呈するものが10基、不整形のものが2基、長円形を呈するものと隅丸三角形を呈するものが各1基であった。

掘削形態は柱穴状のものが多く、全体に丸底気味のものが多かった。また16号ピットの底面には塑性変形の痕跡が見られた。この他にも塑性変化と疑われるものも幾つか見られたが、記録が充分ではなく、それを確認することはできなかった。

第3章 発見された遺構と遺物 (その2 中世屋敷遺構)

No.	径 (cm)	深さ (cm)	平面形	No.	径 (cm)	深さ (cm)	平面形	No.	径 (cm)	深さ (cm)	平面形	No.	径 (cm)	深さ (cm)	平面形			
1	30 × 28	31	円形	46	24	21	42	隅丸方形	81	40	35	36	隅丸方形	135	31	25	24	円形
2	30 × 29	28	隅丸方形	47	(50)	32	8	隅丸方形	82	34	32	27	円形	136	40	34	15	楕円形
3	34 × 32	37	隅丸方形	48	28	24	23	楕円形	83	34	32	28	隅丸方形	137	28	24	19	楕円形
4	24 × 22	18	隅丸方形	49	28	26	40	円形	94	26	24	32	楕円形	138	47	37	38	楕円形
5	22 × 20	28	隅丸方形	50	9	8	—	円形	95	19	(13)	35	円形	139	28	22	23	隅丸方形
6	12 × 10	22	楕円形	51	25	24	63	円形	96	31	28	48	円形	140	32	30	9	楕円形
7	(45) × 36	13	長方形	52	32	28	39	隅丸方形	97	26	22	25	円形	141	40	(37)	21	隅丸方形
8	28 × 28	54	隅丸方形	53	(22)	—	—	隅丸方形	98	28	22	18	楕円形	142	47	42	(75)	楕円形
9	38 × 33	36	楕円形	54	25	(22)	28	円形	99	24	22	34	—	143	42	70	45	楕円形
10	34 × 32	21	円形	55	30	30	53	隅丸方形	100	23	21	22	楕円形	144	32	28	10	円形
11	41 × (33)	20	長方形	56	52	52	39	方形	101	58	52	41	円形	145	28	22	9	円形
12	34 × 30	32	隅丸方形	57	32	30	23	円形	102	38	34	32	方形	148	28	26	19	隅丸方形
13	48 × 44	19	隅丸方形	58	46	43	69	隅丸方形	103	48	42	35	円形	147	48	42	19	円形
14	38 × 21	21	楕円形	59	48	44	43	隅丸方形	104	51	44	85	楕円形	148	32	38	13	隅丸方形
15	30 × 30	43	楕円形	60	36	58	52	楕円形	105	40	34	56	方形	149	38	24	19	楕円形
16	32 × 32	28	隅丸方形	61	28	28	19	隅丸方形	106	32	30	54	隅丸方形	150	28	28	22	円形
17	32 × 28	—	隅丸方形	62	24	22	15	楕円形	107	(47)	41	23	楕円形	151	44	38	33	隅丸方形
18	38 × 36	41	隅丸方形	63	50	40	31	楕円形	108	42	(30)	32	隅丸方形	152	65	62	33	円形
19	30 × 35	45	隅丸方形	64	28	22	19	楕円形	109	22	20	8	円形	153	38	24	23	楕円形
20	55 × 34	39	長方形	65	24	24	27	円形	110	44	38	13	隅丸方形	154	18	10	—	楕円形
21	36 × 28	26	楕円形	66	36	32	16	隅丸方形	111	43	30	7	楕円形	155	16	10	—	楕円形
22	30 × 28	15	円形	67	38	29	—	楕円形	112	24	22	17	楕円形	158	24	18	33	隅丸方形
23	44 × 42	16	円形	68	36	32	18	楕円形	113	32	21	26	不整形	157	12	12	23	円形
24	34 × 32	25	隅丸方形	69	39	35	35	楕円形	114	26	16	15	楕円形	158	43	32	44	隅丸方形
25	36 × 30	16	隅丸方形	70	41	32	29	楕円形	115	24	24	(8)	円形	159	27	(20)	13	楕円形
26	24 × 22	23	楕円形	71	24	24	43	円形	118	32	28	21	円形	160	28	22	—	楕円形
27	37 × 37	40	円形	72	28	24	32	楕円形	117	38	38	26	隅丸方形	161	52	41	68	楕円形
28	34 × 28	—	隅丸方形	73	38	32	—	楕円形	118	22	20	9	隅丸方形	162	36	34	—	隅丸方形
29	46 × 44	15	円形	74	34	34	25	円形	119	38	34	26	方形	163	43	62	68	楕円形
30	34 × 32	50	円形	75	36	32	—	楕円形	120	40	38	12	楕円形	164	46	(39)	26	隅丸方形
31	24 × 28	20	楕円形	76	23	23	18	隅丸方形	121	28	28	16	円形	165	82	43	21	隅丸方形
32	24 × 18	11	楕円形	77	58	48	7	不整形	122	38	28	—	楕円形	166	42	(25)	32	円形か
33	34 × 30	11	隅丸方形	78	3	34	18	隅丸方形	123	(28)	(32)	3	楕円形か	167	44	40	18	楕円形
34	32 × 28	12	楕円形	79	42	42	40	隅丸三角形	124	32	30	—	隅丸方形	168	42	40	38	円形
35	31 × 32	28	隅丸方形	80	25	24	—	円形	125	30	24	—	—	169	54	40	44	隅丸方形
36	32 × 28	18	円形	81	28	28	38	正方形	126	32	22	—	—	170	42	40	38	隅丸方形
37	28 × 18	28	隅丸方形	82	68	58	63	水滸形	127	28	28	19	隅丸方形	171	38	28	80	隅丸方形
38	25 × 26	25	円形	83	29	25	34	楕円形	128	36	28	31	方形	172	24	22	33	隅丸方形
39	28 × 24	22	楕円形	84	44	(32)	48	隅丸方形	128a	(16)	12	15	円形	173	(57)	(20)	—	楕円形か
40	24 × 20	22	隅丸方形	85	(36)	25	38	楕円形	129	35	33	38	楕円形	174	(41)	(35)	22	隅丸方形か
41	20 × 14	33	楕円形	86	75	52	34	隅丸方形	130	38	34	34	隅丸方形	175	64	64	40	円形
42	26 × 18	20	楕円形	87	23	23	18	方形	131	14	15	22	円形	176	20	18	26	楕円形
43	26 × 28	17	隅丸方形	88	28	(23)	22	楕円形	132	(38)	(23)	25	楕円形か					
44	42 × 30	30	楕円形	89	33	31	36	隅丸方形	133	32	32	26	楕円形					
45	58 × (38)	7	楕円形	90	22	22	34	円形	134	31	(20)	28	円形					

第1表 3号屋敷内ピット群

第4章 中内村前遺跡及び前田遺跡出土遺物

第1節 中内村前遺跡出土遺物

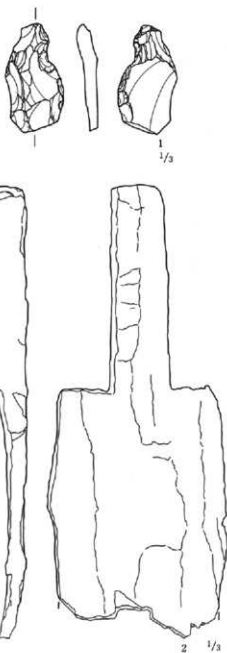
本節では中内村前遺跡出土遺物のうち、出土した区の特定できなかった遺物、及び既刊の報告書（中内村前遺跡(1)及び中内村前遺跡(2)）に掲載すべき遺物で漏れていたものについて述べたいと思う。

これらの遺物のうち前者に属するものは全て1～8区からの出土遺物に限定されており、9区関連遺物については次節に掲載することとする。また後者に属する遺物は1区1面の65・70・72号溝出土遺物、同2面の46・50・55・号土坑出土遺物、同3面の1・3・24・25・35号溝及び103・104・116・126・128号土坑出土遺物と、1区の表採遺物、並びに6

区の305-980グリッドからの出土遺物である。尚、1区の表採遺物としたものの中には西善尺司遺跡に分割した区域（「中内村前遺跡(1)」第1章4節《7頁》参照）に含まれるべき遺物が混在している可能性がある。また6区出土遺物の面については特定できていない。

これらの遺物は区、或いは遺構に拘りなく何れも平安時代所産の土師器・須恵器片を中心とするものであり、一部、古墳時

代前期の土師器片の出土も確認されたが、量的には多くなかった。図示すべき遺物は殆どなく、出土位置不明の石匙(1)と叩き板状の木製品(2)が挙げられるに過ぎない。

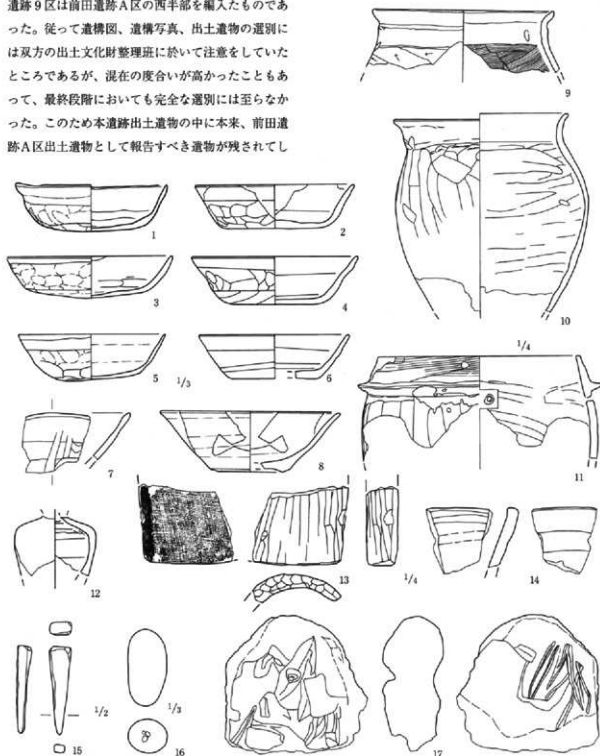


第228図 中内村前遺跡の出土遺物

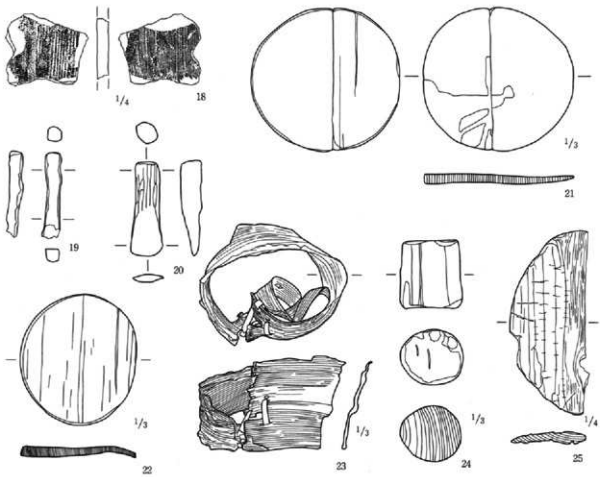
第2節 9区並びに前田遺跡出土遺物

本遺跡報告書第1分冊〔中内村前遺跡(1)〕第1章4節《7頁参照》に記したように、中内村前遺跡9区は前田遺跡A区の西半部を編入したものであった。従って遺構図、遺構写真、出土遺物の選別には双方の出土文化財整理班に於いて注意をしていたところであるが、混在の度合いが高かったこともあって、最終段階においても完全な選別には至らなかった。このため本遺跡出土遺物の中に本来、前田遺跡A区出土遺物として報告すべき遺物が残されてし

まったため、本遺跡9区と前田遺跡A区との選別が不可能なイブと併せて本節に掲載することとした。



第229図 9区並びに前田遺跡出土遺物(その1)



第230図 9区並びに前田遺跡出土遺物（その2）

これらの出土遺物も平安時代所産の土師器・須恵器片等を中心とし、一部、古墳時代前期の遺物等も含まれるものであった。また量的には多くない。

図示すべき遺物には土師器坏(1-5)、甕(9・10)、須恵器坏(6)、碗(7)、高台付碗(8)、小型瓶(12)、羽釜(11)、男瓦(13)、軟質陶器鉢(14)、楔形鉄製品(15)、敲

石(16)、石造物片と思われるもの(17)、円筒埴輪片(18)、角釘と思われる鉄製品(19)、鉄製鑿(20)、曲物の鏝(23)と底板(21・22・25)、木製棒(24)があった。尚、このうち須恵器碗(7)には判読不能の墨書が見られた。

第5章 科学分析

第1節 科学分析及び鑑定要件

平成14～15年度にかけて、5種類の科学分析を委託、実施した。これらの科学分析の鑑定・分析対象資料並びに鑑定要件は以下の通りである。

① 樹種同定

対象資料 6・8・9区所在遺構出土の木製品16点、及び出土区不明の木製品1点、並びに年代測定を実施する8区東部の8-8号井戸出土木片15点と8-18号住居出土炭化材1点

鑑定要件 出土木製品等の樹種の特定

② 種子同定

資料 7区3号井戸出土種子（一括）

鑑定要件 出土種子の鑑定及び種の同定

③ 年代測定

資料 8-18号住居室内覆土出土の炭化物及び8-8号井戸出土木片

鑑定要件 年代判定の参考とするための年代測定
分析方法 放射性同位炭素年代測定（AMS法）

④ 花粉分析

資料 6区Hir-FAT水田及びAs-C降下復旧水田土壌
鑑定要件 環境の復元を目的とする花粉分析

⑤ 蛍光X線分析

資料 3号屋敷遺構出土器。

鑑定要件 科学的な組成分析
分析方法 非破壊的方法（蛍光X線分析）

第2節 中内村前遺跡出土木製品および炭化材の樹種

三村昌史・植田弥生（パレオ・ラボ）

中内村前遺跡出土木材のうち、計33点の樹種同定結果を報告する。対象となるのは6区・8区・9区出土の木製品32点および8区18号住居かまど出土の炭化材1点である。木製品は井戸や溝出土のもので、叩板・椀・曲物・桶枠・器具板材・薄板・角材などの器種が含まれる。ここでは、これらの樹種を明らかにすることで、用材選択の背景にある材質などの樹木特性と器種の製作・使用法との関連性について調査を行った。

1. 試料と方法

同定試料は木製品および炭化材である。

木製品の樹種同定に用いたプレパラートは、あらかじめ群馬県埋蔵文化財調査事業団により作成されていたもののほか、出土木製品から直接採取したものであるが、いずれも剃刀を用いて横断面・放射断面・接線断面の3断面の切片をスライスし、ガムクロラール（アラビアゴム粉末・抱水クロラール・グリセリン・蒸留水の混合液）で封入されたものである。これらのプレパラートは光学顕微鏡にて40～400倍で検鏡し、所有の現生標本との対照を基に同定を行った。同定したプレパラートはすべて群馬県埋蔵文化財調査事業団に保管されている。

炭化材は、3方向の断面を手および剃刀を軽くあ

てて面を出し、走査電子顕微鏡で拡大しながら材組織の観察を行い同定した。走査電子顕微鏡用の試料は3方向の断面(横断面・接線断面・放射断面)を5mm角以下の大きさに整え、直径1cmの真鍮製試料台に両面テープで固定し、試料を充分乾燥させた後、金蒸着を施し、走査電子顕微鏡(日本電子㈱製 JSM-T100型)で観察を行った。同定した炭化材の残りの破片は、群馬県埋蔵文化財調査事業団に保管されている。

II. 見出された樹種

樹種同定の結果見出された樹種は12分類群で、針葉樹ではマツ属復雑管束亜属・トウヒ属・スギ・ヒノキ・クロベ・アスナロの6分類群、広葉樹ではブナ属・クリ・コナラ属コナラ節・コナラ属クスギ節・クワ属・ヤマハゼ類の6分類群であった(表1)。

同定根拠としたこれら樹種の材組織の特徴、および分布・材質等は以下の通りである。なお、8区8号井戸出土の木材片は試料が元々乾燥状態にあり、木材組織の乾燥収縮により広葉樹であることまでしか同定し得なかったものが4点あった。

1. マツ属復雑管束亜属 *Pinus subgen. Diploxylon* (マツ科) 写真P L1a-1c

仮道管と放射柔組織、放射仮道管、および水平・垂直両樹脂道を取り囲む薄壁のエピセリウム細胞からなる針葉樹材。放射仮道管の水平壁は内腔側に向かって鋸歯状の突起を有する。分野壁孔は大型の窓状。

いわゆるニヨウマツ類の材で、アカマツかクロマツの材であることを示す。共に高木になる常緑針葉樹で、土壌の薄い立地に生育する。材質は重硬で割裂は困難、やにが多い。

2. トウヒ属 *Picea* (マツ科) 写真P L2a-2c

仮道管と放射柔組織、放射仮道管、および水平・

第2表 中内村前遺跡の樹種同定結果

No.	区	面	出土遺構	遺物名称	試料番号	樹種	木取り/備考	
1	6K	1面	1号井戸	器具板材	34	コナラ節		
2	9K	1面	4号溝	柄	54	ブナ属		
3	9K	1面	9号井戸	曲物底板	56-1	クロベ		
4	9K	1面	9号井戸	曲物底板	56-2	トウヒ属		
5	9K	1面	9号井戸	曲物底板	56-3	トウヒ属		
6	9K	1面	9号井戸	榑杵	55-4	アスナロ		
7	9K	1面	9号井戸	角材	55-5	アスナロ		
8	9K	1面	4号溝	角材	56-1	クロベ		
9	9K	1面	4号溝	曲物底板	56-2	ヤマハゼ類		
10	9K			丸棒材	56	スギ	芯材削り出	
11	9K	1面	4号溝	器具板材	59	複雑管束亜属	分節材削り出	
12	9K			曲物底板	63-1	クロベ	板目	
13	9K			曲物底板	63-2	アスナロ	板目	
14	9K			曲物底板	64	針葉樹	板目	
15	9K	1面	32号井戸	曲物底板	69	ヒノキ		
16				不明	叩き板	49	クスギ節	板目
17	8K			1号井戸	厚板		ヒノキ	板目
18	8K			8号井戸	木材片	No.1	クワ属	乾燥
19	8K			8号井戸	木材片	No.2	クリ	乾燥
20	8K			8号井戸	木材片	No.3	クリ	乾燥
21	8K			8号井戸	木材片	No.4	クリ	乾燥
22	8K			8号井戸	木材片	No.5	クリ	乾燥
23	8K			8号井戸	木材片	No.6	クワ属	乾燥
24	8K			8号井戸	木材片	No.7	クワ属	乾燥
25	8K			8号井戸	木材片	No.8	クリ	乾燥
26	8K			8号井戸	木材片	No.9	クリ	乾燥
27	8K			8号井戸	木材片	No.10	広葉樹	乾燥
28	8K			8号井戸	木材片	No.11	広葉樹	乾燥
29	8K			8号井戸	木材片	No.12	クワ属	乾燥, AMS
30	8K			8号井戸	木材片	No.13	クリ	乾燥
31	8K			8号井戸	木材片	No.14	広葉樹	乾燥
32	8K			8号井戸	木材片	No.15	広葉樹	乾燥
33	8K			18号住居	炭化材		クスギ節	AMS

垂直両樹脂道を取り囲むエピセリウム細胞からなる針葉樹材。早材から晩材への移行はやや急で、晩材部は明瞭。放射仮道管の放射壁には小型で孔口が狭く、しばしば壁孔縁に鋸歯状の突起を持つ有縁壁孔がある。分野壁孔はヒノキ型で小さく1分野に2-5個。

トウヒ属に含まれる種のうち、ハリモミ以外のトウヒやヒメバラモミなどの種はいずれも亜高山帯に分布する。材質は軽軟で割裂容易、強度は良好。

3. スギ *Cryptomeria japonica* (L.f.) D.Don (スギ科) 写真P L3a-3c

仮道管と放射柔組織、および樹脂細胞からなる針葉樹材。晩材部は量多く明瞭。分野壁孔はスギ型で大きく、1分野にふつう2個。

スギは高木になる常緑針葉樹で、天然分布は降水量の多い地域に限られて点在する。材質は軽軟で割裂性・加工性に優れ、強度も良好。特有の芳香がある。

4. ヒノキ *Chamaecyparis obtusa* (Sieb. et Zucc.) Endl. (ヒノキ科) 写真P L4a~4c

仮道管と放射柔組織、および樹脂細胞からなる針葉樹材。晩材部は量少ない。分野壁孔は大型のトウヒ型からヒノキ型でやや大きく、1分野にふつう2個。

ヒノキは福島県以南の暖温帯に分布し、山地尾根沿いなどに生育する高木性の常緑針葉樹である。材質はやや軽軟で加工し易く強度に優れ、保存性も著しく高く、特有の芳香がある。

5. クロベ (ネズコ) *Thuja standishii* (Gord.) Carr. (ヒノキ科) 写真P L5a~5c

仮道管と放射柔組織、および樹脂細胞からなる針葉樹材。晩材部は明瞭。分野壁孔はやや小型のスギ型で、孔口は大きく開き、1分野にふつう2-4個。

クロベは温帯上部に分布する高木になる常緑針葉樹で、尾根沿いや傾斜地などに生育する。材質は軽軟で加工・割裂は容易。

6. アスナロ *Thujopsis dolabrata* Sieb. et Zucc. (ヒノキ科) 写真P L6a~6c

仮道管と放射柔組織、および樹脂細胞からなる針葉樹材。晩材部はしばしば量多い。分野壁孔はヒノキ型で小さく、1分野にふつう2-4個。アスナロは主に温帯に分布する高木になる常緑針葉樹で、耐陰性が高い。材質は軽軟で割裂・加工容易。耐久性は良好で水湿に強い。また材に特有の芳香がある。

7. ブナ属 *Fagus* (ブナ科) 写真P L7a~7c

小型のやや丸い道管が、ほぼ単独時に数個複合して密に配列する散孔材。導管の直径は年輪界に向けてやや急に減少する。道管の穿孔は単一または階段状。放射組織は1-数列のものに広放射組織が混在する。

ブナ属には温帯上部に分布する高木性の落葉広葉樹であるブナ、イヌブナ双方がある。材質はやや重硬で強度があるが、保存性は悪い。

8. クリ *Castanea crenata* Sieb. et Zucc. (ブナ科) 写真P L8a~8c

年輪の始めに大型で丸い道管が単独で1-2列に

並び、晩材部では小型でやや角張った薄壁の道管が火炎状に配列する環孔材。道管の穿孔は単一。放射組織は単列同性。

クリは国内の温帯下部~暖温帯に広く分布する落葉広葉樹で、明るい林内や向陽地に多くみられる。材質は重硬で弾性に富むが、割裂は容易な部類である。また耐朽性が高く、水によく耐える。

9. コナラ属コナラ節 *Quercus* sect. *Prinus* (ブナ科) 写真P L9a~9c

年輪の始めに大型の丸い道管が単独で1-2列に並び、晩材では小型でやや角張った道管が火炎状に配列する環孔材。道管の穿孔は単一。放射組織は単列同性のものに大型の複合放射組織が混在する。

いわゆるナラ類の材で、高木の落葉広葉樹であるコナラ、ミズナラ、カシワ、ナラガシワが含まれる。このうちコナラは温帯下部~暖温帯に、ミズナラは温帯にそれぞれ分布し、しばしば優占した林を形成する。材は重硬で弾性を有し、保存性は中庸、割裂・加工は困難である。

10. コナラ属クスギ節 *Quercus* sect. *Cerris* (ブナ科) 写真P L10a~10c

大型の丸い道管が単独で1-数列ならび、径を削減しながら晩材部では丸く厚壁の小導管が単独で放射方向に配列する環孔材。道管の穿孔は単一。放射組織は単列同性のものに広放射組織を交える。

クスギ節にはクスギとアベマキが含まれる。いずれも暖温帯の適湿な向陽地にみられる高木になる落葉広葉樹である。現在群馬県にはクスギが広く分布している。材質は重硬であり弾性を有し、割裂・加工は困難。

11. クワ属 *Morus* (クワ科) 写真P L11a~11c

年輪のはじめに大型で丸い道管が単独あるいは1-2個複合して1-2列並び、年輪界付近ではごく小型の角張った道管が数個集合して斜上状~接線状に配列する環孔材。道管の穿孔は単一。放射組織は異性で1-4列ほど、上下端の直立細胞は1-2個連なり、時に不完全なさや細胞が認められる。

クワ属の母植物にはヤマグワが考えられる。ヤマ

グワは温帯～暖温帯に広く分布し、谷沿い・河畔の過湿地や林縁などの向陽地にみられる、低木～小高木の落葉広葉樹である。材質はやや重硬で強靱である。

12. ヤマハゼ類 *Rhus cf. sylvestris* Sieb. et Zucc. (ウルシ科) 写真P L12a～12c

中型で壁の厚い道管が、年輪の始めにはほぼ単独で並び、その後は径を減しながら単独もしくは放射方向に数個複合した道管がまばらに分布する環孔性を有する散孔材。道管の穿孔は単一で、内腔にはクロースがみられる。放射組織は異性で1-2列、形状はややいびつ。

ヤマハゼ類としたものには、共に暖温帯に分布し小高木程度になる落葉広葉樹のヤマハゼと、銅を探るために中世後半に移入されたとされるハゼノキが含まれる。材質はやや重硬で割裂はやや困難。

III. 考察

木製品について器種別にみみると、まず碗にはブナ属の材が見出されていることがわかる。ブナ属の材は硬く均質で靱性があるため回転成形に適しており、ケヤキなどとともに挽物の用材として全国的に確認される樹種である。叩板には硬く弾性を持つクスギ節の材が用いられており、丈夫な材質の樹種が選択されている。曲物銅板の1点は詳細な同定が困難であったが針葉樹材が用いられており、また曲物底板には針葉樹でヒノキ・クロベ・アスナロ・トウヒ属が各1点、広葉樹でヤマハゼ類が1点見出されているので、通直なため利用価値が高く割裂・加工ともに容易な針葉樹が多い結果であるといえる。このように、曲物に軽軟な部類の針葉樹が多いのは一般的な傾向といえ（例えば、鈴木・能城 1982；藤根 1992；藤根・鈴木 1993）、本遺跡における1～4区出土木製品の樹種同定結果においても確認されてきた傾向である（松素 2002）。針葉樹と比較して広葉樹が曲物に見出されることは稀であるが、曲物底板では銅板と比較して薄い板材を取る必要がないので用材は針葉樹に限定されず、時に見出され

ることがある。その他の器種においても、桶にアスナロ、薄板にヒノキ、角材にクロベ・アスナロがそれぞれ1点ずつ見出されており、針葉樹が同様に重用されているようである。8区8号井戸出土の木材は板材状のものがほとんどで、また樹種はクリとクワ属が多い傾向にあり、井戸枠などの材に由来する可能性も想定される。以上のように、各器種には使用の際や製作の際に要求される材質に見合った樹種が選択されている特徴が伺える。

また、8区18号住居かまど出土の炭化材はクスギ節であった。クスギ節の樹種はコナラ節などと同様に木口面で放射方向に走る髄線として確認される広放射組織を持つので、材の乾燥に伴い放射方向に割れが入りやすく、そのため火付きが良い。その上、燃料材としても火持ちがよい樹種のひとつである。群馬県内においては、花粉分析結果からコナラ亜属（クスギ節を含む）が優占する古植生が推定されており（例えば、徳水 1982；バリノ・サーヴェイ株式会社 1992）、木材資源としてもクスギ節の樹木が量的に多かったことが想定される。

全体を通して樹種からみて特徴的なのは、トウヒ属やクロベといった比較的高標高（あるいは遠方）からもたらされたと考えられる材が木製品に見出されている点である。中世においてこれまで行われてきた主な樹種同定結果では少ないながら見出されてきた材であり、例えば本遺跡と同じ前橋市内の元総社寺田遺跡ではクロベは比較的に見出されている（藤根 1996）。現在の植物分布をみみると、本遺跡に近い山城では赤城山系でクロベやトウヒが自生しており、おそらく当時の材の供給源もそこに求めることができるのではないだろうか。これらの材の搬入に関しては、地方における本地屋や工人といった職人の誕生や、近隣の平地でのまとまった森林資源の枯渇といった状況とも関わっていると想定され興味深い点であるといえる。

引用文献：

バリノ・サーヴェイ株式会社（1992）二子宮子足遺跡の古環境解
析。「群馬県縄文文化財調査事業調査報告書第125集

第5章 科学分析

- 二之宮千足遺跡 一般国道17号(上武道路)改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(自然科学・分析編)建設省・群馬県教育委員会・群馬県埋蔵文化財調査事業団, 61-111
- 藤根 久(1992) 二之宮千足遺跡出土材の樹種。「一般国道17号(上武道路)改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(自然科学・分析編) 二之宮千足遺跡」建設省・群馬県教育委員会・群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第208集 元総社寺田遺跡Ⅲ 一般河川牛池川/川改修工事に伴う埋蔵文化財調査事業団報告書第30-49
- 藤根 久(1996) 樹種同定。「群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第3集《木器編》」群馬県埋蔵文化財調査事業団, 65-91
- 藤根 久・鈴木 茂(1993) 元総社寺田遺跡出土材の樹種構成と周辺植生。群馬県埋蔵文化財調査事業団「(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告書第167集 元総社寺田遺跡Ⅱ《木器編》」135-185
- 松葉礼子(2002) 樹種同定。「北関東自動車道(高崎-伊勢崎間)地域埋蔵文化財発掘調査報告書第15集 中内村前遺跡(1) 一1~4区-」群馬県埋蔵文化財調査事業団, 311-315
- 鈴木三男・鹿城修一(1982) 日高遺跡出土木材の樹種。「日高遺跡-岡崎自動車道(新潟編)地域埋蔵文化財発掘調査報告書第5集一」群馬県教育委員会・群馬県埋蔵文化財調査事業団, 372-388
- 徳永重元(1982) 日高遺跡の花粉分析。「日高遺跡-岡崎自動車道(新潟編)地域埋蔵文化財発掘調査報告書第5集一」群馬県教育委員会・群馬県埋蔵文化財調査事業団, 349-360

第3節 中内村前遺跡から出土した炭化種実

新山雅広(パレオ・ラボ)

1. 試料と方法

大型植物化石の検計は、7区3号井戸から出土した1試料(No.2)について行った。試料は、液浸保存された抽出済みのものであり、実体顕微鏡下で同定・計数を行った。

2. 結果と若干の考察

同定された分類群・部位・個数は、木本(2分類群)がイヌザンショウ種子・1個体、カラスザンショウ種子・4個体、草本(2分類群)がヤナギタデ果実・1個体、メロン仲間種子・4個体である。

落葉広葉樹のイヌザンショウ、カラスザンショウは、3号井戸付近に生育していたのであろう。ヤナギタデは、低湿地の雑草と考えられ、井戸付近に湿地的環境が見られたのであろう。メロン仲間は、栽培植物であり、井戸付近に栽培地が存在していた可能性も考えられる。

3. 形態記載

イヌザンショウ *Zanthoxylum schinifolium* Sieb. et Zucc. 種子

種子は黒色で表面には細かい網目紋があり、一方の側面には種子長の半分を超える臍がある。

カラスザンショウ *Zanthoxylum ailanthoides* Sieb. et Zucc. 種子

4個体のいずれも光沢のある平滑な外種皮が残る。種子は黒色で表面には大きな網目紋があり、一方の側面には種子長と同程度の細長い臍がある。

ヤナギタデ *Polygonum hydropiper* Linn. 果実

果実は広卵形で二面体。表面には細かい網目紋がある。

メロン仲間 *Cucumis melo* Linn. 種子

4個体の長さは6.3,6.9,7.1,8.0mmである。いずれも藤下(1984)による中粒種子(マクワ・シロウリ型)に相当する。

参考文献

藤下典之(1984) 出土遺体よりみたウリ科植物の種類と変遷とその利用法。古文化財に関する保存科学と人文・自然科学一総括報告書, pp. 638-654, 同朋社。

第4節 花粉分析

大井信夫 (ONP 研究所)

1. 資料

試料は中内村前遺跡6区から採取された以下の2つの土壌試料である。

試料1: 6世紀初頭、Hr-FA下の水田土壌。砂、炭化物が多く含まれる。

試料2: 4世紀初頭、As-Cを巻き込んだ土壌。As-Cのパミス(小礫)が多く含まれる。

2. 方法

試料から約5gを調整し、以下の処理を行って花粉を抽出した。10%水酸化カリウム水溶液で、30分間処理し腐植物を除去し、2回水洗を行う。網を通して大きな粒子を除去し、さらに傾斜法により粗い向き粒子を除く。その後50%フッ酸で20分間処理し細かい無機物を溶解除去する。水洗、酢酸による脱水の後、アセトリシス処理(無水酢酸9:濃硫酸1を混合した溶液による処理90℃、2分)を行い、残っている有機物、花粉の内容物、付着物を除く。水洗したのち、グリセリンに浸し保存する。

検鏡のためのプレパラートは、グリセリンに浸した化石花粉集合標本を含む液を適度な濃度に調整し、スライドガラス上に数滴たらし、サフランシアラニ-Oで染色後、カバーガラスをかけ、作成した。光学顕微鏡でプレパラート全面を観察し、花粉および胞子を固定した。樹木花粉が200個を超えなかった場合はさらにもう一枚プレパラートを作成し計数を行った。固定は現生花粉と比較して行い、同定できた分類群名で示した。複数の分類群に固定がまたがる場合は分類群名をスラッシュ(/)でつないで示した。花粉形態の変異のため同定が不確実な場合、あるいは近縁の分類群も含まれる場合は型をつけて区別した。

主要な化石花粉は、計数後単体標本を作成した。PLに掲載した化石花粉はすべて単体標本を撮影し

たものである。単体標本は今後の研究の資料とするため、分析者の手元に保管する。

3. 結果

中内村前遺跡6区の各試料から同定された花粉を表に示す。樹木花粉7型、非樹木花粉9型、シダ胞子3型、計19型が同定された。いずれの層準も花粉含有量が少なく、統計処理にたえる個数を計数することができなかった。また、花粉には腐蝕(corrosion)を受けているものが多かった。各資料の花粉組成の特徴は以下のとおり。

資料1: 樹木花粉では、コナラ属コナラ亜属(*Quercus subgen. Lepidobalanus*)花粉が4粒、非樹木花粉ではヨモギ属(*Artemisia*)花粉15粒とイネ科(Gramineae)花粉9粒、単条型シダ胞子(monolete spores)30が目立つ。イネ科には大型のものが含まれる。

資料2: 樹木花粉では、コナラ属コナラ亜属花粉が5粒とハンノキ属(*Alnus*)花粉3粒、非樹木花粉ではイネ科花粉9粒、単条型シダ胞子9が目立つ。イネ科には大型のものが含まれる。

中村(1974)はイネ花粉について、花粉外膜の微細構造である程度イネ花粉の可能性を示唆できることを示した。しかし、今回産出したイネ科花粉は保存状態が悪く、微細な形態の観察は難しかった。

検鏡中にいずれの試料でも多くの微小な炭化植物片(微粒炭)が観察された。とくに資料1での含有量の多さは際立っていた。微粒炭は火災(野火、山火事、人間による山焼き)などによって生成されたものと考えられる。

4. 考察

花粉含有量が少なく統計的な扱いはできない。

第3表 中内村前遺跡における花粉分析結果

試料番号	sample no.	1	2
花粉胞子型	Types		
[樹木花粉]	[arboreal pollen]		
マツ属	<i>Pinus</i>	1	2
クマシデ属/アサダ属	<i>Carpinus / Ostrya</i>		1
ハンノキ属	<i>Alnus</i>		3
コナラ属コナラ亜属	<i>Quercus subgen. Lepidobalanus</i>	4	9
クリ属	<i>Castanea</i>		1
エノキ属/ムクノキ属	<i>Celtis / Aphananthe</i>		1
モクセイ科	<i>Oleacea</i>		2
[草本花粉]	[nonarboreal pollen]		
イネ科	Gramineae	9	5
カヤツリグサ科	Cyperaceae		1
ギンギン属	<i>Rumex</i>		1
アカザ科/ヒユ科	Chenopodiaceae / Amaranthaceae	1	1
バラ科	Rosaceae	1	2
キク科キク亜科	Compositae subfam. Carduoideae		1
ヨモギ属	<i>Artemisia</i>	15	1
キク科タンポポ重科	Compositae subfam. Cichorioideae		2
[シダ胞子]	[fern spores]		
ヒカゲノカヅラ型	<i>Lycopodium clavatum type</i>		1
単条型胞子	monoete spores	30	9
三条型胞子	trilete spores		1
同定不能花粉	unidentifiable pollen	7	6
樹木花粉総数	total arboreal pollen	5	19
非樹木花粉総数	total nonarboreal pollen	28	16
シダ胞子総数	total fern spores	31	10
総花粉・胞子数	total pollen and spores	64	41

したがって、周辺植生に関する議論は難しいが、いずれの試料も樹木花粉でコナラ属コナラ亜属が比較的目的立つことから、コナラ属を主体とする落葉広葉樹が当時の優占した樹木であった可能性が考えられる。また、草本花粉に含まれる大型のイネ科花粉は、一般にイネ科では栽培種のほうが野生種よりも大型の花粉である (Firbas, 1937) ことから、栽培植物起源の可能性が高く耕作地であることと矛盾しない。

いずれの試料でも目立って産出するイネ科、単条型胞子、試料1で目立つヨモギ属、試料2で目立つハンノキ属は保存状態が悪くても同定しやすいため目立っている可能性が高い。また、単条型胞子は土壌中で残しやすい (Havinga, 1967, 1984) ことが、比較的多く同定された原因のひとつである。

花粉含有量が少なかったのは、粗粒の堆積物であったことと有機物含有量が少なかったことが原因と

考えられる。試料1では砂粒、試料2では粗粒のバミスが多く含まれ、細粒部分は少なかった。また、試料は黒色で有機物を多く含んでいると思われたが、その多くは微小な炭化植物片 (微粒炭) であり花粉を含む有機物の含有量は少なかったと考えられる。そのほか、産出した花粉が腐蝕を受けていることは、土壌堆積物に頻繁に見られる微生物活動や酸化作用を示唆している (Havinga, 1967)。これも、花粉含有量が少なかった原因としてあげられる。

引用文献

- Firbas, F. 1937. Der pollenanalytische Nachweis des Getreidebaus. Z. Bot., 31, 447-478
- Havinga, A.J. 1967. Palynology and pollen preservation. Rev. Palaeobot. Palynol., 2, 81-98
- Havinga, A.J. 1984. A 20-year experimental investigation into the differential corrosion susceptibility of pollen and spores in various soil types. Pollen et Spores, 26, 541-558.
- 中村 純. 1974. イネ科花粉について、とくにイネ (*Oryza sativa*) を中心として. 第四紀研究, 13, 187-196.

第5節 放射年代測定

山形秀樹 (バレー・ラボ)

I. はじめに

中内村前遺跡より検出された炭化材および木片の加速器質量分析法 (AMS法) による放射性炭素年代測定を実施した。

II. 試料と方法

試料は、炭化材 (クヌギ節) 1点、8区1面・8号井戸から出土した木材の外側部分より採取した木片 (クワ属) 1点の併せて2点である。

これら試料は、酸・アルカリ・酸洗浄を施して不純物を除去し、石墨 (グラファイト) に調整した後、加速器質量分析計 (AMS) にて測定した。測定した¹⁴C濃度について同位体分別効果の補正を行なった後、補正した¹⁴C濃度を用いて¹⁴C年代を算出した。

III. 結果

表1に、各試料の同位体分別効果の補正值 (基準値-25.0%)、同位体分別効果による測定誤差を補正した¹⁴C年代、¹⁴C年代を暦年代に校正した年代を示す。

¹⁴C年代値 (yrBP) の算出は、¹⁴Cの半減期として Libbyの半減期5,568年を使用した。また、付記した¹⁴C年代誤差 (±1σ) は、計数値の標準偏差σに基づいて算出し、標準偏差 (One sigma) に相当する年代である。これは、試料の¹⁴C年代が、その¹⁴C年代誤差範囲内に入る確率が68%であることを意味する。

なお、暦年代校正の詳細は、以下の通りである。

暦年代校正

暦年代校正とは、大気中の ^{14}C 濃度が一定で半減期が5,568年として算出された ^{14}C 年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の ^{14}C 濃度の変動、および半減期の違い (^{14}C の

半減期 $5,730 \pm 40$ 年)を校正し、より正確な年代を求めるために、 ^{14}C 年代を暦年代に変換することである。具体的には、年代既知の樹木年輪の詳細な測定値を用い、さらに珊瑚のU-Th年代と ^{14}C 年代の比較、および海成堆積物中の腐炭の堆積構造を用いて ^{14}C 年代と暦年代の関係を調べたデータにより、校正曲線を作成し、これを用いて ^{14}C 年代を暦年代に校正した年代を算出する。

^{14}C 年代を暦年代に校正した年代の算出にCALIB 4.3 (CALIB 3.0のバージョンアップ版)を使用した。なお、暦年代校正値は ^{14}C 年代値に対応する校正曲線上の暦年代値であり、 1σ 暦年代範囲はプログラム中の確率法を使用して算出された ^{14}C 年代誤差に相当する暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値はその 1σ 暦年代範囲の確かさを示す確率であり、10%未満についてはその表示を省略した。 1σ 暦年代範囲のうち、その確かさの確率が最も高い年代範

第4表 年代測定結果

測定番号 (測定法)	試料データ	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	^{14}C 年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	^{14}C 年代を暦年代に校正した年代	
				暦年代校正値	1σ 暦年代範囲
PLD-2387 (AMS)	炭化材 (クスギ節)	-27.2	$1,005 \pm 30$	cal AD 1,020	cal AD 995 - 1,035 (97.4%)
PLD-2774 (AMS)	木片 8区1面 8号井戸 No.12 (タワ属)	-30.8	$1,130 \pm 50$	cal AD 895 cal AD 920 cal AD 945	cal AD 880 - 985 (96.8%)

囲については、表中に影付け部分で示した。

IV. 考察

各試料は、同位体分別効果の補正および暦年代校正を行なった。暦年代校正した 1σ 暦年代範囲のうち、その確かさの確率が最も高い年代範囲に注目すると、炭化材の年代はcal AD 995 - 1,035年が、8区1面・8号井戸から出土した木材の外側部分より採取した木片の年代はcal AD 880 - 985年が、より確かな年代値の範囲として示された。

引用文献:

- 中村俊夫 (2000) 放射性炭素年代測定法の基礎. 日本先史時代の ^{14}C 年代, p.3-20.
 Stuiver, M. and Reimer, P.J. (1993) Extended ^{14}C Database and Revised CALIB3.0 ^{14}C Age Calibration Program, Radiocarbon, 35, p.215-230.
 Stuiver, M., Reimer, P.J., Bard, E., Beck, J.W., Burr, G.S., Hughen, K.A., Kromer, B., McCormac, F.G., v.d. Plicht, J., and Spurk, M. (1998) INTCAL98 Radiocarbon Age Calibration, 24,000-0 cal BP, Radiocarbon, 40, p.1041-1083.

第6節 髷の材質分析

藤根 久 (パレオ・ラボ)

1. はじめに

中内村前遺跡の調査では、柱穴から髷が出土した。この髷は、紐で吊るして叩いて鳴らす楽器であるが、柱穴内から出土したことから地鎮のために燃められたことが推定されている。

ここでは、この髷の成分を調べるために蛍光X線分析を行った。

2. 試料と方法

試料は、洗浄等の前処理を行わず非破壊で分析を行った。

分析は、主要な元素の平面分布を調べるために元素マッピングを行った。測定した元素は、アルミニウム (Al)、ケイ素 (Si)、イオウ (S)、カリウム (K)、カルシウム (Ca)、クロム (Cr)、マンガン (Mn)、鉄 (Fe)、ニッケル (Ni)、銅 (Cu)、亜鉛 (Zn)、ジルコニウム (Zr) である。なお、ロジウム (Rh) はX線管球に由来する元素であり、遺物の成分とは関係がない。

測定は、佛壇場製作所製XGT-5000Type IIを用いた。元素マッピングは、X線導管径100 μ m、電圧50KV、電流1mA、時間10000秒である。定量計算は、

第5表 マッピングに於ける髷の化学組成 (単位%)

試料	Al	Si	S	K	Ca	Cr	Mn	Fe	Ni	Cu	Zn	Zr	合計
表面	a	1.20	1.46	0.62	0.00	0.32	0.03	96.13	0.03	0.04	0.10	0.03	99.99
	b	2.31	8.78	9.57	0.38	1.24	0.01	77.51	0.00	0.00	0.12	0.01	100.00
	c	1.12	5.69	8.12	0.27	0.43	0.02	84.22	0.00	0.00	0.11	0.00	99.99
裏面	d	0.54	4.65	9.00	0.19	0.41	0.02	85.00	0.00	0.00	0.09	0.00	100.00
最小値		0.54	1.46	0.62	0.00	0.32	0.01	77.51	0.00	0.00	0.09	0.00	
最大値		2.31	8.78	9.57	0.38	1.24	0.03	96.13	0.03	0.04	0.12	0.03	

標準試料を用いないFP法 (ファンダメンタルパラメータ法) で半定量分析を行った。

3. 結果および考察

元素マッピングを行った結果、主に鉄を主体とした遺物であることが判明した (PL1およびPL2、表1)。鉄以外の元素では、土壌起源のケイ素やアルミニウムなどが検出された。なお、イオウが検出されているが保存処理に伴う元素である。

PL1およびPL2の鉄のマッピング図を見ると、いずれも輝度の高い部分が鉄の多い部分であるが、暗い部分は付着した土壌起源のケイ素などである。

マッピングによる化学組成は、表面分析であるため付着物の化学組成が反映されているが、鉄が77.51~96.13%であった。こうした結果から、この髷は鉄製品であることが確認できた。

なお、表面の中心には放射状の文様が付してあるが、マッピングにおいて鉄以外の金属元素が検出されていないことから、他の金属による象嵌などは認められない。

第6章 まとめ

第1節 8・9区のまとめ

以上のように8・9区でも多くの遺構を確認、調査し、遺物を取上げ、整理、分類を行ってきた。その概略は各章の冒頭にも述べてきたのであるが、概要は以下のようなものであった。

8区西部は7区から続く低地部であり、9区の東側、即ち前田遺跡A区も低地部となっていて、8区東部から9区にかけての区域はその間に挟まれた微高地となっていた。

① 8区西部

8区西部は圃場整備段階の擾乱によって広く壊された部分もあり、また7区に比べて全体に遺構の残りは悪かった。しかし一部上位・下位面の分離が不十分なところもあったものの、概ね3面の遺構確認面を以って調査することができた。

1面に於いてはAs-B下水地面を確認することができ、圃場整備段階の地形図には現れてこない近世以降の溝等も調査できた。このうち8区東部との間にはこれを境するような溝の掘削が認められた。また、東端部で井戸1基も確認された。

2面に於いては堅穴住居3軒を確認した。これらは8区東部の堅穴住居群の一部とは切り放されていて、数量的には少なく、東西両側を水田に囲まれた僅かな微高地に建てられていたものと思慮される。また、8区東部との境、特に南寄り是一段低い低地となっていて、それに沿って道路或いは溝の遺存が見られ、一部道路は東進して8区東部の微高地に向かう様子が窺われた。

3面に於いては土坑群が確認されたが、上述の低地部がはっきりしており、ここにはHr-FAの堆積も確認された。しかし乍ら、7区で見られたような生産遺構は特に確認されなかった。

② 8区東部

8区東部では屋敷遺構に重複して、その前段階の遺構が多く確認されたが、重複や削平によって、個々の遺構の遺存状態は良好とはいえないものが殆どであった。また、概ね2面の遺構があったが、一部を除き明瞭に分離できるものではなかった。

このうち西寄りには水路と認識される溝群がかなり重複して確認された。これらは8区東西の低地部と微耕地部の境に平行するようになり、直線的ではないことから自然の流れに合わせて掘削されていたものと判断される。

また、8区東部では百軒余りの堅穴住居が確認された。これらは10～11世紀所産と判断されるものが多く、6区の微高地に見られた堅穴住居群が9世紀段階のものを中心としていたことと併せて、6区の集落が移ったものである可能性が考慮される。尚、一部に3世紀末葉の周溝を持つ建物群の遺存が確認されているため、6区の当該期の集落との関係が窺われる。

③ 9区

9区は8区東部に続く微高地であるが、削平により遺構の遺存状態が悪かった。9区に於いても屋敷遺構に重複して堅穴住居や井戸等の遺構が調査されたが、これらは量的にも少なく、出土遺物も少なかったことから、集落の中心は8区側にあったものと思慮される。

尚、9区の遺構に於いては井戸(9-11号井戸)とこれに続く水路と見られる溝(9-21号溝)が特筆される。11号井戸は前田遺跡際の微高地縁辺近くにあり、延長部分は確認されていないが、21号溝は西側の集落方向に向かって掘削されていた。

④ 屋敷遺構群

8区東部から9区にかけては単郭方形館と見られる屋敷遺構が3箇所確認された。これらは重複しており、西側の1号屋敷が最も新しく、北東寄りの2号屋敷が最も古い。何れも郭全体を調査できておらず、1号屋敷の郭内の状態は竪穴住居群や溝群と重複が激しいため明瞭ではなく、2号屋敷は屋敷内の遺構が少なく明瞭ではなかった。この中で屋敷内の様子が最もはっきりしていたものが南東寄りの3号

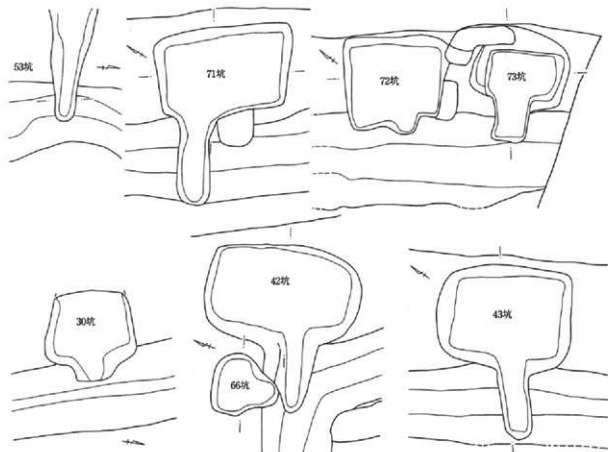
屋敷であった。

3号屋敷は南半が調査区外に出ていて全容は詳らかでないが、二重堀が廻り虎口は北側と西側にある。郭内は中央に掘立柱建物の区域があり、それを廻るように箱型の大型土坑群が掘削される。そして最も特徴的であったのは、内堀を出入り口にしたと認識される土坑群である。8～9区のまとめとして最後に、この土坑群の土坑の構造について述べることにする。

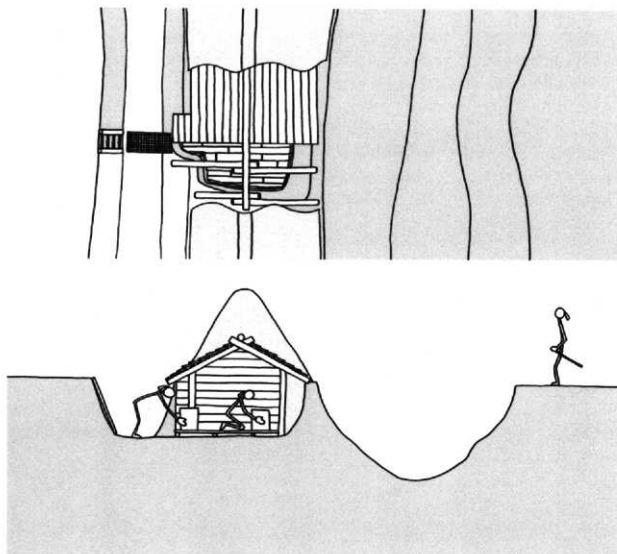
第2節 倉庫型土坑の構造について

241～246頁に述べたようにこの土坑は横長長方形プランの本体に、竪穴住居の竈の煙道に似た形状の突出部が接続するもので、形態的に地下式坑に似ている。断面観察から突出部が別遺構の可能性はある

ものの、同じ形態の土坑が7基見付かっていることから本体と突出部は一体のものと判断した。これらの土坑は内堀・外堀間の帯郭状の区画内に掘削され、突出部が内堀側に向かって掘られていた。



第231図 3号屋敷の倉庫型土坑群



第232図 倉庫型土坑構造の復元想像図

各土坑の突出部は堀に面して、または堀を跨いで掘削されている。堀を掘り込んでいたものもあったが、郭内から内堀に降りてこれを横切り、或いは内堀から直接入るようになっていたものと判断される。また本体に対する突出部の掘削位置は、3 P-1号土坑が中央、43・66・72号土坑は中央よりやや左右何れかに寄った位置、42・71・73号土坑は片側にかかり寄るなど一様ではない。

本体は上述のように帯郭状の空間に掘削されている。この帯郭状の空間は、郭北東隅部に3 P-1号掘立柱建物物が建てられていること、郭周縁部に多数の土坑が掘削されている状態、及びピットの分布状態に鑑みて、内堀に面しては土塁或いは櫓が敷設さ

れていたとは考え辛い。従ってこの帯郭状の空間に土塁或いは櫓、塙等が廻らされていたものと想定されるが、帯郭状の空間にはピットが確認されていないことから、櫓や（地表に直に立てるような）塙が建てられることはなく、土塁が廻らされていたものと解釈される。

この土坑は入口を持つことから日常的な出入りがあったと判断されるため、倉庫のような機能を持っていたものと想定される。こうした機能に鑑みれば、これらの土坑は天井を持っていたものと解釈されるが、覆土からは土坑の天井の上には地山層土を盛り上げていたことが確認されている。天井の構造は詳らかでないが、帯郭状の空間の幅から推して天井の

上に盛り上げられた土塁は、防御機能を考えればその上に塙のようなものが廻らされていた可能性も考慮されるものの、平坦地の土塁に一般的な高土居（高さ1間以上）よりは低いものであったと推定される。土塁の土量は高土居に比べれば少ないが、土壇の重量は小さいものではなく、従って天井は平ではなく、重量の分散という観点から屋根状の構造を持っていたものと判断される。この屋根構造は土塁の形状から押して、棟方向が堀の走向に平行するものであったものと推察される。通常の小型の建築物であれば入路の方向と棟方向が一致するのが通例であるが、土坑本体のプランが入口に対して横長であること、堀に平行な棟方向を持っていたことを示唆している。

突出部、即ち入口は堀底から一段下がる傾向があるが、ここには屋根が掛けられていたものと思慮される。この屋根は突出部の幅から推して、本体から独立した構造のものではなく、本体の天井部と一体の下屋に似た構造を持ったものと推定している。また内堀に降りる箇所には梯子のようなものが掛けられていたものと考えられるが、43・71号土坑のように底面が堀底より一段低く掘削されているものもあることから、通路には板や筵(むしろ)のようにものを敷いていた可能性も考えられる。

本体の壁面は土が剥き出しとなるため、板や筵のようなもので囲っていたものと考えられる。尚、入口(突出部)を除き土坑本体は竪穴状であったもの

と判断されるので、少なくとも3P-1・72号土坑は内堀が拡張される以前のもので、他の土坑群は拡張後に掘削され、或いは拡張後も使用されていたものと思慮される。

屋上屋を重ねる考察とはなったが、以上のように3号屋敷には内堀を出入り口にした土坑が在り、その構造について考察してきた。これらの土坑は72号土坑をモデルとした復元図(第232図)に示したように地下式坑状の構造を持つ倉庫と想定されるものであった。これらはそこから直接にせよ、そこを經由するにせよ、内堀から出入りする構造になっており、内堀と外堀の間の空間に有機的に組み込まれたものであった。これらの存在から、二重堀構造の屋敷遺構である3号屋敷では少なくとも外堀のへりまでは郭の一部に含まれるものとして認識されていたことが窺われる。従って内堀は、常識的に考えられるように防御機能の一翼を荷いながらも日常生活に於ける郭の一部として機能していたものと認識されるのである。そして少なくとも通常の建築物ではなく、郭内にスペースを必要としない、日常的に出入できる室のような倉庫機能を有する施設が、郭の一角に同時に何部屋が存在していたことが認識されるのである。

尚、内堀側の壁面の位置から推して、3P-1・72号土坑は同時に使用された可能性を有し、他の土坑はそれらでまた同時使用の可能性を有するものであった。

終章 まとめ

いよいよ4年余に亘った中内村前遺跡の整理作業の幕を閉じるときとなった。

詳細はくり返さないが、本遺跡に於いては3世紀末業と9世紀及び10～11世紀の集落、4～5世紀の旧河道、古墳時代、平安時代、そして中世の水田址、6ヶ所の中世屋敷遺構など数多くの遺構があり、そしてそれらに伴う一部縄文時代のものを含む、古墳時代から近代に至る時期の数多くの遺物の出土があったのである。遺墟乍ら発掘調査の段階には予想以上に姿を現す多量の遺構の処理に終われ、調査期間との兼ね合いから時として拙い調査をせざるを得ず、更には整理担当である下掘の能力不足は明白で、充分な報告を行えなかったことは誠に慙愧に耐えない。しかし、ふと気付けば報告書は3分冊合わせて1,500頁を上回る大部なものになっていた。改めて中内村前遺跡という遺跡がいかに大きな遺跡であったか、そしてその調査成果がいかに大きなものであったかをいま更乍らに感じている。

本書を含む3冊の報告書に述べてきたように調査成果は上述のように様々であった。殊に3区で発見された屋敷遺構や周辺のアS-B降下後の復旧水田、そしてその出土遺物は殆ど明らかになっていない旧那波郡北部の中世前期の様子を伝える希少な資料であり、報告書(中内村前遺跡(1))刊行後直ぐに注目されて、既に県内の博物館、資料館での特別展で陳列されている。或いは6・7区で発見された古墳時代初頭の周溝を持つ建物(中内村前遺跡(2))掲載)が全国的な古墳時代前期の建築遺構研究の中で論文に引用されているのを目にもした。このように中内村前遺跡の出土文化財の活用等は既に始まっており、今後、他の出土文化財を含め、様々な分野で活用されていくことであろうと思っている。

さて、本報告書(第3分冊)の作製に当たっても多くの同僚の協力があり、今回もふがいない担当を盛り立ててくれた整理補助員達の奮闘があったことを

記しておきたい。彼らの尽力がなければ本書の刊行はなかったであり、心からの感謝を申し上げる次第である。特に4年に亘る整理期間を通じて写真に係る諸作業を中心となって進めて戴き、昨年、定年を迎えられた今井サチ子氏には心よりの感謝を申し上げるものである。

この4年余の間にはいろいろなことがあった。作業そのものもそうであったが、一昨年の春には調査担当の一人であった下城正氏の訃報にも接した。そして今、氏を除く11人の調査担当のうち9人が既に当事業団から異動し、整理班でも異動や退職による入れ替えて残った人の方が少ないのに気が付いて、時の流れを感じている。そして中内村前遺跡の記録保存のまとめであり、且つインデックスとなる本書の刊行により、中内村前遺跡の整理事業が完了する。長かった。そして一区切り、ではある。が、それも東の間。整理班は遺物の収納を行いつつ、次の整理業務に向けて動き出している。下掘も続かねばならない。

最後になるが、発掘調査、整理事業を支えてくださった日本道路公団、群馬県教育委員会文化課、前橋市教育委員会文化財保護課始め、関係各位に心よりの御礼を申し上げ、稿を閉じたいと思う。

【参考文献】

- 石守晃『独立柱建物の重量に関する一試論』「研究紀要3」財団法人群馬県歴史文化財調査事業団 1986
 坂口一・三浦京子『奈良・平安時代の土器の編年』「群馬県史研究24」群馬県史編さん委員会 1986
 石守晃『壁六柱居と壁六柱居遺構について』「研究紀要17」財団法人群馬県歴史文化財調査事業団 1999
 財団法人群馬県歴史文化財調査事業団『瓦葺瓦子遺跡』(中沢信編) 2000
 中村和男『独立柱建物の用途を推測するための建築学的アプローチ』「財団法人茨城県教育財団 研究ノート10号」2001
 財団法人群馬県歴史文化財調査事業団『中内村前遺跡(1)』2002
 水井久美男『新版 中世出土銭の分類PL』高志書院 2002
 財団法人群馬県歴史文化財調査事業団『中内村前遺跡(2)』2003

遺物一覽

遺物一覧

8 区西部

(1面)

8-1-1号遺

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-007147	土師器壺口縁部	5	32	古墳時代前期中心
2	11-007148	土師器壺腹部	37	186	古墳時代前期中心
3	11-007149	土師器台付壺腹部	13	38	古墳時代前期中心
4	11-007150	土師器高台付脚部	2	12	古墳時代前期中心
5	11-007151	土師器壺口縁部	4	30	古墳時代前期中心
6	11-007152	土師器壺腹部	14	190	古墳時代前期中心
7	11-007153	土師器壺口縁部	8	30	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
8	11-007154	土師器埴土部	15	49	平安時代中心
9	11-007155	土師器壺口縁部	6	44	平安時代中心
10	11-007156	土師器壺腹部	11	24	平安時代中心
11	11-007157	須恵器環、壺口縁部	3	8	
12	11-007158	須恵器環、埴土部	3	8	
13	11-007159	須恵器環、埴土部	1	29	
14	11-007160	須恵器壺腹部	1	10	

8-1-2号遺

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-007161	土師器高台脚部	3	50	古墳時代前期中心
2	11-007162	土師器壺口縁部	3	10	古墳時代前期中心
3	11-007163	土師器壺腹部	24	180	古墳時代前期中心
4	11-007164	土師器台付壺腹部	2	2	古墳時代前期中心
5	11-007165	土師器壺口縁部	1	6	古墳時代前期中心
6	11-007166	土師器壺口縁部	7	30	平安時代中心
7	11-007167	土師器壺腹部	15	52	平安時代中心
8	11-007168	土師器壺口縁部	3	23	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
9	11-007169	土師器壺腹部	8	20	平安時代中心
10	11-007170	須恵器高台付壺口縁部	1	2	
11	11-007171	須恵器壺腹部	1	10	
12	11-007172	須恵器壺口縁部	1	42	
13	11-007173	須恵器壺口縁部	1	3	
14	11-007174	須恵器壺	2	8	
15	11-007175	須恵器	1	2	大正時代

8-1-3号遺

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-007176	土師器壺口縁部	2	15	古墳時代前期中心
2	11-007177	土師器壺腹部	1	138	古墳時代前期中心
3	11-007178	土師器台付壺口縁部	5	20	古墳時代前期中心
4	11-007179	土師器台付壺腹部	10	38	古墳時代前期中心
5	11-007180	土師器壺腹部	3	44	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
6	11-007181	土師器壺腹部	1	79	古墳時代前期中心
7	11-007182	土師器壺腹部	4	8	平安時代中心
8	11-007183	土師器壺口縁部	3	8	平安時代中心
9	11-007184	土師器壺腹部	8	12	平安時代中心
10	11-007185	須恵器環、埴土部	1	4	

8-1-4号遺

No.	資料番号	資料名称	測定値(cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00291	土師器壺	直径 7.0 残高 5.3	腰一底部1/3、内部寛れる。内面磨削部あり、底部磨削で、外周面磨削あり。破面は調整痕あり。	古墳時代前期	第5図	P.L.21

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-007186	土師器台付脚部	1	3	古墳時代前期中心
3	11-007187	土師器壺口縁部	7	36	古墳時代前期中心
4	11-007188	土師器台付壺口縁部	1	9	古墳時代前期中心
5	11-007189	土師器台付壺腹部	44	245	古墳時代前期中心
6	11-007190	土師器壺口縁部	4	48	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
7	11-007191	土師器壺腹部	42	408	古墳時代前期中心
8	11-007192	土師器壺腹部	1	72	古墳時代前期中心
9	11-007193	土師器壺腹部	2	3	平安時代中心
10	41-00502	鉄滓	11	150	

8-1-5号遺

No.	資料番号	資料名称	測定値(cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00292	土師器壺	口径(10.7) 器高 3.1	1/2。外周寛れる。口縁磨削で、体一底部内面磨削で、外周磨削あり。	7世紀後半	第6図	P.L.21
2	10-00293	土師器台付壺	口径 18.9 残高 5.7	口径一肩部1/3、S字状口縁。口縁磨削で下腹部内面磨削あり。肩部内面磨削で、外周磨削あり。	3世紀末	第6図	P.L.21
3	10-00294	縄文土器漆鉢	径寸 4.4×5.7 厚み 1.3	波状口縁破片。底面部の突起部を、縦線磨削2条。文点に円型刺突文。口縁内面に縦線磨削あり。	壺之内	第6図	P.L.21

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-007194	土師器壺台脚部	1	15	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
5	11-007195	土師器壺高台脚部	2	26	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
6	11-00718	土器器口縁部	1	18	古墳時代前期中心
7	11-00719	土器器口縁部	17	96	古墳時代前期中心
8	11-00718	土器器口縁部	5	35	古墳時代前期中心
9	11-00719	土器器口縁部	63	378	古墳時代前期中心
10	11-00720	土器器口縁部	1	30	古墳時代前期中心
11	11-00720	土器器口縁部	7	42	平安時代中心
12	11-00720	土器器口縁部	159	842	古墳時代前期中心
13	11-00720	土器器口縁部	4	60	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
14	11-00720	土器器口縁部	8	64	古墳時代前期中心
15	11-00725	土器器口縁部	86	442	古墳時代前期中心
16	11-00726	土器器口縁部	6	210	古墳時代前期中心
17	11-00727	土器器口縁部	21	52	平安時代中心
18	11-00728	土器器口縁部	1	2	平安時代中心
19	11-00729	土器器口縁部	2	2	平安時代中心
20	11-00730	須恵器口縁部	1	5	平安時代中心
21	11-00731	須恵器口縁部	1	16	

8-1-6号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値(cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図番号	図版番号
1	10-00295	土師	径 2.5×2.5 高さ 2.4	球形を呈す。縦径に径3.7mmの貫通孔。表面磨で	古墳時代前期か	第6図	P.L.21
2	10-00296	馬蹄型輪	残存 7.9×5.3 残厚 2.2	左側後輪部分の破片と判別される。表面磨し。押し込みと思われる粘土結核		第6図	P.L.21

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00712	土器器口縁部	15	48	古墳時代前期中心
4	11-00713	土器器口縁部	2	10	古墳時代前期中心
5	11-00714	土器器口縁部	6	40	古墳時代前期中心
6	11-00715	土器器口縁部	1	2	平安時代中心
7	11-00716	土器器口縁部	3	5	平安時代中心
8	11-00717	土器器口縁部	1	2	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
9	11-00718	土器器口縁部	5	18	平安時代中心
10	11-00719	須恵器口縁部	2	3	
11	11-00720	須恵器口縁部	1	2	
12	11-00721	須恵器口縁部	1	4	酸化
13	11-00722	須恵器口縁部	1	2	

8-1-7号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	10-00223	土師器口縁部	3	32	古墳時代前期中心
2	11-00224	土師器口縁部	39	102	古墳時代前期中心
3	11-00225	土師器口縁部	4	10	古墳時代前期中心
4	11-00226	土師器口縁部	5	49	古墳時代前期中心
5	11-00227	土師器口縁部	13	116	古墳時代前期中心
6	11-00228	土師器口縁部	4	11	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
7	11-00229	土師器口縁部	15	28	平安時代中心
8	11-00230	土師器口縁部	1	3	平安時代中心
9	11-00231	須恵器口縁部	1	2	
10	11-00232	須恵器口縁部	1	1	
11	11-00233	須恵器口縁部	1	16	酸化
12	20-00013	観石	1	2	

8-1-8号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値(cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図番号	図版番号
1	10-00289	須恵器	口径10.31 残高 4.1	外周部一口縁破片。外周部縁部に二重の尖突部	8世紀中葉 上野型	第8図	P.L.21
2	20-00056	石鉢	残存 17.5×9.3×9.8	胴一鉄片。内周部外。外周はつり残る。底面研磨	相模碓石山型	第8図	P.L.21
3	20-00052	観石	径 2.0×1.9 残長 9.3	下位欠損。表面に研磨面。表面と左右側面に寛胴り痕	戸沢石	第8図	P.L.21
4	90-00001	銅片	径 2.7×2.5 厚 0.75	器具等の飾りの破片と思われる。裏面の縁部を表面に当てるフェルト径5.0mmの円筒の金具打ち込む。径1.7cmの本体となる銅は取れるが、裏面に凸状の銅片付	近世～現代	第8図	P.L.21
5	90-00002	瓶	口径 2.9 底径 3.2 脚高 (19.8)	淡緑色を呈す。磨使用。全面に「S. SOMIURA & Co. 大日本大阪」野行明細。の彫印。また「WHITE BALL BRAND SAUCE」の彫印一箇	近代 野行洋食料品店	第8図	P.L.21
6	90-00003	高瓶	口径 1.7 底径 2.6 脚高 6.6	高部一部欠損。瓶口を呈す。磨使用。表面に「元瓶」(「神楽」)と「七ヶ野製」。背面に「メロウ」の彫印あり	近代	第8図	P.L.21
7	90-00004	瓶	口径 6.3 底径 4.8 脚高 7.2	淡い黄緑色を呈す。磨使用。灰濁多し。瓶面に「丸に五」かと読める点状の彫印あり	近代	第8図	P.L.21
8	90-00005	陶製鋳	径 2.0×2.0 厚 0.4	全面にうごいた色の輪郭から。表面多少劣化。径3.5mm程度の円孔4箇所に開く	戦中・戦後か	第8図	P.L.21
9	90-00006	プラスチック製鋳	径 21.6 長さ 8.8 厚 0.3	ヒトの脚形を呈し。表面材の割れあり。表面に「Res Q Quality Q□□□」の彫印	近・現代	第8図	P.L.21
10	10-00296	鉛製人形左足	径 2.2×1.6 高さ 7.1	人形の部品。製作に鑄込みではない。スタッピングと他の彫印。上面に径1.5mmの未貫通孔	磨研・造模 近・現代	第8図	P.L.22
11	40-00048	鉄製品(文鋼)	径20.2×0.8× 厚0.6	角筒状の本体に能付く		第8図	P.L.22

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
12	11-007234	土師器壺口縁部	6	85	古墳時代前期中心
13	11-007235	土師器壺腹部	44	258	古墳時代前期中心
14	11-007236	土師器台付壺口縁部	4	16	古墳時代前期中心
15	11-007237	土師器台付壺腹部	7	30	古墳時代前期中心
16	11-007238	土師器台付壺腹部	1	4	古墳時代前期中心
17	11-007239	土師器壺口縁部	2	20	古墳時代前期中心
18	11-007240	土師器壺腹部	30	192	古墳時代前期中心
19	11-007241	土師器口縁部	2	9	平安時代中心
20	11-007242	土師器腹部	10	28	平安時代中心
21	11-007243	土師器壺口縁部	2	9	平安時代中心
22	11-007244	土師器壺腹部	4	5	平安時代中心
23	11-007245	須恵器坏、甕口縁部	2	23	
24	11-007246	須恵器坏、甕腹部	5	16	
25	11-007247	須恵器坏、甕底一高台部	6	92	
26	11-007248	須恵器壺腹部	30	918	
27	11-007249	埴谷須恵器口縁部	2	18	
28	11-007250	埴谷須恵器底	1	10	
29	11-007251	埴谷須恵器	1	60	
30	11-007252	七輪	1	50	
31	11-007253	瓦瓦	4	202	
32	11-007254	枕瓦	1	60	
33	11-007255	羽家甕部	2	50	
34	11-007256	施釉陶器口縁部	1	65	
35	11-007257	施釉陶器口縁部	7	136	
36	11-007258	施釉陶器腹部	7	50	
37	11-007259	施釉陶器甕底一高台部	13	204	
38	11-007260	施釉陶器甕腹部	1	2	現代
39	11-007261	施釉陶器甕底	1	8	現代
40	11-007262	施釉陶器甕底	2	62	
41	11-007263	施釉陶器壺腹部	2	50	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
42	11-007264	施釉陶器壺口縁部	3	50	
43	11-007265	施釉陶器壺腹部	3	12	
44	11-007266	施釉陶器甕部	2	40	
45	11-007267	施釉陶器小甕腹部	1	20	
46	11-007268	施釉陶器鉢口縁部	1	20	
47	11-007269	施釉陶器鉢口縁部	1	22	
48	11-007270	施釉陶器急須口縁部	1	4	
49	11-007271	施釉陶器鉢口縁部	1	8	
50	11-007272	施釉陶器甕底一高台部	1	32	
51	11-007273	施釉陶器壺腹部	1	6	
52	11-007274	施釉陶器壺腹部	1	8	
53	11-007275	陶器すり鉢	5	100	
54	11-007276	陶器	2	20	現代
55	11-007277	桃御陶器壺腹部	10	340	
56	11-007278	萩御陶器鉢口縁部	5	130	
57	11-007279	萩御陶器鉢腹部	3	50	
58	11-007280	組器網	12	139	近世
59	11-007281	組器網	4	44	近代
60	11-007282	組器網	22	268	現代
61	11-007283	組器網	2	94	現代
62	11-007284	石籠	1	10	
63	11-007285	火打石	1	4	
64	11-007286	銅片	1	34	黒色頁岩
65	11-007287	黒曜石?	1	8	
66	11-007288	銅片	1	25	黒色安山岩
67	11-007289	緑泥片岩	5	265	
68	11-007290	砂岩	2	250	
69	41-005050	丸釘	1	3	
70	91-003001	素瓶	1	135	

8-1-9号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-007284	土師器壺口縁部	1	5	古墳時代前期中心
2	11-007285	土師器壺腹部	7	52	古墳時代前期中心
3	11-007286	土師器台付壺腹部	1	1	古墳時代前期中心
4	11-007287	土師器壺腹部	2	20	古墳時代前期中心
5	11-007288	土師器口縁部	1	2	平安時代中心
6	11-007289	土師器坏腹部	5	10	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
7	11-007290	土師器壺腹部	10	12	平安時代中心
8	11-007291	須恵器坏、甕腹部	1	8	
9	11-007292	須恵器坏、甕底	2	18	
10	11-007293	須恵器壺腹部	2	20	
11	11-007294	須恵器壺腹部	1	20	
12	11-007295	萩御陶器鉢腹部	1	18	

8-1-10号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値(m)	形状・形状・調査等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-001290	磁器製型模	高合部径 4.0 残高 1.3	底一高台23、委付付。こんにゃく印刷による五弁花弁	推定 19世紀一 半	第8図	P.L.22
2	10-001300	萩御陶器壺	口径(7.4) 残高 5.9	口縁部破片、 顔毛目残存	酸化塩焼成。内外黒色交互。局部外面に 中世	第8図	P.L.22

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
7	11-007290	土師器壺腹部	10	12	平安時代中心
8	11-007291	須恵器坏、甕腹部	1	8	
9	11-007292	須恵器坏、甕底	2	18	
10	11-007293	須恵器壺腹部	2	20	
11	11-007294	須恵器壺腹部	1	20	
12	11-007295	萩御陶器鉢腹部	1	18	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-007296	土師器壺口縁部	1	12	古墳時代前期中心
4	11-007297	土師器壺口縁部	1	16	古墳時代前期中心
5	11-007298	土師器壺腹部	20	110	古墳時代前期中心
6	11-007299	土師器壺口縁部	1	10	古墳時代前期中心
7	11-007300	土師器壺腹部	6	38	古墳時代前期中心
8	11-007301	土師器台付壺腹部	3	12	古墳時代前期中心
9	11-007302	土師器台付壺腹部	1	10	古墳時代前期中心
10	11-007303	土師器坏口縁部	2	6	平安時代中心
11	11-007304	土師器坏腹部	8	32	平安時代中心
12	11-007305	土師器壺口縁部	2	10	平安時代中心
13	11-007306	土師器壺腹部	10	50	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
14	11-007307	須恵器坏、甕底一高台部	6	40	
15	11-007308	須恵器壺腹部	5	148	
16	11-007309	陶器壺口縁部	1	42	
17	11-007310	陶器壺腹部	2	92	
18	11-007311	陶器壺腹部	1	70	
19	11-007312	陶器壺腹部	1	50	現代
20	11-007313	桃御陶器壺腹部	1	80	
21	11-007314	埴谷須恵器	1	12	
22	11-007315	瓦瓦	1	42	
23	21-003021	銅片	1	30	黒色頁岩

8-1-13号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00130	煎煮器高台付鍋	底径11.0 残高 3.4	腰一底部1/4、外面黒色珪質。還元焼成で焼成日ひ、回転軸離れ部。	9世紀前半	第6図	P.122

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	10-00233	土師器壺体部	8	40	古墳時代前期中心	5	10-00256	土師器台付壺体部	1	10	古墳時代前期中心
3	10-00236	土師器壺口縁部	2	9	古墳時代前期中心	6	10-00257	土師器平底部	3	3	平安時代中心
4	10-00235	土師器壺体部	3	15	古墳時代前期中心	7	10-00258	土師器壺体部	7	12	平安時代中心

8-1-14号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	10-00239	土師器壺体部	1	1	古墳時代前期中心	4	10-00262	土師器台付壺体部	1	6	古墳時代前期中心
2	10-00280	土師器台付壺体部	1	6	古墳時代前期中心	5	10-00263	土師器壺体部	1	1	平安時代中心
3	10-00264	土師器壺体部	1	1	古墳時代前期中心						

8-1-1号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	10-00745	土師器壺体部	2	4	古墳時代前期中心	9	10-00753	瓦瓦	1	18	
2	10-00746	土師器台付壺体部	1	10	古墳時代前期中心	10	10-00754	炊煮陶器内耳胴体部	2	20	
3	10-00747	土師器壺体部	4	40	古墳時代前期中心	11	10-00755	磁器	1	5	近世
4	10-00748	土師器坏体部	3	10	平安時代中心	12	10-00756	磁器	2	6	現代
5	10-00749	土師器壺体部	6	18	平安時代中心	13	10-00033	茶筒	4	4	木質
6	10-00750	須恵器坏、甕口縁部	4	10		14	20-00201	火打石	1	3	
7	10-00751	須恵器坏、甕体部	2	6		15	20-00042	ろう石	1	3	棒状
8	10-00752	須恵器坏、甕底一高台部	1	16							

8-1-7号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	10-00757	土師器坏体部	1	4	平安時代中心	3	10-00759	沈輪陶器甕口縁部	1	5	
2	10-00758	土師器壺体部	2	5	平安時代中心						

8-1-1号井戸

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00138	焼結陶器壺	口径 (9.7) 残高 4.4	口縁破片。外面に自然粘付着。内外面無釉。常滑系	13世紀中～後半	第9図	P.122
2	10-00139	瓦瓦	残高 12.0×7.8 厚み 1.4	破片。底面・側面無整形。上面に布目状	鎌倉期	第9図	P.122
3	10-00142	唐磁材	幅(2.8)×長さ(21.8) ×厚み0.1		鎌倉期	第9図	P.122

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	10-00855	土師器壺体部	1	10	平安時代中心	6	10-00857	瓦瓦	1	70	
5	10-00856	煎煮器坏、甕底一高台部	1	12							

8区西部1副Aa-B下木田一括

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00417	土師器器台	胴部径 3.3 残高 7.3	胴部太鼓。3方向に内形の透かし。器面ややせれる。内面無釉で、外側(1面)器で一面に黒塗りを施す	3-4世紀	第11図	P.122
2	10-00418	土師器器台	底径 10.6 残高 2.7	流部中心。器部内外面と流部内面研毛目。底面に切り落しの土層残る	3-4世紀	第11図	P.122
3	40-00500	鉄鍔	柄幅 4.5 残長 6.8 身厚A 0.7	右側流部と基部下位欠損。鋒先、基部やや傾斜。身厚長5.1cm、基部長3.2cm、基部残長0.8cm	8-12号住居-2に属する	第11図	P.122
4	40-00504	鉄棒	径 1.3×1.2 長さ 14.3	楕圓形断面の鉄棒。上位に斜めの切痕あり	新しい可能性有	第11図	P.122

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
5	10-00970	土師器高坏体部	3	84	古墳時代前期中心	6	10-00971	土師器壺口縁部	2	12	古墳時代前期中心

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
8区B下木田フタド					
7	11-00472	土師器台付壺口縁部	2	22	古墳時代前期中心
8	11-00473	土師器台付壺底部	11	26	古墳時代前期中心
9	11-00474	土師器壺口縁部	1	12	古墳時代前期中心
10	11-00475	土師器壺底部	63	262	古墳時代前期中心
11	11-00476	土師器環口縁部	2	8	平安時代中心
12	11-00477	土師器環底部	5	21	平安時代中心
13	11-00478	土師器壺口縁部	1	11	平安時代中心
14	11-00479	土師器壺底部	23	53	平安時代中心
15	11-00480	須恵器環、環口縁部	1	7	
16	11-00481	須恵器環、環底部	3	13	
17	11-00482	須恵器環、甕蓋一高台部	2	18	
18	11-00483	須恵器壺底部	17	229	
19	11-00484	枕瓦	3	136	瓦・現代
20	11-00485	施釉陶器壺口縁部	1	12	
21	11-00486	施釉陶器壺底部	2	12	
22	11-00487	施釉陶器甕底部	2	31	
23	11-00488	施釉陶器甕底部	1	8	近世
24	11-00489	施釉陶器鉢口縁部	1	8	
25	11-00490	陶器甕底部	1	10	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
8区B下木田フタド					
26	11-00491	陶器壺底部	1	20	
27	11-00492	陶器壺	1	20	
28	11-00493	陶器鉢口縁部	1	11	
29	11-00494	陶器鉢	1	32	近代
30	11-00495	陶器片	1	12	
31	11-00496	磁器壺底部	1	12	近世
32	11-00497	磁器壺口縁部	3	12	現代
33	11-00498	スレート瓦	3	123	
34	11-00511	鉄の塊	1	125	
8区B下フタド					
35	11-00499	土師器壺底部	6	21	古墳時代前期中心
36	11-00500	土師器台付壺口縁部	1	1	古墳時代前期中心
37	11-00501	土師器壺底部	3	8	古墳時代前期中心
38	11-00502	土師器環口縁部	1	1	平安時代中心
39	11-00503	土師器環底部	1	2	平安時代中心
40	11-00504	土師器壺底部	20	48	平安時代中心
41	11-00505	須恵器環、環底部	1	2	
42	11-00506	内耳鏡底部	1	18	
43	11-00507	漆付壺口縁部	1	2	近世

8区1画Aa-B下グリップ取り上遺物

No.	資料番号	資料名称	測定値(mm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
1	10-00412	瓦	残径 9.6×7.6 厚 1.5	破片。表面有布痕。裏面と下縁造形で	鎌中期	表34図	P.L.24
2	10-00414	土師	径 1.4×1.3 残長 3.5	下縁欠損。縦位に径3.3mmの貫通孔。表面無で		表34図	P.L.24
3	10-00415	土師	径 0.75×0.75 残長 2.3	上部欠損。縦位に径2.0mmの貫通孔。表面無で	鎌中期か	表34図	P.L.24
4	10-00416	甕体	残径 径 5.6×5.2 厚 2.1	表面破片。胎土細かい。表面に黒褐色。中層活黄色	甕又は磨治り少	表34図	P.L.24
5	20-00582	版石	径 7.3×13.9 厚 4.1	河原産使用。下面に積層面。上下端部に敲打痕残る	安曇山岩	表34図	P.L.24

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
300-825グリップ					
6	11-00921	土師器壺底部	2	12	古墳時代前期中心
7	11-00922	土師器台付壺底部	2	6	古墳時代前期中心
8	11-00923	土師器壺口縁部	1	3	古墳時代前期中心
9	11-00924	土師器壺底部	3	3	平安時代中心
10	11-00925	須恵器環、環口縁部	1	2	
11	11-00926	須恵器環、環底部	5	13	
12	11-00927	須恵器環、甕蓋一高台部	3	20	
300-840グリップ					
9	11-00928	土師器壺底部	3	11	古墳時代前期中心
10	11-00929	土師器壺底部	1	4	古墳時代前期中心
11	11-00930	土師器壺底部	1	54	古墳後期小?
12	11-00931	土師器環口縁部	1	1	平安時代中心
13	11-00932	土師器壺底部	1	1	平安時代中心
14	11-00933	須恵器環、環底部	3	11	
305-805グリップ					
14	11-00934	土師器壺底部	1	2	古墳時代前期中心
15	11-00935	土師器台付壺底部	1	2	古墳時代前期中心
16	11-00936	土師器壺底部	1	1	平安時代中心
305-815グリップ					
17	11-00937	土師器環底部	1	2	平安時代中心
305-825グリップ					
18	11-00938	土師器壺口縁部	1	4	古墳時代前期中心
19	11-00939	土師器壺底部	1	28	古墳後期小?
305-830グリップ					
20	11-00940	土師器壺底部	2	11	古墳時代前期中心
21	11-00941	須恵器壺底部	1	40	
22	11-00942	土師器壺底部	3	32	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
305-835グリップ					
23	11-00943	土師器壺底部	1	1	古墳時代前期中心
310-795グリップ					
24	11-00944	土師器壺底部	2	3	平安時代中心
25	11-00945	須恵器環、環口縁部	1	1	
26	11-00946	須恵器環、環底部	2	5	
310-800グリップ					
27	11-00947	土師器壺底部	1	8	古墳時代前期中心
28	11-00948	土師器壺口縁部	1	2	平安時代中心
29	11-00949	土師器壺底部	1	1	平安時代中心
30	11-00950	須恵器環、甕蓋一高台部	1	14	
310-815グリップ					
31	11-00951	土師器壺底部	2	2	古墳時代前期中心
32	11-00952	土師器壺底部	2	3	古墳時代前期中心
33	11-00953	土師器環底部	2	8	平安時代中心
310-820グリップ					
34	11-00954	土師器壺底部	2	7	古墳時代前期中心
35	11-00955	土師器台付壺底部	6	12	古墳時代前期中心
36	11-00956	土師器環底部	2	2	平安時代中心
37	11-00957	土師器壺口縁部	1	5	平安時代中心
38	11-00958	土師器壺口縁部	2	9	平安時代中心
39	11-00959	土師器壺底部	1	1	平安時代中心
40	11-00960	須恵器環、環口縁部	1	5	
41	11-00961	須恵器環、甕蓋部	1	12	
42	11-00962	須恵器壺底部	3	19	
43	25-00971	銅片	1	21	砂岩

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
310-825グリッド					
46	11-09035	土師器台付羹口縁部	1	4	古墳時代前期中心
47	11-09036	土師器台付羹体部	1	2	古墳時代前期中心
48	11-09037	土師器台付羹腹部	1	4	古墳時代前期中心
49	11-09038	土師器環状部	1	6	古墳時代前期中心
50	11-09039	土師器環状部	1	2	平安時代中心
335-800グリッド					
51	11-09039	土師器羹口縁部	2	3	古墳時代前期中心
52	11-09071	土師器羹体部	6	28	古墳時代前期中心
53	11-09072	土師器羹腹部	1	3	古墳時代前期中心
54	11-09073	土師器環口縁部	1	2	平安時代中心
335-800グリッド					
55	11-09074	土師器環状部	2	3	平安時代中心
56	11-09075	土師器羹体部	10	18	平安時代中心
57	11-09076	須恵器環状部	1	48	
58	11-09077	須恵器環、口縁部	1	4	
59	11-09078	須恵器環、胴体部	4	8	
60	11-09079	須恵器環、胴底部	4	20	
335-805グリッド					
61	11-09080	須恵器腹部	1	2	
62	11-09081	土師器羹体部	1	2	古墳時代前期中心
63	11-09082	土師器環状部	3	8	平安時代中心
64	11-09083	土師器羹口縁部	1	3	平安時代中心
335-805グリッド					
65	11-09084	土師器羹体部	5	10	平安時代中心
66	11-09085	須恵器環、口縁部	3	5	
67	11-09086	須恵器環、胴体部	1	10	
68	11-09087	須恵器羹体部	2	20	
335-795グリッド					
69	11-09088	土師器環口縁部	2	3	平安時代中心
70	11-09089	土師器羹体部	3	7	平安時代中心
71	11-09090	須恵器環、胴体部	1	4	
72	11-09091	須恵器羹体部	1	8	
335-805グリッド					
73	11-09092	土師器羹口縁部	1	7	古墳時代前期中心
74	11-09093	土師器環口縁部	1	1	平安時代中心
75	11-09094	土師器環状部	1	6	平安時代中心
76	11-09095	土師器羹体部	2	2	平安時代中心
77	11-09096	須恵器環、口縁部	2	3	
330-790グリッド					
78	11-09097	土師器羹体部	1	5	古墳時代前期中心
79	11-09098	土師器環口縁部	1	1	平安時代中心
80	11-09099	土師器環状部	1	2	平安時代中心
81	11-09100	土師器羹体部	1	2	平安時代中心
82	11-09101	須恵器環、胴体部	1	4	
330-795グリッド					
83	11-09102	土師器羹体部	2	9	古墳時代前期中心
84	11-09103	土師器羹体部	1	2	古墳時代前期中心
85	11-09104	土師器環状部	1	4	平安時代中心
86	11-09105	土師器羹口縁部	1	10	平安時代中心
87	11-09106	土師器羹体部	8	18	平安時代中心
88	11-09107	須恵器環、胴体部	4	8	
89	11-09108	須恵器羹口縁部	1	5	
320-800グリッド					
90	11-09109	土師器羹体部	2	8	古墳時代前期中心
91	11-09110	土師器台付羹体部	1	3	古墳時代前期中心
92	11-09111	土師器環口縁部	3	19	平安時代中心
93	11-09112	土師器環状部	4	18	平安時代中心
94	11-09113	土師器羹体部	11	19	平安時代中心
95	11-09114	須恵器環、口縁部	1	2	
96	11-09115	須恵器環、胴体部	2	7	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
330-800グリッド					
97	11-09116	須恵器羹体部	1	8	
98	41-000508	鉄片	1	2	
335-810グリッド					
99	11-09037	土師器環状部	2	5	平安時代中心
335-820グリッド					
100	11-09038	土師器環状部	1	5	平安時代中心
330-810グリッド					
101	11-09039	土師器台付羹体部	1	2	古墳時代前期中心
102	11-09029	土師器羹体部	1	8	古墳時代前期中心
103	11-09021	土師器環口縁部	2	4	平安時代中心
330-810グリッド					
104	11-09022	土師器環状部	1	5	平安時代中心
105	11-09023	土師器羹口縁部	1	3	平安時代中心
106	11-09024	土師器羹体部	7	30	平安時代中心
107	11-09025	須恵器環、口縁部	2	4	
108	11-09026	須恵器環、胴体部	3	5	
109	11-09027	土管	1	26	
110	41-000509	鉄片	4	10	
330-820グリッド					
111	11-09028	土師器羹口縁部	1	3	平安時代中心
112	11-09029	土師器羹体部	1	1	平安時代中心
330-830グリッド					
113	11-09030	土師器羹体部	1	8	古墳時代前期中心
114	11-09031	土師器羹体部	1	4	古墳時代前期中心
115	11-09032	土師器環口縁部	1	1	平安時代中心
116	11-09033	土師器環状部	1	4	平安時代中心
117	11-09034	土師器羹体部	3	6	平安時代中心
335-795グリッド					
118	11-09035	土師器羹体部	2	8	古墳時代前期中心
119	11-09036	土師器台付羹体部	1	2	古墳時代前期中心
120	11-09037	土師器環口縁部	1	2	平安時代中心
121	11-09038	土師器羹体部	5	10	平安時代中心
122	11-09039	須恵器環、口縁部	2	3	
123	11-09040	須恵器環、胴体部	4	10	
330-795グリッド					
124	11-09041	土師器羹口縁部	1	2	古墳時代前期中心
125	11-09042	土師器羹体部	3	12	古墳時代前期中心
126	11-09043	土師器台付羹体部	1	8	古墳時代前期中心
127	11-09044	土師器環口縁部	1	4	古墳時代前期中心
128	11-09045	土師器羹体部	1	28	古墳時代前期中心
129	11-09046	土師器環状部	1	2	平安時代中心
130	11-09047	土師器羹体部	11	18	平安時代中心
131	11-09048	須恵器環、口縁部	1	4	
132	11-09049	須恵器環、胴体部	3	22	
133	11-09050	須恵器羹底部？	1	6	
134	11-09051	須恵器羹体部	1	7	
135	11-09052	須恵器環口縁部	1	3	
330-800グリッド					
136	11-09053	土師器羹体部	1	5	古墳時代前期中心
137	11-09054	土師器台付羹体部	1	8	古墳時代前期中心
138	11-09055	土師器羹体部	1	32	古墳時代前期中心
139	11-09056	土師器環状部	3	10	平安時代中心
140	11-09057	土師器環口縁部	2	9	平安時代中心
141	11-09058	土師器羹体部	20	32	平安時代中心
142	11-09059	須恵器環、口縁部	1	3	
143	11-09060	須恵器環、胴体部	5	10	
144	11-09061	須恵器環、胴底一高台部	5	88	
145	11-09062	須恵器羹体部	1	10	
146	11-09063	須恵器羹底部	1	3	

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
330-015グリップ					
147	11-00361	土師器壺体部	1	2	古墳時代前期中心
148	11-00360	土師器口縁部	1	1	平安時代中心
149	11-00360	土師器壺体部	1	2	平安時代中心
150	11-00362	須恵器坏、残体部	2	10	
340-800グリップ					
151	11-00368	土師器台付壺体部	1	3	古墳時代前期中心
152	11-00369	土師器壺体部	5	30	古墳時代前期中心
153	11-00370	土師器口縁部	3	10	平安時代中心
154	11-00371	土師器坏底部	3	4	平安時代中心
340-810グリップ					
163	11-00379	土師器壺体部	5	20	古墳時代前期中心
164	11-00380	土師器壺底部	1	4	古墳時代前期中心
325-805グリップ					
165	11-00381	土師器壺口縁部	1	4	古墳時代前期中心
166	11-00382	土師器壺体部	1	4	古墳時代前期中心
167	11-00380	土師器壺体部	6	11	平安時代中心
168	11-00384	須恵器坏、残体部	1	3	
169	11-00385	須恵器壺体部	1	18	
325-810グリップ					
170	11-00388	土師器壺体部	1	3	古墳時代前期中心
325-815グリップ					
171	11-00387	土師器壺体部	2	4	古墳時代前期中心
172	11-00388	土師器台付壺体部	1	2	古墳時代前期中心
173	11-00388	土師器壺体部	1	1	平安時代中心
325-820グリップ					
174	11-00390	土師器壺口縁部	1	3	古墳時代前期中心
175	11-00391	土師器坏底部	1	4	古墳時代前期中心
330-805グリップ					
176	11-00392	土師器坏体一底部	1	2	平安時代中心
177	11-00393	土師器口縁部	2	12	平安時代中心
178	11-00394	土師器壺底部	1	11	平安時代中心
330-810グリップ					
179	11-00395	土師器壺体部	2	5	古墳時代前期中心
340-800グリップ					
188	11-00392	土師器壺体部	14	30	平安時代中心
156	11-00393	須恵器坏、残口縁部	1	7	
157	11-00394	須恵器坏、残体部	3	8	
158	11-00395	土管	1	5	
159	11-00393	磁器碗	1	5	遺品
160	21-00397	軽石	1	1	
340-805グリップ					
161	11-00397	土師器台付壺体部	3	10	古墳時代前期中心
162	11-00395	土師器壺口縁部	2	30	平安時代中心
330-810グリップ					
180	11-00396	土師器壺底部	1	4	古墳時代前期中心
181	11-00397	土師器台付壺口縁部	1	2	古墳時代前期中心
182	11-00396	土師器坏底部	8	20	平安時代中心
183	11-00399	土師器口縁部	1	3	平安時代中心
184	11-00400	土師器壺体部	10	30	平安時代中心
185	11-00401	須恵器坏、残口縁部	2	10	
186	11-00402	須恵器坏、残体部	1	1	
187	11-00403	須恵器坏、残底一高台部	4	38	
188	11-00404	陶器	1	1	
189	81-00004	カミナリ	1	1	30
340-810グリップ					
190	11-00405	土師器台付壺体部	2	3	古墳時代前期中心
191	11-00406	土師器壺体部	3	5	古墳時代前期中心
192	11-00407	土師器壺体部	1	18	古墳時代前期中心
193	11-00408	土師器坏底部	1	2	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
340-810グリップ					
194	11-00409	土師器壺口縁部	1	3	平安時代中心
195	11-00410	土師器壺体部	38	42	平安時代中心
196	11-00411	須恵器坏、残口縁部	1	2	
197	11-00412	須恵器坏、残体部	2	6	
198	11-00413	須恵器坏、残底一高台部	5	30	
199	11-00414	須恵器壺口縁部	3	28	
200	11-00415	須恵器壺体部	13	80	
201	41-00510	鏡片	1	2	
202	11-00416	土師器壺体部	3	18	古墳時代前期中心
203	11-00417	土師器台付壺底部	1	30	古墳時代前期中心
204	11-00418	土師器壺体部	3	6	古墳時代前期中心
205	11-00419	土師器口縁部	3	12	平安時代中心
206	11-00420	土師器坏底部	6	23	平安時代中心
207	11-00421	土師器壺口縁部	3	10	平安時代中心
208	11-00422	土師器壺体部	9	12	平安時代中心
209	11-00423	須恵器坏、残口縁部	3	8	
210	11-00424	須恵器坏、残体部	4	12	
211	11-00425	須恵器坏、残底一高台部	3	16	
212	11-00426	須恵器壺体部	4	40	
213	11-00427	須恵器壺体部	1	2	
214	11-00428	磁器碗底部	1	2	近・現代
グリップ315-795グリップ					
215	11-00429	須恵器坏、残体部	1	5	
216	11-00430	須恵器坏、残高台部	1	10	
グリップ320グリップ					
217	11-00431	土師器壺体部	1	4	古墳時代前期中心
218	11-00432	土師器坏体部	1	2	平安時代中心
219	11-00433	土師器壺体部	4	5	平安時代中心
220	11-00434	須恵器壺体部	2	28	
221	11-00435	須恵器壺体部	1	4	
グリップ345-800グリップ					
222	11-00436	土師器高坏底部	1	70	古墳時代前期中心
223	11-00437	土師器壺体部	1	6	古墳時代前期中心
224	11-00438	土師器壺体部	2	2	平安時代中心
グリップ345-800グリップ					
225	11-00439	須恵器坏、残底一高台部	2	10	
グリップ345-810グリップ					
226	11-00440	土師器壺体部	1	2	古墳時代前期中心
227	11-00441	土師器台付壺体部	1	8	古墳時代前期中心
228	11-00442	土師器壺体部	3	6	古墳時代前期中心
229	11-00443	土師器壺体部	1	9	古墳時代前期中心
230	11-00444	土師器坏底部	1	2	平安時代中心
231	11-00445	土師器壺口縁部	2	4	平安時代中心
232	11-00446	土師器壺体部	1	1	平安時代中心
233	11-00447	須恵器壺体部	1	8	
234	11-00448	スレート	1	8	
8区西部A・B下全体					
235	11-00516	土師器壺口縁部	2	10	古墳時代前期中心
236	11-00518	土師器壺体部	22	120	古墳時代前期中心
237	11-00517	土師器台付壺体部	10	20	古墳時代前期中心
238	11-00519	土師器台付壺体部	1	10	古墳時代前期中心
239	11-00517	土師器壺体部	9	50	平安時代前期中心
240	11-00517	土師器口縁部	4	20	平安時代中心
241	11-00514	土師器坏底部	18	38	平安時代中心
242	11-00515	土師器壺体部	38	53	平安時代中心
243	11-00519	須恵器坏、残口縁部	1	8	
244	11-00517	須恵器坏、残体部	10	40	
245	11-00519	須恵器坏、残底一高台部	1	40	
246	11-00519	須恵器壺体部	1	40	
247	21-00366	軽石	2	20	

遺物一覧

8 区西部北西編番号

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00140	粘土土器器	残存	7.5×4.5	厚 0.9	折り返し口縁残片。内面磨光で、外面口縁部は毛目後製跡つきで、外面縦位に4本の指筋	3世紀後半	第11図	P.L.22
2	10-00141	土師	1	径 2.8×2.65	高さ 2.7	潰れた球形を呈す。中央に径4mmの縦位の貫通孔空く		第11図	P.L.22

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00040	土師器高坏口縁部	2	12	古墳時代前期中心
4	11-00050	土師器壺口縁部	8	37	古墳時代前期中心
5	11-00051	土師器壺底部	20	108	古墳時代前期中心
6	11-00052	土師器壺腹部	1	22	古墳時代前期中心
7	11-00053	土師器台付壺口縁部	1	6	古墳時代前期中心
8	11-00054	土師器台付壺腹部	5	18	古墳時代前期中心
9	11-00055	土師器台付壺脚部	1	5	古墳時代前期中心
10	11-00056	土師器壺口縁部	5	48	古墳時代前期中心
11	11-00057	土師器壺腹部	63	315	古墳時代前期中心
12	11-00058	土師器坏口縁部	4	41	平安時代中心
13	11-00059	土師器坏腹部	8	48	平安時代中心
14	11-00060	土師器壺底部	1	6	平安時代中心
15	11-00061	土師器壺台脚部	1	90	古墳時代前期中心
16	11-00062	土師器高坏坏底	1	70	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
17	11-00063	土師器高坏坏底	7	240	古墳時代前期中心
18	11-00064	土師器壺口縁部	6	87	古墳時代前期中心
19	11-00065	土師器壺腹部	28	425	古墳時代前期中心
20	11-00066	土師器壺底部	3	100	古墳時代前期中心
21	11-00067	土師器台付壺腹部	5	50	古墳時代前期中心
22	11-00068	土師器台付壺脚部	3	285	古墳時代前期中心
23	11-00069	土師器壺口縁部	3	26	古墳時代前期中心
24	11-00070	土師器壺腹部	25	600	古墳時代前期中心
25	11-00071	土師器壺腹部	8	380	古墳時代前期中心
26	11-00072	土師器坏口縁部	1	8	平安時代中心
27	11-00073	土師器坏体一底部	9	55	平安時代中心
28	11-00074	土師器壺腹部	1	15	平安時代中心
29	11-00075	須恵器壺腹部	1	70	

8 区西部1 編遺物の出土遺物

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00177	ミニチュア土器	残存	3.1	高さ 2.4	1/3。表面過平削磨。内外面黒色処理	3～4世紀	第33図	P.L.23
2	10-00175	土師器壺	口径(11.7)	残高 7.1		口縁一帯部片。内面口縁と唇部磨光で、唇部磨光つき。外面唇毛目後口縁部と口縁上部磨光で以下7割くらい唇毛目縁の残片	3世紀末葉	第33図	P.L.23
3	10-00176	土師器壺	残径 6.8	残高 13.8		第一底部。外面やや丸れる。内面唇部毛目。底部と唇上底面磨光で、唇下平突縁で、唇一帯外面刷毛目後製跡つき。底面磨光	3世紀末葉	第33図	P.L.23
4	10-00174	土師器壺	残径 7.3	残高 10.9		第一底部。焼成良好。胴一帯部内面磨光で、唇部粗い刷毛目。底部内面磨光で、底面唇毛目以上底面を磨き、外周磨光	3世紀末葉	第33図	P.L.23
5	10-00173	土製おぼしき	径(1.9)×2.0	厚み 0.5		土師器製用。一部欠損。表面磨光		第33図	P.L.24
6	10-00172	土師器坏	口径 11.4	器高 3.8		変形。口縁残片で、体一底部内面磨光の残片。体部外面で、底面磨光	6世紀後半～7世紀	第33図	P.L.24
7	01-00040	刀子小	径 0.5×1.0	残長 4.8		斜部破片か。横断面形此方形を呈する		第33図	P.L.24
8	01-00048	鎌小	残径 3.2×2.5	厚み 0.45		破片。左側と右上欠損		第33図	P.L.24
9	01-00049	留金小	幅 1.0	残長 12.7	厚み 0.2	沈着欠損。きし線上の鉄板の一帯を破り返し、一端に方形の孔を穿って角部はめ込み		第33図	P.L.24
10	20-00071	破小	残存	3.1×4.2×1.6		破片。表面に研磨面残る	黒色頁岩	第33図	P.L.24

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
280	995	グレット			
12	11-00050	土師器壺腹部	1	15	古墳時代前期中心
305	840	グレット			
13	11-00051	土師器台付壺腹部	1	2	古墳時代前期中心
14	11-00052	土師器台付壺底一帯部	1	50	古墳時代前期中心
15	11-00053	土師器坏底部	2	2	平安時代中心
310	800	グレット			
16	11-00054	土師器坏腹部	2	4	平安時代中心
17	11-00055	土師器壺腹部	2	1	平安時代中心
310	805	グレット			
18	11-00056	土師器坏腹部	1	2	平安時代中心
19	11-00057	土師器壺腹部	2	4	平安時代中心
20	11-00058	須恵器坏、口縁部	1	4	
310	810	グレット			
21	11-00059	土師器台付壺腹部	4	19	古墳時代前期中心
22	11-00060	須恵器坏、底面	1	4	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
310	820	グレット			
23	11-00061	土師器高坏坏底部	3	48	古墳時代前期中心
24	11-00062	土師器高坏口縁部	1	5	古墳時代前期中心
25	11-00063	土師器壺口縁部	3	18	古墳時代前期中心
26	11-00064	土師器壺腹部	16	64	古墳時代前期中心
27	11-00065	土師器壺底部	1	10	古墳時代前期中心
28	11-00066	土師器台付壺口縁部	2	22	古墳時代前期中心
29	11-00067	土師器台付壺腹部	12	38	古墳時代前期中心
30	11-00068	土師器台付壺脚部	1	20	古墳時代前期中心
31	11-00069	土師器壺腹部	23	120	古墳時代前期中心
32	11-00070	土師器坏口縁部	1	2	平安時代中心
33	11-00071	土師器坏腹部	4	10	平安時代中心
34	11-00072	土師器壺口縁部	3	11	平安時代中心
35	11-00073	土師器壺腹部	4	20	平安時代中心
36	11-00074	須恵器坏、口縁部	1	2	
37	11-00075	須恵器坏、腹面一帯部	1	10	

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
310-829グレット					
28	11-00876	須恵器変体部	7	163	
30	11-00877	陶器変体部	1	2	現代
40	11-00878	磁石	1	135	煎粒輝石安山岩
310-840グレット					
41	11-00879	土師器台付変体部	1	15	古墳時代前期中心
42	11-00880	土師器変体部	3	44	古墳時代前期中心
43	11-00881	土師器平底部	1	8	平安時代中心
315-810グレット					
44	11-00882	土師器変体部	2	6	古墳時代前期中心
45	11-00884	須恵器変体部	2	52	
320-820グレット					
46	11-00885	土師器器台口縁部	1	5	古墳時代前期中心
47	11-00886	土師器器台口縁部	1	30	古墳時代前期中心
48	11-00887	土師器器台口縁部	9	24	古墳時代前期中心
49	11-00888	土師器器台口縁部	1	10	古墳時代前期中心
50	11-00889	土師器器台口縁部	1	1	平安時代中心
51	11-00890	土師器器台口縁部	1	3	平安時代中心
52	11-00891	土師器器台口縁部	2	2	平安時代中心
53	11-00892	須恵器器台口縁部	1	6	
54	11-00893	須恵器器台口縁部	1	2	
320-830グレット					
55	11-00894	土師器器台口縁部	6	22	古墳時代前期中心
56	11-00895	土師器器台口縁部	3	20	古墳時代前期中心
57	11-00896	土師器器台口縁部	11	60	古墳時代前期中心
58	11-00897	土師器器台付変体部	3	18	古墳時代前期中心
59	11-00898	土師器器台付変体部	1	2	古墳時代前期中心
60	11-00899	土師器器台付変体部	1	9	古墳時代前期中心
61	11-00900	土師器器台付変体部	7	72	古墳時代前期中心
62	11-00901	土師器器台付変体部	1	2	平安時代中心
63	11-00902	須恵器器台付変体部	3	10	
64	11-00903	須恵器器台付変体部	2	10	酸化
65	11-00904	瓦瓦	1	10	
325-830グレット					
66	11-00905	土師器器台付変体部	1	10	古墳時代前期中心
67	11-00906	土師器器台付変体部	1	2	古墳時代前期中心
68	11-00907	土師器器台付変体部	2	10	古墳時代前期中心
330-790グレット					
69	11-00908	土師器器台付変体部	1	20	古墳時代前期中心
70	11-00909	土師器器台付変体部	1	1	平安時代中心
330-800グレット					
71	11-00910	土師器器台付変体部	1	20	古墳時代前期中心
72	11-00911	土師器器台付変体部	3	28	古墳時代前期中心
73	11-00912	土師器器台付変体部	2	118	古墳時代前期中心
74	11-00913	土師器器台付変体部	4	30	古墳時代前期中心
330-810グレット					
75	11-00914	土師器器台付変体部	7	60	古墳時代前期中心
76	11-00915	土師器器台付変体部	31	151	古墳時代前期中心
77	11-00916	土師器器台付変体部	2	10	古墳時代前期中心
78	11-00917	土師器器台付変体部	9	20	古墳時代前期中心
79	11-00918	土師器器台付変体部	2	5	平安時代中心
80	11-00919	土師器器台付変体部	15	20	平安時代中心
81	11-00920	土師器器台付変体部	1	4	平安時代中心
82	11-00921	土師器器台付変体部	25	52	平安時代中心
83	11-00922	須恵器器台付変体部	6	11	
84	11-00923	須恵器器台付変体部	6	16	
85	11-00924	須恵器器台付変体部	1	15	
86	11-00925	須恵器器台付変体部	2	20	
87	11-00926	須恵器器台付変体部	1	5	
88	11-00927	須恵器器台付変体部	2	5	
89	11-00928	磁器	1	4	現代

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
90	11-00929	磁石	1	58	煎粒輝石安山岩
91	41-00502	角釘	1	3	
330-810グレット					
92	11-00940	須恵器変体部	1	15	
93	11-00940	須恵器変体部	2	8	現代
94	91-00902	エタニット(石橋)	4	30	現代
335-820グレット					
95	11-00943	土師器器台付変体部	1	18	古墳時代前期中心
96	11-00942	土師器器台付変体部	1	6	古墳時代前期中心
97	11-00943	土師器器台付変体部	1	8	古墳時代前期中心
98	11-00944	土師器器台付変体部	1	2	古墳時代前期中心
99	11-00945	土師器器台付変体部	2	12	古墳時代前期中心
100	11-00946	土師器器台付変体部	1	20	古墳時代前期中心
101	11-00947	土師器器台付変体部	1	5	平安時代中心
102	11-00948	土師器器台付変体部	7	18	平安時代中心
103	11-00949	土師器器台付変体部	7	16	平安時代中心
104	11-00940	須恵器器台付変体部	1	2	
105	11-00940	須恵器器台付変体部	1	2	近代
106	91-00903	エタニット(石橋)	1	10	現代
335-840グレット					
107	11-00942	須恵器器台付変体部	1	18	
340-810グレット					
108	11-00940	土師器器台付変体部	1	3	古墳時代前期中心
109	11-00944	土師器器台付変体部	4	30	古墳時代前期中心
110	11-00945	土師器器台付変体部	10	40	古墳時代前期中心
111	11-00946	土師器器台付変体部	2	5	古墳時代前期中心
112	11-00947	土師器器台付変体部	12	85	古墳時代前期中心
113	11-00948	土師器器台付変体部	1	1	平安時代中心
114	11-00949	土師器器台付変体部	3	11	平安時代中心
115	11-00947	土師器器台付変体部	2	10	平安時代中心
116	11-00947	土師器器台付変体部	2	2	平安時代中心
117	11-00947	須恵器器台付変体部	1	6	
118	11-00947	須恵器器台付変体部	1	2	
119	11-00947	須恵器器台付変体部	1	50	
340-815グレット					
120	11-00947	土師器器台付変体部	4	15	古墳時代前期中心
121	11-00947	土師器器台付変体部	1	12	古墳時代前期中心
122	11-00947	土師器器台付変体部	2	5	古墳時代前期中心
123	11-00947	土師器器台付変体部	1	1	平安時代中心
124	11-00947	土師器器台付変体部	2	5	平安時代中心
125	11-00948	須恵器器台付変体部	1	2	
126	11-00948	須恵器器台付変体部	1	1	
127	11-00948	須恵器器台付変体部	1	20	
340-820グレット					
128	11-00943	土師器器台付変体部	3	15	古墳時代前期中心
129	11-00944	土師器器台付変体部	1	2	古墳時代前期中心
130	11-00945	土師器器台付変体部	3	30	古墳時代前期中心
131	11-00946	土師器器台付変体部	1	1	平安時代中心
132	11-00947	土師器器台付変体部	4	9	平安時代中心
133	11-00948	須恵器器台付変体部	2	3	
134	11-00949	須恵器器台付変体部	1	2	酸化
135	11-00949	須恵器器台付変体部	1	140	近代
345-815グレット					
136	11-00943	土師器器台付変体部	1	16	古墳時代前期中心
137	11-00942	土師器器台付変体部	2	20	古墳時代前期中心
138	11-00943	須恵器器台付変体部	1	15	
345-830グレット					
139	41-00503	ボルトナット	1	4	
345-840グレット					
140	11-00944	土師器器台付変体部	1	2	古墳時代前期中心
141	11-00945	土師器器台付変体部	4	18	古墳時代前期中心

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
142	11-00846	須恵器瓶口縁部	1	4	酸化
350-790グリット					
143	11-00847	土師器壺体部	13	102	古墳時代前期中心
144	11-00848	土師器台付壺体部	7	36	古墳時代前期中心
350-790グリット					
145	11-00849	土師器台付壺脚部	1	46	古墳時代前期中心
146	11-00850	土師器瓶口縁部	1	38	古墳時代前期中心
330-815グリット					
147	11-00851	土師器壺口縁部	3	15	古墳時代前期中心
148	11-00852	土師器壺体部	7	28	古墳時代前期中心
149	11-00853	土師器台付壺口縁部	1	8	古墳時代前期中心
150	11-00854	土師器台付壺体部	2	10	古墳時代前期中心
151	11-00855	土師器壺体部	5	25	古墳時代前期中心
152	11-00856	土師器環状部	2	9	平安時代中心
153	11-00857	土師器壺体部	4	9	平安時代中心
154	11-00858	須恵器环、瓶口縁部	2	8	
155	11-00859	須恵器环、瓶口縁部	2	8	
156	11-00860	須恵器环、瓶底一高台部	5	20	
330-820グリット					
149	11-00861	土師器壺体部	1	8	古墳時代前期中心
150	11-00862	土師器台付壺体部	2	8	古墳時代前期中心
151	11-00863	土師器壺口縁部	1	20	古墳時代前期中心
152	11-00864	土師器壺体部	2	20	古墳時代前期中心
335-815グリット					
151	11-00865	土師器壺体部	17	50	古墳時代前期中心
152	11-00866	土師器台付壺体部	1	1	古墳時代前期中心
153	11-00867	土師器壺体部	1	2	古墳時代前期中心
154	11-00868	土師器環状部	1	2	平安時代中心
155	11-00869	土師器環状部	5	8	平安時代中心
156	11-00870	土師器壺体部	1	2	平安時代中心
350-790グリット					
157	11-00871	土師器壺体部	6	58	古墳時代前期中心
158	11-00872	土師器壺体部	3	18	平安時代中心
159	11-00873	須恵器壺体部	1	12	
350-795グリット					
160	11-00874	土師器壺体部	1	16	古墳時代前期中心
350-825グリット					
161	11-00875	土師器台付壺脚部	4	60	古墳時代前期中心
162	11-00876	土師器壺体部一括	22	485	平安時代中心
350-830グリット					
163	11-00877	土師器壺体部	1	12	平安時代中心
350-825グリット					
164	11-00878	土師器壺口縁部	2	10	古墳時代前期中心
165	11-00879	土師器壺体部	3	20	古墳時代前期中心
166	11-00880	土師器壺体部	4	96	古墳時代前期中心
167	11-00881	土師器環口縁部	1	4	平安時代中心
350-980グリット					
168	11-00882	土師器壺口縁部	2	19	古墳時代前期中心
169	11-00883	土師器壺体部	2	10	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
170	11-00884	土師器台付壺口縁部	1	5	古墳時代前期中心
171	11-00885	土師器壺底部	1	40	古墳時代前期中心
360-800グリット					
172	11-00886	土師器瓶口縁部	1	2	平安時代中心
173	11-00887	土師器壺底部	1	2	平安時代中心
8区西側1面全城					
174	11-00914	土師器高环口縁部	1	3	古墳時代前期中心
175	11-00915	土師器壺口縁部	3	14	古墳時代前期中心
176	11-00916	土師器壺体部	37	130	古墳時代前期中心
177	11-00917	土師器台付壺口縁部	1	1	古墳時代前期中心
178	11-00918	土師器台付壺体部	4	10	古墳時代前期中心
179	11-00919	土師器壺体部	2	9	古墳時代前期中心
180	11-00920	土師器環口縁部	23	56	平安時代中心
181	11-00921	土師器環状部	59	138	平安時代中心
182	11-00922	土師器壺口縁部	34	120	平安時代中心
183	11-00923	土師器壺体部	124	285	平安時代中心
184	11-00924	須恵器环、瓶口縁部	8	20	
185	11-00925	須恵器环、瓶体部	8	20	
186	11-00926	須恵器壺体部	4	75	
187	11-00927	杂付	1	5	現代
188	11-00928	瓦瓦	1	10	
189	11-00929	灰輪陶器蓋口縁部	5	26	
190	11-00930	灰輪陶器蓋体部	1	3	
191	11-00931	灰輪陶器蓋底一高台部	1	18	
192	11-00932	灰輪陶器蓋脚部	1	18	
193	11-00933	灰輪陶器蓋部	2	10	
194	11-00934	磁器	1	5	
195	11-00935	磁器	2	18	近世
196	11-00936	磁器	1	18	近代
197	11-00937	磁器	1	2	現代
198	41-00597	スラダ	1	10	
199	21-00582	礫石	2	74	権杖碑石安山岩
200	21-00303	礫石	1	15	
8区西一括					
201	11-00938	土師器台底一胴部	1	62	古墳時代前期中心
202	11-00939	土師器高环口縁部	2	10	古墳時代前期中心
203	11-00940	土師器壺口縁部	2	28	古墳時代前期中心
204	11-00941	土師器壺体部	51	239	古墳時代前期中心
205	11-00942	土師器台付壺口縁部	8	40	古墳時代前期中心
206	11-00943	土師器台付壺体部	18	60	古墳時代前期中心
207	11-00944	土師器台付壺脚部	1	12	古墳時代前期中心
208	11-00945	土師器壺口縁部	3	51	古墳時代前期中心
209	11-00946	土師器壺体部	40	252	古墳時代前期中心
210	11-00947	土師器環口縁部	4	19	平安時代中心
211	11-00948	土師器環状部	16	50	平安時代中心
212	11-00949	土師器壺口縁部	2	12	平安時代中心
213	11-00950	土師器壺体部	15	26	平安時代中心
214	11-00951	須恵器环、瓶口縁部	1	2	
215	11-00952	須恵器环、瓶底部	1	2	

遺物一覧

(2面) — 8区西部—

8-2-1号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・形制・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00101	土師器壺	口径(20.3) 残高 6.9	口縁～肩部分、コ字状口縁。口縁縁部で、肩部内部敷面で、外面施刷り	9世紀後半	第13図	P.L.23
2	10-00102	土師	径 2.7×2.6 高さ 2.8	高直上位欠損。球形を呈す。縦径に径6mmの穿孔。表面施刷り	古墳時代前期中	第13図	P.L.23

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土						床土					
3	11-00501	土師器台付壺口縁部	2	10	石田川	9	11-00507	土師器壺体部	16	20	平安時代中心
4	11-00502	土師器台付壺体部	5	10	石田川	10	11-00508	須恵器杯、残高台部	1	5	
5	11-00503	土師器壺体部	4	10	石田川	甕					
6	11-00504	土師器高弁頸部	2	40	石田川	11	11-00509	土師器壺体部	1	5	古墳時代前期(石田川)
7	11-00505	土師器坏底部	5	18	平安時代中心	12	11-00510	土師器壺体部	1	20	古墳時代前期
8	11-00506	土師器壺口縁部	2	10	平安時代中心	13	11-00511	土師器壺体部	3	40	平安時代中心

8-2-2号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・形制・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00103	須恵器杯	口径 12.6 直径 7.6 残高 3.7	ほぼ方形。片羽皿入。右回転軸線型。底面回転糸切り痕残る	9世紀前半	第14図	P.L.23
2	10-00104	須恵器杯	口径(12.5) 直径 6.4 残高 3.5	1/3。片羽皿入。右回転軸線型。底面回転糸切り痕残る	9世紀前半	第14図	P.L.23
3	10-00105	須恵器杯	口径(13.5) 直径 6.5 残高 4.1	1/3。盤状縁部。内外面環状による黒色処理の痕跡。右回転軸線型。底面回転糸切り切り無し	10世紀前半	第14図	P.L.23
4	20-00501	磁石	残存 8.7×11.0×5.9	河床層使用。上段破片。表面と上端部に磁石痕残る	磁石類石山石	第14図	P.L.23

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土						床土					
5	11-00512	土師器筒口縁部	1	8	古墳時代前期中心	17	11-00524	須恵器杯、口縁部	6	40	平安時代中心
6	11-00513	土師器壺体部	12	60	石田川	18	11-00525	須恵器杯、残体部	6	10	平安時代中心
7	11-00514	土師器壺口縁部	2	10	古墳時代前期中心	甕					
8	11-00515	土師器台付壺口縁部	2	10	石田川	19	11-00526	土師器口縁部	3	5	平安時代中心
9	11-00516	土師器台付壺体部	14	60	石田川	20	11-00527	土師器壺体部	4	30	平安時代中心
10	11-00517	土師器壺口縁部	3	18	古墳時代前期中心	21	11-00528	須恵器杯、口縁部	1	10	
11	11-00518	土師器壺体部	18	100	石田川	22	11-00529	須恵器杯、残体部	1	3	
12	11-00519	土師器口縁部	19	60	平安時代中心	23	11-00530	須恵器蓋天弁部	1	20	
13	11-00520	土師器坏底部	37	85	平安時代中心	24	11-00531	須恵器口縁部	1	3	
14	11-00521	土師器壺口縁部	10	80	平安時代中心	野蔵穴					
15	11-00522	土師器壺体部	44	130	平安時代中心	25	11-00532	土師器壺体部	3	20	石田川
16	11-00523	土師器壺体部	1	18	平安時代中心	26	11-00533	土師器台付壺体部	1	20	古墳時代前期中心

8-2-3号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・形制・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00106	須恵器高台付筒	直径 3.5 高台径 7.3 残高 2.4	胴一底部。薄光線縁部。やや軟質。右回転軸線型。底面高台粘り付け痕残る	9世紀前半	第16図	P.L.23
2	10-00107	土師器壺	直径 3.5 残高 3.2	胴一底部1/3。胴一底面内面毛目状敷面で、外面刷毛目後下位施刷り。底面施刷り	3世紀末至北陸千代橋点	第16図	P.L.23
3	20-00502	フランク	径 2.6×5.7 厚A 1.8	河床層使用。上面に自然風乾す。7面の列面風乾る	黒色瓦質		P.L.23

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土						床土					
4	11-00534	土師器高弁頸部	2	30	古墳時代前期中心	9	11-00539	土師器台付壺体部	23	70	古墳時代前期中心
5	11-00535	土師器壺口縁部	7	30	古墳時代前期中心	甕					
6	11-00536	土師器壺体部	34	100	古墳時代前期中心	10	11-00540	土師器台付壺体部	8	25	古墳時代前期中心
7	11-00537	土師器台付壺口縁部	2	10	古墳時代前期中心	11	11-00541	土師器壺体部	2	10	石田川
8	11-00538	土師器壺体部	1	20	古墳時代前期中心	12	11-00542	土師器壺体部	1	25	古墳時代前期中心

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
掘り方					
13	11-09543	土師器環口縁部	3	20	平安時代中心
14	11-09544	土師器釜口縁部	4	40	平安時代中心
15	11-09545	土師器釜体部	12	40	平安時代中心
16	11-09546	土師器釜体部	32	160	古墳時代前期中心
17	11-09547	土師器甕底部	1	15	古墳時代前期中心
18	11-09548	土師器環口縁部	32	130	平安時代中心
19	11-09549	土師器环体部	83	210	平安時代中心
20	11-09550	土師器碗体部	1	30	平安時代中心
21	11-09551	土師器釜口縁部	22	110	平安時代中心
22	11-09552	土師器釜体部	49	130	平安時代中心
23	11-09553	須恵器环、陶灰台部	1	3	
24	11-09554	須恵器环、碗底部	3	10	

8-2-73号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-09757	土師器器体部	1	16	古墳時代前期中心
2	11-09758	土師器环底部	1	10	平安時代中心
3	11-09759	土師器釜体部	2	5	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
8区2箇南西					
54	11-09948	土師器甕底部	1	15	古墳時代前期中心
55	11-09949	土師器環口縁部	1	8	平安時代中心
56	11-09950	土師器环体部	7	20	平安時代中心
57	11-09951	土師器釜口縁部	1	7	平安時代中心
58	11-09952	土師器釜体部	8	25	平安時代中心
59	11-09953	土師器釜体部	2	20	平安時代中心
60	11-09954	須恵器环、碗底部	1	5	
61	11-09955	須恵器体部	1	8	
8区2箇西中					
62	11-09956	土師器釜口縁部	2	10	古墳時代前期中心
63	11-09957	土師器釜体部	20	135	古墳時代前期中心
64	11-09958	土師器台付釜口縁部	3	45	古墳時代前期中心
65	11-09959	土師器台付釜体部	16	100	古墳時代前期中心
66	11-09960	土師器台付釜脚部	2	20	古墳時代前期中心

8区2箇南西外の出土遺物

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・形態・調整等の特徴	備考	国番号	図庫番号
1	80-01431	土師器台付釜	胴径 9.9 高さ 7.3	胴底部一割部、器底部内周と脚部内周と位同様に、脚部内周と、下位と外周縁目互、外周縁目	3世紀末葉	第35図	P L 24
2	80-01425	土師	径 3.1×2.45 高さ 2.85	器底平れる。球形を呈し、表面滑れる。縦径に径5mmの貫通孔	古墳時代前期	第36図	P L 24
3	30-00584	磁石	径 6.1×8.5 厚さ 4.6	楕円形の河車輪使用。上下両面に磨打痕。底面に磨痕残る	石質	第35図	P L 24
4	80-01423	土師器甕	胴径 32 (1) 高さ 16.5	胴径 1/3、内外面粗目または数珠で後敷き	3～4世紀	第36図	P L 25
5	80-01424	土師	径 2.7×3.25 高さ 2.9	建物を穿す。中央に上径4.5mm、下径5mmの縦位の貫通孔あり	古墳時代前期	第35図	P L 24
6	80-01420	土師	径 3.1×3.0 長さ 3.1	球形を呈す。縦径に4.2mmの貫通孔。表面滑る。表側に磨痕	古墳時代前期	第36図	P L 25
7	80-01419	須生土器甕	径 3.4×3.5 厚さ 0.8	折り返し口縁破片。表面に羽状文	3世紀後半	第36図	P L 25
8	30-00585	磁石	径 7.5×9.9 厚さ 5.2	字状の河車輪使用。上面に磨打痕。底面に磨痕残る	磁粒輝石安山岩		P L 25
9	80-01422	土師器甕	径 15.0×10.1 高さ 6.7	胴破片。全い外周縁目。外面に器底敷き	3～4世紀	第36図	P L 25

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
310-830グリッド					
8	11-09960	土師器高外脚部	1	32	古墳時代前期中心
9	11-09961	土師器釜体部	1	18	古墳時代前期中心
10	11-09962	土師器台付釜体部	4	13	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
掘り方					
25	11-09555	瓦	1	20	鎌倉
26	11-09556	土師器釜底部	1	10	平安時代中心
27	11-09557	須恵器环、碗口縁部	1	5	平安時代中心
壺					
28	11-09558	土師器台付釜体部	1	3	古墳時代前期中心
29	11-09559	土師器器体部	2	5	古墳時代前期中心
30	11-09560	土師器環口縁部	1	3	平安時代中心
31	11-09561	土師器环底部	10	40	平安時代中心
32	11-09562	土師器釜口縁部	8	60	平安時代中心
33	11-09563	土師器釜体部	10	55	平安時代中心
34	11-09564	須恵器环、碗底部	1	10	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-09740	須恵器碗底-高合部	1	8	酸化
5	11-09741	須恵器釜体部	1	10	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
8区2箇西中					
67	11-09931	土師器器口縁部	3	85	古墳時代前期中心
68	11-09932	土師器器体部	40	265	古墳時代前期中心
69	11-09933	土師器器底部	1	32	古墳時代前期中心
70	11-09934	土師器環口縁部	6	22	平安時代中心
71	11-09935	土師器环体部	10	38	平安時代中心
72	11-09936	土師器釜体部	10	40	平安時代中心
73	11-09937	須恵器环、碗底部	2	12	
74	11-09938	須恵器环、碗底部	2	38	
75	11-09939	須恵器釜体部	1	20	
76	11-09940	須恵器釜体部	2	10	
8区2箇					
77	11-09941	須恵器釜体部	1	5	酸化
78	11-09942	須恵器碗底-高合部	6	50	酸化
79	11-09943	須恵器釜体部	1	21	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
310-830グリッド					
11	11-09963	土師器釜体部	2	5	平安時代中心
310-835グリッド					
12	11-09964	土師器釜体部	2	11	古墳時代前期中心

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(kg)	備考
130	835グリッド				
14	11-00905	土器器台付宴体部	3	3	古墳時代前期中心
310	835グリッド				
14	11-00906	土器器灰皿部	3	10	平安時代中心
15	11-00907	土器器口縁部	1	7	平安時代中心
16	11-00908	須恵器器体部	2	23	
310	840グリッド				
17	11-00909	土器器体部	1	1	古墳時代前期中心
18	11-00910	土器器台付宴体部	1	1	古墳時代前期中心
19	11-00911	土器器台付宴体部	1	2	古墳時代前期中心
315	830グリッド				
21	11-00912	土器器口縁部	1	2	古墳時代前期中心
22	11-00913	土器器体部	9	40	古墳時代前期中心
23	11-00914	土器器台付宴体部	1	7	古墳時代前期中心
24	11-00915	土器器体部	3	22	古墳時代前期中心
25	11-00916	土器器体部	1	1	平安時代中心
25	11-00917	須恵器器灰皿部	1	5	
315	835グリッド				
26	11-00918	土器器台付宴体部	1	2	古墳時代前期中心
27	11-00919	土器器体部	2	21	古墳時代前期中心
315	840グリッド				
28	11-00920	土器器口縁部	1	2	古墳時代前期中心
29	11-00921	土器器体部	2	20	古墳時代前期中心
30	11-00922	土器器台付宴体部	2	30	古墳時代前期中心
31	11-00923	土器器体部	1	5	古墳時代前期中心
32	11-00924	土器器体部	1	10	古墳時代前期中心
33	11-00925	土器器体部	3	4	平安時代中心
34	11-00926	須恵器器灰皿部	1	1	
320	825グリッド				
35	11-00927	土器器体部	2	6	古墳時代前期中心
320	830グリッド				
36	11-00928	土器器口縁部	1	8	古墳時代前期中心
37	11-00929	土器器台付宴体部	1	6	古墳時代前期中心
38	11-00930	土器器体部	2	14	古墳時代前期中心
320	835グリッド				
39	11-00931	土器器体部	1	2	古墳時代前期中心
40	11-00932	土器器体部	2	9	古墳時代前期中心
320	840グリッド				
41	11-00933	土器器口縁部	1	12	古墳時代前期中心
42	11-00934	土器器台付宴体部	1	1	古墳時代前期中心
43	11-00935	土器器体部	6	30	古墳時代前期中心
44	11-00936	土器器体部	1	30	古墳時代前期中心
45	11-00937	土器器口縁部	2	2	平安時代中心
46	11-00938	土器器灰皿部	6	9	平安時代中心
47	21-00377	銅片	1	1	チャット
325	820グリッド				
48	11-00939	土器器体部	1	5	古墳時代前期中心
49	11-00940	土器器口縁部	1	5	平安時代中心
340	840グリッド				
50	11-00941	土器器口縁部	2	12	平安時代中心
51	11-00942	土器器体部	1	3	平安時代中心
52	11-00943	土器器体部	2	8	平安時代中心
345	830グリッド				
53	11-00944	土器器高坏部	1	45	古墳時代前期中心
54	11-00945	土器器体部	7	14	古墳時代前期中心
55	11-00946	土器器体部	1	100	古墳時代前期中心
56	11-00947	土器器台付宴体部	1	80	古墳時代前期中心
57	11-00948	土器器体部	2	10	古墳時代前期中心
58	11-00949	土器器口縁部	1	3	平安時代中心
59	11-00950	土器器体部	5	8	平安時代中心
60	11-00951	須恵器器灰皿部	3	9	
61	11-00952	須恵器器灰皿部	2	2	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(kg)	備考
345	830グリッド				
62	11-00953	スレート	1	10	
350	815グリッド				
63	11-00954	土器器体部	1	4	古墳時代前期中心
64	11-00955	須恵器器灰皿部	1	20	
350	820グリッド				
65	11-00956	土器器体部	4	10	古墳時代前期中心
66	11-00957	土器器台付宴体部	1	20	古墳時代前期中心
67	11-00958	土器器台付宴体部	1	13	古墳時代前期中心
68	11-00959	土器器口縁部	2	16	古墳時代前期中心
69	11-00960	土器器体部	2	5	古墳時代前期中心
70	11-00961	土器器口縁部	2	4	平安時代中心
71	11-00962	土器器灰皿部	1	1	平安時代中心
72	11-00963	土器器体部	2	3	平安時代中心
73	11-00964	須恵器器灰皿部	1	10	
350	825グリッド				
74	11-00965	土器器高坏部	2	28	古墳時代前期中心
75	11-00966	土器器体部	4	28	古墳時代前期中心
76	11-00967	土器器台付宴体部	1	3	古墳時代前期中心
77	11-00968	土器器体部	11	80	古墳時代前期中心
350	825グリッド				
78	11-00969	土器器体部	1	12	古墳時代前期中心
79	11-00970	土器器口縁部	2	4	平安時代中心
80	11-00971	土器器灰皿部	6	10	平安時代中心
81	11-00972	土器器口縁部	1	2	平安時代中心
82	11-00973	土器器体部	6	8	平安時代中心
83	11-00974	須恵器器灰皿部	1	4	
84	11-00975	須恵器器灰皿部	2	15	
85	11-00976	須恵器器灰皿部	1	70	
86	11-00977	須恵器器灰皿部	2	50	
355	815グリッド				
87	11-00978	土器器体部	1	1	平安時代中心
355	820グリッド				
88	11-00979	土器器高坏部	1	19	古墳時代前期中心
89	11-00980	土器器台付宴体部	1	15	古墳時代前期中心
355	825グリッド				
90	11-00981	土器器体部	6	26	古墳時代前期中心
91	11-00982	土器器体部	1	10	古墳時代前期中心
92	11-00983	土器器台付宴体部	1	1	古墳時代前期中心
93	11-00984	土器器口縁部	1	1	平安時代中心
94	11-00985	土器器灰皿部	4	22	平安時代中心
95	11-00986	土器器体部	3	12	平安時代中心
360	800グリッド				
96	11-00987	土器器台付宴体部	1	10	古墳時代前期中心
97	11-00988	土器器灰皿部	1	2	平安時代中心
98	11-00989	土器器体部	1	4	平安時代中心
99	11-00990	須恵器器灰皿部	1	5	
100	11-00991	須恵器器灰皿部	1	10	
350	830グリッド				
101	11-00992	土器器口縁部	1	10	古墳時代前期中心
102	11-00993	土器器体部	8	32	古墳時代前期中心
103	11-00994	土器器台付宴体部	2	5	古墳時代前期中心
104	11-00995	土器器体部	2	10	古墳時代前期中心
105	11-00996	土器器口縁部	1	8	平安時代中心
106	11-00997	土器器体部	3	12	平安時代中心
107	11-00998	須恵器器灰皿部	1	2	
108	11-00999	須恵器器灰皿部	4	18	
109	11-01000	須恵器器灰皿部	1	4	
110	11-01001	女瓦	1	102	
360	810グリッド				
111	11-01002	土器器体部	5	38	古墳時代前期中心
112	11-01003	土器器台付宴体部	2	7	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
	360-810グリップ				
113	11-00704	土師器高坏口縁部	1	2	平安時代中心
114	11-00705	土師器壺体部	4	8	平安時代中心
	360-825グリップ				
115	11-00706	土師器壺体部	2	40	古墳時代前期中心
	365-810グリップ				
116	11-00707	土師器台付壺体部	1	7	古墳時代前期中心
117	11-00708	土師器壺体部	2	39	古墳時代前期中心
118	11-00709	土師器壺体部	2	8	平安時代中心
	365-815グリップ				
119	11-00710	土師器台付壺底一脚部	1	25	古墳時代前期中心
120	11-00711	土師器壺体部	1	3	平安時代中心
	8区2層フタD				
3	11-00575	土師器軸口縁部	1	10	古墳時代前期中心
4	11-00577	土師器高坏口縁部	2	15	古墳時代前期中心
5	11-00579	土師器高坏脚部	3	35	古墳時代前期中心
6	11-00575	土師器壺口縁部	12	155	古墳時代前期中心
7	11-00580	土師器壺体部	95	540	古墳時代前期中心
8	11-00581	土師器壺体部	6	98	古墳時代前期中心
9	11-00582	土師器台付壺体部	58	380	古墳時代前期中心
10	11-00583	土師器台付壺脚部	4	170	古墳時代前期中心
11	11-00584	土師器壺口縁部	12	180	古墳時代前期中心
12	11-00585	土師器壺体部	91	502	古墳時代前期中心
13	11-00586	土師器壺体部	4	180	古墳時代前期中心
14	11-00587	土師器高坏口縁部	18	68	平安時代中心
15	11-00588	土師器高坏部	24	100	平安時代中心
16	11-00589	土師器壺口縁部	1	4	平安時代中心
17	11-00590	土師器壺体部	99	180	平安時代中心
18	11-00591	土師器壺体部	1	21	平安時代中心
19	11-00592	須恵器高坏口縁部	2	6	
20	11-00593	須恵器高坏、胴体部	2	7	
21	11-00594	須恵器高坏、胴底一高台部	3	20	
22	11-00595	須恵器高坏底	8	15	酸化
23	11-00596	須恵器壺体部	1	55	
24	11-00597	須恵器壺口縁部	1	2	
25	11-00598	須恵器壺体部	2	22	
26	11-00599	須恵器壺口縁部	1	20	
27	11-00601	磨石?	1	30	粗粒輝石安山岩

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
	8区2層フタF				
28	11-00706	銅片	1	46	銅質異常
	8区2層				
80	11-00544	須恵器壺体部	5	188	
81	11-00545	須恵器壺	2	168	
82	11-00546	土師器壺口縁部	1	9	古墳時代前期中心
83	11-00547	土師器台付脚部	2	92	古墳時代前期中心
84	11-00548	土師器高坏口縁部	4	32	古墳時代前期中心
85	11-00549	土師器高坏体部	1	4	古墳時代前期中心
86	11-00550	土師器高坏脚部	15	470	古墳時代前期中心
87	11-00551	土師器高坏底	1	22	古墳時代前期中心
88	11-00552	土師器壺口縁部	28	178	古墳時代前期中心
89	11-00553	土師器壺体部	265	172	古墳時代前期中心
90	11-00554	土師器壺体部	9	195	古墳時代前期中心
91	11-00555	土師器台付壺口縁部	17	98	古墳時代前期中心
92	11-00556	土師器台付壺体部	119	500	古墳時代前期中心
93	11-00557	土師器台付壺脚部	17	205	古墳時代前期中心
94	11-00558	土師器壺口縁部	12	100	古墳時代前期中心
95	11-00559	土師器壺体部	157	1050	古墳時代前期中心
96	11-00560	土師器壺底	9	320	古墳時代前期中心
97	11-00561	ミニチュア体部	1	22	古墳時代前期中心
98	11-00562	土師器高坏口縁部	37	120	平安時代中心
99	11-00563	土師器高坏部	91	235	平安時代中心
100	11-00564	土師器壺口縁部	6	45	平安時代中心
101	11-00565	土師器壺体部	172	380	平安時代中心
102	11-00566	土師器壺体部	1	7	平安時代中心
103	11-00567	須恵器高坏、胴口縁部	6	18	
104	11-00568	須恵器高坏、胴底一高台部	15	225	
105	11-00569	須恵器高坏、胴体部	17	80	
106	11-00670	須恵器脚部	2	60	
107	11-00671	須恵器高坏口縁部	1	4	
108	11-00672	青磁壺体部	1	6	
109	11-00805	セメントモルタル	1	45	
110	11-03004	銅片	1	70	銅質異常
	8区2層西一基				
111	11-00573	土師器壺体部	4	10	古墳時代前期中心
112	11-00574	土師器台付壺体部	1	5	古墳時代前期中心
113	11-00575	土師器壺口縁部	1	22	古墳時代前期中心

遺物一覧

(3圖) 8区西部一

8-3-74号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
1	11-00138	土師器蓋	口径(17.8) 残高 4.3	口縁部1/4、粉面充れる。内面刷毛目。外面上段横溝で、下段刷毛目は無いか	3世紀末～4世紀前半	第26図	P.L.23

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00242	土師器壺体部	1	5	古墳時代前期中心
3	11-00243	土師器台付壺体部	3	15	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-00784	土師器壺体部	6	90	

8-3-155号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00078	土師器壺体部	1	50	平安時代中心

8-3-157号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00079	土師器壺体部	2	16	古墳時代前期中心
2	11-00080	土師器台付壺口縁部	1	15	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00081	土師器壺口縁部	1	10	平安時代中心

8-3-160号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00082	土師器高環口縁部	1	8	古墳時代前期中心
2	11-00083	土師器壺体部	2	18	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00084	土師器台付壺体部	1	8	古墳時代前期中心
4	11-00085	土師器壺体部	1	10	古墳時代前期中心

8-3-163号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00086	土師器壺口縁部	3	32	古墳時代前期中心
2	11-00087	土師器壺体部	9	40	古墳時代前期中心
3	11-00088	土師器台付壺口縁部	1	8	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-00089	土師器台付壺体部	2	10	古墳時代前期中心
5	11-00090	土師器壺体部	3	32	古墳時代前期中心

8-3-165号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00091	土師器壺体部	1	10	古墳時代前期中心
2	11-00092	土師器壺底面	1	50	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00093	土師器壺体部	2	32	古墳時代前期中心

8-3-166号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00094	土師器壺体部	1	4	古墳時代前期中心
2	11-00095	土師器台付壺脚部	1	9	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00096	土師器壺体部	2	20	古墳時代前期中心

8-3-168号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00097	土師器壺体部	3	20	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00098	土師器台付壺脚部	1	20	古墳時代前期中心

8-3-169号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00099	土師器壺体部	2	15	古墳時代前期中心
2	11-00100	土師器壺体部	3	10	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00101	土師器壺底面	1	30	古墳時代前期中心

8-3-170号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00102	土師器壺体部	3	25	古墳時代前期中心

8-3-172号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00253	土師器甕口緣部	1	30	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00254	土師器甕体部	1	6	古墳時代前期中心

8-3-174号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00255	土師器甕体部	1	10	古墳時代前期中心

8-3-175号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00256	土師器甕体部	1	19	古墳時代前期中心

8-3-177号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00257	土師器甕体部	2	15	古墳時代前期中心

8-3-179号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00258	土師器甕体部	2	12	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00259	土師器甕体部	1	6	古墳時代前期中心

8-3-182号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00260	土師器甕体部	1	4	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00261	土師器台付甕脚部	2	20	古墳時代前期中心

8-3-185号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00262	土師器甕体部	1	20	古墳時代前期中心

8-3-189号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00263	土師器台付甕脚部	1	10	古墳時代前期中心

8-3-193号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00264	土師器甕体部	2	20	古墳時代前期中心

8-3-196号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00265	土師器台付甕体部	1	9	古墳時代前期中心

8-3-198号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00266	土師器甕口緣部	1	5	古墳時代前期中心
2	11-00267	土師器甕体部	2	38	古墳時代前期中心
3	11-00268	土師器台付甕体部	1	5	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-00269	土師器甕口緣部	1	6	古墳時代前期中心
5	11-00270	土師器甕体部	4	70	古墳時代前期中心

8-3-200号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00271	土師器甕体部	3	46	古墳時代前期中心
2	11-00272	土師器甕口緣部	1	12	古墳時代前期中心
3	11-00273	土師器甕体部	1	20	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-00274	土師器甕体部	1	80	古墳時代前期中心
5	11-00275	須恵器甕体部	1	150	
6	11-00344	磨石	1	252	

8-3-204号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00276	土師器甕体部	1	9	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00277	土師器甕体部	2	10	古墳時代前期中心

8-3-204号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00278	土師器甕体部	1	10	古墳時代前期中心
2	11-00279	土師器台付甕体部	1	6	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00280	土師器甕体部	3	18	古墳時代前期中心

8-3-205号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00281	土師器甕体部	1	40	古墳時代前期中心

遺物一覧

8-3-206号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	11-00154	土師器高坏	残存径 5.8 残高 4.7	坏底部-脚部上位。脚部三方に内孔の透かし。底部内面と脚部外面直置き。脚部内面直置き	3世紀末葉	表30図	P.L.23

8-3-209号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00822	土師器壺口縁部	1	18	古墳時代前期中心	3	11-00824	土師器台付甕体部	1	12	古墳時代前期中心
2	11-00823	土師器甕体部	1	7	古墳時代前期中心						

8-3-210号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00825	土師器壺口縁部	4	29	古墳時代前期中心	2	11-00826	土師器甕体部	10	128	古墳時代前期中心

8-3-211号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	11-00155	土師器高坏	口径 7.6 残高 5.4	坏-脚部上位。脚部三方に内孔の透かし。坏口縁部直置きで、坏体一定部内外面と脚部外面直置き。脚部内面直置き	3世紀末葉	表31図	P.L.23

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00827	土師器壺口縁部	4	163	古墳時代前期中心	5	11-00840	土師器台付甕体部	20	96	古墳時代前期中心
3	11-00828	土師器甕体部	51	240	古墳時代前期中心	6	11-00841	土師器甕体部	16	128	古墳時代前期中心
4	11-00829	土師器台付壺口縁部	3	16	古墳時代前期中心	7	11-00842	埴土甕底底部	2	140	

8-3-212号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	11-00156	土師器甕台	残存径 6.3 残高 5.5	受皿底部-脚部上位。器底中央部へ。脚部三方に円形の透かし。受皿底部に径5mmの穿孔。脚部外面直置きで、内面直置き	3世紀末葉	表27図	P.L.23
2	11-00157	土師器高坏	残存径 8.4 残高 7.4	坏底部-脚部上位。脚部三方に径12mmの内孔の透かし。底部内外面と脚部外面直置き。脚部内面直置き	3世紀末葉	表27図	P.L.23

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00843	土師器高坏脚部	5	190	古墳時代前期中心	8	11-00848	土師器台付甕脚部	2	25	古墳時代前期中心
4	11-00844	土師器壺口縁部	2	8	古墳時代前期中心	9	11-00849	土師器壺口縁部	3	50	古墳時代前期中心
5	11-00845	土師器甕体部	22	92	古墳時代前期中心	10	11-00850	土師器甕体部	23	210	古墳時代前期中心
6	11-00846	土師器甕底部	2	99	古墳時代前期中心	11	11-00851	土師器甕底部	2	48	古墳時代前期中心
7	11-00847	土師器台付甕体部	5	26	古墳時代前期中心						

8-3-220号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00852	土師器甕体部	1	15	古墳時代前期中心	1	11-00853	土師器甕体部	1	10	古墳時代前期中心

8-3-221号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00853	土師器甕体部	1	10	古墳時代前期中心

8-3-232号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00854	土師器甕底部	2	75	古墳時代前期中心

8区西部3区遺構外出土遺物

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
	350-840グリップ					7	11-00879	土師器壺口縁部	1	3	古墳時代前期中心
1	11-00871	土師器甕体部	5	12	古墳時代前期中心	8	11-00920	土師器壺口縁部	7	145	古墳時代前期中心
2	11-00874	土師器台付壺口縁部	1	3	古墳時代前期中心	9	11-00921	土師器台付甕体部	24	45	古墳時代前期中心
3	11-00875	土師器台付甕底-脚部	1	10	古墳時代前期中心	10	11-00922	土師器壺口縁部	1	3	古墳時代前期中心
4	11-00876	土師器甕体部	1	5	古墳時代前期中心	11	11-00923	土師器甕体部	1	2	古墳時代前期中心
5	11-00877	土師器甕体部	3	3	平安時代中心	12	11-00924	土師器壺口縁部	1	3	平安時代中心
	350-845グリップ										
6	11-00878	土師器壺口縁部	1	3	古墳時代前期中心	13	11-00875	土師器甕体部	11	10	平安時代中心

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
	340-840 グリッド				
14	11-00926	土師器薬口縁部	1	8	古墳時代前期中心
15	11-00927	土師器壺体部	8	47	古墳時代前期中心
16	11-00928	土師器台付壺体部	3	18	古墳時代前期中心
17	11-00929	土師器薬口縁部	1	12	古墳時代前期中心
18	11-00930	土師器壺体部	2	35	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
	290-990 グリッド				
19	11-00931	土師器壺体部	1	9	古墳時代前期中心
	205-095 グリッド				
20	11-00932	土師器环口縁部	1	6	平安時代中心
21	11-00933	土師器杯状部	2	8	平安時代中心

遺物一覧

B区東部

B区4号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・形態・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00100	須恵器高台付碗	口径 13.6 高台径 6.5 器高 6.2	2/4. 還元焙焼成でやや軟質。片刃直入か。洗滌輪痕跡で器底ほど多くみえる。片刃直入か。右回転軸輪整形。底面高台盛り付け痕跡で。	10世紀後半	第37図	P.156
2	10-00100	須恵器高台付碗	口径 14.2 高径 7.0 器高 4.4	口径14欠損。還元焙焼成でやや軟質。片刃直入。右回転軸輪整形。底面高台盛り付け痕跡で。一部みくれる。	10世紀後半	第37図	P.156
3	40-00401	鉄具部品	幅 1.4 厚み 0.55 長さ 2.5	留金の部品。丁字羽を成し。前面は縦溝部分は長方形をなし。横溝部分は長方形を呈する。	第37図		P.156

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土					
4	11-00505	土師器壺体部	18	95	古墳時代前期中心
5	11-00506	土師器台付壺体部	2	13	古墳時代前期中心
6	11-00507	土師器甕口縁部	4	12	古墳時代前期中心
7	11-00508	土師器甕体部	12	50	古墳時代前期中心
8	11-00509	土師器甕口縁部	1	8	古墳時代
9	11-00510	土師器環口縁部	11	35	平安時代中心
10	11-00511	土師器環口縁部	55	180	平安時代中心
11	11-00512	土師器環口縁部	17	120	平安時代中心
12	11-00513	土師器壺体部	75	250	平安時代中心
13	11-00514	須恵器環口縁部	14	85	
14	11-00515	須恵器高台付碗体部	22	50	
15	11-00516	須恵器高台付碗体部	5	80	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土					
16	11-00507	須恵器甕口縁部	1	10	
17	11-00509	須恵器甕口縁部	1	3	
甕り方					
18	11-00507	土師器壺体部	1	10	古墳時代前期中心
19	11-00580	土師器環口縁部	1	20	平安時代中心
貯蔵穴11-000000					
20	11-00580	土師器環口縁部	2	12	平安時代中心
21	11-00582	土師器環口縁部	2	5	平安時代中心
22	11-00583	土師器環口縁部	2	5	平安時代中心
23	11-00586	土師器壺体部	1	8	平安時代中心
24	11-00585	土師器壺体部	4	20	平安時代中心

B区5号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・形態・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00100	須恵器環	口径 12.7 高径 3.7 器高 3.6	口径14欠損。還元焙焼成。右回転軸輪整形。底面高台盛り付け痕跡。	9世紀後半	第38図	P.156
2	10-00101	須恵器高台付碗	口径13.5 高台径 6.4 器高 5.3	1/4. 還元焙焼成。右回転軸輪整形。底面高台盛り付け痕跡で。	9世紀後半	第38図	P.156
3	10-00102	須恵器高台付碗	口径15.2 高台径18.0 器高 5.7	1/4. 還元焙焼成。軟質。左回転軸輪整形。底面高台盛り付け痕跡で。	9世紀後半	第38図	P.156
4	10-00103	須恵器破	口径27.6 残高 16.7	口径一部欠損。還元焙焼成。軸輪整形。右回転軸輪整形。片刃付	9世紀後半。器底部分に割れ込みあり	第38図	P.156
5	10-00104	土師	径 1.8×1.7 残長 4.2	上下両端欠損。縦位に径×4mmの貫通孔。表面磨削で。		第38図	P.156
6	20-00503	磨石	径 10.5×13.3 厚み 4.9	河原産使用。上下両端と側面に取付痕。底面に磨削面残る	石質閃緑岩	第38図	P.156

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
7	11-00586	土師器高台部	1	15	古墳時代前期中心
8	11-00587	土師器壺体部	11	70	古墳時代前期中心
9	11-00588	土師器壺底部	1	20	古墳時代前期中心
10	11-00589	土師器甕体部	10	120	古墳時代前期中心
11	11-00590	土師器環口縁部	22	80	平安時代中心
12	11-00591	須恵器環口縁部	3	10	
13	11-00592	須恵器環口縁部	2	15	
14	11-00593	須恵器環口縁部	15	50	
15	11-00594	須恵器高台付碗体部	28	80	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
16	11-00595	須恵器環口縁部	10	150	
17	11-00596	土師器環口縁部	61	260	平安時代中心
18	11-00597	土師器甕口縁部	16	140	平安時代中心
19	11-00598	土師器壺体部	70	190	平安時代中心
20	11-00599	土師器壺底部	2	50	平安時代中心
21	11-00600	須恵器壺体部	8	250	
22	11-00601	須恵器目取口縁部	2	120	
23	11-00602	須恵器目取口縁部	2	15	
24	11-00603	須恵器壺体部	3	30	

B区6号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・形態・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	40-00402	刀子	径 0.8×1.6 残長 7.7	柄部短欠損。研身		第39図	P.156

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00610	土師器壺体部	2	10	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00610	土師器環口縁部	2	5	平安時代中心

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-005106	土器器坏一底部	4	20	平安時代中心
5	11-005107	土器器坏口縁部	3	20	平安時代中心
6	11-005108	土器器坏底部	7	40	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
7	11-005109	須恵器坏、胴口縁部	1	12	
8	11-005110	須恵器坏、胴体一底部	3	30	
9	11-005111	須恵器器坏体	1	45	

8区6、11号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値(cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	20-000984	こも礫み石	径 5.4×2.4 残長 7.8	河床層使用。中位に帯状の磨耗痕		巻39図	P L 56

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-005112	土器器坏口縁部	2	25	古墳時代前期中心
3	11-005113	土器器坏口縁部	1	12	古墳時代前期中心
4	11-005114	土器器坏体部	11	70	古墳時代前期中心
5	11-005115	土器器坏台付口縁部	1	10	古墳時代前期中心
6	11-005116	土器器坏台付底部	1	25	古墳時代前期中心
7	11-005117	土器器坏口縁部	1	5	古墳時代前期中心
8	11-005118	土器器坏体部	4	25	古墳時代前期中心
9	11-005119	土器器坏口縁部	13	30	平安時代中心
10	11-005120	土器器坏一底部	101	370	平安時代中心
11	11-005121	土器器坏口縁部	22	145	平安時代中心
12	11-005122	土器器坏体部	90	330	平安時代中心
13	11-005123	土器器坏台付体部	1	15	平安時代中心
14	11-005124	須恵器坏、胴口縁部	21	100	
15	11-005125	須恵器坏、胴体部	35	110	
16	11-005126	須恵器坏、胴体一高台部	11	300	
17	11-005127	須恵器器坏口縁部	1	10	酸化
18	11-005128	須恵器器坏台付底部	5	75	酸化

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
19	11-005129	須恵器器坏口縁部	1	30	
20	11-005130	須恵器器坏体部	12	275	
21	11-005131	須恵器器坏口縁部	1	20	
22	11-005132	須恵器器坏口縁部	1	5	
23	11-005133	須恵器器坏口縁部	1	5	
24	11-005134	須恵器器坏口縁部	2	10	
25	11-005135	須恵器器坏体部	5	12	
26	11-005136	須恵器器坏一高台部	1	5	
27	11-005137	須恵器器坏体部	1	20	
籠					
28	11-005138	土器器坏口縁部	2	10	平安時代中心
29	11-005139	土器器坏体部	3	10	平安時代中心
30	11-005140	土器器坏体部	4	10	平安時代中心
31	11-005141	土器器坏底部	2	26	平安時代中心
32	11-005142	須恵器器坏、胴口縁部	1	5	
33	11-005143	須恵器器坏体部	2	40	
34	11-005144	須恵器	1	5	

8区7号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値(cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-001085	土器器坏	口径 13.1 器高 3.2	口縁一部欠損。口縁部狭く、体一底部部内面煎焼痕及びびり痕で、外部外面煎焼で、底面煎焼有り	8世紀前半	巻41図	P L 56
2	10-001086	土器器坏	口径(12.8) 器高 3.0	1.口縁部狭く、体一底部部内面煎焼痕で、外部外面煎焼で、底面煎焼有り	8世紀前半	巻41図	P L 56
3	10-000595	磁石	径 5.5×2.4 長さ 12.2	河床層使用。上下端に磨打痕。中位に帯状の磨耗痕を帯びて残る	石炭炭層付こも礫み石に転用	巻41図	P L 56
4	10-000596	磁石	残存 5.2×2.4×10.3	河床層使用。裏面と下位欠損。上端に磨打痕。中位に帯状の磨耗痕を帯びて残る	巻41図石炭炭層付こも礫み石に転用	巻41図	P L 56
5	10-000597	磁石	径 5.7×3.8 残長 6.8	河床層使用。上端に磨打痕。表面に研磨痕。注意に帯状の磨耗痕を帯びて残る	巻41図石炭炭層付こも礫み石に転用	巻41図	P L 56

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土					
6	11-005145	土器器坏口縁部	1	3	古墳時代前期中心
7	11-005146	土器器坏体部	6	20	古墳時代前期中心
8	11-005147	土器器坏台付体部	1	2	古墳時代前期中心
9	11-005148	土器器坏口縁部	1	10	古墳時代前期中心
10	11-005149	土器器坏口縁部	3	35	奈良時代
11	11-005150	土器器坏口縁部	8	35	平安時代中心
12	11-005151	土器器坏体部	24	80	平安時代中心
13	11-005152	土器器坏口縁部	1	40	平安時代中心
14	11-005153	土器器坏体部	44	100	平安時代中心
15	11-005154	土器器坏体部	1	20	平安時代中心
16	11-005155	須恵器器坏、胴口縁部	5	10	
17	11-005156	須恵器器坏、胴体部	7	20	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土					
18	11-005157	須恵器器坏一高台部	8	148	酸化
19	11-005158	須恵器器坏口縁部	1	10	
20	11-005159	須恵器器坏体部	1	12	
21	11-005160	須恵器器坏口縁部	1	10	
22	11-005161	須恵器器坏一高台部	1	10	
籠					
23	11-005162	土器器坏体部	2	8	古墳時代前期中心
24	11-005163	土器器坏体部	2	3	平安時代中心
籠り方					
25	11-005164	土器器坏台付体部	1	3	古墳時代前期中心
26	11-005165	土器器坏体部	3	3	平安時代中心
27	11-005166	土器器坏体部	3	10	平安時代中心

8区8号住居

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土					
1	11-005167	土器器坏体部	11	40	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土					
2	11-005168	土器器坏体部	6	80	古墳時代前期中心

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上					
3	11-005169	土師器環口縁部	4	10	平安時代中心
4	11-005170	土師器環底部	32	70	平安時代中心
5	11-005171	土師器環口縁部	24	80	平安時代中心
6	11-005172	土師器環口縁部	1	5	平安時代中心
7	11-005173	須恵器環、口縁部	3	12	
8	11-005174	須恵器環、胴体部	3	10	
9	11-005175	須恵器環、胴底一高台部	1	20	
10	11-005176	須恵器環、胴底部	1	25	
掘り方					
11	11-005177	土師器甕体部	2	10	古墳時代前期中心
12	11-005178	土師器台付甕体部	2	10	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
掘り方					
13	11-005179	土師器環口縁部	2	10	平安時代中心
14	11-005180	土師器環底部	8	35	平安時代中心
15	11-005181	土師器環口縁部	1	10	平安時代中心
16	11-005182	土師器甕体部	6	12	平安時代中心
17	11-005183	須恵器環、胴底部	1	20	
甕					
18	11-005184	土師器台付甕口縁部	1	10	古墳時代前期中心
19	11-005185	土師器環底部	3	5	平安時代中心
20	11-005186	土師器甕体部	2	3	平安時代中心
21	11-005187	土師器甕口縁部	1	3	平安時代中心
22	11-005188	須恵器環、胴高台部	1	5	
23	11-005189	須恵器環、胴体部	1	5	

8区9号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図取番号
1	10-001047	須恵器環	口径(12.5) 底径 6.2 器高 3.7	1/2、還元焼成。右回転軸輪整形。底面未切り底残る	9世紀後半	第43図	P L 56
2	10-001048	土師器甕	器口縁(20.6) 器高(14.4)	口縁一部1/4、口縁部欠損。口縁縁部で、内部内面施釉で、外面施釉有り	7世紀	第43図	P L 57
3	10-001049	須恵器甕	底径(15.2) 器高 7.2	腰一底部片	7世紀	第43図	P L 57
4	10-001050	土師器脚	脚径 9.4 脚高 2.4	器種不明の脚部1/6、内面上位施釉で、外面と中下位内面施釉	古墳時代か	第43図	P L 57
5	20-000508	磨石	径 7.0×4.7 厚さ(19.7)	河原産使用。表面上位、裏面、右側面に研削面残る	ひん岩	第44図	P L 57

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上					
6	11-005190	土師器高台脚部	3	70	古墳時代前期中心
7	11-005191	土師器甕口縁部	3	20	古墳時代前期中心
8	11-005192	土師器甕口縁部	4	45	古墳時代前期中心
9	11-005193	土師器甕体部	56	280	古墳時代前期中心
10	11-005194	土師器台付甕口縁部	2	10	古墳時代前期中心
11	11-005195	土師器台付甕体部	7	20	古墳時代前期中心
12	11-005196	土師器甕口縁部	1	3	古墳時代前期中心
13	11-005197	土師器甕体部	9	123	古墳時代前期中心
14	11-005198	土師器甕底部	2	50	古墳時代前期中心
15	11-005199	土師器脚部	1	25	古墳時代前期中心
16	11-005200	土師器環口縁部	42	100	平安時代中心
17	11-005201	土師器環底部	131	350	平安時代中心
18	11-005202	土師器甕口縁部	26	110	平安時代中心
19	11-005203	土師器甕体部	136	350	平安時代中心
20	11-005204	土師器甕底部	1	10	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上					
21	11-005205	須恵器環、胴底部	2	20	
22	11-005206	須恵器環、口縁部	11	55	
23	11-005207	須恵器環、胴体部	41	105	
24	11-005208	須恵器環、胴底一高台部	11	205	
25	11-005209	須恵器甕口縁部	2	10	酸化
26	11-005210	須恵器甕体部	2	10	酸化
27	11-005211	須恵器甕底部	5	55	酸化
28	11-005212	須恵器甕体部	6	190	
29	11-005213	須恵器甕口縁部	2	10	
30	11-005214	須恵器甕体部	1	90	
甕					
31	11-005215	土師器環底部	1	3	平安時代中心
32	11-005216	土師器甕口縁部	1	5	平安時代中心
33	11-005217	土師器甕体部	10	30	平安時代中心

8区10号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図取番号
1	10-000201	土師器甕	口径(18.0) 器高 8.7	口縁一部1/4、コ字状口縁。口縁縁部で、内部内面施釉で一部施釉で、外面施釉有り	9世紀後半	第46図	P L 57
2	10-000202	土師器甕	口径 12.8 器高 8.5	口縁一部。口縁縁部で。内部内面施釉で、外面施釉有り	6世紀後半	第46図	P L 57
3	10-000203	須恵器高台付甕	口径 13.0 底径 6.9 器高(高台) 4.8	口縁一部と高台部欠損。概ね還元焼成だが酸化焼成域部分有り。右回転軸輪整形。底面未切り底残る	10世紀前半	第46図	P L 57
4	10-000204	須恵器高台付甕	口径 13.0 高台径 6.9 器高 4.9	口縁1/3欠損。還元焼成。右回転軸輪整形。底面未切り。高台貼り付け後高台台へのみ施で	10世紀前半	第46図	P L 57
5	10-000205	須恵器高台付甕	口径(13.7) 高台径 6.9 器高 5.1	口縁一部1/4。前後にやや扁平。還元焼成域で内外面施釉が施。右回転軸輪整形。底面未切り。高台貼り付け時台のみ施で	10世紀前半	第46図	P L 57
6	10-000206	須恵器高台付甕	高台径 6.8 器高 3.5	口縁一部部欠損。還元焼成で内外面施釉が施。右回転軸輪整形。底面未切り。高台貼り付け時台のみ施で	9世紀末～10世紀前半	第46図	P L 57

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
7	10-00167	須恵器高台付碗	口径(13.0) 高台径 6.7 器高 3.2	1/2. 胎化焼成済。右回転軸輪彫り。底部内面凹溝で、表面糸切り痕跡台高り付け時高台に近いみ溝で	10世紀前半	第46図	P. L.57
8	10-00168	須恵器高台付碗	口径(13.0) 高台径 7.3 器高 3.3	1/3. 内面磨製。胎化焼成済。右回転軸輪彫り。底部高台高り付け時高台	10世紀中～後葉	第46図	P. L.57
9	10-00169	須恵器鉢	口径(14.6) 底径(7.5) 器高 2.5	1/3. 還元焼成済でやや黒ずむ。右回転軸輪彫り。底面脚輪糸切り	10世紀前半	第46図	P. L.57
10	10-00170	須恵器高台付蓋	口径 11.4 高台径 4.9 器高 2.5	口縁一帯と高台内縁、還元焼成済。右回転軸輪彫り。底面糸切り。高台高り付け時高台に近いみ溝で	9世紀中葉	第46図	P. L.57
11	10-00181	須恵器碗	底径 5.7 器高 3.6	体一皮部。還元焼成済。右回転軸輪彫り。体部内面凹溝でもあり。底部切り差し痕跡あり。外周凹溝で	10世紀前半	第46図	P. L.57
12	10-00182	灰釉陶器碗	口径(12.2) 高台径 7.4 器高 5.1	1/2. 内面に黒心色の染付痕跡。右回転軸輪彫り。釉やや白濁。表面高台高り付け時高台	9世紀後半 黒心式版式	第46図	P. L.57
13	10-00183	土師	径 2.0×1.9 長さ 3.9	定形に乏しい。磨製。径3mmの紐位の貫通孔。表面凹溝で	第46図	P. L.58	
14	10-00184	土師器台付甕	口径(11.9) 器高 5.5	3/3. 口縁一帯は1/4。S字状口縁。口縁輪彫り。内面凹溝で。外部縦目目	3世紀末～3世紀	第46図	P. L.58
15	10-00185	土師器缶	口径(10.0) 底径 4.6 器高 6.0	3/4. 台付蓋脚部状の形跡を呈する。外面細かい縦目目後中・下部凹溝で。外部内面粗目。内面凹溝で	3世紀末～4世紀	第46図	P. L.58
16	10-00186	土師器甕	口径(16.2) 器高6.8	口縁一帯は磨製。口縁外側に捻れ移動による捻れ状の痕跡。口縁輪彫り。外部内面粗目。内面凹溝で	第46図	P. L.58	
17	20-00059	磨石	幅 7.2 残長 5.6 厚 2.7	河原産磨用。下半欠損。表面磨然し。鉄物ものゝ磨き突痕を	壱岐郡石山山荘	第46図	P. L.58
18	10-00181	鎌	幅 4.0 長さ 14.8 厚 0.4	先端部欠損の可能性。研り返し有り。身は湾曲する	京対鎌か	第46図	P. L.58
19	10-00188	土師器蓋	径6.0 厚 0.3	体部破片。甕の粘質土付着	9世紀頃か	—	P. L.58
20	10-00043	鉄漆	径 4.2×4.1×2.3	鉄分比較的多し	—	—	P. L.58

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
版上					
21	11-005216	土師器蓋口縁部	10	90	古墳時代前期中心
22	11-005219	土師器蓋体部	65	470	古墳時代前期中心
23	11-005220	土師器蓋底部	3	30	古墳時代前期中心
24	11-005221	土師器台付甕口縁部	1	10	古墳時代前期中心
25	11-005222	土師器台付甕体部	1	8	古墳時代前期中心
26	11-005223	土師器台付甕底部	2	20	古墳時代前期中心
27	11-005224	土師器甕体部	13	120	古墳時代前期中心
28	11-005225	土師器蓋底部	1	8	古墳時代前期中心
29	11-005226	土師器環口縁部	60	190	平安時代中心
30	11-005227	土師器環体部	164	490	平安時代中心
31	11-005228	土師器環口縁部	67	400	平安時代中心
32	11-005229	土師器甕体部	272	840	平安時代中心
33	11-005230	土師器甕底部	4	20	平安時代中心
34	11-005231	土師器甕体部	5	10	平安時代中心(土付着)
35	11-005232	土師器小甕頸口縁部	1	30	平安時代中心
36	11-005233	須恵器環口縁部	35	140	
37	11-005234	須恵器環体部	39	80	
38	11-005235	須恵器環口縁部	14	180	
39	11-005236	須恵器環口縁部	4	45	胎化
40	11-005237	須恵器甕体部	1	3	胎化
41	11-005238	須恵器甕体部	3	30	胎化
42	11-005239	須恵器高台付碗	4	75	
43	11-005240	須恵器甕体部	8	150	
版り方一括					
44	11-005241	土師器蓋口縁部	2	7	古墳時代前期中心
45	11-005242	土師器甕体部	6	30	古墳時代前期中心
46	11-005243	土師器台付甕体部	1	5	古墳時代前期中心
47	11-005244	土師器甕体部	3	10	古墳時代前期中心
48	11-005245	土師器環口縁部	12	28	平安時代中心
49	11-005246	土師器環体部	18	60	平安時代中心
50	11-005247	土師器甕体部	2	5	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
版り方一括					
51	11-005248	土師器甕体部	35	155	平安時代中心
52	11-005249	土師器甕体部	2	12	平安時代中心
53	11-005250	須恵器環口縁部	5	10	
54	11-005251	須恵器環口縁部	2	10	
55	11-005252	須恵器甕体部	1	10	胎化
版下土坑					
56	11-005253	土師器環体部	1	2	平安時代中心
57	11-005254	土師器甕体部	4	5	平安時代中心
58	11-005255	須恵器環口縁部	2	5	
59	11-005256	須恵器甕体部	1	8	
版					
60	11-005257	土師器甕体部	2	10	古墳時代前期中心
61	11-005258	土師器甕体部	1	5	古墳時代前期中心
62	11-005259	土師器環口縁部	5	20	平安時代中心
63	11-005260	土師器環体部	9	30	平安時代中心
64	11-005261	土師器甕体部	3	30	平安時代中心
65	11-005262	須恵器甕体部	25	200	平安時代中心
66	11-005263	土師器甕体部	5	40	平安時代中心
67	11-005264	須恵器環口縁部	1	10	
68	11-005265	須恵器環口縁部	3	20	
69	11-005266	須恵器甕体部	1	5	胎化
70	11-005267	須恵器甕体部	1	5	
71	11-005268	甕(平子)体部	1	3	
版貯穴					
72	11-005269	土師器台付甕体部	1	3	古墳時代前期中心
73	11-005270	土師器環口縁部	4	30	平安時代中心
74	11-005271	土師器環体部	7	30	平安時代中心
75	11-005272	土師器甕体部	1	3	平安時代中心
76	11-005273	土師器甕体部	12	40	平安時代中心
77	11-005274	須恵器環口縁部	2	10	
78	11-005275	須恵器環口縁部	3	10	

遺物一覧

8区11号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00109	土師器壺	口径(11.2) 底径 7.0 器高(18.3)	1/4. 器面光れる。口径縁で、底部側に上打区。体内外側と底部内面磨面で、底面無で、上打底部無で	3世紀末葉	第28図	P.158
2	30-00546	磁石	径 5.4×2.2 残長 7.3	表裏左右側面が磨面形成。表裏方向5mm、左右側方向に25mmの磨面による磨面見られる。上端に斜状の破損	紀元石	第39図	P.158

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00276	土師器壺口縁部	1	5	古墳時代前期中心	11	11-00534	土師器壺底部	1	20	平安時代中心
4	11-00277	土師器壺腹部	13	85	古墳時代前期中心	12	11-00535	須恵器杯、胴口縁部	3	20	
5	11-00278	土師器台付壺口縁部	1	15	古墳時代前期中心	13	11-00536	須恵器杯、高台付縁部	2	10	酸化
6	11-00279	土師器壺腹部	6	50	古墳時代前期中心	14	11-00537	須恵器杯、胴底一高台部	3	30	
7	11-00280	土師器杯口縁部	1	3	平安時代中心	15	11-00538	須恵器碗底一高台部	2	20	酸化
8	11-00281	土師器杯腹部	7	20	平安時代中心	16	11-00539	須恵器壺腹部	3	80	
9	11-00282	土師器壺口縁部	4	50	平安時代中心	17	11-00520	灰陶器壺口縁部	2	5	
10	11-00283	土師器壺腹部	15	130	平安時代中心						

8区12号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00403	須恵器杯	口径 13.7 底径 9.6 器高 3.9	口縁一部欠損。還元焙焼成だが白粉面から。右回転軸縁整形。底面回転未切り直残る	8世紀末葉～9世紀	第47図	P.158
2	10-00404	須恵器杯	口径(13.7) 底径(6.3) 器高 4.4	1/2. 還元焙焼成だが白粉面から。右回転軸縁整形。底面回転未切り直残る	9世紀前半	第47図	P.158
3	10-00402	須恵器高台付碗	口径(16.4) 底径 7.8 残高(杯部器高) 5.9	1/3. 還元焙焼成だが白粉面から。外面凹凸による黒色処理。右回転軸縁整形。底面高台付切り付け時の無で	9世紀前半～中葉	第48図	P.158
4	10-00401	須恵器銚	口径 6.0 底径 4.7	空形。還元焙焼成で硬質。右回転軸縁整形。底面回転無調整	8世紀中葉 埼玉北企業	第48図	P.158
5	10-00404	土師器壺	口径(16.4) 底径 7.8 残高(杯部器高) 5.9	口縁1/4～1/3部一部。口径縁無で。肩部内面磨面で。外側高台部	6世紀後半	第48図	P.158
6	20-00511	磁石(こもろみ石)	径 6.2×4.2 長さ 12.6	縁部の河津磨使用。上下両面に砥打痕。中位に横状の磨利直残る	石炭四縁石	第48図	P.158

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土						床土					
7	11-00291	土師器杯口縁部	4	17	古墳時代前期中心	20	11-00534	須恵器杯、胴腹部	24	80	
8	11-00292	土師器壺口縁部	1	10	古墳時代前期中心	21	11-00535	須恵器杯、胴底一高台部	5	90	
9	11-00293	土師器壺腹部	16	90	古墳時代前期中心	22	11-00536	須恵器杯口縁部	1	10	酸化
10	11-00294	土師器台付壺腹部	8	30	古墳時代前期中心	23	11-00537	須恵器壺腹部	1	3	酸化
11	11-00295	土師器台付壺頸部	1	5	古墳時代前期中心	24	11-00538	須恵器碗底一高台部	3	135	酸化
12	11-00296	土師器壺口縁部	1	3	古墳時代前期中心	25	11-00539	須恵器壺腹部	7	240	酸化
13	11-00297	土師器壺腹部	5	30	古墳時代前期中心	26	11-00520	灰陶器壺腹部	2	5	
14	11-00298	土師器杯口縁部	25	135	平安時代中心	27	11-00531	須恵器杯	5	80	
15	11-00299	土師器杯腹部	76	220	平安時代中心	電					
16	11-00300	土師器壺口縁部	17	100	平安時代中心	28	11-00532	土師器杯口縁部	1	10	平安時代中心
17	11-00301	土師器壺腹部	98	490	平安時代中心	29	11-00533	土師器壺腹部	1	5	平安時代中心
18	11-00302	土師器壺底部	2	20	平安時代中心	30	11-00534	須恵器杯、胴腹部	2	3	
19	11-00303	須恵器杯、胴口縁部	18	100							

8区13号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00145	須恵器高台付碗	口径(14.5) 底径 7.0 器高 5.1	2/3. 片岩挿入。半ば酸化焙焼成。右回転軸縁整形。底面高台付切り付け時に換	10世紀前半	第49図	P.158
2	10-00146	須恵器高台付碗	口径 13.5 底径 6.6 器高 5.3	ほぼ空形。還元焙焼成。左右にやや扁平される。右回転軸縁整形。底面回転未切り付け時に換	10世紀前半	第49図	P.158
3	30-00012	磁石	残存 2.9×1.5×8.5	欠損品。表面と右側面に磨面形成。ら。上端きられて磨面跡残る	戸沢石	第49図	P.158
4	40-00064	鉄(釘)	残存 2.8×2.5×8.5	志願・裏面・下位欠損。上端に切面痕。表面と左側面に磨面		第49図	P.158

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
覆土					
5	11-06515	土師器台底部	1	10	古墳時代前期中心
6	11-06516	土師器台口縁部	1	5	古墳時代前期中心
7	11-06517	土師器輪弁部	1	20	古墳時代前期中心
8	11-06518	土師器高斗脚部	2	45	古墳時代前期中心
9	11-06519	土師器密口縁部	2	8	古墳時代前期中心
10	11-06520	土師器臺底部	31	200	古墳時代前期中心
11	11-06521	土師器密口縁部	1	10	古墳時代前期中心
12	11-06522	土師器臺底部	17	100	古墳時代前期中心
13	11-06523	土師器臺底部	1	25	古墳時代前期中心
14	11-06524	土師器台付壺口縁部	1	5	古墳時代前期中心
15	11-06525	土師器台付壺底部	16	80	古墳時代前期中心
16	11-06526	土師器台付壺脚部	1	5	古墳時代前期中心
17	11-06527	土師器環底部	64	210	平安時代中心
18	11-06528	土師器環口縁部	17	70	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
覆土					
19	11-06529	土師器輪弁部	7	40	平安時代中心
20	11-06530	土師器密口縁部	27	95	平安時代中心
21	11-06531	土師器臺底部	39	150	平安時代中心
22	11-06532	土師器臺底部	1	60	平安時代中心
23	11-06533	須恵器環、碗底-高台部	6	95	
24	11-06534	須恵器碗底部	1	5	酸化
25	11-06535	須恵器臺底部	3	70	
26	11-06536	灰輪陶器輪弁部	1	8	
27	11-06537	灰輪陶器碗底-高台部	2	30	
壺					
28	11-06538	土師器台付壺底部	1	2	古墳時代前期中心
29	11-06539	土師器環底部	5	10	平安時代中心
30	11-06540	土師器臺底部	1	3	平安時代中心

8区14号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (m)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-08107	土師器環	口径(11.9) 底径 6.8 器高 3.9	2/3. 口縁僅微で、体一底部内面僅微で、外部外面と底面無磨り	10世紀前半	第50図	P L 59
2	10-08108	土師器環	口径(12.5) 底径 7.5 器高 4.1	1/2. 口縁僅微で、体一底部内面僅微で、外部外面僅微で、底面全面びび磨り	10世紀前半	第50図	P L 59
3	10-08109	須恵器高台付壺	高台径 6.9 高さ 3.2	唇一高台1/4. 部分的に酸化塩生成。右回軸轆轤形。底面回転糸切り痕有り。高台転り付け時に高台沿いに磨で	10世紀前半	第50図	P L 59
4	10-08109	灰輪陶器壺	口径(14.2) 高台径(7.4) 器高 2.8	2/3. 口縁一高台部1/3. 右回軸轆轤形	9世紀後半以降 光沢あり	第50図	P L 59
5	10-08101	須恵器碗	残存 5.4×4.5 厚 0.5	口縁一底部破片。還元釉施成。右回軸轆轤形。内面に「王」(少)の刻印	10世紀	第50図	P L 59

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
壺上					
6	11-06541	土師器高斗脚部	1	8	古墳時代前期中心
7	11-06542	土師器密口縁部	3	40	古墳時代前期中心
8	11-06543	土師器臺底部	38	185	古墳時代前期中心
9	11-06544	土師器臺底部	1	20	古墳時代前期中心
10	11-06545	土師器台付壺底部	29	119	古墳時代前期中心
11	11-06546	土師器密口縁部	1	3	古墳時代前期中心
12	11-06547	土師器臺底部	16	100	古墳時代前期中心
13	11-06548	土師器環口縁部	31	160	平安時代中心
14	11-06549	土師器環底部	177	660	平安時代中心
15	11-06550	土師器密口縁部	31	230	平安時代中心
16	11-06551	土師器臺底部	160	620	平安時代中心
17	11-06552	土師器臺底部	3	20	平安時代中心
18	11-06553	須恵器環、密口縁部	49	220	
19	11-06554	須恵器環、輪弁部	45	110	
20	11-06555	須恵器環、碗底-高台部	19	310	
21	11-06556	須恵器密口縁部	8	60	酸化
22	11-06557	須恵器碗底-高台部	11	245	酸化
23	11-06558	須恵器臺底部	4	80	
24	11-06559	須恵器口縁一側部	1	60	酸化
25	11-06560	灰輪陶器密口縁部	3	30	
26	11-06561	灰輪陶器輪弁部	5	30	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
壺下方					
27	11-06562	土師器台付壺底部	1	2	古墳時代前期中心
28	11-06563	土師器輪弁部	2	20	古墳時代前期中心
29	11-06564	土師器環口縁部	2	3	平安時代中心
30	11-06565	土師器環底部	7	20	平安時代中心
31	11-06566	土師器臺底部	3	15	平安時代中心
32	11-06567	須恵器環、密口縁部	2	18	
33	11-06568	須恵器環、輪弁部	1	3	
34	11-06569	須恵器環、碗底-高台部	1	20	
壺					
35	11-06570	土師器臺底部	1	2	古墳時代前期中心
36	11-06571	土師器環底部	2	5	平安時代中心
37	11-06572	土師器密口縁部	2	70	平安時代中心
38	11-06573	土師器臺底部	2	30	平安時代中心
貯蔵穴					
39	11-06574	土師器環底部	1	3	平安時代中心
40	11-06575	土師器臺底部	1	5	平安時代中心
41	11-06576	須恵器環、密口縁部	2	25	
42	11-06577	須恵器環、輪弁部	2	8	
43	11-06578	須恵器環	1	2	

遺物一覧

8区15号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00152	須恵器碗	残存 4.0×4.6 厚 0.6	钵部破片、酸化塩沈成。右回転軸輪彫形。内面に「吉」字の裏彫	10世紀	第51図	P.L.59
2	10-00153	羽釜	口径26.9 残高 12.6	口縁一部破片。酸化塩沈成。口縁外縁、断面三角。肩下部に瓦による押さえ痕残	10世紀後半	第51図	P.L.59

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
棟上					
3	11-005379	土師器輪口線部	1	3	古墳時代前期中心
4	11-005380	土師器腹口線部	20	88	古墳時代前期中心
5	11-005381	土師器胴体部	27	140	古墳時代前期中心
6	11-005382	土師器肩部	1	50	古墳時代前期中心
7	11-005383	土師器台付腰部	8	20	古墳時代前期中心
8	11-005384	土師器腹口線部	2	28	古墳時代前期中心
9	11-005385	土師器胴体部	8	50	古墳時代前期中心
10	11-005386	土師器腹口線部	30	60	平安時代中心
11	11-005387	土師器輪口線部	2	10	平安時代中心
12	11-005388	土師器環底部	105	310	平安時代中心
13	11-005389	土師器腰部	62	210	平安時代中心
14	11-005390	土師器肩部	2	10	平安時代中心
15	11-005391	須恵器環、腹口線部	15	55	
16	11-005392	須恵器環、胴体部	13	58	
17	11-005393	須恵器環、胴底一高台部	12	160	
18	11-005394	須恵器腹口線部	1	3	酸化

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
棟上					
19	11-005395	須恵器碗底一高台部	9	100	酸化
20	11-005396	須恵器腰部	13	80	
21	11-005397	須恵器腹口線部	1	3	
22	11-005398	羽釜体部	4	120	
23	11-005399	灰輪陶器輪口線部	2	10	
24	11-005400	灰輪陶器胴体部	2	8	
25	11-005401	灰輪陶器碗底一高台部	2	20	
甕					
26	11-005402	土師器環口線部	1	2	平安時代中心
27	11-005403	土師器胴体一部	5	22	平安時代中心
28	11-005404	土師器腰部	2	10	平安時代中心
29	11-005405	羽釜体部	3	95	平安時代中心
甕					
30	11-005406	羽釜口一脣部	1	70	
31	11-005407	羽釜体部	2	60	
32	11-005408	須恵器腹口線部	1	10	内面黒色処理

8区16号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00154	須恵器高台付甕	口径12.5 残高 6.2 杯部高3.6	1/3。高台部欠損。高台部焼成。右回転軸輪彫形。表面回転糸切り後、高台部9行付	10世紀前半	第52図	P.L.59
2	10-00155	須恵器高台付甕	高台部径 7.7 残高 3.9	腰部一部と底一高台部。酸化塩沈成。右回転軸輪彫形。表面回転糸切り後、高台部6行付	10世紀前半	第52図	P.L.59
3	10-00156	須恵器高台付甕	口径12.0 残存 5.0 杯部高4.3	腰一高台部。内面削り取皮。右回転軸輪彫形。表面回転糸切り後、高台部10行付に欠	10世紀前半	第52図	P.L.59
4	10-00157	磨石	径 12.8×26.1 厚み 4.1	河原産使用。右側磨れる。上面に磨盤面形成	須恵器石安山岩	第53図	P.L.59

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
棟上					
5	11-005409	土師器高环胴部	2	48	古墳時代前期中心
6	11-005410	土師器腹口線部	3	20	古墳時代前期中心
7	11-005411	土師器腰部	27	100	古墳時代前期中心
8	11-005412	土師器肩部	1	20	古墳時代前期中心
9	11-005413	土師器台付腹口線部	1	3	古墳時代前期中心
10	11-005414	土師器台付腰部	6	25	古墳時代前期中心
11	11-005415	土師器台付腰部	1	20	古墳時代前期中心
12	11-005416	土師器腰部	14	70	古墳時代前期中心
13	11-005417	土師器腹口線部	19	70	平安時代中心
14	11-005418	土師器環底部	72	250	平安時代中心
15	11-005419	土師器腹口線部	11	40	平安時代中心
16	11-005420	土師器腰部	62	440	平安時代中心
17	11-005421	土師器腰部	2	25	平安時代中心
18	11-005422	須恵器環、腹口線部	15	70	
19	11-005423	須恵器環、胴体部	19	80	
20	11-005424	須恵器環、胴底一高台部	16	320	
21	11-005425	須恵器腹口線部	4	25	酸化
22	11-005426	須恵器碗底一高台部	3	68	酸化
23	11-005427	須恵器腰部	4	315	
24	11-005428	須恵器腹	1	10	
25	11-005429	羽釜口縁一脣部	4	190	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
棟上					
26	11-005430	羽釜体部	3	110	
27	11-005431	灰輪陶器腹口線部	2	10	
28	11-005432	灰輪陶器胴体部	2	5	
29	11-005433	灰輪陶器碗底一高台部	1	20	
30	11-005434	磨石	1	260	
甕					
31	11-005435	土師器高环胴部	1	3	古墳時代前期中心
32	11-005436	土師器腰部	7	40	古墳時代前期中心
33	11-005437	土師器台付腰部	2	10	古墳時代前期中心
34	11-005438	土師器腰部	10	80	古墳時代前期中心
35	11-005439	土師器環口線部	1	3	平安時代中心
36	11-005440	土師器環底部	2	10	平安時代中心
37	11-005441	土師器腰部	4	25	平安時代中心
38	11-005442	須恵器環、腹口線部	1	2	
39	11-005443	須恵器環、胴体部	1	2	
40	11-005444	灰輪陶器腹口線部	1	5	
甕					
41	11-005445	土師器高环胴部	2	5	平安時代中心
甕					
42	11-005446	土師器環底部	4	20	平安時代中心
43	11-005447	土師器腹口線部	1	5	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
		甗掘り方			
44	11-00548	須恵器環、環口縁部	1	3	
		貯蔵穴			
45	11-00549	土師器壺体部	10	20	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
		貯蔵穴			
46	11-00550	須恵器環、環口縁部	3	15	
47	11-00551	須恵器環、胴体部	1	3	

8区17号住居

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00532	土師器碗口縁部	1	8	古墳時代前期中心
2	11-00533	土師器壺体部	2	10	古墳時代前期中心
3	11-00534	土師器環口縁部	3	8	平安時代中心
4	11-00535	土師器環口縁部	9	15	平安時代中心
5	11-00536	土師器碗体部	4	5	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
6	11-00537	土師器碗底面	1	5	平安時代中心
7	11-00538	土師器環口縁部	3	12	平安時代中心
8	11-00539	土師器壺体部	2	3	平安時代中心
9	11-00540	須恵器環、環口縁部	1	2	
10	11-00541	須恵器環口縁部	1	10	

8区18号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値(cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00107	須恵器環	口径(12.6) 碗径 5.8 器高 3.5	1/3. 酸化処理成、回転軸線型。外部外面指撫で、底面回転糸切り	9世紀末-10世紀	第54図	P L.60
2	10-00108	須恵器高台付碗	口径 13.2 碗径 7.6 器高 4.5	1/3. 酸化処理成、左右にやや厚みがある。右回転軸線型。底面回転糸切り後高台貼り有時期で	10世紀前半	第54図	P L.60
3	10-00109	須恵器高台付碗	口径 12.8 碗径 6.6 器高 3.2	1/4. 酸化処理成だが焼きが甘い、器面荒れる。右回転軸線型。底面回転糸切り後高台貼り有時期で	10世紀前半	第54図	P L.60
4	10-00180	土師器壺	口径 30.1 碗高 11.2	口縁一帯部、焼成良好。口縁指撫で。肩部内面積位の指撫で、外面積位の指撫で	10世紀前半	第54図	P L.60
5	10-00161	土師器台付壺	胴部径 9.9 碗高 4.3	胴部、内外面縦線指撫で、脚部指撫で。脚部外面指撫で、内面指撫で	10世紀前半	第54図	P L.60
6	20-00201	灰	2.1×4.3×1.3 個	直方体状	年代測定資料	—	P L.60
7	20-00214	こもろろ石	径 3.2×3.4 長さ 5.8	直方体状の河産物使用。上位に幅1.5cmの磨耗痕一用	ひんあ	—	P L.60

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
		床上			
8	11-00562	土師器環口縁部	1	10	古墳時代前期中心
9	11-00563	土師器壺体部	14	45	古墳時代前期中心
10	11-00564	土師器壺体部	2	20	古墳時代前期中心
11	11-00565	土師器台付壺体部	10	45	古墳時代前期中心
12	11-00566	土師器台付壺脚部	1	8	古墳時代前期中心
13	11-00567	土師器壺体部	12	120	古墳時代前期中心
14	11-00568	土師器環口縁部	24	70	平安時代中心
15	11-00569	土師器環口縁部	94	280	平安時代中心
16	11-00570	土師器環口縁部	30	120	平安時代中心
17	11-00571	土師器壺体部	92	290	平安時代中心
18	11-00572	須恵器環、胴体部	43	100	
19	11-00573	須恵器環、環口縁部	28	120	
20	11-00574	須恵器環、碗底一高台部	9	160	
21	11-00575	須恵器環口縁部	5	49	酸化
22	11-00576	須恵器碗底面	6	30	酸化
23	11-00577	須恵器碗底一脚部	4	200	酸化
24	11-00578	須恵器壺体部	5	305	
25	11-00579	須恵器壺体一底部	1	185	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
		床上			
26	11-00580	須恵器壺	3	10	酸化
27	11-00581	須恵器環一胴部	1	35	
28	11-00582	須恵器体部	1	10	
29	11-00583	須恵器環口縁部	1	10	
30	11-00584	須恵器環口縁部	4	40	
31	11-00585	須恵器環口縁部一高台部	2	20	
32	11-00586	須恵器環口縁部	4	35	
33	20-00202	銅片	1	50	黒色頁岩
		甗			
34	11-00587	土師器壺体部	2	10	古墳時代前期中心
35	11-00588	土師器環口縁部	1	3	平安時代中心
36	11-00589	土師器環口縁部	7	20	平安時代中心
37	11-00590	土師器環口縁部	5	10	平安時代中心
38	11-00591	土師器壺体部	5	20	平安時代中心
		貯蔵穴			
39	11-00592	須恵器環、胴体部	1	1	
40	11-00593	須恵器壺体部	2	30	
41	11-00594	須恵器環口縁部	1	10	

8区19号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値(cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00182	須恵器高台付碗	口径(13.0) 器高 4.6 高台径 7.4 高台厚 1.1	1/3. 還元焼成。右回転軸線型。底面回転糸切り後、高台貼り付付	10世紀前半	第55図	P L.60
2	10-00183	須恵器高台付碗	口径(13.5) 高台径(7.6) 器高 3.0	1/4. 右回転軸線型	10世紀前半 大塚2号式	第55図	P L.60

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
3	40-00405	鏡器 (肉釘)	幅径 0×長さ 8.0×厚さ 2.0	先端欠損。全体として真四角錐を成す		第55図	P.L.60

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土						掘り方					
4	11-00549	土師器平底部	4	10	平安時代中心	17	11-00507	土師器壺体部	1	5	古墳時代前期中心
5	11-00549	土師器壺口縁部	3	75	平安時代中心	18	11-00508	土師器壺体部	1	3	古墳時代前期中心
6	11-00549	土師器壺腹部	14	50	平安時代中心	19	11-00509	土師器口縁部	2	10	平安時代中心
7	11-00548	土師器小型壺口縁部	1	28	平安時代中心	20	11-00510	土師器壺底部	6	35	平安時代中心
8	11-00549	須恵器環、鏡口縁部	11	80		21	11-00511	土師器壺体部	6	23	平安時代中心
9	11-00500	須恵器環、鏡体部	7	30		22	11-00512	土師器壺底部	1	25	平安時代中心
10	11-00501	須恵器環、鏡底一高台部	16	150		23	11-00513	須恵器環、鏡口縁部	3	8	
11	11-00502	須恵器鏡口縁部	2	12	酸化	24	11-00514	須恵器環、鏡体部	2	5	
12	11-00503	須恵器壺体部	2	142		25	11-00515	須恵器壺体部	1	10	
13	11-00504	須恵器壺蓋体部	2	150		電					
14	11-00505	須恵器壺口縁部	1	3		26	11-00516	須恵器環、鏡口縁部	1	8	
15	11-00506	須恵器壺蓋口縁部	2	2		27	11-00517	須恵器壺体部	2	160	
16	21-00303	白石	1	1080		貯蔵穴					
						28	11-00518	須恵器環、鏡体部	1	25	

8区20号住居一括

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00104	土師器環	口径(13.1) 底径(8.1) 器高 3.0	1/4、口径一径部内面横溝で、底部内面横溝で後指張で、体部外面一底面周縁に浅い、体部指張で。	9世紀後半	第56図	P.L.60
2	10-00105	須恵器環	口径(12.8) 底径 6.1 器高 3.0	2/3、底面略円錐形。右回転軸切。前後に若干窪平。底面回転軸切り	10世紀前半	第56図	P.L.60
3	40-00008	鏡器 (刀子)	長さ 4.2 幅 1.0 厚み 0.5	先端部破片。肉厚で磨身		第56図	P.L.60

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土						掘り方					
4	11-00519	土師器壺口縁部	2	8	古墳時代前期中心	14	11-00529	須恵器環、鏡体部	4	10	
5	11-00520	土師器壺体部	8	50	古墳時代前期中心	15	11-00530	須恵器環、鏡口縁部	10	45	
6	11-00521	土師器台付壺体部	1	3	古墳時代前期中心	16	11-00531	須恵器環、鏡底一高台部	4	45	
7	11-00522	土師器台付壺底部	1	35	古墳時代前期中心	17	11-00532	須恵器鏡底一高台部	2	30	酸化
8	11-00523	土師器壺体部	5	45	古墳時代前期中心	18	11-00533	須恵器壺体部	2	100	
9	11-00534	土師器壺底部	2	45	古墳時代前期中心	電					
10	11-00535	土師器口縁部	4	30	平安時代中心	19	11-00534	土師器壺体部	2	10	平安時代中心
11	11-00536	土師器壺口縁部	4	70	平安時代中心	20	11-00535	須恵器環、鏡底一高台部	1	50	
12	11-00537	土師器壺体部	16	60	平安時代中心	墓20号住居					
13	11-00538	須恵器環、鏡底部	14	40		21	11-00536	土師器壺体部	38	140	平安時代中心
						22	11-00537	須恵器壺体部	1	40	

8区21号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号				
1	10-00106	土師器環	口径(12.1) 底径(7.4) 器高 3.4	1/4、口径一径部内面横溝で、底部内面横溝で、体部外面横溝で及び指押と、底面周縁より後	9世紀後半	第59図	P.L.60				
2	11-00538	土師器壺口縁部	1	90	古墳時代前期中心	5	11-00541	土師器壺体部	1	10	古墳時代前期中心
3	11-00539	土師器壺口縁部	1	35	古墳時代前期中心	6	11-00542	土師器壺口縁部	1	30	平安時代中心
4	11-00540	土師器壺体部	11	80	古墳時代前期中心	7	11-00543	土師器壺体部	10	18	平安時代中心

8区22号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00107	土師器環	口径(11.7) 底径 7.1 器高 3.8	3/4、体部上位と底面中央の筋土多し。口径一径部内面横溝で、底部内面横溝で、体部外面横溝で、体部一底面周縁に	10世紀後半	第61図	P.L.60

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
2	10-00106	土師器杯	口径(12.0) 残高 3.6	口縁一体部1/4、口縁一層部内部残存、外部外面磨滅で、腰部外面一底面残存	10世紀後半	第61図	P.L60
3	10-00106	土師器杯	口径(12.5) 底径 5.8 器高 3.9	1/2、杯部上位と底面中央の胎土跡多し、口縁一層部内部残存、底部内面磨滅で、外部外面磨滅で、腰部一底面残存	10世紀後半	第61図	P.L60
4	10-00107	須恵器杯	口径 12.3 底径 5.8 器高 3.8	口縁一部欠損、外部外面に字跡不能の磨滅、右回転軸線彫り。底面に回転糸切り痕	10世紀後半	第61図	P.L61
5	10-00107	須恵器高台杯	口径(11.7) 底径 6.0 器高 4.0	1/2、右回転軸線彫り。底面に回転糸切り痕	10世紀後半	第61図	P.L60
6	10-00107	須恵器高台杯残	口径(14.7) 高台径 6.8 器高 6.0	1/2、残存の片首等現出、右回転軸線彫りで整形痕跡。底面に回転糸切り痕、高台貼り付け	10世紀後半	第61図	P.L61
7	10-00107	須恵器高台杯残	口径(13.2) 高台径(底) 器高 4.8	1/4、右回転軸線彫り。底面に回転糸切りで高台貼り付付け痕跡	10世紀後半	第61図	P.L61
8	10-00107	土師器蓋小	口径(13.1) 残高 3.2	口縁部扁平、唇面欠ける。上面に磨滅小、口縁磨滅で、蓋部下部磨滅で、上面残	第61図		P.L61
9	10-00047	洗製鉄線香	径 5.0×4.9 厚さ 0.3	円盤残存、唇の直線残す	第62図		P.L61
10	10-00045	磁石	径 4.5×8.1 厚さ 2.1	河床磨使用。表面と裏面の一部に磨滅、右側に削取痕	磁石	第62図	P.L61
11	10-00046	磨石(磁石)	径 6.0×10.0 厚さ 4.2	河床磨使用。上面一左端上位に最も打、表面に研磨痕、右端部に削取痕	二つ磨石	第62図	P.L61
12	10-00047	白石	径 11.7×12.4 厚さ 5.7	河床磨使用。表面に敲打痕、研磨痕、削取痕	磁粒石白山岩	第62図	P.L61
13	10-00048	磁石	径 7.2×(17.7) 厚さ 5.7	河床磨使用。上下端に敲打痕、表面に研磨痕残す	磁粒石白山岩	第62図	P.L61

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
底上					
14	11-00554	土師器台付蓋部	1	25	古墳時代前期中心
15	11-00545	土師器蓋口縁部	1	25	古墳時代前期中心
16	11-00546	土師器蓋体部	12	140	古墳時代前期中心
17	11-00547	土師器台付蓋体部	12	80	古墳時代前期中心
18	11-00548	土師器器体部	6	80	古墳時代前期中心
19	11-00549	土師器環口縁部	29	140	平安時代中心
20	11-00550	土師器外蓋部	75	280	平安時代中心
21	11-00551	土師器胸口縁部	1	5	平安時代中心
22	11-00552	土師器胸体部	1	16	平安時代中心
23	11-00553	土師器蓋口縁部	25	105	平安時代中心
24	11-00554	土師器蓋体部	53	170	平安時代中心
25	11-00555	土師器蓋底部	1	30	平安時代中心
26	11-00556	土師器台付蓋底一脚部	2	65	平安時代中心
27	11-00557	土師器小型蓋口縁部	1	20	平安時代中心
28	11-00558	須恵器環口縁部	4	80	
29	11-00559	須恵器環口縁部	2	3	
30	11-00560	須恵器器口縁部	4	20	酸化
31	11-00561	須恵器高台付碗底一高台部	5	250	
32	11-00562	須恵器高台付碗底一脚部	4	80	酸化
33	11-00563	須恵器器体部	4	75	
34	11-00094	白石	1	1010	
覆り方					
37	11-00741	土師器環口縁部	1	2	古墳時代前期中心
38	11-00742	土師器高台環一脚部	1	20	古墳時代前期中心
37	11-00743	土師器蓋口縁部	5	25	古墳時代前期中心
38	11-00744	土師器蓋体部	15	125	古墳時代前期中心

a区C2号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
1	10-00105	須恵器高台付碗	口径(13.4) 器高 5.2	2/3、酸化焼成物。色調赤く磨滅。右回転軸線彫り。高台貼り付け縁で底面残	10世紀前半	第65図	P.L61
2	10-00106	須恵器高台付碗	口径(14.0) 器高 4.6	口縁一体部1/4欠損。酸化焼成物。内面吸着による黒色磨滅。右回転軸線彫り。底面回転糸切り切り離し後高台貼り付	10世紀前半	第65図	P.L62
3	10-00107	須恵器高台付碗	口径(14.0) 器高 5.1	1/2、酸化焼成物。内面吸着による黒色磨滅。右回転軸線彫り。底面回転糸切り切り離し後高台貼り付け縁で、高台は磨	10世紀前半	第65図	P.L62

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
覆り方					
39	11-00554	土師器蓋底部	1	30	古墳時代前期中心
40	11-00545	土師器台付蓋体部	5	20	古墳時代前期中心
41	11-00546	土師器器体部	7	70	古墳時代前期中心
42	11-00547	土師器環口縁部	16	80	平安時代中心
43	11-00548	土師器器体部	27	100	平安時代中心
44	11-00549	土師器器体部	3	30	平安時代中心
45	11-00570	土師器蓋口縁部	5	50	平安時代中心
46	11-00571	土師器蓋体部	32	100	平安時代中心
47	11-00572	土師器蓋底部	1	10	平安時代中心
48	11-00573	須恵器環口縁部	4	55	
49	11-00574	須恵器環口縁部	15	80	
50	11-00575	須恵器器口縁部	25	118	
51	11-00576	須恵器器体部一底部	9	115	
52	11-00577	須恵器器体部	1	10	酸化
53	11-00578	須恵器器口縁部	1	10	
54	11-00579	須恵器器体部	5	310	
55	11-00580	須恵器器口縁部	1	2	
56	11-00581	瓶(字子)体部	2	30	
57	11-00582	灰輪陶器口縁部	1	3	
58	11-00583	灰輪陶器器体部	2	8	
覆り方					
59	11-00584	土師器環口縁部	3	10	平安時代中心
60	11-00585	土師器器体部	11	60	平安時代中心
61	11-00586	土師器器口縁部	1	2	平安時代中心
62	11-00587	土師器器体部	2	5	平安時代中心

遺物一覧

4	10-00103	須恵器高台付焼	口径(14.1) 底径 5.9 残高 4.7	腰～底部1/3、還元焼成だが軟質で器面光る。右回 軟輪軸型。底面回転小切り留り難し。高台始り付付	10世紀中～後葉	第65図	P L 62
5	10-00109	土師器甕	口径(21.2) 底径 4.6 器高 24.2	3/4。内面光る。口縁薄縁で。内面肩器底縁で。底面 薄縁で。外部外唇と底面高直り	9世紀後半	第65図	P L 62
6	10-00106	土師器甕	口径(19.2) 残高 11.8	口縁～底部1/3、コ字状口縁。口縁縁で。器面内面光 る。外部外唇と底面高直り	10世紀前半	第66図	P L 62
7	10-00101	土師器甕	口径(19.5) 残高17.4	口縁～底部1/3、コ字状口縁。口縁縁で。外部内面光 る。外唇高直り	9世紀中葉～末葉	第66図	P L 62
8	10-00102	土師器甕	直径 4.6 残高 7.5	腰～底部1/2、コ字状口縁。器面内面光る。外部内 面薄縁で。外部外唇～底面高直り	9世紀中葉～末葉	第66図	P L 62
9	10-00103	羽蓋	残存 11.3×15.9 残高 15.9	口縁～底部1/3、コ字状口縁。器面内面光る。内外面縁縁 の縁で	10世紀前半	第66図	P L 62
10	10-00104	土師器甕	口径 22.5 残高 25.7	口縁～底部1/3、コ字状口縁。内面光る。口縁縁で。 肩器、器面内面光る。外部外唇高直り	9世紀後半	第66図	P L 62
11	10-00105	須恵器椀	口径(17.6) 底径 22.3 器高 30.2	1/2。内面下部近く(口縁)7～1.8cm、高さ1.1～2.8cm。 高直り0.7～0.8cmの縁内縁上の窪みが4mm以上につ く。内外面縁縁の縁で	9世紀後半	第66図	P L 63
12	10-00106	土師器高台付甕	肩器径 8.9×8.4 残高 4.8	脚部。折り返さないが脚部外にはみ出る。内外面縁毛目 残高 4.8	3世紀末葉	第66図	P L 63
13	20-00051	磁石	径 9.2×9.7 厚み 4.2	福平河床埋藏時。下面に硬質面残り。側面に一組して に磁石残る	デイヤイト	第67図	P L 63
14	40-00048 (11-00716)	鉄製結核車心軸	径 0.6 長さ 18.6	車部分脱落。赤錆部欠損。上位置が。先方3.2cm程先 出し。径2.4mmに減じて先端赤錆付部で全車心ら	土師器甕片(9 世紀中)付着	第67図	P L 63
15	40-00049	不明銅製	2.9×1.0×1.2	破片。両面挟まる厚さ0.5cmの鉄板に1.5cmの間隔で片 方より細い鉄線を通して径3mmの穿孔2箇所	留金か	第67図	P L 63

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
庫上					
16	11-00568	土師器高台脚部	1	9	古墳時代前期中心
17	11-00568	土師器甕口縁部	1	12	古墳時代前期中心
18	11-00550	土師器甕底部	25	130	古墳時代前期中心
19	11-00594	土師器高台付甕口縁部	2	8	古墳時代前期中心
20	11-00592	土師器高台付甕底部	7	30	古墳時代前期中心
21	11-00593	土師器甕底部	8	50	古墳時代前期中心
22	11-00594	土師器環口縁部	55	198	平安時代中心
23	11-00595	土師器環底部	187	765	平安時代中心
24	11-00596	土師器甕口縁部	45	1180	平安時代中心
25	11-00597	土師器甕底部	156	1050	平安時代中心
26	11-00598	土師器甕底部	2	38	平安時代中心
27	11-00599	須恵器環、碗底部	7	96	
28	11-00600	須恵器環、碗口縁部	43	172	
29	11-00601	須恵器環、碗底部	50	170	
30	11-00602	須恵器環、碗底～高台部	22	270	
31	11-00603	須恵器環口縁部	8	74	酸化
32	11-00604	須恵器碗底部	8	40	酸化
33	11-00605	須恵器碗底面	7	200	酸化
34	11-00606	須恵器環、碗高台高台脚部	3	146	
35	11-00607	須恵器甕口縁部	1	45	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
庫上					
36	11-00568	須恵器甕底部	34	2038	
37	11-00609	須恵器甕底部	2	200	
38	11-00610	須恵器甕口縁部	1	2	
39	11-00611	須恵器甕底部	1	46	取っ手
40	11-00612	羽蓋底部	5	82	
41	11-00613	瓦瓦	1	100	
42	11-00614	灰輪陶器甕口縁部	8	45	
43	11-00615	灰輪陶器甕底部	5	10	
44	11-00616	灰輪陶器甕底部	1	18	
45	11-00617	灰輪陶器甕口縁部	4	14	
46	11-00618	灰輪陶器甕底部	6	20	
隔り方					
47	11-00619	土師器甕底部	7	28	平安時代中心
48	11-00620	須恵器甕底部	1	50	
籠					
49	11-00621	土師器甕底部	8	210	平安時代中心
50	11-00622	須恵器環、碗底部	1	2	
51	11-00623	須恵器環、碗底～高台部	1	20	
52	11-00624	須恵器甕口縁部	1	70	酸化
53	11-00625	須恵器甕底部	3	146	

8区24号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫刻・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00102	須恵器環	口径 10.4 底径 5.4 器高 2.7	3/4。酸化強成。右回軟輪軸型。底面に回転小切り痕。 内面薄縁で底縁、底部内面直押し状	11世紀前半	第68図	P L 63
2	10-00106	須恵器椀	口径 10.4 底径 5.4 器高 2.7	3/4。酸化強成。右回軟輪軸型。内面やぐやれる。 底面に回転小切り痕	11世紀前半	第68図	P L 63
3	10-00108	須恵器環	口径 12.5 底径 6.2 器高 4.0	3/4。焼物埋藏時。還元焼成。右回軟輪軸型。底面 に回転小切り痕	10世紀	第68図	P L 63
4	10-00109	須恵器高台付焼	口径 13.3 高台径 6.1 器高 6.2	一部欠損。焼物埋藏時。還元焼成。右回軟輪軸型。 底面高台始り付付後縁で	10世紀	第68図	P L 63
5	10-00101	須恵器高台付焼	口径 11.5 高台径 6.2 器高 4.2	口縁～底部一部欠損。酸化強成。右回軟輪軸型。底面 高台始り付付後縁で	11世紀前半	第68図	P L 63

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・形制・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
6	10-00495	須恵器高台付鍋	口径10.4 高台径 6.9 器高 5.1	口縁～体部1/4欠損。酸化培焼成。回転軸調整形。底部内面磨削跡あり。底面高台付り付後回転軸で	11世紀後半	第60図	P.L.63
7	10-00496	須恵器高台付皿	口径 10.4 器高 2.2	口縁～体部1/4欠損。磨面見られる。酸化培焼成。やが軌突。回転軸調整形。底面高台付り付後調整で	11世紀後半	第60図	P.L.63
8	10-00494	土師	径 0.75×0.74 残口 3.0	上下面欠損。要縁が認められる。基部に欠落。径1.5cmの縦溝調整で	磨削	第60図	P.L.64
9	20-00520	磨石	径 8.3×10.2 厚み 5.5	河原産使用。表面と上面に磨削面残す	磨石類石安山岩	第60図	P.L.64
10	20-00521	磨石 (こもろみ石)	径 7.9×14.6 厚み 4.45	河原産使用。表面と左側面に磨削面残す。中央に磨削面	磨石類石安山岩	第60図	P.L.64

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
塚上					
11	11-005629	土師器台付鉢部	2	15	古墳時代前期中心
12	11-005627	土師器臺口縁部	2	10	古墳時代前期中心
13	11-005628	土師器臺体部	11	50	古墳時代前期中心
14	11-005629	土師器臺体部	1	60	古墳時代前期中心
15	11-005630	土師器台付臺口縁部	1	10	古墳時代前期中心
16	11-005631	土師器台付臺体部	2	10	古墳時代前期中心
17	11-005632	土師器臺体部	1	3	古墳時代前期中心
18	11-005633	土師器環口縁部	25	40	平安時代中心
19	11-005634	土師器環底部	55	200	平安時代中心
20	11-005635	土師器臺口縁部	5	30	平安時代中心
21	11-005636	土師器臺体部	59	240	平安時代中心
22	11-005637	土師器臺底部	2	75	平安時代中心
23	11-005638	須恵器環口縁部	19	100	
24	11-005639	須恵器環、胴体部	18	70	
25	11-005640	須恵器環、胴底～高台部	5	110	
26	11-005641	須恵器臺口縁部	4	30	酸化
27	11-005642	須恵器臺底部～高台部	2	50	酸化
28	11-005643	須恵器臺体部	3	230	
29	11-005644	須恵器臺口縁部	1	5	
30	11-005645	須恵器臺底部～高台部	1	38	
31	11-005646	須恵器臺口縁部	1	2	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
掘り方					
32	11-005647	土師器臺体部	15	95	古墳時代前期中心
33	11-005648	土師器臺底部	1	10	古墳時代前期中心
34	11-005649	土師器台付臺体部	1	3	古墳時代前期中心
35	11-005650	土師器臺体部	5	60	古墳時代前期中心
36	11-005651	土師器環口縁部	13	50	平安時代中心
37	11-005652	土師器環底部	50	190	平安時代中心
38	11-005653	土師器臺口縁部	7	40	平安時代中心
39	11-005654	土師器臺底部	40	160	平安時代中心
40	11-005655	土師器臺底部	1	12	平安時代中心
41	11-005656	須恵器環、胴底部	1	20	
42	11-005657	須恵器環、胴底～高台部	1	20	
43	11-005658	須恵器環、胴口縁部	2	10	
44	11-005659	須恵器環、胴体部	7	20	
45	11-005660	須恵器環底～高台部	2	15	酸化
46	11-005661	須恵器環体部	2	10	酸化
47	11-005662	須恵器臺体部	3	38	
48	11-005663	土師器臺体部	1	5	S入り
掘					
49	11-005664	土師器臺体部	12	85	平安時代中心

8区5号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・形制・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
1	10-00495	須恵器鍋	口径(12.2) 底径 6.4 器高 3.1	1/3。酸化培焼成。右回転軸調整形。体部外面磨削跡。底面に粗砂粒見られ、回転軸調整	10世紀後半	第70図	P.L.64
2	10-00496	須恵器鉢	残径 4.1×3.1 残高 2.2	体～底部破片。内外面磨削	9世紀	第70図	P.L.64

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
塚上					
3	11-005665	土師器臺口縁部	1	3	古墳時代前期中心
4	11-005667	土師器臺体部	2	8	古墳時代前期中心
5	11-005669	土師器臺体部	3	20	古墳時代前期中心
6	11-005671	土師器環底部	3	5	平安時代中心
7	11-005672	土師器臺口縁部	1	5	平安時代中心
8	11-005673	土師器臺体部	2	3	平安時代中心
9	11-005677	土師器臺底部	1	10	平安時代中心
10	11-005679	須恵器環、胴口縁部	2	6	
11	11-005681	須恵器環、胴体部	1	3	
12	11-005683	須恵器臺体部	3	25	
13	11-005685	須恵器臺口縁部	1	2	
掘り方					
14	11-005686	土師器臺口縁部	1	10	古墳時代前期中心
15	11-005687	土師器臺体部	13	50	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
掘り方					
16	11-005688	土師器台付臺口縁部	1	3	古墳時代前期中心
17	11-005689	土師器台付臺体部	5	20	古墳時代前期中心
18	11-005690	土師器臺体部	1	3	古墳時代前期中心
19	11-005691	土師器環口縁部	8	15	平安時代中心
20	11-005692	土師器環底部	13	80	平安時代中心
21	11-005693	土師器臺口縁部	1	3	平安時代中心
22	11-005694	土師器臺底部	9	20	平安時代中心
23	11-005695	土師器臺底部	2	10	平安時代中心
24	11-005696	須恵器環、胴口縁部	3	20	
25	11-005697	須恵器環、胴体部	1	5	酸化
26	11-005698	須恵器環、胴底部	2	5	
27	11-005699	須恵器環	1	2	
28	11-005700	須恵器臺口縁部	1	5	

遺物一覧

8区26号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00189	須恵器台	口径(13.0) 器高 3.7	2/3、胎作胎成。回転軸線垂直後、体一底部内部筋線で及び了る筋線。外部外面筋線、底面及び腹部外面高台筋有り筋線	10世紀後半	第71図	P L 64
2	10-00188	須恵器高台付碗	口径(14.0) 器高 6.0	2/3、胎作胎成。回転軸線垂直後、体一底部内部筋線で及び了る筋線。外部外面筋線、底面及び腹部外面高台筋有り筋線	10世紀後半	第71図	P L 64

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土						覆り方					
3	10-00700	土師器高坏胴部	1	10	古墳時代前期中心	23	10-00721	土師器器体部	3	25	平安時代中心
4	10-00701	土師器壺口縁部	3	30	古墳時代前期中心	24	10-00722	須恵器坏、陶口縁部	1	10	
5	10-00702	土師器器体部	27	70	古墳時代前期中心	甕					
6	10-00703	土師器器体部	3	80	古墳時代前期中心	25	10-00723	土師器口縁部	1	2	平安時代中心
7	10-00704	土師器台付器体部	3	8	古墳時代前期中心	26	10-00724	土師器坏底面	3	5	平安時代中心
8	10-00705	土師器器体部	3	40	古墳時代前期中心	27	10-00725	土師器器体部	3	30	平安時代中心
9	10-00706	土師器器体部	3	45	古墳時代前期中心	甕覆り方					
10	10-00707	土師器坏口縁部	12	45	平安時代中心	28	10-00726	土師器器体部	2	8	古墳時代前期中心
11	10-00708	土師器坏底面	72	208	平安時代中心	29	10-00727	土師器器体部	1	3	古墳時代前期中心
12	10-00709	土師器器体部	13	100	平安時代中心	30	10-00728	土師器坏口縁部	2	5	平安時代中心
13	10-00710	土師器器体部	53	250	平安時代中心	31	10-00729	土師器坏底面	7	60	平安時代中心
14	10-00711	土師器台付器体部	1	20	平安時代中心	32	10-00730	土師器口縁部	1	10	平安時代中心
15	10-00712	須恵器坏、陶口縁部	10	50		33	10-00731	土師器器体部	15	70	平安時代中心
16	10-00713	須恵器坏、胴体部	11	30		34	10-00732	須恵器坏、陶口縁部	2	10	
17	10-00714	須恵器坏、陶成一高台部	5	45		35	10-00733	須恵器坏、胴体部	4	10	
18	10-00715	須恵器壺口縁部	1	2		36	10-00734	須恵器器体部	1	2	陶化
19	10-00717	須恵器器体部	9	210		貯蔵穴					
20	10-00718	須恵器器口縁部	1	3		37	10-00735	土師器器体部	2	10	古墳時代前期中心
覆り方						38	10-00736	土師器器体部	1	3	平安時代中心
21	10-00719	土師器坏口縁部	2	20	平安時代中心	39	10-00737	須恵器器体部	1	2	
22	10-00720	土師器坏底面	2	25	平安時代中心						

8区27号住居

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	10-00728	土師器壺口縁部	1	10	古墳時代前期中心	7	10-00744	須恵器坏、陶底面	1	10	
2	10-00729	土師器器体部	1	20	古墳時代前期中心	8	10-00745	須恵器器体部	1	20	
3	10-00740	土師器坏底面	4	20	平安時代中心	9	10-00746	羽釜胴部	1	30	
4	10-00741	土師器器体部	5	40	平安時代中心	10	10-00747	羽釜器体部	2	145	
5	10-00742	須恵器坏、陶口縁部	2	9		11	10-00748	瓦瓦	1	50	
6	10-00743	須恵器坏、胴体部	4	20							

8区28号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00189	須恵器坏	口径(13.7) 器高 3.6	1/4、胎作胎成。回転軸線垂直。底面回転糸切り	10世紀前半	第72図	P L 64
2	10-00190	須恵器碗	口径(12.9) 底径(5.3) 器高 5.2	胎片。還元胎成。やや白味赤み。胎作胎成。回転軸線垂直。底面回転糸切り	10世紀前半	第73図	P L 64
3	10-00191	須恵器高台付碗	口径(11.2) 器高 6.5 残高 3.6	胎一底部1/4、還元胎成。胎作胎成。右回転軸線垂直。底面回転糸切り後高台筋付時状	10世紀前半	第72図	P L 64
4	10-00192	須恵器碗	口径(13.1) 残高 4.8	口縁一底部1/4、還元胎成。右回転軸線垂直	10世紀前半	第73図	P L 64
5	10-00193	須恵器陶器花皿	残径 4.4×3.3 残高 2.9	破片。体部中心部	9世紀後半	第73図	P L 64
7	10-00194	須恵器器口縁部	底径 6.4 残高 2.1	胎一底部1/4。胎作胎成。底面内部に割装高台筋一部付。また胎作胎成	10世紀後半	第72図	P L 64
8	10-00195	土師器器	口径15.3×9.3 残高 13.0	口縁一底部破片。口縁横溝で、体部内面筋線で、外面筋線有り	10世紀後半	第73図	P L 64
9	10-00196	羽釜	底径(11.3) 残高 6.1	胎一底部1/4。内面筋線有り。外面筋線有り	10世紀後半	第74図	P L 64
10	10-00197	須恵器器	器径(16.0) 残高 10.9	口縁一底部破片。口縁横溝。やや胎作。口縁横溝の筋線で、器部内面筋線で及び一部筋線で、外面筋線有り	10世紀	第74図	P L 64
11	10-00198	須恵器器	残径 12.3×9.2 残高 9.5	口縁破片。やや胎作。口縁上2に引かれる	平安期	第74図	P L 64

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・形態・調整等の特徴	備考	図番号	図説番号
12	40-00049	鉄鍋破片	径 6.7×4.7 厚み 1.1	孔は見えないが鉄鍋把手の破片の転用品か。溝進行	12-1	第74図	P.L.65
13	40-00041	鉄鍋破片	径 5.2×3.6 厚み 0.6	鉄鍋の破片か。溝進行跡で遺存状態不良	12-2	第74図	P.L.65
13	40-00042	刀子	径 0.7×1.2 残長 4.9	中部一先端及び、基部扁平状。粗身		第74図	P.L.65
14	40-00043	刀子	径 0.4×1.3 残長 10.2	基部欠損。く字状に折れる。粗身		第74図	P.L.65
15	40-00044	釘	径 1.0×0.8 残長 9.4	棒部分破片。角縁の一端を潰し、一端が斜状に曲がる		第74図	P.L.65
16	40-00045	内釘	径 0.8×0.6 長さ 5.1	頭部欠損か。本体湾曲		第74図	P.L.64
17	30-00522	こも編み石	径 4.7×2.8 長さ 13.5	棒状の河原礫使用。中に幅3.4cm程度の磨耗痕一周	疑質頁岩	—	P.L.65

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土					
18	11-00579	土師器埴口線部	1	5	古墳時代前期中心
19	11-00570	土師器埴口線部	7	20	古墳時代前期中心
20	11-00571	土師器埴口線部	32	185	古墳時代前期中心
21	11-00572	土師器埴口線部	3	40	古墳時代前期中心
22	11-00573	土師器台付埴口線部	3	30	古墳時代前期中心
23	11-00574	土師器台付埴口線部	6	15	古墳時代前期中心
24	11-00575	土師器台付埴口線部	4	95	古墳時代前期中心
25	11-00576	土師器埴口線部	1	15	古墳時代前期中心
26	11-00577	土師器埴口線部	10	70	古墳時代前期中心
27	11-00578	土師器埴口線部	1	10	古墳時代前期中心
28	11-00579	土師器埴口線部	46	170	平安時代中心
29	11-00580	土師器埴口線部	252	950	平安時代中心
30	11-00581	土師器埴口線部	28	190	平安時代中心
31	11-00582	土師器埴口線部	125	530	平安時代中心
32	11-00583	土師器埴口線部	4	30	平安時代中心
33	11-00584	土師器小型埴口線部	2	40	平安時代中心
34	11-00585	須恵器埴口線部	3	40	
35	11-00586	須恵器埴口線部	43	190	
36	11-00587	須恵器埴口線部	42	175	
37	11-00588	須恵器埴口線部	34	475	
38	11-00589	須恵器埴口線部	5	40	酸化
39	11-00590	須恵器埴口線部	3	10	酸化
40	11-00591	須恵器埴口線部	12	300	酸化
41	11-00592	須恵器埴口線部	1	100	
42	11-00593	須恵器埴口線部	29	1190	
43	11-00594	須恵器埴口線部	1	160	
44	11-00595	須恵器埴口線部	1	5	酸化
45	11-00596	須恵器埴口線部	1	70	
46	11-00597	須恵器埴口線部	3	120	
47	11-00598	須恵器埴口線部	7	35	

8区29号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・形態・調整等の特徴	備考	図番号	図説番号
1	30-00108	須恵器碗	口径 16.0 残高 5.2	口縁一帯破片。酸化跡。右側軸線直形。内部内面	11世紀中葉	第76図	P.L.65
2	30-00110	須恵器碗(かわらけ)	口径 10.8 残高 5.4 底径 2.3	口縁一帯一部欠損。地成や甘い。右側軸線直形。底面回転糸切り筋有り	11世紀中葉	第76図	P.L.65
3	30-00111	須恵器碗(かわらけ)	口径 9.8 底径 5.1 底径 2.6	1/2。酸化跡。右側軸線直形。断面部にて入る。底面回転糸切り筋有り	11世紀中葉	第76図	P.L.65
4	30-00112	土師	口径 6.9×8.8 厚み 0.9	口縁一帯破片。口縁縁面。前部部内面。外周直形	11世紀中葉	第76図	P.L.65
5	30-00113	土師	径 1.4×1.3 長さ 4.2	裏面上下端部欠損。部位に径3mmの貫通孔。裏面側で		第76図	P.L.65

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土					
6	11-00605	土師器埴口線部	1	10	古墳時代前期中心
7	11-00606	土師器埴口線部	5	40	古墳時代前期中心
8	11-00607	土師器埴口線部	33	150	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土					
9	11-00608	土師器埴口線部	1	10	古墳時代前期中心
10	11-00609	土師器台付埴口線部	1	3	古墳時代前期中心
11	11-00610	土師器埴口線部	3	48	古墳時代前期中心

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上						床上					
12	11-05811	土師器壺体部	14	70	古墳時代前期中心	38	11-05827	瓦輪器蓋口縁部	3	12	
13	11-05812	土師器壺底部	1	30	古墳時代前期中心	甕罎り方					
14	11-05813	土師器平口縁部	13	30	平安時代中心	29	11-05828	土師器壺体部	1	8	古墳時代前期中心
15	11-05814	土師器平口縁部	78	220	平安時代中心	30	11-05829	土師器壺体部	1	30	古墳時代前期中心
16	11-05815	土師器壺口縁部	26	160	平安時代中心	31	11-05830	土師器平口縁部	1	2	平安時代中心
17	11-05816	土師器壺底部	4	240	平安時代中心	32	11-05831	土師器壺口縁部	1	8	平安時代中心
18	11-05817	須恵器平、裏口縁部	19	50		33	11-05832	土師器壺体部	74	425	平安時代中心
19	11-05818	須恵器平、裏体部	23	70		34	11-05833	須恵器平、裏体部	1	2	
20	11-05819	須恵器平、裏底部	7	120		35	11-05834	須恵器平、裏底部-高台部	1	10	
21	11-05820	須恵器平口縁部	4	18	酸化	甕					
22	11-05821	須恵器壺体部	3	10	酸化	36	11-05835	須恵器平、裏体部	1	2	
23	11-05822	須恵器壺底-高台部	5	80	酸化	37	11-05836	須恵器平口縁部	1	2	酸化
24	11-05823	須恵器壺底部	2	105		38	11-05837	須恵器壺体部	1	5	酸化
25	11-05824	須恵器羽釜体部	3	200		39	11-05838	須恵器壺体部	13	590	
26	11-05825	灰釉陶器平口縁部	4	10		甕罎り方					
27	11-05826	灰釉陶器壺体部	7	30		40	11-05839	須恵器平、裏底-高台部	1	30	

8区30号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00114	土釜	口径(20.3) 残高(16.5)	口縁-体部接合、口縁輪溝で、体部内面-底面敷削り、土層時止非調整で器縁底張り、内面上段輪溝で、下段内面溝で	11世紀	第77図	P.L65
2	10-00115	土釜	口径(25.8) 器高(28.0)	口縁-底部1/3、口縁輪溝で、体部外面-底面敷削り、土層部のみ非調整、内面底溝で	11世紀	第77図	P.L65
3	10-00116	羽釜	径(23.5) 器高(17.5)	口縁-体部片、酸化焙焼成、再還元、口縁輪溝で、体部内面底溝で、外面底削り	11世紀前半	第77図	P.L66

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上						甕罎り方					
4	11-00746	土師器壺体部	3	15	古墳時代前期中心	36	11-05861	須恵器平、裏底-高台部	1	10	
5	11-05860	土師器壺底部	1	30	古墳時代前期中心	37	11-05862	須恵器壺底部	1	5	酸化
6	11-05861	土師器壺体部	1	8	古墳時代前期中心	28	11-05863	須恵器壺体部	1	20	
7	11-05862	土師器壺底部	1	30	古墳時代前期中心	29	11-05864	羽釜口縁-胴部	2	50	
8	11-05863	土師器平口縁部	4	30	平安時代中心	30	11-05865	羽釜体部	2	30	
9	11-05864	土師器平体部	1	15	平安時代中心	甕					
10	11-05865	土師器平口縁部	12	80	平安時代中心	31	11-05866	土師器壺口縁部	2	30	平安時代中心
11	11-05866	土師器壺口縁部	6	50	平安時代中心	32	11-05867	土師器壺体部	8	335	平安時代中心
12	11-05867	土師器壺体部	21	290	平安時代中心	33	11-05868	須恵器平、裏体部	2	10	
13	11-05868	須恵器平、裏体部	4	40		34	11-05869	須恵器平、裏底-高台部	1	20	
14	11-05869	須恵器平、裏底部	2	150		35	11-05870	羽釜口縁-胴部	1	60	
15	11-05870	須恵器平、裏体部	2	30	内外黒色	甕罎り方					
16	11-05871	須恵器平、裏底-高台部	3	85	内外黒色	36	11-05871	土師器壺体部	1	3	古墳時代前期中心
17	11-05872	須恵器壺底-高台部	2	12	酸化	37	11-05872	土師器平口縁部	2	10	平安時代中心
甕罎り方						38	11-05873	土師器壺口縁部	2	25	平安時代中心
18	11-05873	土師器壺体部	2	8	古墳時代前期中心	39	11-05874	土師器壺体部	2	2	平安時代中心
19	11-05874	土師器平口縁部	1	2	平安時代中心	貯蔵穴					
20	11-05875	土師器平口縁部	7	30	平安時代中心	40	11-05875	土師器壺体部	2	20	古墳時代前期中心
21	11-05876	土師器壺口縁部	3	10	平安時代中心	41	11-05876	土師器平口縁部	1	5	平安時代中心
22	11-05877	土師器壺体部	10	90	平安時代中心	42	11-05877	土師器平口縁部	3	10	平安時代中心
23	11-05878	土師器壺底部	1	20	平安時代中心	43	11-05878	土師器壺口縁部	1	10	平安時代中心
24	11-05879	須恵器平、裏口縁部	3	15		44	11-05879	須恵器壺体部	1	30	
25	11-05880	須恵器平、裏体部	3	10		45	11-05880	羽釜口縁-胴部	1	130	

8区31号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00117	須恵器平	口径 9.2 底径 5.5 器高 2.8	S式、酸化焙焼成。右側軸轆轤型。底面回転余切り有り無し	11世紀中-後葉	第78図	P.L66
2	10-00118	須恵器平	口径 9.3 底径 5.3 器高 2.6	口縁-唇欠損。酸化焙焼成。器面欠れる。右側軸轆轤型で底面回転余切り有り無し	11世紀中-後葉	第78図	P.L66

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
3	10-00119	須恵器高台付碗	高台径(5.6) 残高 3.5	底部-脚部1/2。底部内面溝で	9世紀後半	第78図	P L.66
4	10-00016	鉄製品(角釘)	幅(0.8)×長(3.6)× 厚(0.5)	先端部欠損。頭部折れ		第78図	P L.66

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
庫上					
5	11-00580	土師器甕口縁部	1	5	古墳時代前期中心
6	11-00582	土師器甕体部	3	10	古墳時代前期中心
7	11-00583	土師器台付甕体部	1	2	古墳時代前期中心
8	11-00584	土師器甕体部	1	8	古墳時代前期中心
9	11-00585	土師器輪体部	1	8	平安時代中心(酸化)
10	11-00586	土師器甕口縁部	1	20	平安時代中心
11	11-00587	土師器甕口縁部	5	12	平安時代中心
12	11-00588	土師器坏底部	11	80	平安時代中心
13	11-00589	土師器甕体部	16	235	平安時代中心
14	11-00590	須恵器坏、甕口縁部	2	10	
15	11-00591	須恵器坏、甕体部	4	12	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
庫上					
16	11-00592	須恵器坏、甕体-高台部	2	50	
17	11-00593	須恵器甕口縁部	1	3	酸化
18	11-00594	須恵器甕体-高台部	3	60	酸化
19	11-00595	羽蓋体部	1	40	
掘り方					
20	11-00596	土師器甕口縁部	2	12	古墳時代前期中心
21	11-00597	土師器甕体部	4	15	古墳時代前期中心
22	11-00598	土師器台付甕体部	1	8	古墳時代前期中心
23	11-00599	土師器甕体部	2	10	古墳時代前期中心
24	11-00600	土師器坏口縁部	4	30	平安時代中心
25	11-00601	土師器甕口縁部	6	50	平安時代中心

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
廻り方					
26	11-00902	土師器壺体部	43	150	平安時代中心
27	11-00903	須恵器坏、甕口縁部	1	5	
28	11-00904	須恵器坏、甕体部	6	15	
29	11-00905	須恵器坏、甕底面～高台部	4	50	
30	11-00906	須恵器甕体部	1	38	簡化

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
廻り方					
31	11-00907	須恵器甕底～高台部	3	45	簡化
32	11-00908	須恵器甕口縁部	1	5	簡化
33	11-00909	須恵器甕底面	1	10	簡化
34	11-00910	須恵器体部	1	18	

8区30号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00120	土師器坏	口径(12.0) 底径 5.5 残高 4.7	1/2. 口径横狭で、体部内外面横位の磨蝕で、底部内面指痕で、底面砂痕	11世紀	第79図	P L 66
2	10-00121	土師器甕	口径(25.0) 残高 7.7	口径～肩部片、口径横狭で、肩部内面磨蝕で、外面磨削り	9世紀後半	第79図	P L 66
3	40-00417	鉄製紡錘車	径 3.2×3.6 厚み 0.4	口径～肩部片、縁欠損。隅丸方形を呈す		第79図	P L 66
4	20-00523	磨石	径 7.9×9.7 厚み 2.8	河床礫使用。上端に磨打痕、表面に研削面残る		第79図	P L 66

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上					
5	11-00911	土師器甕口縁部	1	3	古墳時代前期中心
6	11-00912	土師器甕口縁部	1	15	古墳時代前期中心
7	11-00913	土師器甕体部	10	60	古墳時代前期中心
8	11-00914	土師器甕体部	4	40	古墳時代前期中心
9	11-00915	土師器甕口縁部	25	100	平安時代中心
10	11-00916	土師器坏体部	141	525	平安時代中心
11	11-00917	土師器甕口縁部	20	120	平安時代中心
12	11-00918	土師器甕体部	69	310	平安時代中心
13	11-00919	須恵器坏、甕口縁部	12	32	
14	11-00920	須恵器坏、甕体部	29	145	
15	11-00921	須恵器坏、甕底～高台部	1	3	
16	11-00922	須恵器坏、甕底～高台部	6	200	
17	11-00923	須恵器甕口縁部	3	20	簡化
18	11-00924	須恵器甕底～高台部	4	50	簡化
19	11-00925	須恵器甕体部	4	140	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
廻り方					
20	11-00926	須恵器甕口縁部	1	20	
21	11-00927	須恵器甕口縁部	2	10	
22	11-00928	須恵器甕体部	2	10	
23	11-00929	須恵器甕口縁部	2	5	
24	11-00930	須恵器甕体部	3	12	
25	11-00931	須恵器甕	1	20	
26	11-00932	須恵器体部	1	15	
27	20-00306	磨石	2	930	
墓					
28	11-00933	土師器甕口縁部	1	5	古墳時代前期中心
29	11-00934	土師器甕口縁部	3	25	古墳時代前期中心
30	11-00935	土師器甕体部	1	8	平安時代中心
31	11-00936	須恵器坏、甕口縁部	1	3	
32	11-00937	須恵器甕口縁部	1	3	簡化
33	11-00938	須恵器坏、甕底～高台部	8	80	内外面黒色処理

8区33号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00122	須恵器甕	口径(13.0) 残高 4.2	口径～体部片、簡化品構成。凹和轆轤型	10世紀	第80図	P L 66
2	20-00524	磨石	径 4.3×3.6 長さ 12.8	河床礫使用。下面がより研削され明確な研削面形成り		第80図	P L 66

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備 考
席上					
3	11-00509	縄文鍬形部	2	89	
4	11-00580	土師器壺口縁部	4	18	古墳時代前期中心
5	11-00581	土師器甕体部	16	170	古墳時代前期中心
6	11-00582	土師器台付甕体部	2	5	古墳時代前期中心
7	11-00583	土師器台付甕脚部	1	10	古墳時代前期中心
8	11-00584	土師器壺口縁部	1	42	古墳時代前期中心
9	11-00585	土師器坏口縁部	26	86	平安時代中心
10	11-00586	土師器坏体部	1	6	平安時代中心
11	11-00587	土師器坏底部	79	182	平安時代中心
12	11-00588	土師器壺口縁部	8	42	平安時代中心
13	11-00589	土師器甕体部	31	72	平安時代中心
14	11-00590	土師器小型壺口縁部	1	40	平安時代中心
15	11-00591	須恵器坏、甕口縁部	15	79	
16	11-00592	須恵器坏、甕体部	20	94	
17	11-00593	須恵器坏、甕底・高台部	8	88	
18	11-00594	須恵器甕口縁部	1	3	磨化

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備 考
席上					
19	11-00595	須恵器甕体部	2	10	磨化
20	11-00596	須恵器甕体部	7	28	磨化
21	11-00597	須恵器甕体部	6	140	
22	11-00598	須恵器甕口縁部	1	6	
23	11-00599	須恵器甕体部	4	11	
24	11-00600	須恵器甕体部	2	3	
甕					
25	11-00601	土師器壺口縁部	3	21	平安時代中心
26	11-00602	土師器甕体部	7	19	平安時代中心
27	11-00603	土師器坏底部	6	22	平安時代中心
28	11-00604	須恵器坏、甕底部	1	40	
29	11-00605	須恵器坏、甕口縁部	1	4	
30	11-00606	須恵器坏、甕底・高台部	3	42	
31	11-00607	須恵器甕体部	3	186	
32	11-00608	須恵器甕体部	1	2	

8区35号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備 考	図取号	図取番号
1	10-00113	土師器坏	口径 11.5 底径 5.8 器高 3.7	空形。焼成良好。底部内面に剥離不整の磨痕。底面中央部高で上出る。口縁～底部内面磨痕で、体一部内面磨痕で部分的に指痕で、体部外面上位粘土の剥離痕及び指痕で、下位～底面磨痕	9世紀前半	第62図	P L 66
2	10-00124	土師器坏	口径(13.1) 残高 5.1	口縁～体部1/3、口縁～体部内面磨痕で、底部内面磨痕で、胴部外面指痕で若しくは指痕で、胴部外面磨痕	10世紀前半	第62図	P L 67
3	10-00125	土師器坏	口径(13.5) 底径(6.3) 器高 3.9	1/3。焼成良好。口縁と体部の境に粘土の剥離痕残る。口縁と底部内面外側磨痕で、底部内面中央部磨痕で、底部から口縁に磨痕で一帯。胴部外面指痕で、胴部外面一底面磨痕	10世紀中～後葉	第62図	P L 67
4	10-00128	土師器坏	口径(12.5) 底径(5.6) 器高 4.2	1/3。焼成良好。胴部に粘土の剥離痕残る。口縁と体部内面磨痕で、底部から口縁に磨痕で一帯。底部内面磨痕で、胴部外面指痕で。胴部外面一底面磨痕	10世紀中～後葉	第62図	P L 67
5	10-00127	土師器坏	口径(12.4) 底径(6.1) 器高 3.8	口縁～体部1/4。口縁磨痕で、体一部内面磨痕で、体部外面と底面磨痕	10世紀中～後葉	第62図	P L 67
6	10-00128	須恵器高台付甕	口径(13.0) 底径(6.3) 器高 4.9	口縁～高台1/4。焼成甘く磨痕残る。片岩多く入る。右面軸線磨痕。底面回転軸線磨痕。高台付付時に入れ	10世紀中～後葉	第62図	P L 67
7	10-00129	須恵器甕	口径 12.8 残高 4.5	底面磨痕。右面軸線磨痕	10世紀中～後葉	第62図	P L 67
8	10-00130	須恵器坏	口径 13.4 底径 6.4 器高 3.8	口縁～体部一部欠損。外面に粘土片付着。焼成やや甘く磨痕残る。片岩多く入る。右面軸線磨痕。底面回転軸線磨痕。底面回転軸線磨痕	10世紀中～後葉	第62図	P L 67
9	10-00131	須恵器高台付甕	口径(14.7) 底径 7.4 残高 5.2	2.5。高台割高し欠損。焼成甘い。右面軸線磨痕。底面回転軸線磨痕。底面回転軸線磨痕	10世紀中～後葉	第62図	P L 67
10	10-00132	須恵器高台付甕	口径(14.2) 高台径 9.2 器高 5.9	口縁～体部と高台の一部欠損し一部外側に磨痕。磨化焼成。右面軸線磨痕。胴部外面磨痕。底部内面に急角度物心は人物の顔と見える瓦及び爪による圧痕。底面高台付付時内面磨痕で、外面磨痕で	10世紀中～後葉	第63図	P L 67
11	10-00133	須恵器甕	口径 14.9 残高 6.0	底一高台部欠損。内面吸炭による黒色吸炭。口縁磨痕で、体部内面磨痕で後一部磨痕。外面上位磨痕で、中～下位磨痕	10世紀中～後葉	第63図	P L 67
12	10-00134	須恵器甕	口径(16.0) 高台径 7.8 器高 6.2	1.2。輪上位縁部より下位中央部磨痕。右面軸線磨痕。底面回転軸線磨痕	10世紀前半 大形	第63図	P L 67
13	10-00135	須恵器甕	口径 13.4 高台径 6.9 器高 3.1	1/3。輪上位縁部より縁部に緑色磨痕。右面軸線磨痕。底面回転軸線磨痕高台付付	9世紀後半 小形	第63図	P L 67
14	10-00138	須恵器甕	口径 12.6 残高 2.4	底面磨痕。右面軸線磨痕	10世紀中～後葉	第63図	P L 67
15	10-00137	土師器甕	残高 18.2×20.0 残高 18.0	体部破片。胴部外面に焼成した磨痕磨材付着。内面磨痕で、外面磨痕	10世紀前半	第63図	P L 68
16	10-00138	須恵器甕	口径(31.6) 残高 9.5	口縁磨片。口縁部上下に引く。内外面磨痕で、外面状況の残片	10世紀前半	第63図	P L 68
17	10-00138	須恵器甕	口径(5.8) 残高 11.1	口縁～体部。内外面磨痕で外面磨痕。径8mmの隅丸方形の孔を伴う異い頁を持つ	9世紀中葉	第63図	P L 68

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・形制・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
18	10-00140	土師器台付甕	胴径 30.6 残高 7.1	胴一部腹部一貫部。胴部内面にはみ出す。裏内面裏縁部と胴内面縁毛目、腰部と脚入部縁部で、外面裏縁部から彫刻毛目、彫刻痕で	3世紀末葉	第63図	P L 67
19	20-00025	台石	径 15.5×16.7 厚み 2.8	扁平な河床礫使用。表面に砂痕面。表面に彫刻直線	新粒輝石安山岩	第64図	P L 68
20	20-00026	磨石	径 9.7×10.6 厚み 3.7	扁平な河床礫使用。表面に磨痕と彫刻直線	石英閃緑岩	第64図	P L 68
21	40-00048	織紋鉄製品	径 0.8×0.5 長さ 11.7	上端欠損。織紋面形長方形で下位に凹み入って織る		第64図	P L 68

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
Ⅷ上					
22	11-00560	土師器瓶口縁部	1	3	古墳時代前期中心
23	11-00570	土師器高坏腹部	5	268	古墳時代前期中心
24	11-00571	土師器釜口縁部	4	18	古墳時代前期中心
25	11-00572	土師器釜体部	23	70	古墳時代前期中心
26	11-00573	土師器台付甕体部	6	36	古墳時代前期中心
27	11-00574	土師器台付甕脚部	2	38	古墳時代前期中心
28	11-00575	土師器釜口縁部	3	16	古墳時代前期中心
29	11-00576	土師器釜体部	8	85	古墳時代前期中心
30	11-00577	土師器坏口縁部	66	330	平安時代中心
31	11-00578	土師器坏底部	124	350	平安時代中心
32	11-00579	土師器坏口縁部	32	200	平安時代中心
33	11-00580	土師器釜体部	162	690	平安時代中心
34	11-00581	須恵器坏、瓶口縁部	45	270	
35	11-00582	須恵器坏、胴体部	41	100	
36	11-00583	須恵器坏、胴底部	21	335	
37	11-00584	須恵器釜体部	21	2330	
38	11-00585	須恵器陶器口縁部	1	10	
39	11-00586	須恵器陶器口縁部	1	6	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
Ⅷ下					
40	11-00587	甕(平子)体部	2	18	
41	11-00588	土師器釜体部	1	3	古墳時代前期中心
42	11-00589	土師器坏底部	3	28	平安時代中心
43	11-00590	須恵器坏、瓶口縁部	1	6	
44	11-00591	須恵器坏、胴体部	4	10	
45	11-00592	須恵器坏、胴底部	1	6	
46	11-00593	須恵器釜体部	2	18	
Ⅷ					
47	11-00594	土師器釜体部	1	2	古墳時代前期中心
48	11-00595	土師器釜底部	1	15	古墳時代前期中心
49	11-00596	土師器坏口縁部	1	18	平安時代中心
Ⅷ下					
Ⅷ					
50	11-00597	土師器釜口縁部	2	55	平安時代中心
51	11-00598	土師器釜体部	4	55	平安時代中心
52	11-00599	須恵器坏、瓶口縁部	3	10	
53	11-00600	須恵器坏、胴底部	2	6	
54	11-00601	須恵器坏、胴底一高台部	2	20	
Ⅷ欠					
55	11-00602	土師器坏口縁部	1	20	平安時代中心

8区36号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・形制・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00141	土師器?	口径(10.2) 残径 4.1 残高 6.8	1/2。僅かに上底。内面縁毛目。外唇口縁一底面磨蝕で	3世紀末葉	第63図	P L 68
2	10-00142	須恵器碗	残径 3.5×3.3 厚み 0.5	口縁破片。外面に有珫不磨の磨痕	10世紀前半	第61図	P L 68

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
Ⅷ上					
3	11-00603	土師器台脚部	4	88	古墳時代前期中心
4	11-00604	土師器瓶口縁部	1	4	古墳時代前期中心
5	11-00605	土師器台付甕体部	1	2	古墳時代前期中心
6	11-00606	土師器台付甕脚部	1	11	古墳時代前期中心
7	11-00607	土師器釜体部	2	16	古墳時代前期中心
8	11-00608	土師器坏口縁部	3	9	平安時代中心
9	11-00609	土師器坏底部	24	82	平安時代中心

8区37号住居

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
Ⅷ上					
1	11-00616	土師器釜体部	2	13	古墳時代前期中心
2	11-00617	須恵器坏、胴体部	1	9	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
Ⅷ下					
10	11-00610	土師器釜口縁部	1	9	平安時代中心
11	11-00611	土師器釜体部	37	137	平安時代中心
12	11-00612	須恵器坏、瓶口縁部	1	2	
13	11-00613	須恵器坏、胴体部	3	9	
14	11-00614	須恵器坏、胴底一高台部	3	31	
15	11-00615	須恵器釜体部	2	94	

8区39号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・形制・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00143	土師器小型甕	口径(10.2) 残高 6.5	口縁一底部片。口縁磨蝕で、内面裏面磨蝕で、体部磨蝕で、外面上部上底磨蝕で、以下磨蝕	10世紀	第60図	P L 68

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
2	30-00037	礫石	残存 6.1×4.7×6.0	欠損品。表面と左側面に研磨面形成される	組打石	第57図	P.L.68
3	30-00038	礫石	径 8.1×5.5 長さ 20.7	楕圓三角形の大型の河床礫使用。下面に研磨面形成し、上下端に僅かに磨打痕残る	ひん岩	第57図	P.L.68
4	30-00039	礫石	径 13.7 × 15.2 厚み 3.4	扁平な河床礫使用。表面に研磨面形成し、磨打痕残る	粗粒輝石安山岩	第57図	P.L.69
5	30-00040	礫石	径 8.7×11.6 厚み 2.9	扁平な河床礫使用。表面に研磨面形成。左右側面に磨打し平ら及び窪み状面を形成。磨石若しくはこも礫石としても使用か	粗粒輝石安山岩	第57図	P.L.69
6	30-00041	礫石 (こも礫石)	径 7.1×6.9 長さ 16.0	大型の河床礫使用。上下端に磨打痕残り、中に磨打痕残る	ひん岩	-	P.L.69

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土					
7	11-00021	土器器高台脚部	2	18	古墳時代前期中心
8	11-00022	土器器高台脚部	4	24	古墳時代前期中心
9	11-00023	土器器高台脚部	30	169	古墳時代前期中心
10	11-00024	土器器高台脚部	1	10	古墳時代前期中心
11	11-00025	土器器高台脚部	3	8	古墳時代前期中心
12	11-00026	土器器高台脚部	5	65	古墳時代前期中心
13	11-00027	土器器高台脚部	1	10	古墳時代前期中心
14	11-00028	土器器高台脚部	17	50	平安時代中心
15	11-00029	土器器高台脚部	83	172	平安時代中心
16	11-00030	土器器高台脚部	6	54	平安時代中心
17	11-00031	土器器高台脚部	29	88	平安時代中心
18	11-00032	土器器高台脚部	1	28	平安時代中心
19	11-00033	土器器高台脚部	1	16	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土					
20	11-00034	須恵器高台脚部	7	45	
21	11-00035	須恵器高台脚部	3	10	
22	11-00036	須恵器高台脚部	2	20	
23	11-00037	須恵器高台脚部	5	60	
24	11-00038	須恵器高台脚部	4	20	酸化
25	11-00039	須恵器高台脚部	2	28	酸化
26	11-00040	須恵器高台脚部	1	10	酸化
甕					
27	11-00041	土器器高台脚部	1	4	古墳時代前期中心
28	11-00042	須恵器高台脚部	7	18	
29	11-00043	須恵器高台脚部	6	18	
30	11-00044	須恵器高台脚部	3	24	
31	11-00045	須恵器高台脚部	1	3	酸化

8区40号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00144	須恵器高台付網	高台径 6.3 残高 1.8	腰～底端、内面磁器による黒色処理。右側軸線彎曲形。泥面回転軸心切り取り痕として高台付付	10世紀前半	第82図	P.L.69

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00046	土器器高台脚部	1	30	古墳時代前期中心
3	11-00047	土器器高台脚部	7	22	平安時代中心
4	11-00048	土器器高台脚部	31	75	平安時代中心
5	11-00049	土器器高台脚部	3	16	平安時代中心
6	11-00050	土器器高台脚部	28	80	平安時代中心
7	11-00051	須恵器高台脚部	1	4	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
8	11-00052	須恵器高台脚部	1	10	
9	11-00053	須恵器高台脚部	4	24	
10	11-00054	須恵器高台脚部	1	10	
11	11-00055	須恵器高台脚部	2	20	
12	11-00056	須恵器高台脚部	1	3	

8区41号住居

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00057	土器器高台脚部	1	5	古墳時代前期中心
2	11-00058	土器器高台脚部	1	8	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00059	土器器高台脚部	1	6	残欠

8区42号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00145	土器器高台脚部	口径(11.5) 残高 3.3	口縁～底端1/4、口縁縁で、各から底部内面施地で、底部外縁縁で、底面磨削	9世紀前半～中葉	第83図	P.L.69
2	10-00146	須恵器高台脚部	口径(13.2) 底径 7.8 残高 3.7	1/3、右側軸線彎曲形。底面磨削し、左、右回りの磨削	9世紀前半	第83図	P.L.69
3	10-00147	土器器高台脚部	残存 3.7×2.4 厚み 0.3	底面に「女」(小)の遺書	時期不特定	第83図	P.L.69
4	10-00148	土器器高台脚部	口径(21.0) 残高 10.4	口縁～胴部破片。コ字状口縁。口縁縁で、底部内面施地で、外縁磨削	9世紀後半	第83図	P.L.69
5	10-00149	土器	径 2.0×1.995 残長 3.8	縦位に径4.55mmの貫通孔。表面施地で	第83図	P.L.69	
6	10-00150	土器	残径 1.65 長さ 4.0	背面側欠損。縦位に径3.0mmの貫通孔。表面施地で	第83図	P.L.69	
7	10-00151	土器	径 1.8×0.9 残長 3.0	下端欠損。縦位に径2.3mmの貫通孔。表面施地で	第83図	P.L.69	
8	20-00052	礫石	径 7.2×13.7 厚み 4.3	河床礫使用。表面に研磨痕、上端に磨打痕残り、裏面に研磨面形成される	石質閃緑岩	第83図	P.L.69

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上						床上					
9	11-00600	土師器高坏胴部	2	20	古墳時代前期中心	33	11-00604	須恵器椀体部	2	120	
10	11-00601	土師器壺口縁部	4	14	古墳時代前期中心	34	11-00605	灰輪陶器碗口縁部	2	12	
11	11-00602	土師器壺体部	25	142	古墳時代前期中心	35	11-00606	灰輪陶器碗体部	1	3	
12	11-00603	土師器甕底部	1	8	古墳時代前期中心	36	11-00607	灰輪陶器碗底一高台部	3	20	
13	11-00604	土師器台付甕体部	2	10	古墳時代前期中心	37	11-00608	羽釜口縁部	1	5	
14	11-00605	土師器壺口縁部	1	2	古墳時代前期中心	38	11-00609	羽釜体部	2	46	
15	11-00606	土師器壺体部	12	98	古墳時代前期中心	39	11-00610	須恵器碗口縁部	5	10	酸化
16	11-00607	土師器坏口縁部	78	240	平安時代中心	40	11-00611	須恵器碗体部	8	19	酸化
17	11-00608	土師器坏底面	382	880	平安時代中心	41	11-00612	須恵器碗底一高台部	7	120	酸化
18	11-00609	土師器壺口縁部	1	14	平安時代中心	42	11-00613	須恵器壺口縁部	1	10	
19	11-00610	土師器壺口縁部	42	242	平安時代中心	43	11-00614	羽釜体部	8	126	
20	11-00611	土師器壺体部	154	595	平安時代中心	44	41-00501	スラグ	1	8	
21	11-00612	土師器壺底面	2	21	平安時代中心	籠					
22	11-00613	須恵器高台付碗口縁部	55	156		41	11-00611	土師器壺体部	1	10	古墳時代前期中心
23	11-00614	須恵器高台付碗体部	59	204		42	11-00612	土師器坏底面	10	40	平安時代中心
24	11-00615	須恵器坏、碗底一高台部	21	200		43	11-00613	土師器壺口縁部	1	18	平安時代中心
29	11-00616	須恵器壺体部	30	1260		44	11-00614	土師器壺体部	18	100	平安時代中心
30	11-00617	須恵器壺底面	1	54		45	11-00615	須恵器坏、碗口縁部	2	12	
31	11-00618	須恵器碗口縁部	1	10		46	11-00616	須恵器坏、碗体部	3	15	
32	11-00619	須恵器碗口縁部	1	2		47	11-00617	須恵器碗口縁部	1	6	酸化

8区43号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-01151	灰輪陶器皿	直径(7.0) 高さ 2.4	壁一底部1/4、内面に他の個体の破片付着。回転軸線直交	9世紀中葉	第58図	P L 69

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00619	土師器壺口縁部	1	22	平安時代中心	4	11-00610	須恵器坏、碗口縁部	1	20	内外面黒色処理
3	11-00619	土師器壺体部	1	8	平安時代中心						

8区44号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-01153	須恵器甕	口径(15.3) 高さ 4.2	口縁一高台部破片。内面硝炭による黒色処理。回転軸線直交	10世紀前半	第59図	P L 69

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00610	土師器壺体部	2	9	古墳時代前期中心	5	11-00610	土師器壺体部	1	4	平安時代中心
3	11-00610	土師器坏口縁部	2	26	平安時代中心	6	11-00610	須恵器坏、碗口縁部	3	25	
4	11-00610	土師器坏底面	1	4	平安時代中心	7	11-00610	須恵器坏、碗体部	2	8	

8区45号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-01154	土師器坏	口径 13.0 底径 6.4 器高 4.3	ほぼ定形。口縁一底部内面硝炭で、壁一底部内面硝炭で、体部外周一底部外周硝炭。底面中央無調整	10世紀中葉	第60図	P L 69

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00617	須恵器坏、碗体部	1	8		3	11-00610	須恵器壺体部	1	34	酸化

8区46号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-01155	須恵器甕減少	残存 7.8×4.1 厚 1.0	底面1/4、酸化硝炭成。同じ年の削り後高台付付	時期不特定	第61図	P L 70

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上						床上					
3	11-00619	土師器壺底面	1	6	古墳時代前期中心	6	11-00613	土師器壺体部	2	8	平安時代中心
4	11-00619	土師器壺体部	3	64	古墳時代前期中心	7	11-00614	須恵器坏、碗体一底部	2	16	
3	11-00611	土師器坏口縁部	5	14	平安時代中心	8	11-00615	須恵器壺体部	3	100	
5	11-00612	土師器坏底面	3	8	平安時代中心	9	11-00616	羽釜体部	1	70	

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
10	11-00017	土器器身底部	6	29	古墳時代前期中心
11	11-00018	土器器身底部	1	3	平安時代中心
12	11-00019	土器器身口縁部	1	14	平安時代中心
13	11-00020	土器器身底部	5	22	平安時代中心
14	11-00021	須恵器環・口縁部	1	5	

8区48、47号住居

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00025	土器器身口縁部	2	18	古墳時代前期中心
2	11-00026	土器器身底部	19	80	古墳時代前期中心
3	11-00027	土器器身底部	1	12	古墳時代前期中心
4	11-00028	土器器身台榭底部	1	20	古墳時代前期中心
5	11-00029	土器器身台榭底一舞部	1	32	古墳時代前期中心
6	11-00030	土器器身底部	4	50	古墳時代前期中心
7	11-00031	土器器身底部	1	8	古墳時代前期中心
8	11-00032	土器器身口縁部	21	60	平安時代中心
9	11-00033	土器器身底部	91	214	平安時代中心
10	11-00034	土器器身口縁部	10	52	平安時代中心
11	11-00035	土器器身底部	68	136	平安時代中心

8区47号住居

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00047	土器器身底部	3	12	古墳時代前期中心
2	11-00048	土器器身口縁部	2	4	平安時代中心
3	11-00049	土器器身底部	15	80	平安時代中心
4	11-00050	土器器身口縁部	3	10	平安時代中心
5	11-00051	土器器身底部	5	8	平安時代中心

8区48号住居

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00057	土器器身口縁部	4	30	古墳時代前期中心
2	11-00058	土器器身底部	9	83	古墳時代前期中心
3	11-00059	土器器身台榭底部	1	2	古墳時代前期中心
4	11-00060	土器器身底部	2	18	古墳時代前期中心
5	11-00061	土器器身口縁部	23	70	平安時代中心
6	11-00062	土器器身底部	65	196	平安時代中心
7	11-00063	土器器身口縁部	36	120	平安時代中心
8	11-00064	土器器身底部	58	210	平安時代中心
9	11-00065	須恵器環・口縁部	15	74	
10	11-00066	須恵器環・底部	12	50	

8区49号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図取号	図取番号
1	10-00106	須恵器環	口径 13.3 底径 6.6 器高 4.7	2/3. 内外面磨光による黒色光澤。右回転軸線型。底面筋刻痕が若干有り。器口縁部	10世紀中～後葉	第06図	P L 70
2	10-00107	須恵器環	口径 12.7 底径 6.0 器高 4.5	1/2. 底面内部黒色処理の痕跡。磨光地。右回転軸線型。底面筋刻痕が若干有り。器口縁部	10世紀中～後葉	第06図	P L 70
3	10-00108	須恵器環	口径(13.1) 底径 4.6 器高 5.1	口縁～底部1/2。右回転軸線型	10世紀中～後葉	第06図	P L 70
4	10-00109	須恵器高台付碗	口径 13.4 高台径 5.5 器高 5.0	1/2. 胎土黒く、片側多く含む。内面磨光による黒色光澤。右回転軸線型。底面筋刻痕が若干有り。高台付け時跡で	10世紀中～後葉	第06図	P L 70
5	10-00110	須恵器高台付碗	口径 14.2 高台径 6.7 器高 5.5	1/3. 口縁の一部内側に押される。磨光地。内外面で磨光。左回転軸線型。底面筋刻痕が若干有り。高台付け時跡で	10世紀中～後葉	第06図	P L 70
6	10-00111	須恵器高台付碗	口径 13.7 高台径 4.4 器高 5.7	2/3. 右回転軸線型。底面筋刻痕が若干有り。高台付け時跡で	10世紀中～後葉	第06図	P L 70
7	10-00112	須恵器高台付碗	口径(13.5) 高台径 7.7 器高 4.4	2/3. 右回転軸線型。底面筋刻痕が若干有り。高台付け時跡で	10世紀後半	第06図	P L 70

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
15	11-00022	須恵器環・底部	1	4	
16	11-00023	須恵器器身底部	1	54	
貯蔵穴					
17	11-00024	須恵器器身底部	1	32	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
12	11-00028	土器器身底部	3	32	平安時代中心
13	11-00029	須恵器環・口縁部	18	60	
14	11-00030	須恵器環・底部	16	50	
15	11-00031	須恵器環・底部	2	25	
16	11-00040	須恵器環・底面～高台部	11	122	
17	11-00041	須恵器環・口縁部	3	16	酸化
18	11-00042	須恵器器身底部	2	2	酸化
19	11-00043	須恵器底面～高台部	1	15	酸化
20	11-00044	須恵器器身底部	3	80	
21	11-00045	須恵器器身底部	2	30	
22	11-00046	須恵器器身底部	3	18	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
6	11-00052	須恵器環・口縁部	3	9	
7	11-00053	須恵器環・底部	3	10	
8	11-00054	須恵器環・底部	1	18	
9	11-00055	須恵器器身底部	3	50	
10	11-00056	須恵器口縁部	1	30	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
11	11-00067	須恵器環・底面～高台部	12	92	
12	11-00068	須恵器器身底部	7	100	
13	11-00069	須恵器器身口縁部	2	8	
鑑					
14	11-00070	土器器身底部	4	10	古墳時代前期中心
15	11-00071	土器器身口縁部	5	15	平安時代中心
16	11-00072	土器器身底部	10	30	平安時代中心
17	11-00073	土器器身口縁部	1	8	平安時代中心
18	11-00074	土器器身底部	4	12	平安時代中心
19	11-00075	須恵器環・口縁部	1	3	

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
8	10-00163	須恵器高台付碗	口径 14.7×13.0 高台径 7.6 器高 5.7	3/4、左右に圧平される。器面やや丸れる。内面底部に地の残片付着。右側軸線離形。底面回転承り切。高台縁部付輪溝で	10世紀中～後葉	第86図	P L 70
9	10-00164	土師器甕	口径(19.5) 残高 19.5	口縁一帯蓋し、コ字状口縁。口縁横溝で。器内面直線溝で。外周直線溝で	9世紀中葉～末葉	第87図	P L 70
10	10-00165	灰釉陶器高台付碗	高台径 6.9 残高 2.9	腰部一高台。右側軸線離形。輪沿け附け	10世紀中～後葉	第87図	P L 70
11	10-00166	灰釉陶器甕	口径(12.7) 高台径 7.2 器高 2.8	口縁一帯部蓋し。右側軸線離形	9世紀中葉～末葉	第87図	P L 70
12	20-00533	磨石	径 3.8×4.1 厚み 3.3	球状の河床遺物。上下面に研削痕残る	新石器時代	第87図	P L 70

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上					
13	11-000170	土師器釜口縁部	1	10	古墳時代前期中心
14	11-000177	土師器甕体部	19	72	古墳時代前期中心
15	11-000178	土師器台付甕口縁部	2	18	古墳時代前期中心
16	11-000179	土師器台付甕体部	9	22	古墳時代前期中心
17	11-000180	土師器甕体部	7	72	古墳時代前期中心
18	11-000181	土師器口縁部	24	100	平安時代中心
19	11-000182	土師器環底部	54	185	平安時代中心
20	11-000183	土師器釜口縁部	18	90	平安時代中心
21	11-000184	土師器甕体部	81	315	平安時代中心
22	11-000185	土師器甕底部	1	10	平安時代中心
掘り方					
32	11-000190	土師器甕体部	4	10	平安時代中心
33	11-000196	須恵器環・鏡口縁部	1	3	
甕					
34	11-000195	土師器釜口縁部	1	5	古墳時代前期中心
35	11-000198	土師器甕体部	2	5	古墳時代前期中心
36	11-000199	土師器口縁部	2	10	平安時代中心
37	11-000200	土師器環底部	5	15	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上					
23	11-000186	土師器台付甕底部	1	50	平安時代中心
24	11-000187	須恵器環・鏡口縁部	33	220	
25	11-000188	須恵器環・鏡底部	17	233	
26	11-000189	須恵器環・鏡体部	28	85	
27	11-000190	須恵器甕体部	3	50	
28	11-000191	灰釉陶器釜口縁部	4	22	
掘り方					
29	11-000192	土師器環口縁部	1	2	平安時代中心
30	11-000193	土師器環底部	6	18	平安時代中心
31	11-000194	土師器釜口縁部	3	15	平安時代中心
甕					
38	11-000201	土師器甕体部	14	79	平安時代中心
39	11-000202	須恵器環・鏡口縁部	4	10	
40	11-000203	須恵器環・鏡体部	4	10	
41	11-000204	須恵器環・鏡底～高台部	3	30	
42	11-000205	灰釉陶器釜口縁部	1	3	
43	11-000206	須恵器口縁部	1	14	

8区50号住居

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000207	土師器甕体部	2	40	古墳時代前期中心
2	11-000208	土師器釜口縁部	1	8	古墳時代前期中心
3	11-000209	土師器甕体部	11	48	古墳時代前期中心
4	11-000210	土師器甕口縁部	3	24	古墳時代前期中心
5	11-000211	土師器甕体部	3	18	古墳時代前期中心
6	11-000212	土師器環口縁部	3	14	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
7	11-000213	土師器環底部	5	20	平安時代中心
8	11-000214	土師器釜口縁部	1	2	平安時代中心
9	11-000215	土師器甕体部	9	34	平安時代中心
10	11-000216	須恵器環・鏡体部	4	14	
11	11-000217	須恵器環・鏡底～高台部	5	60	

8区52号住居

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000218	土師器甕体部	5	14	古墳時代前期中心
2	11-000219	土師器甕体部	2	8	古墳時代前期中心
3	11-000220	土師器甕底部	1	6	古墳時代前期中心
4	11-000221	土師器環底部	5	10	平安時代中心
5	11-000222	土師器環口縁部	3	12	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
6	11-000223	土師器釜口縁部	2	10	平安時代中心
7	11-000224	土師器甕体部	5	20	平安時代中心
8	11-000225	須恵器環・鏡口縁部	1	2	
9	11-000226	須恵器甕体部	1	10	

8区53号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00167	土師器環	口径 12.8 器高 3.4	5/4、口縁横溝で。体一底部内面直線溝で。体部直線溝で。腰部内側～底面直線溝で	8世紀末葉 ～9世紀初葉	第90図	P L 70
2	10-00168	土師器環	口径 12.7 器高 3.9	5/4、口縁横溝で。体一底部内面直線溝でまたは直線溝で。体部外直線溝で。底面直線溝で	8世紀後半	第90図	P L 70
3	10-00169	土師器環	口径 12.6 口径 9.2 器高 3.4	口縁一部欠損。内面に卍字状の意匠も。口縁横溝で。体一底部内面直線溝で。体部外直線溝で。底面直線溝で	7世紀後半	第90図	P L 71

遺物一覽

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
4	40-00170	土器器蓋	直径 4.6×4.5 残高 12.2	腰一底部。外面上位に土塊・炭附着。内面磨瑩で、外側磨瑩否	9世紀前半	第90図	P L 70
5	30-00534	磨石 (こも羅み石)	径 5.1×4.2 長さ 11.7	河床礫使用。下面と左右両側面に研削面、土塊部に敲打痕残り、中央に磨耗痕ある	実質安山岩	第90図	P L 70
6	30-00535	磨石 (こも羅み石)	径 4.4×4.2 長さ 11.0	磨たの河床礫使用。下面に研削面残り、中央に磨耗痕ある	ひん岩	第90図	P L 70
7	40-00019	鉄製鉢鉢車	径: 貫径 6.6 残長 11.7, 3.1 厚さ 2.9 高さ 0.6	大きき折。直線は斜合しない。後部断面が円内に近く、先端鈍る。厚は上面から10.5cmに達。何れも磨瑩		第90図	P L 71

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
棟上					
8	11-00627	土器器台付蓋体部	1	2	古墳時代前期中心
9	11-00628	土器器台付蓋体部	1	12	平安時代中心
10	11-00629	土器器台付蓋体部	2	6	平安時代中心
11	11-00630	土器器台付蓋体部	1	110	平安時代中心
礎					
12	11-00631	土器器台付蓋体部	1	6	古墳時代前期中心
13	11-00632	土器器台付蓋体部	1	2	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
礎					
14	11-00633	土器器台付蓋体部	3	18	平安時代中心
15	11-00634	土器器台付蓋体部	11	45	平安時代中心
16	11-00635	土器器台付蓋体部	1	10	平安時代中心
17	11-00636	土器器台付蓋体部	4	18	平安時代中心
18	11-00637	土器器台付蓋体部	2	10	
19	11-00638	土器器台付蓋体部	1	2	

8 K54号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00171	須恵器器台	口径 10.1 底径 5.4 器高 2.7	ほぼ定形。酸化焙焼成。右側輪軸磨面。底面回転未切り。切り直し。腰一底面内面磨瑩で、腰部外面調整	10世紀後半	第91図	P L 71
2	10-00172	須恵器器台	口径 6.9×5.4 残高 5.2	口縁一底部破片。右側輪軸磨面後、内面磨瑩否	10世紀前半	第92図	P L 71
3	30-00536	磨石	径 3.7×4.7 長さ 11.7	部古体状の河床礫使用。下が丸。表面、左右両面に研削面形成され、上面敲打痕残り	砥石輝石安山岩	第92図	—
4	30-00537	磨石 (こも羅み石)	径 6.3×4.6 長さ 15.4	磨削面三角形の河床礫使用。下面に研削面形成され、下面に磨耗面敲打痕残り。中央に明瞭な磨痕あり	砥石輝石安山岩	第92図	P L 71
5	40-00020	刀子	幅 1.4 残長 4.0 厚さ 0.5	鏡片。刃部2.85cm残り。刃部と基部に調整		第92図	P L 71

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
6	11-00639	土器器台付蓋体部	3	94	古墳時代前期中心
7	11-00640	土器器台付蓋体部	1	34	古墳時代前期中心
8	11-00641	土器器台付蓋体部	1	8	古墳時代前期中心
9	11-00642	土器器台付蓋体部	1	24	古墳時代前期中心
10	11-00643	土器器台付蓋体部	2	30	古墳時代前期中心
11	11-00644	土器器台付蓋体部	9	84	古墳時代前期中心
12	11-00645	土器器台付蓋体部	4	200	古墳時代前期中心
13	11-00646	土器器台付蓋体部	5	28	平安時代中心
14	11-00647	土器器台付蓋体部	30	84	平安時代中心
15	11-00648	土器器台付蓋体部	8	50	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
16	11-00649	土器器台付蓋体部	47	275	平安時代中心
17	11-00650	土器器台付蓋体部	1	10	平安時代中心
18	11-00651	須恵器器台、輪軸部	5	12	
19	11-00652	須恵器器台、輪軸部	7	25	
20	11-00653	須恵器器台、輪軸部	4	60	
21	11-00654	須恵器器台、輪軸部	1	65	
22	11-00655	須恵器器台、輪軸部	1	2	
23	11-00656	須恵器器台、輪軸部	3	20	
24	11-00657	須恵器器台、輪軸部	2	20	

8 K55号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00173	須恵器器台	口径(11.4) 底径(5.8) 器高 3.9	1/4。酸化焙焼成。右側輪軸磨面。底面回転未切り。切り直し	10世紀後半	第92図	P L 71

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
棟上					
2	11-00658	土器器台付蓋体部	4	40	古墳時代前期中心
3	11-00659	土器器台付蓋体部	5	8	平安時代中心
4	11-00660	土器器台付蓋体部	2	10	平安時代中心
5	11-00661	土器器台付蓋体部	2	10	平安時代中心
6	11-00662	土器器台付蓋体部	7	22	平安時代中心
7	11-00663	須恵器器台、輪軸部	4	60	
8	11-00664	須恵器器台、輪軸部	4	15	
9	11-00665	須恵器器台、輪軸部	4	80	
10	11-00666	須恵器器台、輪軸部	5	30	11c
11	11-00667	須恵器器台、輪軸部	2	28	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
磨り方					
12	11-00668	土器器台付蓋体部	1	6	古墳時代前期中心
13	11-00669	土器器台付蓋体部	9	70	古墳時代前期中心
14	11-00670	土器器台付蓋体部	2	8	古墳時代前期中心
15	11-00671	土器器台付蓋体部	2	20	古墳時代前期中心
16	11-00672	土器器台付蓋体部	2	12	平安時代中心
17	11-00673	土器器台付蓋体部	5	10	平安時代中心
18	11-00674	土器器台付蓋体部	2	25	平安時代中心
19	11-00675	土器器台付蓋体部	14	38	平安時代中心
20	11-00676	須恵器器台、輪軸部	3	18	
21	11-00677	須恵器器台、輪軸部	1	20	

遺物一覧

8区56号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00174	須恵器杯	口径(12.8) 底径 6.1 器高 4.1	1/4. 高元端使成。右回転軸線整形。底面回転車切り、切り直し、腰部の一部にも凸部ある	10世紀後半	第92図	P.L71
2	10-00175	須恵器羽釜	残径10.2×7.8×厚 2.0	口縁一休部上位残片。内外面横位の痕で	56b住-1	第93図	P.L71

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00275	土師器壺口縁部	2	32	古墳時代前期中心	8	11-00283	須恵器杯、壺口縁部	1	2	
4	11-00279	土師器甕体部	10	140	古墳時代前期中心	9	11-00284	須恵器杯、甕底一高台部	3	65	
5	11-00280	土師器壺口縁部	2	10	平安時代中心	10	11-00285	須恵器甕体部	2	18	
6	11-00281	土師器壺口縁部	4	20	平安時代中心	11	11-00286	須恵器杯	2	48	
7	11-00282	土師器甕体部	5	46	平安時代中心						

8区57号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00176	須恵器高台付甕	口径 14.8 高台径 8.4 器高 5.1	3/4. 高元端使成。内面やや丸れる。右回転軸線整形。底面高台付切り跡で	9世紀中葉	第93図	P.L71
2	10-00177	甕口	残存 5.0×6.5×2.2	先周縁部。内側割縁。外面と先周縁部		第94図	P.L71
3	10-00178	甕口	①残存 3.8×3.8×1.7 ②残存 3.5×3.2×1.8	2片あり。何れも先周縁部で内側割縁。先周縁部。①は外側面周縁及び縁で。②は土に凸部ある	①のみ実測	第94図	P.L72
4	10-00179	甕口	残存 3.6×5.1×2.0	先周縁部近縁片。内側割縁。外面と先周縁部又は残片。表面割縁で		第94図	P.L72
5	10-00180	甕体	残存 5.0×4.1×2.05	破片。表面残片一部は。費用面数及び割痕で		第94図	P.L72
6	20-00538	天井石	径 16.9×7.5 長さ 33.8	右側面欠損。3つに割れる。全面割れし。下面と右向きう。手前・奥側破れ。上下面。右側面。手前・奥側面割りによる面取り。右側面裏下に径1.2cm、深さ7mmの未蓋溝1筋あり	デキヤイト質黒灰岩	第94図	P.L72
7	20-00539	礫石(磨石)	径 9.6×12.7 厚み 4.6	河床礫使用。下面に磨面形成。上下端と左側面に磨打痕あり	嵯峨野石安山岩	第94図	P.L72
8	20-00540	磨石	径 8.4×9.4 厚み 3.3	河床礫使用。下面に磨面形成	嵯峨野石安山岩	第95図	P.L72
9	20-00541	磨石	径 6.9×7.4 厚み 3.6	河床礫使用。上面に磨面残片、下面に磨面形成	磨石	第95図	P.L72
10	10-00181	須恵器甕	残存 3.5×2.0	体部片。酸化染成。表面に鉄分付着		第95図	P.L72
11	40-00421	角釘	径 0.65 × 0.4 長さ 3.9	頭部折れる。横断面長方形の角線形見する	一寸釘	第95図	P.L72
12	40-00422	鉄片	一点(枝番号14の)7.3 ×11.3×2.6; 以下	何れも鉄分多し。(枝番号)1:1点, 3g 2:1点, 25g 3:1点, 10g 4:1点, 10g 5:3点, 18g 6:3点, 50g 7:1点, 5g 8:1点, 3g 9:1点, 12g 10:2点, 3g 11:6点, 25g 12:19点, 50g 13:2点, 48g 14:1点, 130g 15:1点, 30g 16:1点, 50g 17:1点, 5g 18:1点, 6g 19:9点, 70g 20:1点, 12g 21:1点, 18g 22:1点, 12g 23:3点, 25g 24:4点, 40g 25:1点, 25g 26:3点, 35g 27:11点, 70g 28:17点, 70g 29:9点, 50g 30:4点, 45g 31:25点, 180g 32:14点, 60g 33:19点, 100g 34:42点, 100g	—	P.L72 P.L73 P.L74	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上					
47	11-00287	土師器壺口縁部	3	12	古墳時代前期中心
48	11-00288	土師器甕体部	22	85	古墳時代前期中心
49	11-00289	土師器台付甕体部	2	5	古墳時代前期中心
50	11-00290	土師器甕体部	15	118	古墳時代前期中心
51	11-00291	土師器壺口縁部	28	80	平安時代中心
52	11-00292	土師器甕体部	58	170	平安時代中心
53	11-00293	土師器壺口縁部	20	375	平安時代中心
54	11-00294	土師器甕体部	71	250	平安時代中心
55	11-00295	土師器甕体部	2	72	平安時代中心
56	11-00296	須恵器杯、壺口縁部	15	70	
57	11-00297	須恵器杯、甕体部	17	40	
58	11-00298	須恵器杯、甕底一高台部	14	270	
59	11-00299	須恵器壺口縁部	1	20	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上					
60	11-00300	須恵器甕体部	5	78	
61	11-00301	須恵器甕?	1	28	
62	11-00302	須恵器壺口縁部	1	3	
63	11-00303	須恵器杯	1	5	
甕					
64	11-00304	土師器甕体部	3	8	古墳時代前期中心
65	11-00305	土師器壺口縁部	3	15	平安時代中心
66	11-00306	土師器甕体部	1	2	平安時代中心
67	11-00307	土師器甕体部	2	20	平安時代中心
68	11-00308	須恵器杯、壺口縁部	1	6	
69	11-00309	須恵器杯、甕体部	1	3	
70	11-00310	須恵器杯、甕底部	1	10	

8区50号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値(m)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00182	須恵器高台付碗	口径(12.8) 高台径 6.6 器高 5.4	1/2. 酸化還元成に若い。作り粗雑。底面内凹状。右回転軸轆轤型。底面高台貼り付け跡あり	10世紀後半	第96図	P.L.74

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上											
2	11-00311	土師器壺体部	7	35	古墳時代前期中心	11	11-00320	土師器坏底部	17	54	平安時代中心
3	11-00312	土師器台付壺体-脚部	1	25	古墳時代前期中心	12	11-00321	土師器壺口縁部	1	2	平安時代中心
4	11-00313	土師器壺体部	1	40	平安時代中心	13	11-00322	土師器壺体部	13	38	平安時代中心
5	11-00314	須恵器坏、瓶口縁部	1	2		14	11-00323	土師器壺底部	1	4	平安時代中心
6	11-00315	須恵器坏、瓶体部	1	2		15	11-00324	須恵器坏、瓶口縁部	4	10	
7	11-00316	須恵器坏、瓶底部	3	5		16	11-00325	須恵器坏、瓶体部	8	20	
掘り方											
8	11-00317	土師器台付壺体部	2	6	古墳時代前期中心	18	11-00327	須恵器坏、瓶体部	2	40	
9	11-00318	土師器壺体部	4	18	古墳時代前期中心	19	11-00328	須恵器坏、瓶口縁部	1	2	
10	11-00319	土師器坏口縁部	7	20	平安時代中心	19	11-00328	土師器壺体部	1	20	平安時代中心

8区50号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値(m)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-01183	須恵器高台付碗	口径(11.8) 高台径 6.1 残高 3.4	腰一底部。還元還元成でやや軟質。右回転軸轆轤型。底面高台貼り付け。無調整	10世紀後半	第100図	P.L.75
2	40-00457	角釘	径 0.5 長さ 4.9	器径10.1×0.77mm。横断面方形の角形呈する。先端欠け		第103図	P.L.75

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上											
3	11-00329	土師器壺体部	5	15	古墳時代前期中心	16	11-00342	須恵器壺体部	5	230	
4	11-00330	土師器壺底部	1	8	古墳時代前期中心	掘り方					
5	11-00331	土師器台付壺体部	1	6	古墳時代前期中心	17	11-00343	土師器台付壺体部	1	10	古墳時代前期中心
6	11-00332	土師器壺体部	1	2	古墳時代前期中心	18	11-00344	土師器壺体部	1	5	古墳時代前期中心
7	11-00333	土師器坏口縁部	18	50	平安時代中心	19	11-00345	土師器坏底部	1	2	平安時代中心
8	11-00334	土師器坏底部	34	110	平安時代中心	20	11-00346	土師器壺体部	3	24	平安時代中心
9	11-00335	土師器壺口縁部	11	132	平安時代中心	21	11-00347	須恵器坏、瓶口縁部	1	6	
10	11-00336	土師器壺体部	86	380	平安時代中心	掘					
11	11-00337	土師器壺底部	1	8	平安時代中心	22	11-00348	土師器坏口縁部	1	2	平安時代中心
12	11-00338	須恵器坏、瓶口縁部	17	70		23	11-00349	土師器坏体部	1	3	平安時代中心
13	11-00339	須恵器坏、瓶体部	23	68		24	11-00350	土師器壺体部	2	8	平安時代中心
14	11-00340	須恵器坏、瓶底部	4	50		25	11-00351	須恵器坏、瓶体部	1	2	
15	11-00341	須恵器坏、瓶底-高台部	11	165		26	11-00352	須恵器坏、瓶底-高台部	1	15	

8区60号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値(m)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-01184	須恵器高台付碗	口径(12.1) 高台径 6.9 残高 3.9	腰一底部。酸化還元成でやや軟質。右回転軸轆轤型。底面回転軸切り付。高台貼り付け跡あり	10世紀後半	第106図	P.L.75
2	10-01185	土師器蓋	残存 11.5×6.5 高台径 6.9 残高 6.5	口径一頸部破片。焼成良好。口縁磨蝕。肩部内面磨蝕で、外周磨蝕あり	10世紀後半	第109図	P.L.75

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上											
3	11-00353	土師器壺口縁部	2	4	古墳時代前期中心	13	11-00363	須恵器坏、瓶口縁部	24	116	
4	11-00354	土師器壺体部	13	70	古墳時代前期中心	14	11-00364	須恵器坏、瓶体部	17	52	
5	11-00355	土師器壺底部	1	58	古墳時代前期中心	15	11-00365	須恵器坏、瓶底-高台部	13	118	
6	11-00356	土師器台付壺口縁部	1	4	古墳時代前期中心	16	11-00366	須恵器壺体部	9	330	
7	11-00357	土師器台付壺体部	4	10	古墳時代前期中心	17	11-00367	須恵器壺底部	1	150	
8	11-00358	土師器壺体部	6	18	古墳時代前期中心	18	11-00368	須恵器坏、瓶口縁部	3	10	
9	11-00359	土師器坏口縁部	29	90	平安時代中心	19	11-00369	須恵器坏、瓶体部	4	18	
10	11-00360	土師器坏底部	61	200	平安時代中心	20	11-00370	須恵器坏、瓶口縁部	2	6	
11	11-00361	土師器壺口縁部	13	58	平安時代中心	21	11-00371	須恵器坏、瓶体部	1	25	
12	11-00362	土師器壺体部	50	230	平安時代中心						

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
覆り方					
22	11-00527	土師器坏底部	1	20	平安時代中心
23	11-00573	土師器部	2	150	
甕					
24	11-00574	土師器甕体部	4	20	古墳時代前期中心
25	11-00575	土師器坏口縁部	1	2	平安時代中心
26	11-00575	土師器坏底部	2	3	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
甕					
27	11-00627	土師器甕口縁部	1	6	平安時代中心
28	11-00678	土師器甕体部	1	10	平安時代中心
29	11-00679	須恵器坏、甕口縁部	3	12	
30	11-00680	須恵器坏、甕体部	1	3	
31	11-00681	須恵器坏、甕流し-高台部	5	50	
32	11-00682	須恵器甕体部	1	2	

8区61号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図版号	図録番号
1	10-00136	土師器坏	口径(11.3) 底径 5.8 残高 4.1	1/3. 口縁微凹で、体部-底部内面微凹で、体部外面微凹で、底面貫入状のヒビ割れ	10世紀後半	第102図	P L 75
2	10-00137	須恵器高台付甕	口径 14.0 高台部径 6.8 器高 4.9	3/4. 筒化筒地成。右側輪軸槽有。底面回転車切り状して高台部付	10世紀前半	第102図	P L 75
3	20-00562	磨石	径 6.3×5.1 残長 18.0	水晶粒状の河床礫使用。下位欠損。上端部に顕著な磨耗痕有り。上面に研磨面形成	デイスait	第102図	P L 75

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土					
4	11-00583	土師器甕体部	1	2	古墳時代前期中心
5	11-00584	土師器坏底部	6	20	平安時代中心
6	11-00585	土師器甕口縁部	2	16	平安時代中心
7	11-00586	土師器甕体部	4	20	平安時代中心
8	11-00587	土師器甕体部	1	10	平安時代中心
9	11-00588	須恵器坏、甕口縁部	5	25	
10	11-00589	須恵器坏、甕体部	1	14	
11	11-00590	須恵器坏、甕底部	2	20	
甕					
12	11-00628	土師器坏口縁部	2	8	平安時代中心
13	11-00629	土師器坏体-底部	6	20	平安時代中心
14	11-00630	土師器甕口縁部	7	24	平安時代中心
15	11-00634	土師器甕体部	19	80	平安時代中心
16	11-00636	土師器甕底部	1	20	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
甕					
17	11-00636	須恵器坏、甕口縁部	2	10	
18	11-00637	須恵器坏、甕体部	1	2	
19	11-00638	須恵器坏、甕底部	1	60	
20	11-00639	須恵器坏、甕流し-高台部	1	10	
21	11-00640	須恵器甕体部	1	4	
22	11-00641	羽釜体部	1	8	
貯蔵穴					
23	11-00642	土師器坏体部	2	10	平安時代中心
24	11-00643	土師器甕口縁部	1	2	平安時代中心
25	11-00644	土師器甕体部	7	20	平安時代中心
26	11-00645	土師器甕底部	1	20	平安時代中心
27	11-00646	須恵器坏、甕口縁部	1	4	
28	11-00647	須恵器坏、甕体部	2	10	
29	11-00648	須恵器甕体部	1	2	

8区62号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図版号	図録番号
1	20-00563	磨石	径 6.0×7.1 厚み 2.9	アンパン状の河床礫使用。下面に研磨面形成	デイスait	第103図	P L 75

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00649	土師器甕体部	2	10	古墳時代前期中心
3	11-00649	土師器甕体部	1	16	古墳時代前期中心
4	11-00641	土師器坏口縁部	13	46	平安時代中心
5	11-00642	土師器坏底部	23	40	平安時代中心
6	11-00643	土師器甕口縁部	6	30	平安時代中心
7	11-00644	土師器甕体部	44	130	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
8	11-00645	須恵器坏、甕口縁部	5	10	
9	11-00646	須恵器坏、甕体部	8	53	
10	11-00647	須恵器坏、甕流し-高台部	4	75	
11	11-00648	須恵器甕体部	11	250	
12	11-00649	羽釜体部	2	52	

8区63号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図版号	図録番号
1	10-00138	土師器坏	口径(12.1) 底径 8.0 器高 4.2	1/3. 器面やや丸れる。底面貫入状のヒビ割れ。口縁-底部外面内面微凹で、体部外面微凹で、底面内面中央部微凹で	10世紀後半	第105図	P L 75
2	10-00139	土師器坏	口径(12.3) 底径 8.4 器高 4.2	1/4. 器面やや丸れる。体部外面-底面ヒビ割れ。口縁-底部外面内面微凹で、体部外面-底面微凹及び底部内面中央部微凹で	10世紀後半	第105図	P L 75
3	10-00139	土師器	口径 16.6 底径 6.8 器高 7.3	1/3. 器面やや丸れる。口縁微凹で、体-底部内面微凹で、胴部外面微凹の微凹で、器底外面-底面微凹有	6世紀後半	第105図	P L 75
4	10-00139	土師器鉢	口径11.0×7.5 残高 5.0	口縁-底部1/3. 口縁微凹で、体部内面微凹で、外面微凹有り底上微凹有	9世紀前半	第105図	P L 75
5	10-00139	土師器鉢	底径(12.5) 残高 7.6	体-底部1/3. 内面微凹で、外面微凹有り	9世紀後半	第105図	P L 75

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・外形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
6	10-00193	須恵器高台付碗	口径(14.7) 高台径(6.9) 残高(5.3)	1/4. 薄刃端焼成。右回転軸線型。底面周縁未切り残高台胎り付け時高台付碗で	10世紀後半	第104図	P L 75
7	40-00038	鎌	持ち(3.9×2.9) 厚さ(0.4)	基部片。折り返し無し。		第104図	P L 75

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
9	11-00620	土師器壺口縁部	3	10	古墳時代前期中心	19	11-00643	須恵器環、胴体部	27	72	
11	11-00621	土師器壺体部	11	49	古墳時代前期中心	20	11-00642	須恵器環、胴底部	7	158	
11	11-00622	土師器付台裏面部	1	2	古墳時代前期中心	21	11-00643	須恵器環、胴底一高台部	14	235	
11	11-00623	土師器壺口縁部	1	15	古墳時代前期中心	22	11-00634	須恵器壺口縁部	5	40	酸化
12	11-00624	土師器壺体部	1	5	古墳時代前期中心	23	11-00635	須恵器壺体部	7	28	酸化
13	11-00625	土師器環口縁部	65	275	平安時代中心	24	11-00636	須恵器壺底一高台部	4	35	酸化
14	11-00626	土師器環体一底部	138	440	平安時代中心	25	11-00637	須恵器壺口縁部	3	30	
15	11-00627	土師器壺口縁部	2	40	平安時代中心	26	11-00638	須恵器壺体部	13	440	
16	11-00628	土師器壺口縁部	21	170	平安時代中心	27	11-00639	須恵器壺体部	1	2	
17	11-00629	土師器壺体部	140	490	平安時代中心	28	11-00640	須恵器部	1	52	
18	11-00630	須恵器環、胴口縁部	44	255		29	11-00641	瓦丸	1	85	

8区64号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・外形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	40-00039	刀子	径(0.45×0.9) 残長(5.7)	柄・刃部両側欠損。縁直。刃部2.5cmを差す		第103図	P L 75

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00642	土師器高台附部	1	30	古墳時代前期中心	7	11-00647	須恵器環、胴体部	66	21	
3	11-00643	土師器壺口縁部	1	8	古墳時代前期中心	8	11-00648	須恵器環、胴底一高台部	2	30	
4	11-00644	土師器壺口縁部	4	24	平安時代中心	9	11-00649	須恵器壺体部	5	70	
5	11-00645	土師器壺体部	9	32	平安時代中心	10	11-00650	須恵器壺口縁部	1	5	
6	11-00646	須恵器環、胴口縁部	15	54							

8区65号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・外形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-01194	須恵器環	口径(13.6) 残高(4.8)	口径一底部1/4。一部酸化焼成。右回転軸線型	10世紀前半	第95図	P L 75
2	10-01195	土師器鉢	残存(10.5×10.4) 残高(10.2)	口径一底部厚片。口径縁端で。体部内面(寛)削で。外面上位縁端で下位底周りを	9世紀前半か	第95図	P L 75
3	10-01196	土師	径(1.4×1.3) 長さ(3.5)	縦位に径3.6mmの貫通孔。表面磨で。上縁面平らに調整		第95図	P L 76

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
瓶上						瓶下方					
4	11-00651	土師器壺体部	8	25	古墳時代前期中心	15	11-00662	土師器壺体部	3	40	古墳時代前期中心
5	11-00652	土師器壺体部	3	10	古墳時代前期中心	16	11-00663	土師器壺口縁部	2	28	古墳時代前期中心
6	11-00653	土師器壺口縁部	4	14	平安時代中心	17	11-00664	土師器壺体部	5	28	古墳時代前期中心
7	11-00654	土師器環底部	13	40	平安時代中心	18	11-00665	土師器環口縁部	3	8	平安時代中心
8	11-00655	土師器壺口縁部	4	18	平安時代中心	19	11-00666	土師器環底部	9	38	平安時代中心
9	11-00656	土師器壺体部	12	50	平安時代中心	20	11-00667	土師器壺口縁部	5	40	平安時代中心
10	11-00657	土師器壺体部	7	3	平安時代中心	21	11-00668	土師器壺体部	30	170	平安時代中心
11	11-00658	須恵器環、胴口縁部	10	40		22	11-00669	須恵器環、胴口縁部	10	58	
12	11-00659	須恵器環、胴底一高台部	2	28		23	11-00670	須恵器環、胴体部	6	20	
13	11-00660	須恵器壺体部	2	28		24	11-00671	須恵器環、胴底一高台部	7	30	
14	11-00661	須恵器壺口縁部	1	2		貯蔵穴					
						25	11-00672	須恵器環、胴口縁部	4	52	

8区66号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・外形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-01197	土師器環	口径(12.4) 底径(8.4) 残高(3.9)	1/4. 薄刃端焼成。右回転軸線型。底面周縁未切り切り履し後。縁直調整	9世紀中葉	第106図	P L 76
2	10-01198	須恵器環	口径(12.5) 底径(7.8) 残高(4.0)	1/4. 口径縁端で。腰一底部内面磨で。体部外面磨で。	8世紀末葉	第106図	P L 76
3	10-01199	土師器環	口径(12.3) 底径(7.9) 残高(3.1)	3/4. 口径縁端で。体一底部内面磨で。体部外面磨で。	9世紀中葉	第106図	P L 76

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図説号	図版番号
4	10-00120	土師器盤	口径 16.0 底径 13.5 高さ 2.9	1/2. 口縁縁飾で、体一底部内部磨面で、体部外面磨面で、底面足削り	8世紀前半	第106図	P L 76
5	10-00121	土師器碗	径長 4.9×4.8 径高 4.7	口縁一帯部破片。口縁に径3mmの貫通孔2箇所。磨面施れる。体部内部(底)磨面・外面荒面あり	9世紀前半	第106図	P L 76
6	10-00122	須恵器壺	口径 17.9 残高 12.9	口縁一帯部2/3. 部分的に酸化塩焼成。体部磨面施れる。磨面で	10世紀後半	第106図	P L 76

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土					
7	11-00673	土師器壺体部	3	20	古墳時代前期中心
8	11-00674	土師器台付壺体部	1	20	古墳時代前期中心
9	11-00675	土師器壺体部	1	8	古墳時代前期中心
10	11-00676	土師器環口縁部	39	123	平安時代中心
11	11-00677	土師器環口縁部	81	240	平安時代中心
12	11-00678	土師器壺口縁部	20	140	平安時代中心
13	11-00679	土師器壺体部	50	230	平安時代中心
14	11-00680	土師器壺体部	3	60	平安時代中心
15	11-00681	須恵器環、環口縁部	15	100	
16	11-00682	須恵器環、胴体部	19	70	
17	11-00683	須恵器環、環底一高台部	11	142	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土					
18	11-00684	須恵器壺体部	3	180	
19	11-00685	土師器高台底一胴部	1	48	古墳時代前期中心
20	11-00686	土師器台付壺体部	2	2	古墳時代前期中心
21	11-00687	土師器環口縁部	7	28	平安時代中心
22	11-00688	土師器壺体部	12	50	平安時代中心
23	11-00689	土師器壺口縁部	1	18	平安時代中心
壺					
24	11-00690	土師器壺体部		20	168
25	11-00691	須恵器環、環口縁部	3	18	
26	11-00692	須恵器環、胴体部	2	2	
27	11-00693	須恵器壺体部	2	168	

8区67号住居

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土					
1	11-00694	土師器壺口縁部	2	12	古墳時代前期中心
2	11-00695	土師器壺体部	7	40	古墳時代前期中心
3	11-00696	土師器台付壺体部	1	5	古墳時代前期中心
4	11-00697	土師器壺体部	3	45	古墳時代前期中心
5	11-00698	土師器環口縁部	2	8	平安時代中心
6	11-00699	土師器環口縁部	7	30	平安時代中心
7	11-00700	土師器壺口縁部	6	70	平安時代中心
8	11-00701	土師器壺体部	15	60	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土					
9	11-00702	土師器壺体部	3	20	平安時代中心
10	11-00703	須恵器環、環口縁部	8	22	
11	11-00704	須恵器環、胴体部	9	18	
12	11-00705	須恵器高台付壺底一高台部	6	70	
13	11-00706	須恵器壺体部	1	210	
14	11-00707	須恵器環口縁部	1	2	
15	11-00708	須恵器壺体部	3	8	

8区68号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図説号	図版番号
1	10-00123	土師	径 0.95×0.9 高さ 4.1	背面土位欠損。縦位に径2.2mmの貫通孔。表面磨面で	鎌倉期前半	第97図	P L 76
2	10-00124	磚	幅 2.5 残長 5.9 厚さ 0.2	先周部破片。直線的	第97図		P L 76

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土					
1	11-00809	土師器環口縁部	1	1	平安時代中心
4	11-00810	土師器環底部	5	25	平安時代中心
5	11-00811	土師器壺口縁部	2	3	平安時代中心
6	11-00812	土師器壺体部	16	48	平安時代中心
7	11-00813	須恵器環、環口縁部	3	18	
8	11-00814	須恵器環、胴体部	3	10	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土					
9	11-00815	須恵器環、胴体部	1	2	
甌り方					
10	11-00816	土師器壺体部	1	1	平安時代中心
11	11-00817	須恵器環、胴体部	1	19	
12	11-00818	須恵器環、環口縁部	1	8	
13	11-00819	須恵器壺体部	1	35	

8区69号住居

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土					
1	11-00820	土師器壺体部	9	55	古墳時代前期中心
2	11-00821	土師器壺体部	3	30	古墳時代前期中心
3	11-00822	土師器環口縁部	32	94	平安時代中心
4	11-00823	土師器環底部	88	252	平安時代中心
5	11-00824	土師器壺口縁部	57	320	平安時代中心
6	11-00825	土師器壺体部	292	900	平安時代中心
7	11-00826	土師器壺体部	6	50	平安時代中心
8	11-00827	須恵器環、環口縁部	46	160	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土					
9	11-00828	須恵器環、胴体部	77	200	
10	11-00829	須恵器環、胴底一高台部	24	220	
11	11-00830	須恵器壺体部	2	10	酸化
12	11-00831	須恵器壺体部	5	86	酸化
13	11-00832	須恵器壺体部	9	155	
甌り方					
14	11-00833	須恵器壺口縁部	2	10	
15	11-00834	須恵器壺体部	1	2	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
覆り方					
16	11-00507	黒色頁岩	1	2	
17	11-00525	土師器環口縁部	2	10	平安時代中心
18	11-00526	土師器環底部	11	30	平安時代中心
19	11-00527	土師器環口縁部	6	30	平安時代中心
20	11-00528	土師器腹部	32	120	平安時代中心
21	11-00530	須恵器環・甕口縁部	5	15	
22	11-00540	須恵器環・甕体部	2	10	
23	11-00541	須恵器甕底一高台部	1	10	酸化
24	11-00542	須恵器甕口縁部	1	12	

8区70号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値(cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図版番号	図版番号
1	10-00134	須恵器高台付甕	口径(上・下) 6.7 高径 6.7	1/4. 裏面底端直。右側縦軸線型。底部回転糸切り切り履し後、高台部分付時局で	10世紀後半	第108図	P. L.76

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00549	土師器腹部	4	18	古墳時代前期中心
3	11-00550	土師器甕底部	1	14	古墳時代前期中心
4	11-00551	土師器環口縁部	4	10	平安時代中心
5	11-00552	土師器環底部	4	10	平安時代中心
6	11-00553	土師器環口縁部	2	5	平安時代中心
7	11-00554	土師器腹部	13	110	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
覆り方					
25	11-00543	須恵器腹部	3	42	
甕					
26	11-00544	土師器台付甕底部	1	20	古墳時代前期中心
27	11-00545	土師器環口縁部	2	10	平安時代中心
28	11-00546	土師器甕底部	1	8	平安時代中心
覆り方					
29	11-00547	土師器環口縁部	1	20	平安時代中心
30	11-00548	土師器腹部	4	12	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
8	11-00555	須恵器環・甕口縁部	8	112	
9	11-00556	須恵器環・甕体部	1	8	
10	11-00557	須恵器環・甕底部	5	85	
11	11-00558	須恵器甕体部	1	110	
12	11-00559	須恵器甕底一高台部	1	38	

8区71号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値(cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図版番号	図版番号
1	10-00195	須恵器環	口径(上・下) 3.5 残高 3.5	口縁一係部片。外面微化硝成95%。右側縦軸線型	10世紀前半	第102図	P. L.76
2	40-00481	鉄鍔	残幅 2.5 残長 14.2 厚さ 0.7	方形先端と右側逆削欠損。跡丸。万部直線。鍔身厚残長4.3cm、基部残長6.6cm	第102図	P. L.76	
3	40-00482	鉄鍔	残幅 4.4 残長 7.1 厚さ 1.2	左右側逆削部欠損。基部欠損の可塑性。裏面直線進行跡丸に残存する少量直削。厚身部長4.3cm、基部長1.6cm、基部長1.3cm	第102図	P. L.76	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
覆り方					
4	11-00560	土師器環口縁部	1	10	古墳時代前期中心
5	11-00561	土師器腹部	8	50	古墳時代前期中心
6	11-00562	土師器環口縁部	18	65	平安時代中心
7	11-00563	土師器環底部	13	30	平安時代中心
8	11-00564	土師器環口縁部	28	204	平安時代中心
9	11-00565	土師器甕底部	106	460	平安時代中心
10	11-00566	土師器腹部	3	30	平安時代中心
11	11-00567	土師器台付甕体部	2	18	平安時代中心
12	11-00568	土師器台付甕脚部	1	45	平安時代中心
13	11-00569	須恵器環・甕口縁部	27	130	
14	11-00570	須恵器環・甕体部	11	40	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
覆り方					
15	11-00571	須恵器環・甕底一高台部	8	180	
16	11-00572	須恵器甕体部	6	90	
17	11-00308	黒色頁岩	1	20	
甕					
18	11-00573	土師器甕体部	1	20	古墳時代前期中心
19	11-00574	土師器環底部	7	15	平安時代中心
20	11-00575	土師器環口縁部	6	40	平安時代中心
21	11-00576	土師器腹部	12	70	平安時代中心
22	11-00577	須恵器環・甕口縁部	4	22	
23	11-00578	須恵器環・甕体部	1	6	
24	11-00579	須恵器環・甕底一高台部	1	2	

8区72号住居

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
覆り方					
1	11-00580	土師器甕体部	2	10	古墳時代前期中心
2	11-00581	土師器環口縁部	2	6	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
覆り方					
3	11-00582	土師器腹部	2	10	平安時代中心
4	11-00583	須恵器環・甕体部	1	8	

8区73号住居

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
甕					
1	11-00584	土師器環口縁部	1	2	平安時代中心
2	11-00585	土師器腹部	3	26	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
甕					
3	11-00586	須恵器腹部	1	20	

遺物一覧

8区74号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・形状・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00126	土師	径 2.35×2.05 長さ 4.9	上下端一部欠損。全面磨光による黒色処理。縦位に径5.5mmの貫通孔。表面磨き跡の残存		第108図	P.L.76
2	10-00130	土師	径 0.75×0.7 長さ 3.25	全面磨光による黒色処理。縦位に径2.4mmの貫通孔。表面磨き跡の残存	除令期か	第108図	P.L.76
3	20-00544	磨石	径 7.8×5.6 長さ 17.9	三角柱状の河床礫使用。下面に研磨面形成し上面に彫刻残存	実質安山岩	第108図	P.L.77
4	20-00545	磨石	径 11.9×13.4 厚み 4.0	扁平な河床礫使用。表面に研磨面形成	粗粒輝石安山岩	第108図	P.L.76
5	20-00546	磨石	径 10.8×12.6 厚み 5.0	やや扁平な河床礫使用。左側一部欠損。表面に弱い研磨残存	粗粒輝石安山岩	第108図	P.L.76
6	40-00463	鉄滓	6.0×3.9×2.4	鉄分多し。50g	粗粒輝石安山岩	-	P.L.77
7	40-00464	鉄滓	① 6.6×9.6×3.7 ② 5.3×3.5×2.5	塊形鉄滓。鉄分多し。計225g	粗粒輝石安山岩	-	P.L.77

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上					
8	11-00657	土師器器体部	6	50	古墳時代前期中心
9	11-00658	土師器器体部	3	49	古墳時代前期中心
10	11-00659	土師器器口縁部	10	42	平安時代中心
11	11-00660	土師器器体部	23	98	平安時代中心
12	11-00661	土師器器口縁部	16	190	平安時代中心
13	11-00662	土師器器体部	45	151	平安時代中心
14	11-00663	土師器器体部	1	5	平安時代中心
15	11-00664	須恵器器口縁部	10	48	
16	11-00665	須恵器器口縁部	12	42	
17	11-00666	須恵器器口縁部	11	210	
18	11-00667	須恵器器体部	6	170	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
掘り方					
19	11-00668	土師器器体部	2	20	古墳時代前期中心
20	11-00669	土師器器口縁部	2	30	平安時代中心
21	11-00670	土師器器口縁部	4	20	平安時代中心
22	11-00671	土師器器口縁部	8	40	平安時代中心
23	11-00672	土師器器体部	29	60	平安時代中心
24	11-00673	土師器器口縁部	1	40	平安時代中心
25	11-00674	須恵器器口縁部	7	40	
26	11-00675	須恵器器口縁部	8	40	
27	11-00676	須恵器器体部	4	50	

8区75号住居

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上					
1	11-00667	土師器器口縁部	1	10	古墳時代前期中心
2	11-00668	土師器器体部	8	30	古墳時代前期中心
3	11-00669	土師器器体部	2	20	古墳時代前期中心
4	11-00670	土師器器口縁部	6	18	平安時代中心
5	11-00671	土師器器口縁部	18	58	平安時代中心
6	11-00672	土師器器口縁部	8	46	平安時代中心
7	11-00673	土師器器体部	32	80	平安時代中心
8	11-00674	須恵器器口縁部	7	20	
9	11-00675	須恵器器口縁部	5	10	
10	11-00676	須恵器器口縁部	7	80	
11	11-00677	須恵器器体部	3	46	
12	11-00678	須恵器器体部	2	2	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
掘り方					
13	21-00309	磨石	1	10	
14	11-00679	土師器器体部	2	20	古墳時代前期中心
15	11-00680	土師器器口縁部	1	8	古墳時代前期中心
16	11-00681	土師器器口縁部	3	5	平安時代中心
17	11-00682	土師器器口縁部	4	8	平安時代中心
18	11-00683	土師器器口縁部	1	8	平安時代中心
19	11-00684	須恵器器口縁部	1	2	
20	11-00685	須恵器器口縁部	1	2	
21	11-00686	須恵器器口縁部	3	20	
22	11-00687	須恵器器体部	13	30	

8区76号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・形状・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00138	須恵器器口縁部	口径(14.8) 残高 3.5	口縁一部1/4。還元焼成。右回転軸線形成	10世紀前半	第110図	P.L.77
2	10-00139	須恵器器口縁部	高台径(15.3) 残高 7.3	腰一真部1/4。還元焼成。右回転軸線形成。底面回転軸線形成。高台付付け時跡で	10世紀後半	第110図	P.L.77
3	10-00140	土師器器口縁部	口径(15.3) 残高 4.8	腰一部一真部。裏面・脚天井部磨光。裏外面と脚内外面磨光目	3世紀末葉	第110図	P.L.77

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上					
4	11-00688	土師器器口縁部	1	6	古墳時代前期中心
5	11-00689	土師器器口縁部	23	194	古墳時代前期中心
6	11-00690	土師器器口縁部	3	20	古墳時代前期中心
7	11-00691	土師器器体部	4	28	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
8	11-00692	土師器器口縁部	64	106	平安時代中心
9	11-00693	土師器器口縁部	15	36	平安時代中心
10	11-00694	土師器器口縁部	37	60	平安時代中心
11	11-00695	土師器器口縁部	12	40	平安時代中心

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土					
12	11-00606	須恵器環、開口縁部	7	40	
13	11-00607	須恵器環、胴体部	14	25	
14	11-00608	須恵器環、碗底-高台部	8	160	
15	11-00609	須恵器甕体部	1	30	
16	11-00610	灰釉陶器器体部	1	32	
17	11-00611	灰釉陶器器体部	2	10	
掘り方					
18	11-00612	土師器灰環底-脚部	1	10	古墳時代前期中心
19	11-00613	土師器壺口縁部	1	8	古墳時代前期中心
20	11-00614	土師器甕体部	13	100	古墳時代前期中心
21	11-00615	土師器壺口縁部	1	10	古墳時代前期中心
22	11-00616	土師器甕体部	5	52	古墳時代前期中心
23	11-00617	土師器壺口縁部	10	40	平安時代中心
24	11-00618	土師器環底部	18	63	平安時代中心
25	11-00619	土師器壺口縁部	8	50	平安時代中心
26	11-00620	土師器甕体部	26	85	平安時代中心
27	11-00621	土師器甕体部	2	28	平安時代中心

8区77号住居

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土					
1	11-00607	土師器壺口縁部	1	10	平安時代中心
2	11-00608	土師器環底部	1	2	平安時代中心
3	11-00609	土師器壺口縁部	3	24	平安時代中心
4	11-00620	土師器甕体部	9	28	平安時代中心
5	11-00671	須恵器環、開口縁部	3	15	
6	11-00672	須恵器環、胴体部	5	15	
7	11-00673	須恵器甕体部	1	50	

8区78号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・形態・調整等の特徴	備考	図面番号	図面番号
1	10-00121	土師器環	口縁(11.7) 底径(7.4) 器高 3.8	1/4. 口縁僅微で、体-底部内面僅微で、体部内面微で、底面削削り	10世紀中-後葉	第115図	P L 77
2	10-00122	須恵器環	口縁(12.8) 底径(6.4) 器高 3.4	1/4. 薄元胎焼成。右田転輪變形。底面削削り切り、切り	10世紀後半	第116図	P L 77
3	10-00123	須恵器高台付甕	口縁(14.6) 底径 7.3 器高 5.9	2/3. 薄元胎焼成。内面吸灰による灰色発色。右田転輪變形。底面削削り切り放しで高台部分付	10世紀前半	第115図	P L 77
4	10-00124	須恵器高台付甕	口縁(16.3) 高台径(8.4) 器高 6.1	1/4. 薄元胎焼成。右田転輪變形。底面削削り切り9割以上。高台部分付外周僅微で	9世紀中-後葉	第115図	P L 77
5	10-00125	土師器壺	口縁(19.4) 残高 7.6	口縁-胴部付。コ字状口縁。口縁僅微で、胴部内面僅微で、外周僅微削り	9世紀中-後葉	第115図	P L 77
6	10-00126	土師器台付甕	幅口縁(7.3) 残高 9.4	腰間部-胴部。器体-底部内面僅微で、外周削削り。胴部内面僅微で及び削削り	9世紀後半	第115図	P L 77
7	10-00127	土師	径 2.0×1.9 長さ 3.9	断面やや丸れる。縦径に径5.75mmの貫通孔。表面微削り		第115図	P L 77
8	10-00128	土師	径 0.75×0.7 長さ 4.15	表面微削り。縦径に径2.4mmの貫通孔。表面微削り及び削削り	鎌倉期か	第115図	P L 77
9	20-00547	加工痕のある礫	径 6.3×4.3 長さ 11.4	平形の河床礫。表面と右側縁に削り取り痕、及び削削り痕	二ノ谷礫石	第115図	P L 77

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土					
10	11-00602	土師器甕体部	2	10	古墳時代前期中心
11	11-00603	土師器甕体部	1	10	古墳時代前期中心
12	11-00604	土師器壺口縁部	2	10	平安時代中心
13	11-00605	土師器環底部	3	30	平安時代中心
14	11-00606	土師器壺口縁部	4	50	平安時代中心
15	11-00607	土師器甕体部	16	130	平安時代中心
16	11-00608	須恵器環、開口縁部	6	40	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
掘り方					
28	11-00602	須恵器環、開口縁部	8	25	
29	11-00603	須恵器環、胴体部	10	30	
30	11-00604	須恵器環、底底部	8	120	
31	11-00605	須恵器甕体部	1	10	
甕					
32	11-00606	土師器高台付甕	1	10	古墳時代前期中心
33	11-00607	土師器高台付甕	1	6	古墳時代前期中心
34	11-00608	土師器台付甕体部	1	10	古墳時代前期中心
35	11-00609	土師器甕体部	2	10	古墳時代前期中心
36	11-00610	土師器壺口縁部	2	4	平安時代中心
37	11-00611	土師器環底部	6	15	平安時代中心
38	11-00612	土師器壺口縁部	10	48	平安時代中心
39	11-00613	土師器甕体部	29	138	平安時代中心
40	11-00614	須恵器環、開口縁部	8	42	
41	11-00615	須恵器環、胴体部	4	15	
42	11-00616	須恵器環、碗底-高台部	3	22	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
甕					
8	11-00674	土師器甕体部	1	4	古墳時代前期中心
9	11-00675	土師器壺口縁部	9	30	平安時代中心
10	11-00676	土師器壺口縁部	4	10	平安時代中心
11	11-00677	土師器甕体部	26	65	平安時代中心
12	11-00678	須恵器環、開口縁部	2	5	
13	11-00679	須恵器環、胴体部	1	2	
14	11-00680	須恵器環、碗底部	1	4	
15	11-00681	須恵器甕体部	1	10	

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
掘り方					
24	11-00606	土師器壺口縁部	36	220	平安時代中心
25	11-00607	土師器壺体部	219	730	平安時代中心
26	11-00608	土師器壺底部	5	50	平安時代中心
27	11-00609	須恵器环、破口縁部	38	100	
28	11-00620	須恵器环、胴体部	41	140	
29	11-00601	須恵器环、甕底一高台部	15	136	
30	11-00610	須恵器壺口縁部	3	50	
31	11-00613	須恵器壺体部	5	165	
32	11-00614	須恵器壺底部	2	6	
33	11-00615	須恵器壺口縁部	2	5	
34	11-00616	須恵器壺体部	1	2	

8区79号住居

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00618	土師器壺体部	8	35	古墳時代前期中心
2	11-00617	土師器壺底部	1	65	古墳時代前期中心
3	11-00618	土師器環口縁部	3	6	平安時代中心
4	11-00619	土師器環底部	2	4	平安時代中心
5	11-00620	土師器壺体部	9	12	平安時代中心

8区80号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫刻等の特徴	備考	図版番号	図説番号
1	10-01211	須恵器皿	高台径(9.1) 底径 5.5 器高 2.8	1/2. 酸化焙焼成。右回転輪軸型。底面回転糸切り切 方施し。	11世紀	第118図	P L 77
2	10-01220	須恵器高台付壺	高台径 13.7 高台径 6.1 器高 5.0	3/4. 還元焙焼成だが焼置。右回転輪軸型。底面回転 糸切り筋を数した。高台斜付。	10世紀初—後葉	第118図	P L 77
3	10-01221	須恵器高台付壺	高台径(15.9) 高台径 6.8 器高 6.5	1/2. 還元焙焼成。内面段状に2層黄色焼斑。右回転輪 軸型。底面高台斜付時跡。内面流筋。	10世紀後半	第118図	P L 78
4	10-01222	土師器台付壺	脚部径(9.0) 器高 3.8	脚部1/2. 壺部内面斜毛目。壺一脚部外面。脚部内面下 位段状で。脚部内面中位段状の段状で。又片部段状で。	10世紀中—後葉	第118図	P L 78

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上					
5	11-00626	土師器高台脚部	2	20	古墳時代前期中心
6	11-00627	土師器壺口縁部	1	4	古墳時代前期中心
7	11-00628	土師器壺口縁部	4	34	古墳時代前期中心
8	11-00629	土師器壺体部	39	145	古墳時代前期中心
9	11-00620	土師器台付壺口縁部	1	4	古墳時代前期中心
10	11-00621	土師器台付壺体部	5	8	古墳時代前期中心
11	11-00622	土師器台付壺脚部	1	5	古墳時代前期中心
12	11-00623	土師器壺体部	17	62	古墳時代前期中心
13	11-00624	土師器壺底部	1	6	古墳時代前期中心
14	11-00625	土師器環口縁部	129	452	平安時代中心
15	11-00626	土師器環底部	244	745	平安時代中心
16	11-00627	土師器壺口縁部	72	479	平安時代中心
17	11-00628	土師器壺体部	363	1290	平安時代中心
18	11-00629	土師器壺底部	4	12	平安時代中心

8区81号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫刻等の特徴	備考	図版番号	図説番号
1	10-01223	土師器壺	口径(10.6) 器高 6.7	口縁一唇部。口縁一唇部内面段状で。外面口縁線後段 施し。肩段状で。	3世紀末葉	第119図	P L 78

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
掘					
2	11-00623	土師器環口縁部	2	8	平安時代中心
3	11-00623	土師器壺口縁部	1	20	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
掘り方					
35	11-00607	土すゝ	1	2	
掘					
37	11-00609	土師器壺体部	6	16	平安時代中心
38	11-00608	土師器環底部	4	10	平安時代中心
掘掘り方					
36	11-00610	土師器環口縁部	1	2	平安時代中心
39	11-00611	土師器環底部	2	5	平安時代中心
40	11-00612	土師器壺口縁部	1	8	平安時代中心
41	11-00613	土師器壺体部	4	20	平安時代中心
42	11-00614	須恵器环、胴体部	4	28	
43	11-00615	須恵器环、甕底一高台部	2	30	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
6	11-00622	須恵器环、破口縁部	1	2	
7	11-00622	須恵器环、胴体部	3	10	
8	11-00623	須恵器环、甕底部	1	30	
9	11-00624	須恵器壺口縁部	1	4	
10	11-00625	須恵器壺体部	2	2	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
掘上					
19	11-00640	須恵器环、破口縁部	41	175	
20	11-00641	須恵器环、胴体部	66	208	
21	11-00642	須恵器环、甕底部	10	150	
22	11-00643	須恵器环、甕底一高台部	29	300	
23	11-00644	須恵器壺口縁部	2	80	
24	11-00645	須恵器壺体部	21	350	
25	11-00646	須恵器壺	3	40	
26	11-00647	須恵器壺体部	4	10	
27	11-00648	須恵器壺口縁部	1	2	
28	11-00649	須恵器壺	1	38	
掘					
29	11-00650	土師器環底部	4	10	平安時代中心
30	11-00651	土師器壺体部	3	8	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
掘					
4	11-00654	土師器壺体部	1	5	平安時代中心
5	11-00655	須恵器环、胴体一底部	1	1	

8 区8号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	区画号	採取番号
1	10-00124	土師器杯	口径 12.3 底径 5.9 器高 4.6	ほぼ完形。口縁横溝で、体一底部内面直線で、底部直線削り	10世紀後半	第116区	P L 78
2	10-00125	土師器杯	口径 12.1 底径 7.4×6.2 器高 6.4	口縁器底1/2欠損。粘土の結合痕跡で上と下位に明確に分れる。口縁横溝で、体一底部内面直線で、外底部上位直で、下位一底部直線削り	10世紀前半	第116区	P L 78
3	10-00126	土師器杯	口径 12.5 底径 4.9 器高 4.8	1/2。口縁横溝で、体一底部内面直線で、体一外部と底部直線削り	10世紀前半	第116区	P L 78
4	10-00127	土師器杯	口径 13.1 底径 5.8 器高 4.4	2/3。粘土粗粒。口縁横溝で、体一底部内面直線で、外底部削り	10世紀後半	第116区	P L 78
5	10-00128	須恵器盥	口径(13.3) 底径 5.7 器高 5.4	1/2。磨化胎成。右回転轆轤整形。底部回転削り、切り直し	10世紀中一後半	第116区	P L 78
6	10-00129	須恵器高台付甕	口径17.0 高台径 7.3 器高 6.2	2/3。内外面直線による黄色処理。磨化胎成。左回転轆轤整形。底部回転削り切り直し後、高台削付	10世紀中一後半	第116区	P L 78
7	10-00130	須恵器高台付甕	高台径 7.0 残高 3.8	体一高台1/2。内外面直線による黄色処理。右回転轆轤整形。底部回転削り切り直し後、高台削付	10世紀前半	第116区	P L 78
8	10-00131	土師器台付甕	胴部径 9.5 残高 3.5	胴部。器面直線。内外面直線及び器口の直線で	9世紀後半	第116区	P L 78
9	10-00132	須恵器長脚甕	口径(12.0) 残高 7.1	口縁片。一部胴部も残る。傾位の直で、内面上位直線で	10世紀前半	第116区	P L 78
10	10-00133	土師	径 1.2×1.15 長さ 3.7	土師左側欠損。傾位に径3.1mmの貫通孔。表面直で	古墳時代前期	第116区	P L 78

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上					
11	11-00676	土師器甕底部	7	40	古墳時代前期中心
12	11-00677	土師器杯口縁部	16	60	平安時代中心
13	11-00678	土師器杯底部	32	98	平安時代中心
14	11-00679	土師器甕口縁部	14	100	平安時代中心
15	11-00680	土師器甕底部	87	510	平安時代中心
16	11-00681	土師器甕底部	2	30	平安時代中心
17	11-00682	須恵器杯、甕口縁部	16	64	
18	11-00683	須恵器杯、甕底一高台部	6	90	
19	11-00684	須恵器甕底部	2	80	
20	11-00685	灰釉陶器甕底部	1	2	
21	11-00686	灰釉陶器甕底一高台部	1	28	
22	11-00687	須恵器口縁一底部	1	40	
廻り方					
23	11-00688	土師器甕底部	4	30	古墳時代前期中心
24	11-00689	土師器甕底部	3	20	古墳時代前期中心
25	11-00679	土師器杯口縁部	30	110	平安時代中心
26	11-00677	土師器杯底部	24	110	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
廻り方					
27	11-00672	土師器甕口縁部	9	115	平安時代中心
28	11-00673	土師器甕底部	100	580	平安時代中心
29	11-00674	土師器甕底部	1	2	平安時代中心
30	11-00675	須恵器杯、甕口縁部	30	210	
31	11-00676	須恵器杯、甕底部	10	34	
32	11-00677	須恵器杯、甕底一高台部	13	260	
33	11-00678	須恵器甕底部	3	150	
34	11-00679	灰釉陶器甕底部	1	5	
甕					
35	11-00680	土師器甕底部	2	19	古墳時代前期中心
36	11-00681	土師器杯底部	14	80	平安時代中心
37	11-00682	土師器甕口縁部	4	24	平安時代中心
38	11-00683	土師器甕底部	15	80	平安時代中心
39	11-00684	須恵器杯、甕口縁部	1	5	
40	11-00685	須恵器杯、甕底部	3	9	
41	11-00686	須恵器杯、甕底一高台部	2	8	

8 区8号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	区画号	採取番号
1	10-00124	土師器杯	口径(11.9) 残高 2.8	口縁一底部破片。口縁横溝で、体一底部内面直線で、体一外部直線で、底部直線削り	9世紀前半	第121区	P L 78
2	10-00125	土師器甕	口径(21.0) 残高 8.0	口縁一唇部片。コ字状口縁。口縁横溝で、器口内面直線で、外底部削り	9世紀前半	第121区	P L 78
3	10-00126	土師器手取	口径 4.8 底径 3.7 器高 2.6	1/2。コ字状口縁。底部平直。内外面直線で	3世紀末～4世紀	第121区	P L 78
4	10-00127	須恵器甕	底径 9.9 残高 2.5	底部一高台1/2。高台外周部欠損。右回転轆轤整形。底部内面直及び直線で。底部回転削り切り直し後、高台削付	9世紀後半	第121区	P L 78

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上					
5	11-00670	土師器甕底部	1	2	古墳時代前期中心
6	11-00678	土師器台付甕底部	4	8	古墳時代前期中心
7	11-00679	土師器台付甕胴部	1	12	古墳時代前期中心
8	11-00670	土師器杯口縁部	60	295	平安時代中心
9	11-00671	土師器杯底部	76	182	平安時代中心
10	11-00672	土師器甕口縁部	17	80	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上					
11	11-00673	土師器甕底部	146	488	平安時代中心
12	11-00674	土師器台付甕底部	1	10	平安時代中心
13	11-00675	須恵器杯、甕口縁部	13	30	
14	11-00676	須恵器杯、甕底部	26	100	
15	11-00677	須恵器杯、甕底一高台部	15	256	
16	11-00678	須恵器甕口縁部	3	65	

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土					
17	11-00079	須恵器壺体部	7	58	
18	11-00080	須恵器長直筒器部	1	60	
19	11-00081	羽釜体部	1	16	
壺					
20	11-00082	土師器壺体部	2	10	古墳時代前期中心
21	11-00083	土師器台付壺体部	1	4	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
壺					
22	11-00084	土師器壺体部	1	10	古墳時代前期中心
23	11-00085	土師器環口縁部	5	40	平安時代中心
24	11-00086	土師器環口部	18	60	平安時代中心
25	11-00087	土師器壺体部	42	175	平安時代中心
26	11-00088	須恵器環口縁部	4	9	
27	11-00089	須恵器環口部	1	5	

8区84号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
1	10-00228	土師器杯	残存 3.7×2.8 厚み 0.4	底面破片。内面に「十」字の施書き	鎌倉期か	第121図	P L 79
2	40-00405	磁石	径 0.7×0.7 残長 6.6	先端部破片。先端より3.7cmで曲がる。横断面方形の長い角状		第121図	P L 78

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土					
3	11-00090	土師器壺口縁部	1	1	古墳時代前期中心
4	11-00091	土師器壺体部	10	60	古墳時代前期中心
5	11-00092	土師器壺体部	4	64	古墳時代前期中心
6	11-00093	土師器環口縁部	28	96	平安時代中心
7	11-00094	土師器環口部	70	220	平安時代中心
8	11-00095	土師器壺体部	18	158	平安時代中心
9	11-00096	土師器壺体部	113	285	平安時代中心
10	11-00097	須恵器環口縁部	26	80	
11	11-00098	須恵器環口部	34	120	
12	11-00099	須恵器環口部	14	190	
13	11-00100	須恵器壺体部	16	329	
14	11-00101	須恵器壺体部	1	10	
15	11-00102	須恵器壺体部	1	1	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土					
16	11-00093	須恵器壺体部	2	11	
17	11-00094	羽釜体部	5	160	
18	11-00095	土師器壺体部	2	8	古墳時代前期中心
19	11-00096	土師器環口縁部	5	20	平安時代中心
20	11-00097	土師器環口部	4	10	平安時代中心
21	11-00098	土師器壺口縁部	4	28	平安時代中心
22	11-00099	土師器壺体部	8	34	平安時代中心
23	11-00100	須恵器環口縁部	3	10	
24	11-00101	須恵器環口部	3	10	
25	11-00102	須恵器壺体部	2	42	
26	11-00103	須恵器壺体部	2	30	
27	11-00104	須恵器壺体部	1	5	

8区85号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
1	20-00048	白石	径 17.1×19.1 厚み 4.1	扁平な河床礫使用。表面に研削面が見られ、研削面中央と表面左縁部付近に最打痕残り、最打痕の一部に施化痕付	横谷輝石安山岩小礫片作業実装	第121図	P L 79
2	20-00049	白石	径 16.7×18.8 厚み 4.6	扁平な河床礫使用。表面に最打痕残り	横谷輝石安山岩	第121図	P L 79
3	20-00050	白石	径 13.5×16.2 厚み 3.9	扁平な河床礫使用。表面に深い研削面と若干の最打痕残り	石炭質緑泥	第121図	P L 79

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
壺					
4	11-00095	土師器環口縁部	1	3	平安時代中心
5	11-00096	土師器環口部	2	3	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
壺					
6	11-00097	土師器壺口縁部	1	12	平安時代中心
7	11-00098	土師器壺体部	2	5	平安時代中心

8区86号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
1	10-01229	須恵器砂鉢	口径16.5 残高 3.9	口縁一層破片。凹縁輪縁整形。内外面施釉	9世紀中～後葉	第122図	P L 79
2	10-01240	須恵器小瓶	残存 4.5×3.6 残高 3.4	腹面破片。凹縁輪縁整形。外面に施釉	10世紀か	第122図	P L 79
3	10-01241	土師	径 1.5×1.4 長さ 5.4	断面下層欠損。縦径に僅3.3mmの貫通孔。表面施釉で	鎌倉	第123図	P L 79
4	10-01242	磁石	残存 3.6×3.1 厚み 1.6	流片。表面施釉で、裏面に調整でスチの圧痕跡残り		第123図	P L 79
5	20-00051	礫石 (こも編み石)	径 3.2×3.3 長さ 10.8	河床礫使用。表面に研削面形成。中に骨刺状一周	横谷輝石安山岩	第122図	P L 79

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土					
6	11-00098	縄文	2	36	
7	11-00099	土師器環口縁部	1	6	古墳時代前期中心
8	11-00091	土師器環口縁部	1	2	古墳時代前期中心
9	11-00092	土師器壺口縁部	1	2	古墳時代前期中心
10	11-00093	土師器壺体部	37	160	古墳時代前期中心
11	11-00094	土師器壺体部	12	90	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床土					
12	11-00095	土師器台付壺体部	13	50	古墳時代前期中心
13	11-00096	土師器壺体部	1	50	古墳時代前期中心
14	11-00097	土師器環口縁部	67	182	平安時代中心
15	11-00098	土師器環口部	134	360	平安時代中心
16	11-00099	土師器壺口縁部	15	112	平安時代中心
17	11-00100	土師器壺体部	146	373	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
18	11-00653	土師器灰皿部	1	8	平安時代中心
19	11-00652	土師器台付甕脚部	1	10	平安時代中心
20	11-00650	土師器小型甕口縁部	1	22	平安時代中心
21	11-00654	須恵器坏、碗口縁部	56	250	
22	11-00655	須恵器坏、碗体部	24	100	
23	11-00656	須恵器坏、碗底一高台部	21	270	
24	11-00657	須恵器甕体部	12	335	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上					
25	11-00658	灰釉陶器甕口縁部	2	18	
26	11-00680	灰釉陶器甕体部	4	12	
27	11-00680	灰釉陶器甕底部	1	10	
掘り方					
28	11-00681	土師器坏底部	1	2	平安時代中心
29	11-00682	須恵器坏、碗底部	2	70	

8区8号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00123	土師器坏	口径(12.0) 底径 5.6 器高 4.1	1/2. 右面輪軸成形。底面一方向への施刻り	10世紀中～後葉	第116図	P L 79
2	10-00124	土師器坏	口径(11.9) 底径(7.9) 器高 3.6	1/3. 口縁縁部で、体一底部内面横位の擦痕で、体部外面で、底面施刻り	10世紀中～後葉	第116図	P L 79
3	10-00125	土師器坏	口径(12.6) 底径(7.5) 器高 3.7	1/4. 口縁一底部内面横溝で、底部内面横溝で、体部外面上位擦痕で若しくは未調整、下位及び底面施刻り	10世紀前半	第116図	P L 79
4	10-00126	須恵器高台付碗	口径 14.3 高台径 7.0 器高 5.1	口縁一部欠損。一部酸化焼成。右面輪軸成形。底面回転糸切り磨りして高台取り付け。底面で爪彫文に2/9円筒中心	10世紀前半	第116図	P L 79
5	10-00127	須恵器高台付碗	口径 13.7 底径 6.4 器高 5.4	一部欠損。内面環帯による黒色処理。右面輪軸成形。底面回転糸切り磨り後、高台取り付け時に施す	10世紀前半	第117図	P L 79
6	10-00128	須恵器高台付碗	口径(14.9) 高台径 6.5 器高 4.7	口縁一底部欠け。体一部酸化焼成。右面輪軸成形。底面回転糸切り磨り後、高台取り付け時に外周のみ施す	10世紀前半	第117図	P L 79
7	10-00129	土師器甕	口径(20.3) 残高 7.6	口縁一肩部片。口縁横溝で、肩部内面横溝で、外面施刻り	9世紀後半	第117図	P L 80
8	10-00666	角釘小	径 0.25×0.5 残長 5.2	先端鋭欠損。横断面は上位長方形、下位方形を呈す	第117図	P L 80	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上					
9	11-00683	土師器坏口縁部	5	40	平安時代中心
10	11-00684	土師器坏底部	8	20	平安時代中心
11	11-00685	土師器甕口縁部	9	50	平安時代中心
12	11-00686	土師器甕体部	38	138	平安時代中心
13	11-00687	土師器甕底部	5	20	平安時代中心
14	11-00688	須恵器坏、碗口縁部	5	18	
15	11-00689	須恵器坏、碗体部	4	16	
16	11-00690	須恵器坏、碗底一高台部	3	104	
17	11-00691	須恵器甕体部	1	6	
掘り方					
18	11-00692	土師器甕体部	1	8	古墳時代前期中心
19	11-00693	土師器坏口縁部	4	60	平安時代中心
20	11-00694	土師器坏底部	3	20	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
掘り方					
21	11-00695	土師器甕口縁部	2	20	平安時代中心
22	11-00696	土師器甕体部	7	48	平安時代中心
23	11-00697	土師器甕底部	1	8	平安時代中心
24	11-00698	須恵器坏、碗口縁部	5	55	
25	11-00699	須恵器坏、碗体部	1	10	
26	11-00700	須恵器坏、碗高足部	1	20	
27	11-00680	須恵器甕体部	2	360	
28	11-00682	須恵器坏、碗底一高台部	2	72	
貯蔵穴					
29	11-00680	土師器坏口縁部	1	2	平安時代中心
30	11-00684	土師器坏底部	1	1	平安時代中心
31	11-00685	土師器甕口縁部	1	4	平安時代中心
32	11-00686	土師器甕体部	5	9	平安時代中心

8区8号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00120	須恵器高台付碗	口径 15.3 高台径 7.2 器高 5.4	3/4. 右面輪軸成形。底面回転糸切り磨りして高台取り付け	9世紀中～後葉	第117図	P L 80
2	10-00125	土師器甕	口径(11.6) 残高 9.9	口縁一胴部1/4. 十字状口縁の小型の甕で、肩部の彫文が施される。口縁横溝で肩一肩部内面横溝で、体部外面施刻り	9世紀中～後葉	第117図	P L 80
3	40-00467	角釘	径 0.7×0.6 残長 2.2	先端鋭欠損。横断面方形の角釘状を呈す	第117図	P L 80	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上					
4	11-00688	土師器甕体部	2	10	古墳時代前期中心
5	11-00688	土師器台付甕口縁部	1	5	古墳時代前期中心
6	11-00680	土師器甕体部	3	16	古墳時代前期中心
7	11-00680	土師器甕小?	1	1	古墳時代前期中心
8	11-00681	土師器坏口縁部	14	38	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上					
9	11-00682	土師器坏体部	13	28	平安時代中心
10	11-00683	土師器甕口縁部	13	96	平安時代中心
11	11-00684	土師器甕体部	90	255	平安時代中心
12	11-00685	須恵器坏、碗口縁部	17	68	
13	11-00696	須恵器坏、碗体部	10	36	

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
		床土			
14	11-00807	須恵器環, 碗底→高台部	6	90	
		掘り方			
15	11-00809	土師器環口縁部	2	26	平安時代中心
16	11-00809	土師器環口縁部	5	62	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
		掘り方			
17	11-00900	土師器甕体部	9	65	平安時代中心
18	11-00901	須恵器環, 碗口縁部	4	25	
19	11-00902	須恵器環, 碗体部	3	10	
20	11-00903	須恵器環, 碗底部	1	12	

8区89号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・形制・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-01252	須恵器高台付碗	口径(13.1) 高径7.2 高さ 5.2	口縁→胴部3/4欠損。ないし外周環状による黒色結晶。右回 転軸輪彫形。底面回転糸切り後切り離して高台貼り付け		10世紀前半	第158図 P L 80

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
		床土			
2	11-00904	土師器環底部	1	8	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
		床土			
3	11-00905	土師器甕体部	1	4	平安時代中心

8区90号住居

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
		床土			
1	11-00906	土師器甕口縁部	1	3	古墳時代前期中心
2	11-00907	土師器台付甕体部	1	9	古墳時代前期中心
3	11-00908	土師器甕体部	1	2	古墳時代前期中心
4	11-00909	土師器環口縁部	2	5	平安時代中心
5	11-00910	土師器環底部	6	16	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
		床土			
6	11-00911	土師器甕体部	27	115	平安時代中心
7	11-00912	土師器甕底部	1	10	平安時代中心
8	11-00913	須恵器環, 碗口縁部	4	10	
9	11-00914	須恵器環, 碗体部	4	25	
10	11-00915	須恵器環, 碗高台部	1	2	

8区91号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・形制・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-01253	須恵器蓋	高台径(12.8) 高さ 4.4	胴→底部片。脱底中やぐく、内面荒れる。高台貼付で、 内外面施す		10世紀前半	第160図 P L 80

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
		床土			
2	11-00916	土師器甕体部	9	35	古墳時代前期中心
3	11-00917	土師器台付甕体部	1	1	古墳時代前期中心
4	11-00918	土師器甕体部	2	10	古墳時代前期中心
5	11-00919	土師器甕底部	2	38	古墳時代前期中心
6	11-00920	土師器環口縁部	10	18	平安時代中心
7	11-00921	土師器環底部	20	64	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
		床土			
8	11-00922	土師器甕口縁部	4	15	平安時代中心
9	11-00923	土師器甕体部	20	86	平安時代中心
10	11-00924	須恵器環, 碗口縁部	3	16	
11	11-00925	須恵器環, 碗体部	2	6	
12	11-00926	須恵器環, 碗底高台部	4	50	
13	11-00927	須恵器甕体部	2	38	

8区92号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・形制・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-01254	須恵器環	表径 5.1 高さ 2.9	胴→底部1/2。焼成甘く、器面荒れる。右回転軸輪彫形。 底面回転糸切り後切り離して矢張り矢張り、底面中央に粘土塊残る		10世紀前半	第123図 P L 80
2	10-01255	須恵器高台付碗	口径(14.4) 高さ 5.8	口縁→高台部片、色調明るく硬質。右回転軸輪彫形。底 面高台貼り付け時に欠		10世紀前半	第123図 P L 80

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
		床土			
3	11-00928	土師器甕体部	5	30	古墳時代前期中心
4	11-00929	土師器台付甕体部	3	12	古墳時代前期中心
5	11-00930	土師器甕口縁部	1	8	古墳時代前期中心
6	11-00931	土師器環口縁部	4	12	平安時代中心
7	11-00932	土師器環底部	4	14	平安時代中心
8	11-00933	土師器甕口縁部	1	8	平安時代中心
9	11-00934	土師器甕体部	24	90	平安時代中心
10	11-00935	須恵器環, 碗口縁部	4	38	
11	11-00936	須恵器環, 碗体部	3	9	
12	11-00937	須恵器環, 碗底部	2	34	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
		床土			
13	11-00938	須恵器甕体部	1	50	
		掘り方			
14	11-00939	土師器甕体部	1	4	古墳時代前期中心
15	11-00940	土師器環口縁部	1	2	平安時代中心
16	11-00941	土師器甕口縁部	1	8	平安時代中心
17	11-00942	土師器甕体部	3	10	平安時代中心
18	11-00943	須恵器甕体部	1	29	
		掘			
19	11-00944	土師器環底部	1	2	平安時代中心
20	11-00945	須恵器環, 碗口縁部	1	5	

A区93号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値(m)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00156	土師器台	胴径3.7 残高 5.6	胴部上位で受け皿部一部付属。受け皿内面穴れる。胴部内片筋毛目又は横で、外周縁磨き	3世紀末葉-4世紀	第124図	P.L.80
2	10-00157	土師器高環	口径(12.0) 残高 8.8	口縁-胴部上位1/3。胴や下位に円形の透かし。外部内周磨き。胴部内周磨き。外部環口縁縁磨で、体部-胴部間目後縁磨き	3世紀末葉	第124図	P.L.80
3	10-00158	土師器高環	口径(12.5) 胴径6.7 器高 7.7	環部2/3欠損。口縁縁磨で、体部内周磨き。体部外周-胴部外周磨き。胴部内周磨毛目	3世紀末葉	第124図	P.L.80
4	10-00159	土師器高環	口径 10.4 残高 5.6	環-胴上縁付2/4以上。器部著しく穴れる。口縁縁磨で、体部内周磨き。外周縁磨きの痕跡。胴部内面(頂部)と外周縁磨で	3世紀末葉-4世紀	第124図	P.L.80
5	10-00160	土師器台	脚部径 11.8 残高 4.4	胴部下位(1/3方向)に円形の透かし入る。胴部縁磨で、外周縁毛目と外周縁で、大形器付目	3世紀末葉	第124図	P.L.80
6	10-00161	土師器高環	脚部径 16.1 残高 6.5	胴部は円形。3方に円形の透かし入る。内周縁毛目で大形器のみ付磨で、外周縁毛目後縁磨かか磨き	3世紀末葉-4世紀	第124図	P.L.80
7	10-00162	土師器小	口径 7.2 底径 4.7 器高 4.7	一部欠損。焼成良好。僅かに上唇。口縁縁磨で、体部内外面と胴部内面、及び底面中心部指磨。底面外周縁磨で	3世紀末葉-4世紀	第124図	P.L.80
8	10-00163	土師器台付壺	脚部径(7.8) 残高 5.7	壺底部-脚部片。壺底部と脚外周縁毛目後縁で、脚内面下位筋毛目。上位筋磨で、大形器付目	3世紀末葉	第124図	P.L.80
9	10-00164	弥生土師器	胴径9.4 残高 12.0	胴部下位-脚部。内面口縁縁磨き。器部透磨れが「匱」に残る。外周口縁部磨き。肩筋線文。器部底状文	3世紀前半	第124図	P.L.81
10	10-00165	土師器壺	口径(27.0) 残高 9.6	口縁部破片。内外面に筋に寄り残る。器底穴れる。内周縁で、外周縁筋に比強3本。筋毛目後縁磨き	3世紀末葉	第124図	P.L.81
11	10-00166	土師器壺	底径 7.5 残高 10.3	胴-底筋1/3。胴-底筋内面筋毛目。体部外周縁毛目後縁磨き。底面縁磨で	3世紀末葉-4世紀	第124図	P.L.81
12	10-00167	土師器壺	底径 8.5 残高 6.6	胴-底筋2/3。内周縁筋と器部指磨で、器部透磨れ及び筋磨き。体部外周縁毛目後縁磨き。底面僅かに上げそこで裏状の圧痕筋見	3世紀末葉-4世紀	第125図	P.L.80
13	10-00168	土師	径 2.4×2.3 高さ 2.2	球状を呈する。縦位に径4.5mmの貫通孔。表面磨で	古墳時代前期	第125図	P.L.81
14	10-00169	須恵器碗	口径(16.6) 底径 7.0 器高 5.2	1/3。やや強化焼成灰味。右面輪軸磨。底面回転水切り切り施して、裏状の圧痕僅かに残る	10世紀後半-11世紀	第125図	P.L.81
15	10-00170	土師器壺	口径 17.1 残高 5.7	口縁-胴部2/3。口縁縁磨で、胴部内面筋磨で及び一部指磨で。外周縁筋りか	3世紀末葉-9世紀前半	第125図	P.L.81

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
16	11-00096	土師器台付脚部	3	150	古墳時代前期中心
17	11-00097	土師器高環口縁部	2	22	古墳時代前期中心
18	11-00098	土師器高環底-脚部	14	375	古墳時代前期中心
19	11-00099	土師器壺口縁部	24	180	古墳時代前期中心
20	11-00100	土師器壺体部	100	1335	古墳時代前期中心
21	11-00101	土師器壺底部	2	30	古墳時代前期中心
22	11-00102	土師器台付壺口縁部	4	30	古墳時代前期中心
23	11-00103	土師器台付壺体部	82	438	古墳時代前期中心
24	11-00104	土師器台付壺底-脚部	21	640	古墳時代前期中心
25	11-00105	土師器壺口縁部	20	155	古墳時代前期中心
26	11-00106	土師器壺体部	134	1345	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
27	11-00097	土師器壺底部	3	100	古墳時代前期中心
28	11-00098	弥生土師器	1	9	
29	11-00099	土師器口縁部	18	115	平安時代中心
30	11-00100	土師器環体部	28	86	平安時代中心
31	11-00101	土師器壺体部	21	153	平安時代中心
32	11-00102	須恵器外。環口縁部	3	12	
33	11-00103	須恵器壺口縁部	1	15	
34	11-00104	須恵器壺体部	1	25	
35	11-00105	須恵器壺口縁部	1	2	
36	21-00300	黑色石	1	330	

B区94号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値(m)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00171	須恵器高台付碗	高台径 7.0 残高 2.2	胴-底筋。強化焼成。右面輪軸磨。底面回転水切り施し。高台台付磨。器部筋磨も残る	10世紀前半	第126図	P.L.81

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
環上					
2	11-00096	土師器環底部	4	10	平安時代中心
3	11-00097	土師器壺体部	12	40	平安時代中心
4	11-00098	須恵器外。環口縁部	3	9	
環り方					
5	11-00099	土師器壺体部	1	3	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
環り方					
6	11-00070	土師器台付壺体部	1	2	古墳時代前期中心
7	11-00071	土師器環口縁部	3	10	平安時代中心
8	11-00072	土師器環体部	1	5	平安時代中心
9	11-00073	土師器壺口縁部	2	20	平安時代中心
10	11-00074	土師器壺体部	18	70	平安時代中心

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
掘り方					
11	11-00075	土師器染込部	1	8	平安時代中心
12	11-00076	須恵器環, 轆轤部	6	39	
13	11-00077	須恵器環, 轆轤一高合部	1	14	
14	11-00078	須恵器染込部	2	248	
甕					
15	11-00079	土師器環底部	1	2	平安時代中心
16	11-00080	土師器染込部	7	59	平安時代中心
甕掘り方					
17	11-00081	土師器環口縁部	1	19	平安時代中心
18	11-00082	土師器染込部	1	22	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
掘り方					
19	11-00083	土師器染込部	4	43	平安時代中心
20	11-00084	土師器環口縁部	1	8	平安時代中心
21	11-00085	土師器染込部	2	26	平安時代中心
22	11-00086	土師器染込部	5	28	平安時代中心
23	11-00087	須恵器環, 轆轤部	1	8	
貯蔵穴					
24	11-00088	須恵器環, 轆轤部	3	14	
床下土坑					
25	11-00089	土師器染込部	2	10	平安時代中心

8区96号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
1	10-01275	須恵器甕	口径 14.8 底径 7.3 器高 4.2	口径1/4箇欠損。焼成中や甘く器面である。右別軸轆轤部。表面斜軸糸切り時胎土の片若引っ掛け中央付近に、切り跡あり。	10世紀前半	第127図	P L 81
2	10-01272	土師器	直径 4.4 残高 4.3	胴一底部1/2弱。胴一底部内面磨面で、外面造り。	9世紀後半	第127図	P L 81

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上					
2	11-00090	土師器染込部	3	30	古墳時代前期中心
3	11-00091	土師器染込部	3	12	古墳時代前期中心
4	11-00091	土師器環口縁部	22	140	平安時代中心
5	11-00093	土師器環底部	20	72	平安時代中心
6	11-00094	土師器染込部	2	12	平安時代中心
7	11-00095	土師器染込部	31	100	平安時代中心
8	11-00096	須恵器環, 轆轤部	2	2	
9	11-00097	須恵器環, 轆轤部	3	5	
10	11-00098	須恵器環, 轆轤部	1	9	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
掘り方					
11	11-00099	土師器染込部	2	8	平安時代中心
12	11-00100	土師器染込部	4	18	平安時代中心
甕					
13	11-00101	土師器台付染込部	1	6	古墳時代前期中心
14	11-00102	土師器環口縁部	2	15	平安時代中心
15	11-00103	土師器環底部	2	10	平安時代中心
16	11-00104	土師器染込部	16	100	平安時代中心

8区97号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
1	10-01273	土師器環	口径 12.2 残高 3.5	口径一底部外縁、口径一底部内面磨面で、底部内面磨面だけで、底部外縁一底部造り後、体部磨面。	9世紀前半～中葉	第127図	P L 81

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上					
2	11-00105	土師器環口縁部	5	40	平安時代中心
3	11-00106	土師器環底部	1	12	平安時代中心
4	11-00107	土師器染込部	3	58	平安時代中心
5	11-00108	土師器染込部	7	29	平安時代中心
6	11-00109	須恵器環, 轆轤部	1	1	
7	11-00110	須恵器環, 轆轤部	1	12	
8	11-00111	須恵器染込部	1	60	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
甕					
9	11-00112	土師器染込部	1	2	古墳時代前期中心
10	11-00113	土師器環口縁部	10	46	平安時代中心
11	11-00114	土師器環底部	9	40	平安時代中心
12	11-00115	土師器染込部	2	30	平安時代中心
13	11-00116	土師器染込部	28	136	平安時代中心
14	11-00117	須恵器環, 轆轤部	1	10	
15	11-00118	須恵器環, 轆轤部	1	20	
16	11-00119	須恵器染込部	1	28	

8区98号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
1	10-01274	土師器環	口径 12.1 底径 8.2 器高 3.1	3/4、口径磨面で、体一底部内面磨面で、底部外縁磨面だけでひねれられる。表面造り。	9世紀前半～中葉	第128図	P L 81
2	20-00552	殿石 (こもろみ石)	径 4.1×2.1 長さ 13.3	河床磨使用。上面に斜行痕有り、中に磨痕後一周	黒色片岩	第128図	P L 81

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上					
3	11-00120	土師器染込部	1	10	古墳時代前期中心
4	11-00121	土師器台付染込部	1	5	古墳時代前期中心
5	11-00122	土師器環口縁部	1	8	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上					
6	11-00123	土師器染込部	4	59	古墳時代前期中心
7	11-00124	土師器環底部	7	32	平安時代中心
8	11-00125	土師器染込部	4	22	平安時代中心

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
		床上			
9	11-00706	須恵器甕体部	13	45	平安時代中心
10	11-00707	須恵器環・甕口縁部	124	16	
11	11-00708	須恵器環・胴体部	1	9	
12	11-00709	須恵器環・甕底～高台部	4	99	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
		床上			
13	11-00710	須恵器甕体部	3	89	
		甕			
14	11-00711	土師器甕体部	1	4	古墳時代前期中心
15	11-00712	土師器甕体部	1	6	平安時代中心

8区99号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00126	須恵器環	直径 7.4 残高 0.85	底部及び一部腰筋、右回転軸線整形。底面回転角切り痕、外縁回転痕あり	8世紀後半	第127図	P.L.81

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
		床上			
3	11-00703	土師器台付甕体部	3	8	古墳時代前期中心
4	11-00704	土師器甕体部	3	42	古墳時代前期中心
5	11-00705	土師器環口縁部	6	22	平安時代中心
6	11-00706	土師器環底部	7	16	平安時代中心
7	11-00707	土師器甕体部	29	90	平安時代中心
8	11-00708	土師器甕底部	1	8	平安時代中心
9	11-00709	須恵器環・甕口縁部	2	6	
10	11-00740	須恵器環・胴体部	2	8	
11	11-00741	須恵器環・甕底部	1	3	
12	11-00742	須恵器甕口縁部	1	12	
		甕り方			
13	11-00743	土師器甕体部	1	2	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
		甕り方			
14	11-00744	土師器環口縁部	5	30	平安時代中心
15	11-00745	土師器環底部	3	18	平安時代中心
16	11-00746	土師器甕口縁部	1	12	平安時代中心
17	11-00747	土師器甕体部	18	120	平安時代中心
		甕			
18	11-00748	土師器環口縁部	3	16	平安時代中心
19	11-00749	土師器環底部	4	20	平安時代中心
20	11-00750	土師器甕口縁部	5	50	平安時代中心
21	11-00751	土師器甕体部	36	160	平安時代中心
22	11-00752	土師器甕底部	1	9	平安時代中心
23	11-00753	須恵器環・甕口縁部	1	2	
24	11-00754	須恵器環・胴体部	1	8	

8区100号住居

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00755	土師器台付甕体部	2	8	古墳時代前期中心
2	11-00756	土師器環底部	2	8	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00757	土師器環体部	6	22	平安時代中心
4	11-00758	須恵器環・胴体部	1	1	

8区101号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00127	土師器台付環	残存 6.5×4.8 残高 3.3	環部口縁～底部片。口縁残存。体～底部部内面凹状で、体部外縁上段で、中位～底縁直前より	10世紀前半	第130図	P.L.81

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00760	土師器甕体部	3	20	古墳時代前期中心
3	11-00761	土師器台付甕体部	2	4	古墳時代前期中心
4	11-00762	土師器台付甕脚部	2	28	古墳時代前期中心
5	11-00763	土師器環底部	5	10	平安時代中心
6	11-00764	土師器甕口縁部	4	20	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
7	11-00765	土師器甕体部	3	8	平安時代中心
8	11-00766	須恵器環・甕口縁部	1	2	
9	11-00767	須恵器環・胴体部	1	2	
10	11-00768	須恵器環・甕底部	1	10	
11	11-00769	須恵器甕体部	1	60	

8区102号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00128	土師器台付甕環	口径(15.3) 残高 5.9	環部口縁～体部片。器面寛れる。口縁残存。体部外面直前より	3世紀末葉	第131図	P.L.81
2	10-00129	土師器台付甕	口径 17.4 残高 10.2	口縁～唇部1/2と脚一部残存。S字状口縁。口縁残存。内面器底直前で、肩一部残存。外縁部一部器底直前より	3世紀末葉	第131図	P.L.82
3	10-00130	土師器台付甕	胴部径(8.7) 残高 6.1	腰底～脚部1/2。器面寛れる。脚部直前。脚内外直前より	3世紀末葉	第132図	P.L.81
4	10-00131	須恵器高台付甕	口径(15.2) 底径 7.3 器高 5.4	1/2。やや軟質。右回転軸線整形。底部高台付け時に際して	10世紀初～中葉	第132図	P.L.81

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
		床上			
5	11-00770	土師器高台甕	2	52	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
		床上			
6	11-00771	土師器高台口縁部	1	6	古墳時代前期中心

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上					
7	11-00702	土器器口縁部	27	208	古墳時代前期中心
8	11-00703	土器器身底部	111	685	古墳時代前期中心
9	11-00704	土器器口付腰口縁部	7	90	古墳時代前期中心
10	11-00705	土器器口付腰体部	53	342	古墳時代前期中心
11	11-00706	土器器口付腰脚部	1	36	古墳時代前期中心
12	11-00707	土器器口付腰口縁部	11	100	古墳時代前期中心
13	11-00708	土器器身底部	50	375	古墳時代前期中心
14	11-00709	土器器口付腰口縁部	2	70	古墳時代前期中心
15	11-00708	土器器口付腰体部	6	20	古墳時代前期中心
16	11-00781	土器器口付腰口縁部	4	8	平安時代中心
17	11-00782	土器器口付腰体部	11	20	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上					
18	11-00783	土器器口付腰口縁部	1	5	平安時代中心
19	11-00784	須恵器器口、脚口縁部	1	10	
20	11-00785	須恵器器口、脚底部	1	7	
21	11-00786	須恵器器身底部	1	38	
102号住居一括					
22	11-00787	土器器身底部	12	50	古墳時代前期中心
23	11-00788	土器器口付腰体部	1	1	古墳時代前期中心
24	11-00789	土器器口付腰口縁部	2	9	古墳時代前期中心
25	11-00790	須恵器器口、脚底部	1	5	
26	11-00791	須恵器器口、脚底部	1	2	

8区105号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00122	土器器身	口径 9.2 残高 4.0	受皿高と脚部上端。器底穴。受皿部内面直線。脚部外直線	3世紀末葉	第133図	P.L.82
2	10-00123	土器器身	口径 7.7 残高 3.2	環部と脚部上端部3/4。環部口縁部直線。内面及び环体部一線部外直線	3世紀末葉	第133図	P.L.82
3	10-00124	土器器身	口径(20.8) 残高 3.4	環部口縁一線部1/4。内面直線。内外面直線	3世紀末葉	第133図	P.L.82
4	10-00125	土器器口付腰	口径(16.1) 残高 11.0	口縁一線部1/3。器底穴。内外面直線	3世紀末葉	第133図	P.L.82
5	10-00126	土器器口付腰	器口径(11.1) 残高 7.6	腰底部から脚部3/4。腰底部と脚部上端一線部内面直線。脚部内外面直線	3世紀末葉	第133図	P.L.82
6	10-00127	土器器口付腰	口径 12.7 残高 16.9	口縁一線部2/4。脚部欠損。S字状口縁。口縁直線。内面直線。器口縁部一線部直線。外直線。外直線部から脚一線部直線	3世紀末葉	第133図	P.L.82
7	10-00128	土器器身	口径(9.8) 残高 7.1	口縁一線部1/3。内面口縁直線及び脚部。器底直線。外直線。外直線部から脚一線部直線	3世紀末葉	第133図	P.L.82
8	10-00129	土器器身	最大径(26.0) 厚 11.5	器一線部片。内面直線。外直線。外直線部から脚一線部直線。外直線部から脚一線部直線	3世紀末葉	第133図	P.L.82
9	20-00553	磨石	径 8.0×34.8 厚 4.2	河床礫使用。左平欠損。表面に磨痕と削れ残る	ダイヤト	第134図	P.L.82
10	20-00554	白石	径 22.8×19.1 厚 6.5	縦ね崩す可河床礫使用。表面に磨痕面残る	粗粒輝石安山岩	第134図	P.L.83
11	10-00130	土製輪状瓦	残存 7.5×7.9×5.0	磁片。粘土土器質。底方に磨痕したと思われる土製の環。被焼痕跡有り。表面に磨痕。2た磁石直線	3世紀末葉か	第134図	P.L.83

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
12	11-00782	土器器口付腰脚部	2	94	古墳時代前期中心
13	11-00783	土器器身底部	3	100	古墳時代前期中心
14	11-00784	土器器口付腰口縁部	8	196	古墳時代前期中心
15	11-00785	土器器身底部	64	738	古墳時代前期中心
16	11-00786	土器器口付腰口縁部	3	55	古墳時代前期中心
17	11-00787	土器器口付腰体部	21	150	古墳時代前期中心
18	11-00788	土器器口付腰脚部	5	308	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
19	11-00789	土器器口付腰口縁部	5	150	古墳時代前期中心
20	11-00790	土器器身底部	41	735	古墳時代前期中心
21	11-00791	土器器口付腰口縁部	1	4	平安時代中心
22	11-00792	土器器身底部	3	95	平安時代中心
23	11-00793	須恵器器口、脚口縁部	3	30	
24	11-00794	須恵器器身底部	1	49	
25	11-00801	緑色片岩	1	72	

8区東部住居群

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	20-00555	磨石	径 4.4×7.6 厚 1.8	方形板状の河床礫使用。表面に磨し、磨痕面見られる	流紋岩	—	PL.83

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上					
11	11-00712	土器器身底部	2	12	古墳時代前期中心
12	11-00713	土器器身底部	16	67	古墳時代前期中心
4	11-00712	土器器口付腰口縁部	5	28	古墳時代前期中心
3	11-00713	土器器口付腰体部	1	1	古墳時代前期中心
11	11-00713	土器器口付腰口縁部	8	19	平安時代中心
7	11-00713	土器器口付腰体部	30	102	平安時代中心
11	11-00713	土器器口付腰口縁部	11	112	平安時代中心
9	11-00713	土器器口付腰体部	35	149	平安時代中心
10	11-00713	須恵器器口、脚口縁部	8	29	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
床上					
11	11-00714	須恵器器口、脚底部	6	20	
12	11-00715	須恵器器口、脚底部	7	52	
13	11-00716	須恵器器身底部	1	125	
14	11-00717	須恵器器身底部	3	35	
15	11-00718	須恵器器口、脚口縁部	1	1	
16	11-00719	須恵器器身底部	2	15	
17	11-00720	須恵器器身底部	1	86	
18	20-00902	磨石	1	270	粗粒輝石安山岩

8 区住居群

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-007105	土器器底環脚部	2	16	古墳時代前期中心
2	11-007106	土器器底口縁一体部	1	8	古墳時代前期中心
3	11-007107	土器器底口縁部	14	72	古墳時代前期中心
4	11-007108	土器器底体部	75	239	古墳時代前期中心
5	11-007109	土器器底底部	2	32	古墳時代前期中心
6	11-007110	土器器底底部	1	110	古墳時代前期中心
7	11-007111	土器器底口縁部	8	29	平安時代中心
8	11-007112	土器器底底部	25	76	平安時代中心
9	11-007113	土器器底口縁部	9	63	平安時代中心
10	11-007114	土器器底体部	26	126	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
11	11-007115	土器器底底部	2	19	平安時代中心
12	11-007116	灰皿器底、口縁部	10	70	
13	11-007117	灰皿器底、体部	15	85	
14	11-007118	灰皿器底台付裏面-高台部	3	62	
15	11-007119	灰皿器底底部	3	40	酸化
16	11-007120	灰皿器底体部	12	260	
17	11-007121	灰物陶器底口縁部	1	5	
18	11-007122	灰物陶器体部	3	10	
19	11-007123	羽蓋体部	1	34	
20	11-007124	女瓦	2	110	

8 区11号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-007216	土器器底口縁部	1	10	古墳時代前期中心
2	11-007217	土器器底体部	8	59	古墳時代前期中心
3	11-007218	土器器底台付裏面	2	30	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-007219	土器器底台付裏面	1	46	古墳時代前期中心
5	11-007220	土器器底体部	4	120	古墳時代前期中心

8 区15号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・裏面等の特徴	備考	国版号	国版番号
1	10-00380	土器器底環	頸部径 3.3 残高 6.0	灰皿部-脚部上段、器底や穴開く。灰皿部内面直で、脚部内面直で、外周直線	4世紀前半	第136図	P.L.83
2	10-00385	焼締陶器鉢	残存 7.9×3.9 厚み 1.2	口縁破片。内面磨耗。器内窪み。口縁部平ら	15世紀前半	第136図	P.L.83

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-007260	土器器底高台脚部	4	39	古墳時代前期中心
4	11-007261	土器器底口縁部	10	96	古墳時代前期中心
5	11-007262	土器器底体部	90	680	古墳時代前期中心
6	11-007263	土器器底底部	6	70	古墳時代前期中心
7	11-007264	土器器底台付裏面	4	69	古墳時代前期中心
8	11-007265	土器器底台付裏面-脚部	29	160	古墳時代前期中心
9	11-007270	土器器底台付裏面-脚部	11	115	古墳時代前期中心
10	11-007271	土器器底口縁部	5	46	古墳時代前期中心
11	11-007272	土器器底体部	30	268	古墳時代前期中心
12	11-007273	土器器底底部	2	110	古墳時代前期中心
13	11-007274	土器器底口縁部	6	30	平安時代中心
14	11-007275	土器器底底部	29	100	平安時代中心
15	11-007276	土器器底口縁部	2	9	平安時代中心
16	11-007277	土器器底体部	14	30	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
17	11-007282	灰皿器底、口縁部	2	10	
18	11-007283	灰皿器底、体部	3	22	
19	11-007284	灰皿器底、底部	10	662	
20	11-007281	灰皿器底底部	1	64	
21	11-007282	灰皿器底口縁部	1	8	
22	11-007283	羽蓋脚部	2	105	
23	11-007284	残瓦	1	22	
24	11-007285	スレート瓦	1	36	
25	11-007286	焼締陶器鉢体部	4	50	
26	11-007287	焼締陶器鉢口縁部	1	48	
27	11-007288	灰物陶器底口縁部	2	5	
28	11-007289	灰物陶器底体部	1	10	
29	21-003021	黒色瓦葺	1	40	

8 区18号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-007412	土器器底口縁部	1	14	古墳時代前期中心
2	11-007416	土器器底体部	3	30	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-007417	土器器底口縁部	1	4	平安時代中心
4	11-007418	灰皿器底体部	1	6	

8 区19号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・裏面等の特徴	備考	国版号	国版番号
1	10-00386	土鍋	径 1.5×1.4 高さ 3.65	彫形を呈す。下段一部割落。縦径に径3.5mmの貫通孔。裏面直で		第136図	P.L.83
2	20-00561	こも編み石	径 4.0×3.8 長さ 11.0	河床礫使用。一面の彎曲利用し、中段に3.5cmの磨耗面一面	粗線起陶安山石	—	P.L.83
3	40-00049	角釘か	径 0.6×0.6 残長 4.1	銀片。腐食進行顯著。横断面方形状で先端直線する。		第136図	P.L.83

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-007419	土器器底台脚部	1	6	古墳時代前期中心
5	11-007420	土器器底口縁部	8	70	古墳時代前期中心
6	11-007421	土器器底体部	35	200	古墳時代前期中心
7	11-007422	土器器底底部	1	7	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
8	11-007423	土器器底台付裏面	1	6	古墳時代前期中心
9	11-007424	土器器底口縁部	2	10	古墳時代前期中心
10	11-007425	土器器底体部	24	246	古墳時代前期中心
11	11-007426	土器器底口縁部	4	10	平安時代中心

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
12	11-00747	土器器台底部	6	30	平安時代中心
13	11-00748	土器器台底部	8	19	平安時代中心
14	11-00749	須恵器杯、残片部	14	56	
15	11-00750	須恵器杯、残底一高台部	8	90	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
16	11-00751	須恵器蓋口縁部	1	90	
17	11-00752	須恵器蓋体部	15	310	
18	11-00753	須恵器蓋体部	1	12	
19	11-00754	須恵器蓋体部	2	10	

8区30号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	国取号	国取番号
1	10-00130	灰釉陶器瓶	口径(14.4) 残高 4.9	腰一底部破片。高台付。内面縦線目調露。外面輪郭小			第136図 P L 83
2	10-00062	台石	残存 11.0×8.1×5.7	破片。河床礫使用。表面に胎行痕と強い研痕残る	実質安山岩	第136図	P L 83

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00740	土器器台合脚部	2	20	古墳時代前期中心
4	11-00746	土器器台口縁部	6	48	古墳時代前期中心
5	11-00747	土器器台体部	41	210	古墳時代前期中心
6	11-00748	土器器台底部	1	15	古墳時代前期中心
7	11-00749	土器器台合脚部	2	10	古墳時代前期中心
8	11-00740	土器器台口縁部	1	2	古墳時代前期中心
9	11-00741	土器器台体部	15	100	古墳時代前期中心
10	11-00742	土器器台口縁部	16	48	平安時代中心
11	11-00743	土器器台体部	44	118	
12	11-00744	土器器台口縁部	13	50	平安時代中心
13	11-00745	土器器台体部	49	140	平安時代中心
14	11-00746	須恵器杯、残口縁部	17	90	
15	11-00747	須恵器杯、残体部	19	80	
16	11-00748	須恵器杯、残底一高台部	8	190	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
17	11-00749	須恵器蓋口縁部	2	70	
18	11-00750	須恵器蓋体部	31	660	
19	11-00751	須恵器蓋体部	2	140	
20	11-00752	須恵器蓋体部	3	150	酸化
21	11-00753	須恵器蓋口縁部	1	6	
22	11-00754	須恵器蓋体部	1	26	
23	11-00755	灰釉陶器口縁部	1	2	
24	11-00756	灰釉陶器体部	1	2	
25	11-00757	灰釉陶器底面	1	12	
26	11-00758	灰釉陶器体部	5	60	
27	11-00759	磁器	1	2	現代
28	11-00760	瓦瓦	2	80	
29	11-00305	こも礫石	1	40	

8区31号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	国取号	国取番号
1	10-00136	土器器台杯	胴部径(3.4) 残高 7.8	杯底部一箇中位。胴部に内孔の浅小×3並。杯部内面は磨き。外面は。胴部内面指痕で。外面は磨き	3世紀末葉	第136図	P L 83
2	10-00130	土器器台合脚部	口径(17.2) 残高 7.5	口縁一層部片。5字状口縁。口縁横溝で外側と胴部内面縦毛目。唇部内面指痕で	3世紀末葉	第136図	P L 83
3	10-00130	須恵器短脚盤	縦径(10.0) 残高(14.3)	腰一底部。1/3。唇縁。胴部外周と底面は調整。表面強い高台粘り付	8世紀中葉	第136図	P L 83
4	10-00131	須恵器長脚盤	口径(10.5) 残高 9.5	口縁一層部3/4。自然輪郭小。口縁外反し踵下方向に引	5世紀	第136図	P L 83

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
5	11-00740	土器器台合脚部	3	84	古墳時代前期中心
6	11-00746	土器器台口縁部	16	130	古墳時代前期中心
7	11-00747	土器器台体部	85	678	古墳時代前期中心
8	11-00748	土器器台合脚部	5	58	古墳時代前期中心
9	11-00749	土器器台合脚部	29	200	古墳時代前期中心
10	11-00746	土器器台口縁部	1	10	古墳時代前期中心
11	11-00747	土器器台体部	32	348	古墳時代前期中心
12	11-00748	土器器台底部	2	92	古墳時代前期中心
13	11-00749	土器器台口縁部	41	170	平安時代中心
14	11-00750	土器器台底部	70	270	平安時代中心
15	11-00751	土器器台口縁部	26	160	平安時代中心
16	11-00752	土器器台体部	72	310	平安時代中心
17	11-00753	須恵器杯、残口縁部	18	62	
18	11-00754	須恵器杯、残体部	26	114	
19	11-00755	須恵器杯、残底一高台部	15	216	
20	11-00756	須恵器蓋口縁部	2	50	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
21	11-00757	須恵器蓋体部	17	670	
22	11-00758	須恵器蓋体部	2	100	酸化
23	11-00759	須恵器蓋口縁部	2	30	
24	11-00760	須恵器口縁部	1	10	
25	11-00761	須恵器体部	1	40	
26	11-00762	須恵器器台体部	4	178	
27	11-00763	須恵器器台体部	2	45	
28	11-00764	灰釉陶器口縁部	3	10	
29	11-00765	灰釉陶器体部	1	3	
30	11-00766	灰釉陶器底面	1	18	
31	11-00767	灰釉陶器底面一高台部	1	10	
32	11-00768	灰釉陶器体部	1	40	
33	11-00769	磁器	1	22	近代
34	11-00790	磁器	2	15	現代
35	11-00307	礫石	1	65	

8区32号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	国取号	国取番号
1	10-00132	青磁碗	口径 4.3×4.1 厚さ 0.5	口縁部破片。釉は濃いが硬さだれる	飛鳥前期	第136図	P L 84

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-007491	土師器高坏師部	1	20	古墳時代前期中心
3	11-007492	土師器蓋口縁部	7	50	古墳時代前期中心
4	11-007493	土師器蓋体部	42	345	古墳時代前期中心
5	11-007494	土師器蓋底面	2	50	古墳時代前期中心
6	11-007495	土師器台付蓋口縁部	1	10	古墳時代前期中心
7	11-007496	土師器台付蓋体部	9	49	古墳時代前期中心
8	11-007497	土師器台付蓋底面	1	18	古墳時代前期中心
9	11-007498	土師器蓋口縁部	2	40	古墳時代前期中心
10	11-007499	土師器蓋体部	19	188	古墳時代前期中心
11	11-007500	土師器坏口縁部	14	42	平安時代中心
12	11-007501	土師器坏底面	23	78	平安時代中心
13	11-007502	土師器蓋口縁部	7	40	平安時代中心
14	11-007503	土師器蓋体部	26	70	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
15	11-007504	須恵器坏、甕口縁部	5	26	
16	11-007505	須恵器坏、甕体部	10	66	
17	11-007506	須恵器坏、甕底一高台部	8	160	
18	11-007507	須恵器蓋口縁部	2	38	
19	11-007508	須恵器蓋体部	11	352	
20	11-007509	瓦瓦	1	114	
21	11-007510	須恵	2	29	
22	11-007511	軟質陶器鉢口縁部	1	10	
23	11-007512	軟質陶器鉢体部	4	26	
24	11-007513	灰陶器甕口縁部	3	35	
25	11-007514	緑釉陶器体部	1	3	
26	21-003020	こも礫石	1	48	
27	21-003020	火打石	1	50	

8区23号棟

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-004313	土師器高坏	口径(23.9) 残高 4.3	口縁一帯部のみ、磨面される。口縁部端部残破で、口縁一帯部内面磨面。外縁部も口縁の当り一箇所を有り	3世紀末葉	第138図	P.L.84
2	10-004314	土師器ミニチュア土師	口径 5.7 残高 3.4	3/4、口縁部滑り、裏に足びる可能性あり。台付裏面に乳白、内面やや緑で磨面、外・底面丁寧な磨面で滑しく仕上げ済	古墳時代前期	第138図	P.L.84
3	10-004315	土師器甕	底径 4.6 残高 4.1	底部分、底面乳白を付。器底やや寛れる。内面磨面で、体部外面磨面。底面磨	古墳時代前期 奈良・藤原朝	第138図	P.L.84

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-007515	土師器蓋口縁部	1	10	古墳時代前期中心
5	11-007516	土師器蓋体部	37	305	古墳時代前期中心
6	11-007517	土師器台付蓋口縁部	1	5	古墳時代前期中心
7	11-007518	土師器台付蓋体部	10	120	古墳時代前期中心
8	11-007519	土師器台付蓋底面	4	40	古墳時代前期中心
9	11-007520	土師器蓋口縁部	3	28	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
10	11-007521	土師器蓋体部	8	148	古墳時代前期中心
11	11-007522	土師器坏口縁部	2	9	平安時代中心
12	11-007523	土師器坏体部	1	5	平安時代中心
13	11-007524	土師器蓋口縁部	2	20	平安時代中心
14	11-007525	須恵器坏、甕口縁部	2	5	
15	11-007526	須恵器坏、甕体部	1	2	

8区24号棟

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-004316	土師器坏	口径(33.0) 底径(6.8) 残高 4.1	1/4、口縁磨面で、体一底部内面磨面で、体部外面磨面で残部滑。底面磨面	10世紀前半	第138図	P.L.84
2	10-004317	須恵器高台付甕	口径(14.3) 底径(6.4) 残高 5.8	1/4、裏面磨面。内外面磨面による黒色色。右回転軸磨面。底面回転糸切り残高台付有り	10世紀前半	第138図	P.L.84
3	10-004318	須恵器甕	口径(14.8) 残高 2.4	破片。黒光磨面。右回転軸磨面。底面回転糸切り	9世紀前半	第138図	P.L.84
4	10-004319	灰陶器甕	口径(7.2) 残高 2.0	口縁一側部欠損。回転軸磨面。軸部糸切り	9世紀前半	第138図	P.L.84
5	10-004320	土師器甕台	胴部径(12.6) 残高 6.5	胴部のみ、径1cm程度の円孔3箇所を穿く。磨面磨面で、内面上下磨面、下半部も目。外縁部も目後磨面。下半部のみ一部磨	3世紀末葉	第138図	P.L.84
6	10-004321	土製結線率	残存 2.5×3.8 厚み 1.7	破片。裏面磨面。土師器で測定7.5mm径の内磨面を呈し、中央に向かって窪む。中心に測定径1.2cmの貫通孔。上面表面と孔上位置で。	第138図	P.L.84	
7	40-004070	銅鉄「大定通寶」	径 2.5×2.505 厚み 0.11	左下縁部一部欠損。本錢か。裏面に上位に「四」字の烙印	金の大安29年(1189) 鑄造	第138図	P.L.84

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
8	11-007527	土師器高坏師部	1	20	古墳時代前期中心
9	11-007528	土師器蓋口縁部	2	8	古墳時代前期中心
10	11-007529	土師器蓋体部	19	86	古墳時代前期中心
11	11-007530	土師器蓋底面	2	35	古墳時代前期中心
12	11-007531	土師器台付蓋口縁部	3	50	古墳時代前期中心
13	11-007532	須恵器坏、甕口縁部	18	80	平安時代中心
14	11-007533	須恵器坏、甕体部一高台部	22	70	平安時代中心
15	11-007534	須恵器坏、甕口縁部	11	440	平安時代中心
16	11-007535	須恵器坏、甕体部	1	30	鎌化
17	11-007536	須恵器蓋体部	15	515	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
18	11-007537	土師器台付蓋体部	9	55	古墳時代前期中心
19	11-007538	土師器蓋体部	18	60	古墳時代前期中心
20	11-007539	土師器坏口縁部	19	60	平安時代中心
21	11-007540	土師器坏体部	52	48	平安時代中心
22	11-007541	土師器蓋口縁部	19	108	平安時代中心
23	11-007542	土師器蓋体部	49	145	平安時代中心
24	11-007543	須恵器蓋体部	3	60	平安時代中心
25	11-007544	須恵器蓋底面	1	38	
26	11-007545	須恵器蓋体部	1	60	鎌化
27	11-007546	軟質陶器蓋体部	1	126	

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
28	11-00747	灰陶器鉢底部	2	28		30	11-00749	灰陶器碗底部	2	18	
29	11-00748	灰陶器碗口縁部	1	4		31	21-00830	磨石	2	155	

8区25号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値(m)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
1	10-00132	灰陶器碗	底径 8.0 残高 2.8	瓶一高台1/3、内面輪跡小。三ノ月高台でやや丸る	10世紀後半	第138図	P.184

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00750	土師器壺口縁部	2	12	古墳時代前期中心	12	11-00760	土師器環底部	18	108	平安時代中心
3	11-00751	土師器壺底部	21	100	古墳時代前期中心	13	11-00761	土師器壺口縁部	5	12	平安時代中心
4	11-00752	土師器壺底部	1	30	古墳時代前期中心	14	11-00762	土師器壺底部	23	78	平安時代中心
5	11-00753	土師器台付壺口縁部	1	8	古墳時代前期中心	15	11-00763	須恵器杯、碗口縁部	3	10	
6	11-00754	土師器台付壺底部	3	18	古墳時代前期中心	16	11-00764	須恵器杯、碗底部	5	19	
7	11-00755	土師器台付壺脚部	1	16	古墳時代前期中心	17	11-00765	須恵器壺底部	2	19	
8	11-00756	土師器壺口縁部	3	58	古墳時代前期中心	18	11-00766	灰陶器鉢底部	2	54	
9	11-00757	土師器壺底部	15	110	古墳時代前期中心	19	11-00767	亀付腕	1	32	近世
10	11-00758	弥生器底部	1	22		20	11-00768	灰陶器鉢口縁部	3	30	近世
11	11-00759	土師器杯口縁部	3	7	平安時代中心	21	11-00769	瓦瓦	1	19	

8区29号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00762	土師器台付壺底部	1	32	古墳時代前期中心	8	11-00782	土師器壺底部	12	100	平安時代中心
2	11-00763	土師器壺口縁部	12	40	古墳時代前期中心	9	11-00783	須恵器杯、碗口縁部	7	20	
3	11-00767	土師器台付壺口縁部	1	8	古墳時代前期中心	10	11-00784	須恵器杯、碗底部	2	6	
4	11-00768	土師器壺底部	4	48	古墳時代前期中心	11	11-00785	須恵器杯、碗底一高台部	1	16	
5	11-00769	土師器杯口縁部	7	20	平安時代中心	12	11-00786	須恵器壺底部	2	10	
6	11-00780	土師器杯底部	18	54	平安時代中心	13	11-00787	灰陶器鉢底部	1	30	
7	11-00781	土師器壺口縁部	3	8	平安時代中心	14	21-00831	磨石	1	108	

8区31号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00766	土師器壺底部	7	29	古墳時代前期中心	5	11-00782	土師器壺底部	1	10	平安時代中心
2	11-00769	土師器壺口縁部	2	14	古墳時代前期中心	6	11-00783	瓦瓦	1	10	
3	11-00780	土師器杯口縁部	1	4	平安時代中心	7	11-00784	灰陶器鉢口縁部	1	2	
4	11-00781	土師器壺口縁部	1	16	平安時代中心						

8区33号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00767	土師器壺底部	5	14	古墳時代前期中心	5	11-00785	須恵器杯、碗底一高台部	2	18	
2	11-00767	土師器杯底部	6	16	平安時代中心	6	11-00787	須恵器壺底部	7	90	
3	11-00767	土師器壺底部	15	53	平安時代中心	7	11-00789	須恵器壺底部	1	50	
4	11-00767	須恵器杯、碗底部	2	8		8	11-00789	灰陶器鉢底部	1	4	

8区34号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値(m)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
1	10-00132	土師器杯	口径 12.5 底径 10.5 器高 2.9	2/3、口縁縁部で、体一底部内面隆起及び指物で、外面底部上段部で、底部下位一底面裏面より底部部隆起	9世紀後半	第138図	P.184
2	10-00133	土師器台付壺	口径 7.7×5.9 残高 3.0	壺底部一脚上端部片、壺部内外面隆起、脚部内面上海部隆起	古墳時代前期	第138図	P.184

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00780	土師器壺口縁部	3	20	古墳時代前期中心	9	11-00786	土師器杯底部	6	30	平安時代中心
4	11-00780	土師器壺底部	29	180	古墳時代前期中心	10	11-00787	土師器壺底部	3	30	平安時代中心
5	11-00782	土師器台付壺底部	4	18	古墳時代前期中心	11	11-00788	須恵器杯、碗口縁部	3	18	
6	11-00783	土師器台付壺脚部	2	22	古墳時代前期中心	12	11-00789	須恵器杯、碗底一高台部	5	50	
7	11-00784	土師器壺底部	7	50	古墳時代前期中心	13	11-00790	須恵器壺底部	3	110	
8	11-00785	土師器杯口縁部	2	20	平安時代中心						

8区35号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-05761	土師器壺口縁部	1	2	古墳時代前期中心
2	11-05762	土師器壺体部	4	12	古墳時代前期中心
3	11-05763	土師器壺底	1	16	古墳時代前期中心
4	11-05764	土師器壺体部	1	10	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
5	11-05765	土師器環底	6	14	平安時代中心
6	11-05766	土師器壺体部	3	6	平安時代中心
7	11-05767	須恵器環、甕口縁部	1	2	
8	11-05768	須恵器環、甕体部	1	4	

8区36号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図版No.	図版番号
1	10-01334	灰釉陶器小瓶	底径(4.0) 残高 2.8	唇→底部1/4、右側軸線變形、外部施釉、表面回転糸型9段		9世紀前半	第14100 P.L.84

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-05769	土師器壺体部	1	10	古墳時代前期中心
3	11-05770	土師器環底	1	2	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-05771	須恵器壺体部	1	10	

8区40号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-05775	土師器高坏頸部	2	10	古墳時代前期中心
2	11-05773	土師器壺口縁部	1	6	古墳時代前期中心
3	11-05774	土師器壺体部	10	36	古墳時代前期中心
4	11-05775	土師器環口縁部	2	10	平安時代中心
5	11-05776	土師器環底	2	10	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
6	11-05770	土師器壺口縁部	1	3	平安時代中心
7	11-05778	土師器壺体部	5	12	平安時代中心
8	11-05779	須恵器環、甕口縁部	1	2	
9	11-05771	須恵器環、甕体部	1	8	
10	11-05771	灰釉陶器甕底	1	4	

8区42号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-05712	土師器壺体部	2	14	古墳時代前期中心
2	11-05713	土師器台付甕口縁部	1	3	古墳時代前期中心
3	11-05714	土師器壺体部	1	16	古墳時代前期中心
4	11-05715	土師器環口縁部	1	4	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
5	11-05716	土師器環底	1	8	平安時代中心
6	11-05717	須恵器環、甕口縁部	1	20	
7	11-05718	須恵器体部	1	40	

8区43号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-05719	土師器高坏頸部	2	48	古墳時代前期中心
2	11-05720	土師器壺口縁部	1	38	古墳時代前期中心
3	11-05721	土師器壺体部	6	84	古墳時代前期中心
4	11-05722	土師器壺底	1	20	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
5	11-05723	土師器台付甕口縁部	1	10	古墳時代前期中心
6	11-05724	土師器壺口縁部	1	6	古墳時代前期中心
7	11-05725	土師器環底	1	4	平安時代中心
8	11-05726	土師器壺体部	2	38	平安時代中心

8区44号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-05727	土師器壺口縁部	4	38	古墳時代前期中心
2	11-05728	土師器壺体部	28	165	古墳時代前期中心
3	11-05729	土師器台付甕口縁部	4	10	古墳時代前期中心
4	11-05730	土師器台付甕口縁部	1	16	古墳時代前期中心
5	11-05731	土師器壺口縁部	4	21	古墳時代前期中心
6	11-05732	土師器壺体部	8	106	古墳時代前期中心
7	11-05733	土師器環口縁部	10	68	平安時代中心
8	11-05734	土師器環底	29	90	平安時代中心
9	11-05735	土師器壺口縁部	5	34	平安時代中心
10	11-05736	土師器壺体部	11	32	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
11	11-05737	土師器壺体部	1	20	平安時代中心
12	11-05738	須恵器環、甕口縁部	11	30	
13	11-05739	須恵器環、甕体部	9	40	
14	11-05740	須恵器環、甕底一高台部	10	234	
15	11-05741	須恵器壺体部	26	865	
16	11-05742	須恵器壺底	1	180	
17	11-05743	須恵器壺	1	78	
18	11-05744	瓦瓦	1	20	
19	11-05745	灰質陶器	1	10	
20	11-05746	灰釉陶器甕口縁部	2	20	
21	11-05747	灰釉陶器甕体部	1	18	
22	11-05748	灰釉陶器甕底	1	20	

8区45号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-05749	土師器壺口縁部	1	6	古墳時代前期中心
2	11-05750	土師器壺体部	27	160	古墳時代前期中心
3	11-05751	土師器壺底	2	10	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-05752	土師器壺口縁部	1	6	古墳時代前期中心
5	11-05753	土師器壺体部	4	18	古墳時代前期中心
6	11-05754	土師器壺底	1	10	古墳時代前期中心

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
7	11-007715	土師器環口縁部	13	40	平安時代中心
8	11-007716	土師器台付臺部	43	140	平安時代中心
9	11-007717	土師器臺口縁部	5	20	平安時代中心
10	11-007718	土師器臺底部	23	80	平安時代中心
11	11-007719	土師器小型臺口縁部	2	20	平安時代中心
12	11-007720	須恵器环、碗口縁部	16	60	
13	11-007721	須恵器环、碗底部	14	42	
14	11-007722	須恵器环、碗底一高台部	9	150	
15	11-007723	須恵器臺口縁部	1	16	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
16	11-007724	須恵器臺底部	20	342	
17	11-007725	須恵器臺口縁部	1	4	
18	11-007726	女瓦	1	50	
19	11-007727	貝蓋底部	1	15	
20	11-007728	灰輪陶器碗口縁部	2	8	
21	11-007729	灰輪陶器碗底部	3	10	
22	11-007730	灰輪陶器碗底部	1	18	
23	21-000306	磨石	1	100	

8区46号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
1	20-000549	磁石 (こも羅み石)	径 5.0×5.2 残長 11.7	下位左傾。自然磨使用。上端に粗打痕残り。下位に磨粒痕一箇	砂岩	第153図	—

8区49号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
1	10-001325	輪軸皿	径径 3.6×4.0 残高 210.3	底一高台部残片。全面に施軸。表面に浮彫。高台に横線心	10世紀。京又は近江	第136図	P.L.84

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-007711	土師器臺底部	27	148	古墳時代前期中心
3	11-007712	土師器臺底部	1	20	古墳時代前期中心
4	11-007713	土師器台付臺底部	3	8	古墳時代前期中心
5	11-007714	土師器臺底部	33	248	古墳時代前期中心
6	11-007715	土師器環口縁部	6	33	平安時代中心
7	11-007716	土師器環底部	15	40	平安時代中心
8	11-007717	土師器臺底部	7	24	平安時代中心
9	11-007718	須恵器环、碗口縁部	4	12	
10	11-007719	須恵器环、碗底部	4	20	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
11	11-007720	須恵器环、碗底一高台部	6	130	
12	11-007721	須恵器臺底部	22	690	
13	11-007722	須恵器平子底部	1	54	
14	11-007723	女瓦	1	2	
15	11-007724	灰輪陶器碗口縁部	1	10	
16	51-00051	馬の歯	3	2	
17	21-000307	磨石	1	208	
18	21-000308	磁石	1	230	

8区51号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
1	10-001326	灰輪陶器碗	底径(8.0) 残高 2.8	底一高台1/4。内面全面施軸心。高台の付け方稀	11世紀後半	第138図	P.L.84
2	20-000570	打製石斧	幅 9.7 厚A 2.0 残長 10.7	手拵品。残存部は銀杏葉形を呈する。一部に自然磨痕千跡片を有し。表面両面から新磨調整	羅紋輝石安山岩	第139図	P.L.85

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-007725	土師器臺底部	12	74	古墳時代前期中心
4	11-007726	土師器臺底部	2	70	古墳時代前期中心
5	11-007727	土師器台付臺底部	2	8	古墳時代前期中心
6	11-007728	土師器臺底部	3	30	古墳時代前期中心
7	11-007729	土師器環口縁部	10	28	平安時代中心
8	11-007730	土師器環底部	24	50	平安時代中心
9	11-007731	土師器臺口縁部	4	14	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
10	11-007732	土師器臺底部	14	33	平安時代中心
11	11-007733	須恵器环、碗口縁部	5	18	
12	11-007734	須恵器环、碗底部	7	20	
13	11-007735	須恵器环、碗底一高台部	6	168	
14	11-007736	須恵器臺口縁部	1	10	
15	11-007737	須恵器臺底部	9	250	

8区53号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-007738	土師器高环底部	1	12	古墳時代前期中心
2	11-007739	土師器臺口縁部	1	8	古墳時代前期中心
3	11-007740	土師器臺底部	8	32	古墳時代前期中心
4	11-007741	土師器環口縁部	3	12	平安時代中心
5	11-007742	土師器環底部	6	20	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
6	11-007743	土師器臺口縁部	2	12	平安時代中心
7	11-007744	須恵器环、碗底部	6	54	
8	11-007745	須恵器环、碗高台部	1	4	
9	11-007746	須恵器臺底部	2	44	
10	11-007747	灰輪陶器鉢	1	10	

8区54号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-007748	土師器高环底部	1	20	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-007749	土師器臺底部	7	98	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00780	土師器香体部	2	10	古墳時代前期中心
4	11-00781	土師器灰口縁部	3	5	平安時代中心
5	11-00782	須恵器香体部	1	38	
6	11-00783	須恵器香体部	1	10	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
7	11-00784	枕瓦	1	158	
8	11-00002	木片	1	14	
9	11-00003	磁石	1	290	
10	11-00004	コンクリート	1	190	

8区56号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00137	土師器環	口径(11.1) 残高 3.5	口縁一部破片。口縁残存で、体一部内面残存で、体部外面磨滅で、底面瓦割り	9世紀前半	第140図	P.L.85

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00785	土師器口縁部	1	14	古墳時代前期中心
3	11-00786	土師器香体部	2	30	古墳時代前期中心
4	11-00787	土師器台付薬口縁部	1	4	古墳時代前期中心
5	11-00788	土師器口縁部	9	55	平安時代中心
6	11-00789	土師器灰口縁部	14	66	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
7	11-00790	土師器口縁部	3	60	平安時代中心
8	11-00791	土師器香体部	12	80	平安時代中心
9	11-00792	須恵器灰口縁部	2	8	
10	11-00793	須恵器香体部	1	4	
11	11-00794	須恵器香体部	2	38	

8区59号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00795	土師器台付薬口縁部	1	25	古墳時代前期中心
2	11-00796	土師器高口縁部	3	20	古墳時代前期中心
3	11-00797	土師器残存一部	1	20	古墳時代前期中心
4	11-00798	土師器口縁部	1	10	古墳時代前期中心
5	11-00799	土師器香体部	12	98	古墳時代前期中心
6	11-00800	土師器台付薬口縁部	2	10	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
7	11-00801	土師器台付薬体部	6	20	古墳時代前期中心
8	11-00802	土師器香体部	2	20	古墳時代前期中心
9	11-00803	土師器口縁部	6	18	平安時代中心
10	11-00804	土師器灰口縁部	3	8	平安時代中心
11	11-00805	須恵器灰口縁部	2	8	
12	11-00806	須恵器灰口縁部	2	6	

8区8号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00136	須恵器底	口径(13.1) 底径 6.5 底厚高 3.4	1/3。底平船底形。片岩混入。右回転軸轆轤形。底面凹形。底面切り後、高台跡有り行跡有り。無で	10世紀前半	第144図	P.L.85
2	10-00138	須恵器高台付	高台径 6.9 残高 3.8	腰部一高台。右回転軸轆轤形。底面凹形。底面切り後、外周高台跡有り行跡に無で。底面内面に底面。内面に底面。内面に底面。	10世紀前半	第144図	P.L.85
3	10-00139	須恵器高台付	高台径 6.9 残高 4.2	腰部一高台。右回転軸轆轤形。底面凹形。底面切り後、高台跡有り行跡に無で。	10世紀前半	第145図	P.L.85
4	10-00170	須恵器高台付残	口径(16.0) 底径(11.5) 底厚高 6.7	口縁部一高台破片。底面欠損。内面に半凹形残存。底面良好。右回転軸轆轤形	10世紀後半	第144図	P.L.85
5	10-00171	須恵器底	底径 4.3 残高 2.1	1/2。口縁欠損。右回転軸轆轤形。底面凹形。底面切り後、底面全面に底面。	11世紀後半	第144図	P.L.85
6	10-00172	土師	径 1.0×0.9 長さ 3.3	一部割断。棒状を呈す。底面による原色脱落。縦面に径3mmの穿孔。表面磨滅で		第144図	P.L.85
7	10-00173	須恵器底	残存径 1×5.1 長さ 1.5	腰部破片。外周磨き跡の残存で、内面残存で		第144図	P.L.85
8	10-00200	木片	一片 3.4×5.03以下	15片以上に分かれる。自然木か	8-1	第144図	P.L.86

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
9	11-00820	土師器口縁部	1	7	古墳時代前期中心
10	11-00821	土師器口縁部	1	8	古墳時代前期中心
11	11-00822	土師器高口縁部	1	28	古墳時代前期中心
12	11-00823	土師器高口縁部	2	74	古墳時代前期中心
13	11-00824	土師器口縁部	11	60	古墳時代前期中心
14	11-00825	土師器香体部	20	124	古墳時代前期中心
15	11-00826	土師器香体部	3	124	古墳時代前期中心
16	11-00827	土師器台付薬口縁部	1	6	古墳時代前期中心
17	11-00828	土師器台付薬体部	1	8	古墳時代前期中心
18	11-00829	土師器小型薬口縁部	2	28	古墳時代前期中心
19	11-00830	土師器口縁部	3	56	古墳時代前期中心
20	11-00831	土師器香体部	25	210	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
21	11-00832	土師器口縁部	59	224	平安時代中心
22	11-00833	土師器灰口縁部	133	448	平安時代中心
23	11-00834	土師器口縁部	1	12	平安時代中心
24	11-00835	土師器口縁部	40	210	平安時代中心
25	11-00836	土師器香体部	143	550	平安時代中心
26	11-00837	土師器香体部	2	52	平安時代中心
27	11-00838	土師器台付薬口縁部	1	52	平安時代中心
28	11-00839	須恵器灰口縁部	34	168	
29	11-00840	須恵器灰口縁部	26	110	
30	11-00841	須恵器灰口縁部	29	775	
31	11-00842	須恵器口縁部	2	10	酸化
32	11-00843	須恵器香体部	4	18	酸化

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
33	11-00814	須恵器焼成～高台部	11	336	酸化
34	11-00815	須恵器壺口縁部	8	440	
35	11-00816	須恵器壺体部	56	3790	
36	11-00817	須恵器壺底面	1	79	
37	11-00818	須恵器体部	5	256	酸化
38	11-00819	須恵器壺口縁部	2	20	
39	11-00820	須恵器壺底面	1	5	
40	11-00821	須恵器壺	3	20	
41	11-00822	須恵器口縁部	1	28	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
42	11-00823	羽釜胴部	4	318	
43	11-00824	羽釜体部	7	280	
44	11-00825	瓦瓦	2	114	
45	11-00826	敷瓦陶器	3	40	
46	11-00827	灰輪陶器轆轤部	1	2	
47	11-00828	灰輪陶器軋床部	1	9	
48	11-00829	灰輪陶器蓋体部	2	26	
49	21-00246	黒色瓦片	1	40	

8区8号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
1	11-001030	土師器台付壺	脚部径 8.8 残高 6.7	器一自然。裏部内面指障で、外面煎煎り。台部横溝で傾	9世紀	第145図	P.L.86

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-007860	土師器坏体部	1	9	平安時代中心
3	11-007861	土師器壺底面	7	35	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-007862	須恵器坏、轆口縁部	1	8	
5	11-007863	須恵器坏、轆体部	1	5	

8区12号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-007876	土師器高坏脚部	1	4	古墳時代前期中心
2	11-007877	土師器壺体部	1	7	古墳時代前期中心
3	11-007878	土師器壺底面	1	52	古墳時代前期中心
4	11-007879	土師器坏口縁部	2	16	平安時代中心
5	11-007880	土師器坏底面	3	5	平安時代中心
6	11-007881	土師器壺体部	2	8	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
7	11-007882	須恵器坏、轆口縁部	1	5	
8	11-007883	須恵器坏、轆体部	4	19	
9	11-007884	須恵器坏、轆成～高台部	2	50	
10	11-007885	須恵器壺体部	3	126	
11	21-00363	煎石	1	504	

8区13号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-007886	土師器壺口縁部	3	22	古墳時代前期中心
2	11-007887	土師器壺体部	11	98	古墳時代前期中心
3	11-007888	土師器坏口縁部	2	6	平安時代中心
4	11-007889	土師器坏底面	12	40	平安時代中心
5	11-007890	土師器壺口縁部	7	30	平安時代中心
6	11-007891	土師器壺体部	18	66	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
7	11-007892	須恵器坏、轆口縁部	3	8	
8	11-007893	須恵器坏、轆体部	10	28	
9	11-007894	須恵器坏、轆成～高台部	4	56	
10	11-007895	須恵器壺体部	12	328	
11	11-007896	灰輪陶器轆口縁部	1	5	
12	11-007897	灰輪陶器轆轤部	3	10	

8区14号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-007898	土師器坏口縁部	1	3	平安時代中心
2	11-007899	土師器坏底面	6	14	平安時代中心
3	11-007900	土師器壺口縁部	1	3	平安時代中心
4	11-007901	土師器壺体部	2	60	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
5	11-007902	須恵器坏、轆口縁部	2	10	
6	11-007903	須恵器坏、轆体部	1	2	
7	11-007904	灰輪陶器轆口縁部	1	15	

8区15号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-007906	土師器壺口縁部	1	10	古墳時代前期中心
2	11-007907	土師器壺体部	6	20	古墳時代前期中心
3	11-007908	土師器壺底面	3	16	古墳時代前期中心
4	11-007909	土師器坏口縁部	5	18	平安時代中心
5	11-007910	土師器坏底面	14	40	平安時代中心
6	11-007911	土師器壺口縁部	9	108	平安時代中心
7	11-007912	土師器壺体部	32	168	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
8	11-007913	須恵器坏、轆口縁部	8	28	
9	11-007914	須恵器坏、轆成～高台部	2	30	
10	11-007915	須恵器坏、轆体部	7	20	
11	11-007916	須恵器壺体部	4	160	
12	11-007917	灰輪陶器轆轤部	1	2	
13	11-007918	灰輪陶器轆体部	1	22	

8区17号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-007919	土師器壺体部	1	6	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-007920	土師器壺口縁部	1	30	古墳時代前期中心

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-007920	土師器壺体部	2	20	古墳時代前期中心
4	11-007921	土師器環口縁部	1	3	平安時代中心
5	11-007922	土師器坏底部	3	16	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
6	11-007923	土師器美口縁部	2	18	平安時代中心
7	11-007924	土師器薬体部	1	8	平安時代中心

8区18号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・形態・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	11-007931	須恵器甕	直径(19.4) 残高 8.7	腰一直底片。内外面指拂で直れる。底面狭で調整	9世紀		第146図 P.L.66

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-007925	須恵器薬体部	2	82	

8区20号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-007926	土師器環口縁部	1	3	平安時代中心
2	11-007927	土師器薬体部	4	8	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-007928	須恵器坏、環口縁部	1	3	

8区24号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-007929	土師器薬体部	1	5	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-007930	須恵器薬体部	1	12	

8区27号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-007931	土師器壺体部	1	7	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-007932	土師器薬体部	1	15	平安時代中心

8区35号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-007933	土師器壺体部	2	8	古墳時代前期中心
2	11-007934	土師器壺体部	4	14	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-007935	土師器壺体部	4	8	平安時代中心
4	11-007936	須恵器坏、環口縁部	1	5	

8区38号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-007937	土師器壺体部	1	4	古墳時代前期中心
2	11-007938	土師器壺体部	1	5	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-007939	須恵器坏、高直脚部	1	38	

8区40号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-007940	土師器環口縁部	2	10	平安時代中心
2	11-007941	土師器美口縁部	1	5	平安時代中心
3	11-007942	土師器薬体部	1	3	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-007943	須恵器坏、環口縁部	1	16	
5	11-007944	須恵器坏、薬体部	1	8	

8区41号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-007945	土師器薬体部	1	2	古墳時代前期中心
2	11-007946	土師器壺体部	2	16	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-007947	須恵器薬体部	1	5	
4	11-007948	須恵器壺体部	1	19	

8区46号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-007949	土師器環口縁部	1	8	平安時代中心
2	11-007950	土師器美口縁部	1	10	古墳時代前期中心
3	11-007951	土師器壺体部	3	10	古墳時代前期中心
4	11-007952	土師器壺体部	1	9	古墳時代前期中心
5	11-007953	土師器美口縁部	3	20	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
6	11-007954	土師器壺体部	4	10	平安時代中心
7	11-007955	土師器壺体部	1	4	平安時代中心
8	11-007956	須恵器坏、薬体部	1	6	
9	11-007957	須恵器壺体部	2	40	
10	11-007958	軟質陶器鉢体部	1	35	

遺物一覧

8区53号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00769	土師器壺体部	3	10	古墳時代前期中心
2	11-00760	土師器台付壺体部	1	9	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00761	須恵器碗底部	1	9	類化

8区56号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
1	10-00343	土師器甕	底径(4.5) 残高 13.6	体部一底部1/4、底面割落、底部内面に土物付着。胴部上段直線で、胴部一底部内面直線で縁の巻目。胴一腰部外周縁から割毛目	3世紀末葉	第148図	P.1.86

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00762	土師器高坏口縁部	1	3	古墳時代前期中心
3	11-00763	土師器台付壺体部	11	40	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-00764	土師器壺体部	1	60	古墳時代前期中心

8区58号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00765	土師器甕口縁部	1	10	古墳時代前期中心
2	11-00766	土師器壺体部	5	16	古墳時代前期中心
3	11-00767	土師器台付壺体部	1	2	古墳時代前期中心
4	11-00768	土師器甕口縁部	1	14	古墳時代前期中心
5	11-00769	土師器壺体部	5	36	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
6	11-00770	土師器坏底部	1	3	平安時代中心
7	11-00771	土師器壺体部	3	7	平安時代中心
8	11-00772	須恵器坏、甕体部	1	5	
9	11-00773	須恵器坏、甕底一高台部	2	27	

8区67号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00774	土師器台付壺体部	1	5	古墳時代前期中心
2	11-00775	土師器坏底部	2	9	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00776	土師器壺体部	1	7	平安時代中心
4	11-00777	須恵器坏、甕底一高台部	2	22	

8区68号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00778	土師器甕口縁部	2	29	古墳時代前期中心
2	11-00779	土師器壺体部	4	30	古墳時代前期中心
3	11-00780	土師器壺体部	1	2	古墳時代前期中心
4	11-00781	土師器坏口縁部	5	30	平安時代中心
5	11-00782	土師器坏体部	8	40	平安時代中心
6	11-00783	土師器甕口縁部	6	56	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
7	11-00784	土師器壺体部	4	70	平安時代中心
8	11-00785	土師器壺底部	1	15	平安時代中心
9	11-00786	須恵器坏、甕口縁部	1	5	
10	11-00787	須恵器坏、甕体部	4	24	
11	11-00788	須恵器坏、甕底一高台部	3	98	
12	11-00789	須恵器甕口縁部	1	6	

8区74号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00803	土師器高坏胴部	1	28	古墳時代前期中心
2	11-00804	土師器壺体部	2	15	古墳時代前期中心
3	11-00805	土師器台付壺体部	2	9	古墳時代前期中心
4	11-00806	土師器壺体部	2	28	古墳時代前期中心
5	11-00807	土師器坏口縁部	4	10	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
6	11-00808	土師器坏底部	5	15	平安時代中心
7	11-00809	土師器壺体部	4	14	平安時代中心
8	11-00810	須恵器坏、甕体部	2	10	
9	11-00811	須恵器坏、甕底一高台部	2	30	

8区75号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
1	10-00341	須恵器坏	口径 12.0 底径 6.7 器高 3.9	2/3、底光線状。片首直入。右回転輪縁整形。胴部外面一底面左回りの回転痕跡あり	8世紀末～9世紀前半、木野原産か	第146図	P.1.86

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00812	土師器坏底部	1	15	平安時代中心

遺物一覧

8区77号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00803	土師器腰口縁部	1	5	古墳時代前期中心
2	11-00804	土師器器体部	5	20	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00805	土師器器体部	2	25	平安時代中心

8区78号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00805	土師器環口縁部	1	25	平安時代中心

8区79号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00807	土師器高外縁部	1	22	古墳時代前期中心
2	11-00808	土師器頸口縁部	2	4	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00809	土師器器体部	2	12	古墳時代前期中心
4	11-00820	土師器器体部	2	10	平安時代中心

8区82号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	国版号	国版番号
1	10-00185	須恵器環	口径 13.7 底径 7.6 器高 4.0	口縁一部、表面塗染成。片羽器入。右田輪縁調整形。底面副軸系回り後左回りの回転具回り	8世紀末～9世紀前半。本野漢産か	第146図	P.L.86

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00801	縄文	1	20	
3	11-00802	土師器環口縁部	1	10	平安時代中心
4	11-00803	土師器環底面	1	20	平安時代中心
5	11-00824	土師器器体部	3	20	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
6	11-00825	須恵器環、焼成部	1	12	白色
7	11-00826	須恵器環、環口縁部	1	24	
8	11-00827	土師器器体部	2	90	古墳時代前期中心

8区81号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00837	土師器器体部	1	3	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00838	土師器器体部	1	2	平安時代中心

8区93号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00839	土師器環口縁部	1	10	平安時代中心
2	11-00840	土師器環底面	1	4	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00841	土師器腰口縁部	1	9	平安時代中心
4	11-00842	土師器器体部	1	1	平安時代中心

8区94号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00843	土師器環口縁部	2	10	平安時代中心
2	11-00844	土師器環底面	2	4	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00845	土師器器体部	1	9	平安時代中心

8区96号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00846	土師器台付器体部	1	7	古墳時代前期中心
2	11-00847	土師器環口縁部	1	4	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00848	土師器環底面	4	18	平安時代中心
4	11-00849	土師器器体部	1	2	平安時代中心

8区97号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	国版号	国版番号
1	10-00186	緑釉陶器	口径 3.7×1.7 厚み 0.5	底部破片。表面施釉。表面に(蓮花文小) 捺印	14～15世紀中国産	第111図	—
2	10-00187	土師	径 2.6×2.4 長さ 4.4	定形。縦径に径4.4mmの貫通孔。表面施磨き		第111図	—

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00050	土師器高環口縁部	1	10	古墳時代前期中心
4	11-00051	土師器口縁部	2	14	古墳時代前期中心
5	11-00052	土師器臺体部	16	76	古墳時代前期中心
6	11-00053	土師器台付臺体部	1	3	古墳時代前期中心
7	11-00054	土師器口縁部	4	20	古墳時代前期中心
8	11-00055	土師器臺体部	8	70	古墳時代前期中心
9	11-00056	土師器口縁部	16	52	平安時代中心
10	11-00057	土師器環底部	49	160	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
11	11-00058	土師器臺体部	15	68	平安時代中心
12	11-00059	土師器臺体部	73	260	平安時代中心
13	11-00060	土師器臺底部	2	15	平安時代中心
14	11-00061	須恵器环、瓶口縁部	15	65	
15	11-00062	須恵器环、瓶体部	17	55	
16	11-00063	須恵器环、瓶底一高合部	6	44	
17	11-00064	須恵器臺体部	6	146	
18	11-00065	須恵器体部	2	134	

8区99号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00066	土師器高環底部	3	10	平安時代中心
2	11-00067	土師器臺体部	2	7	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00068	須恵器臺体部	1	30	

8区107号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00069	土師器台付臺体部	1	3	古墳時代前期中心
2	11-00070	土師器口縁部	1	29	古墳時代前期中心
3	11-00071	土師器臺体部	3	15	古墳時代前期中心
4	11-00072	土師器環口縁部	6	17	平安時代中心
5	11-00073	土師器環底部	12	30	平安時代中心
6	11-00074	土師器環口縁部	2	16	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
7	11-00075	土師器臺体部	8	30	平安時代中心
8	11-00076	須恵器环、瓶口縁部	3	10	
9	11-00077	須恵器环、瓶体部	3	12	
10	11-00078	須恵器环、瓶底部	1	10	
11	11-00079	須恵器臺体部	1	48	
12	11-00080	須恵器臺体部	1	26	

8区111号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00140	須恵器环	口径(10.0) 器高 2.8	底径 5.2 1/2、酸化焼成。器面丸る。右回転輪軸整形。底面 鉛筆を切り取り磨し。		11世紀前半	第145図 P.L.87

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00081	土師器臺体部	2	8	古墳時代前期中心

8区122号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00082	土師器臺体部	5	20	古墳時代前期中心
2	11-00083	土師器臺体部	4	18	古墳時代前期中心
3	11-00084	土師器臺体部	1	5	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-00085	須恵器环、瓶体部	2	8	
5	11-00086	須恵器环、瓶底一高合部	1	18	
6	11-00087	須恵器臺体部	2	62	

8区134号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00088	土師器臺体部	5	22	古墳時代前期中心
2	11-00089	土師器台付臺体部	2	12	古墳時代前期中心
3	11-00090	土師器口縁部	1	3	古墳時代前期中心
4	11-00091	土師器臺体部	2	10	古墳時代前期中心
5	11-00092	土師器環底部	14	36	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
6	11-00093	土師器臺体部	4	9	平安時代中心
7	11-00094	土師器臺底部	1	10	平安時代中心
8	11-00095	須恵器环、瓶口縁部	1	5	
9	11-00096	須恵器环、瓶体部	2	4	
10	11-00097	須恵器环、瓶底部	1	9	

8区139号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00139	須恵器陶器	口径(17.5) 残高 4.2	口縁一帯部片。右回転輪軸整形		9世紀前半 重量14号式	第146図 P.L.87
2	40-0040	磁片	残存 3.4×1.9×1.0	磁片。L字状を呈し、断面面積先此方角小形先方形		第148図	P.L.87

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00098	土師器臺体部	6	18	古墳時代前期中心
4	11-00099	土師器台付臺体部	1	6	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
5	11-00100	土師器臺体部	2	10	古墳時代前期中心
6	11-00101	土師器環口縁部	1	6	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
7	11-00810	土師器坏底部	15	46	平安時代中心
8	11-00810	土師器壺口縁部	3	20	平安時代中心
9	11-00810	土師器壺体部	6	26	平安時代中心
10	11-00810	須恵器坏、甕口縁部	2	18	
11	11-00810	須恵器坏、甕体部	3	10	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
12	11-00810	須恵器坏、甕高足脚部	1	10	
13	11-00810	須恵器坏、甕底部	2	40	
14	11-00810	須恵器壺体部	1	100	
15	11-00810	須恵器壺口縁部	2	9	
16	11-00811	須恵器壺口縁部	1	16	

8区120号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫刻・調整等の特徴	備考	図取号	図取番号
1	80-00001	銅鏡「永来通宝」	径 2.48×2.465 厚み 0.19	模跡残。磨面が荒れていて仕上げを施していない。裏面やや平らに凸い			第120図 P L.132
2	80-00003	銅鏡「永来通宝」小	径 2.455×2.47 厚み 0.135	模跡残。縁の粗れ多く、磨面荒れる。鏡文読み辛い。裏面平らに凸い			第120図 P L.132
3	80-00003	銅鏡「開元通寶」	径 2.435×2.455 厚み 0.13	模跡中残。鏡分多い。縁の欠損多し。鏡文太く、裏面平らに凸く。鏡不揃い			第191図 P L.133
4	80-00004	銅鏡	径 2.445×2.46 厚み 0.095	模跡残。磨面荒れ、縁粗れ多し。「寶」字以外鏡文読取不能。裏面ほぼ平ら			第191図 P L.133
5	80-00005	銅鏡	径 2.475×2.44 厚み 0.195	模跡残。磨面荒れ、縁欠損多し。鏡文読取不能。「上」字「元」磨面平ら			第191図 P L.133

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
6	11-00812	土師器壺体部	1	7	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
7	11-00813	須恵器坏、甕体部	1	8	

8区129号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00814	土師器壺体部	2	15	古墳時代前期中心
2	11-00815	土師器坏口縁部	1	10	平安時代中心
3	11-00816	土師器坏底部	1	2	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-00817	須恵器坏、甕底部	1	12	
5	11-00818	須恵器壺体部	3	162	

8区132号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00819	土師器高台付脚	1	6	古墳時代前期中心
2	11-00820	土師器壺口縁部	2	19	古墳時代前期中心
3	11-00821	土師器壺体部	3	12	古墳時代前期中心
4	11-00822	土師器壺体部	2	8	古墳時代前期中心
5	11-00823	土師器壺体部	1	19	古墳時代前期中心
6	11-00824	土師器坏口縁部	6	20	平安時代中心
7	11-00825	土師器坏底部	36	94	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
8	11-00826	土師器壺口縁部	5	42	平安時代中心
9	11-00827	土師器壺体部	13	38	平安時代中心
10	11-00828	須恵器坏、甕口縁部	5	28	
11	11-00829	須恵器坏、甕体部	5	32	
12	11-00830	須恵器坏、甕底～高台部	3	60	
13	11-00831	須恵器壺体部	1	20	

8区133号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫刻・調整等の特徴	備考	図取号	図取番号
1	10-00130	須恵器高台付脚	口径(13.2) 高台径(6.2) 器高 5.3	口縁～高台部破片。器元部破片でやや傾斜。右側脚輪軸。器元部高台部付付付残片で			9世紀後半 第146図 P L.87
2	10-00131	須恵器壺口縁部小	直径(15.7) 残高 6.9	器元部破片。器部内外部と底部内部磨いた後で。裏面凹形。転動痕あり			8～9世紀 第146図 P L.87

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00832	土師器高台脚部	2	20	古墳時代前期中心
4	11-00833	土師器壺体部	2	12	古墳時代前期中心
5	11-00834	土師器壺底部	4	90	古墳時代前期中心
6	11-00835	土師器高台脚部	1	24	古墳時代前期中心
7	11-00836	土師器壺体部	2	98	古墳時代前期中心
8	11-00837	土師器坏口縁部	3	30	平安時代中心
9	11-00838	土師器坏底部	4	20	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
10	11-00839	土師器壺口縁部	1	8	平安時代中心
11	11-00840	土師器壺体部	2	12	平安時代中心
12	11-00841	土師器壺体部	1	20	平安時代中心
13	11-00842	須恵器坏、甕底部	5	48	
14	11-00843	須恵器坏、甕体部	3	4	
15	11-00844	須恵器坏、甕底～高台部	41	490	
16	11-00845	須恵器壺体部	1	28	

8区134号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00846	土師器高台脚部	1	25	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00847	土師器壺口縁部	1	5	古墳時代前期中心

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00148	土師器台付甕体部	1	4	古墳時代前期中心
4	11-00149	土師器壶体部	2	7	古墳時代前期中心
5	11-00150	土師器坏口縁部	6	29	平安時代中心
6	11-00151	土師器坏底部	15	40	平安時代中心
7	11-00152	土師器甕口縁部	4	20	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
8	11-00153	土師器甕体部	17	78	平安時代中心
9	11-00154	須恵器坏、横口縁部	5	28	
10	11-00155	須恵器坏、横口縁部	3	18	
11	11-00156	須恵器坏、横底一高台部	5	100	
12	11-00157	須恵器甕体部	2	45	

8区135号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
1	10-00352	須恵器高台付甕	口径(13.0) 高台径(6.7) 器高 3.0	1/3、薄片焼成。内面吸灰による黒色処理。右回転軸輪彫り。底面回転糸切り痕高台跡有り付	9世紀後半	第165図	P L 87

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00158	土師器坏底部	2	3	平安時代中心
3	11-00159	土師器甕体部	7	12	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-00160	須恵器坏、横口縁部	1	4	

8区137号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
1	10-00353	須恵器高台付甕	口径(13.7) 高台径(7.1) 器高 3.0	1/3、薄片焼成。内面黒灰による黒色処理。右回転軸輪彫り。底面回転糸切り痕高台跡有り付	9世紀後半	第166図	P L 87

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00161	土師器甕体部	1	12	古墳時代前期中心
3	11-00162	土師器台付甕体部	1	6	古墳時代前期中心
4	11-00163	土師器甕体部	2	70	古墳時代前期中心
5	11-00164	土師器坏口縁部	2	10	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
6	11-00165	土師器坏底部	3	9	平安時代中心
7	11-00166	土師器甕体部	1	2	平安時代中心
8	11-00167	須恵器坏、横口縁部	1	9	
9	11-00168	須恵器坏、横底一高台部	2	34	

8区138号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00169	土師器坏口縁部	1	6	古墳時代前期中心

8区139号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00170	土師器甕体部	1	3	古墳時代前期中心
2	11-00171	土師器甕体部	1	34	古墳時代前期中心
3	11-00172	土師器坏口縁部	3	10	平安時代中心
4	11-00173	土師器坏底部	3	12	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
5	11-00174	土師器甕体部	3	8	平安時代中心
6	11-00175	須恵器坏、横口縁部	1	5	
7	11-00176	須恵器坏、横口縁部	1	4	
8	11-00177	須恵器甕体部	1	30	

8区155号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00178	土師器甕体部	1	50	平安時代中心

8区157号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00179	土師器甕体部	2	16	古墳時代前期中心
2	11-00180	土師器台付甕口縁部	1	15	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00181	土師器甕口縁部	1	10	平安時代中心

8区160号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00182	土師器坏口縁部	1	8	古墳時代前期中心
2	11-00183	土師器甕体部	2	18	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00184	土師器台付甕体部	1	8	古墳時代前期中心
4	11-00185	土師器甕体部	1	10	古墳時代前期中心

8区163号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00186	土師器台付甕口縁部	3	32	古墳時代前期中心
2	11-00187	土師器甕体部	9	40	古墳時代前期中心
3	11-00188	土師器台付甕口縁部	1	8	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-00189	土師器台付甕体部	2	10	古墳時代前期中心
5	11-00190	土師器甕体部	3	32	古墳時代前期中心

8区166号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00194	土師器甕体部	1	4	古墳時代前期中心
2	11-00195	土師器台付甕脚部	1	9	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00196	土師器甕体部	2	20	古墳時代前期中心

8区東部3区As-C風土下出土遺物

No.	資料番号	資料名称	測定値(m)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00425	土師器高坏	胴部径 3.9 残高 7.3	脚部のみで下位欠損。3方に内形の浅かし。内面刷毛目、天部は破損で、外面刷毛目は残存	3世紀末葉	第150図	P.L.87
2	10-00427	土師器台付甕	胴部径(13.6) 残高 4.4	口縁下縁一肩部1/4、5字状口縁か。口縁破損で、肩部内面破損で、外面刷毛目	3世紀末葉	第150図	P.L.87
3	10-00428	土師器坏	残存 4.8×3.4 厚み 0.4	口縁破片。口縁上縁部内面破損で、体部外面破損で、外面に石灰不能の磨擦面片	10世紀	第150図	P.L.87

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
375-755グリットAs-C黒褐色土中					
241	11-00974	土師器甕口縁部	1	2	古墳時代前期中心
242	11-00975	土師器甕体部	43	180	古墳時代前期中心
243	11-00976	土師器台付甕体部	22	100	古墳時代前期中心
244	11-00977	土師器台付甕脚部	1	8	古墳時代前期中心
245	11-00978	土師器甕口縁部	2	10	古墳時代前期中心
246	11-00979	土師器甕体部	42	250	古墳時代前期中心
247	11-00980	土師器甕口縁部	3	12	平安時代中心
248	11-00981	土師器甕体部	26	80	平安時代中心
249	11-00982	土師器口縁部	8	25	平安時代中心
250	11-00983	土師器坏片	21	180	平安時代中心
251	11-00984	須恵器甕体部	1	3	磨化
375-755グリットAs-C黒褐色土中					
252	11-00995	須恵器甕体部	1	3	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
375-755グリットAs-C黒褐色土中					
253	11-00996	須恵器甕	1	10	
254	11-00997	須恵器甕体部	1	7	
As-C層下覆土					
255	11-00991	土師器甕口縁部	5	20	平安時代中心
256	11-00992	土師器甕体部	48	165	平安時代中心
257	11-00993	土師器甕体部	1	8	平安時代中心
258	11-00998	土師器甕口縁部	1	30	古墳時代前期中心
259	11-00999	土師器甕口縁部	18	60	平安時代中心
260	11-00990	土師器坏片	32	80	平安時代中心
261	11-00994	須恵器坏片、甕体部	2	3	
262	11-00995	須恵器坏片、甕体部	3	20	
263	11-00996	須恵器甕体部	1	9	

8区東部3区グリッド取り上げ遺物

No.	資料番号	資料名称	測定値(m)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00180	土師器台付	胴部径 8.7 残高 6.1	脚部3/4、器面劣れる。胴部破損で、内面刷毛目で破化指痕で、外面刷毛目は残存	3世紀末葉	第151図	P.L.87
2	10-00188	ミニチュア土師	直径(4.1) 器高 3.3	1/3。表面過半割破。軟質。手捏	3～4世紀	第151図	P.L.87
3	10-00183	土師器小型甕	口径 11.7 残高 5.8 器高 8.5	口縁一肩部。外面一部割破。内面口縁部破損で、胴部一底部破損で、外面刷毛目は、胴から破損で、破面部かのみ残	3世紀末葉	第151図	P.L.87
4	10-00185	土師器甕	口径 11.6 残高 5.6	口縁一肩部。外面一部割破。内面口縁部破損で、胴部破損で、胴部一底部破損で、外面刷毛目は、胴から破損で、破面部かのみ残	3世紀末葉	第151図	P.L.87
5	10-00186	土師器小型甕	胴部径 5.8 残高 4.9	胴一底部1/3。外面やや劣れる。胴一底部上縁部内外面指痕で、肩部内外面刷毛目は、外面残存	3世紀末葉～4世紀	第151図	P.L.86
6	10-00187	土師器小型甕	直径(6.3) 残高 6.9	胴一底部1/3。器面劣れる。内面刷毛目、底部破損で、胴部一底部破損で、外面刷毛目は破損で	3世紀末葉	第151図	P.L.86
7	10-00181	土師器甕	口径(20.1) 残高 4.1	口縁一肩部1/3。胴り高し口縁。器面劣れる。口縁破損で、胴部に器面残存	3世紀末葉	第151図	P.L.86
8	10-00182	土師器台付甕	口径(16.6) 残高 15.2	口縁一肩部1/3。5字状口縁。口縁破損で、内面刷毛目・胴部破損で、胴部破損で、外面刷毛目は破損で	3世紀末葉	第151図	P.L.86
9	10-00184	土師器甕	口径(18.0) 残高 23.1	口縁一肩部。器面劣れる。内面口縁部破損で、体部一部に器面かのみ残。外面口縁破損で、体部破損	3世紀末葉	第151図	P.L.86
10	10-00189	灰陶器甕	残存 9.9×3.7 厚み 0.4	口縁一底部破片。釉や緑釉付。円筒筒腹形状	9世紀中葉	第151図	P.L.86
11	10-00180	土師	径 1.5×1.4 長さ 4.4	裏面一部割破。縦位に径2.2mmの貫通孔。表面破損で	第151図	P.L.88	
12	10-00191	土師	径 1.5×1.4 長さ 3.3	裏面一部割破。縦位に径1mmの貫通孔。表面破損で	第151図	P.L.88	
13	20-00072	石籠	幅 2.1 高さ 2.6 厚み 0.48	無茶籠。先端欠損か。表面裏面に割痕調整	第151図	P.L.86	

遺物一覧

14	20-00074	石籠	幅 1.46 長 1.8 厚 0.32	無漆塗。表裏河原で泥層調整		第151区	P L.88
15	20-00073	石籠	残存 2.0×2.0 厚 0.4	無漆塗。先端と右側部欠損。表裏河原で泥層調整	黒曜石	第151区	P L.88
16	20-00075	打石石芥小	幅 3.1 長 6.5 厚 1.0	表面は自然面。左右両端 2 線部に表裏より鋼線調整	輝石山岩山	第151区	P L.88
17	20-00076	磨石石芥	残存 7.6×3.4×2.3	破片。先端に使用による剥離面。表裏面に磨きされる	変式武器	第151区	P L.88
18	20-00079	敷石	9.5×10.2×4.4	河床礫使用。表裏に鉛打痕。縦溝痕。裏面に削痕残る	石虎門緑岩	第151区	P L.89
19	20-00077	敷石	径 7.7×4.7 長さ 21.3	河床礫使用。表裏面に研磨残し。土層に鉛打痕残る。中位に帯状の磨痕残一列	こも麻石石に転用	第151区	P L.88
20	20-00078	磨石(黒石)	径 3.4×3.8 長さ 15.9	河床礫使用。表裏に研磨面残る	ダイヤモンド	第151区	P L.89
21	20-00080	敷石	5.8×6.4×3.8	河床礫使用。表裏に鉛打痕。裏面に研磨残る	砥粒輝石山岩山	—	P L.89

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
335-750グリッド					
22	11-00924	土師器壺口縁部	3	28	古墳時代前期中心
23	11-00925	土師器壺底部	19	105	古墳時代前期中心
24	11-00926	土師器台付壺体部	4	10	古墳時代前期中心
25	11-00927	土師器台付壺脚部	1	7	古墳時代前期中心
26	11-00928	土師器壺口縁部	1	10	古墳時代前期中心
27	11-00929	土師器壺底部	9	40	古墳時代前期中心
28	11-00930	土師器壺腹部	1	15	古墳時代前期中心
29	11-00931	土師器口縁部	2	3	平安時代中心
30	11-00932	土師器腹部	7	10	平安時代中心
31	11-00933	土師器壺口縁部	2	7	平安時代中心
32	11-00934	土師器壺底部	6	10	平安時代中心
33	11-00935	須恵器環、轆轤部	2	3	
34	11-00936	須恵器環、轆轤部	1	3	
35	11-00937	須恵器環、轆轤部	1	6	
340-755グリッド					
36	11-00938	土師器壺口縁部	3	12	古墳時代前期中心
37	11-00939	土師器壺腹部	17	90	古墳時代前期中心
38	11-00940	土師器台付壺口縁部	1	5	古墳時代前期中心
39	11-00941	土師器台付壺体部	3	8	古墳時代前期中心
40	11-00942	土師器台付壺脚部	1	2	古墳時代前期中心
41	11-00943	土師器壺底部	3	10	古墳時代前期中心
42	11-00944	土師器壺腹部	1	10	古墳時代前期中心
43	11-00945	土師器口縁部	1	1	平安時代中心
44	11-00946	土師器環底部	5	12	平安時代中心
45	11-00947	土師器壺口縁部	4	45	平安時代中心
46	11-00948	土師器壺腹部	2	6	平安時代中心
47	11-00949	須恵器環、轆轤部	1	15	
48	11-00950	須恵器環、轆轤部	1	10	
49	11-00951	須恵器轆轤部	3	5	酸化
340-760グリッド					
50	11-00952	土師器壺口縁部	1	4	古墳時代前期中心
51	11-00953	土師器壺腹部	11	65	古墳時代前期中心
52	11-00954	土師器壺底部	2	15	古墳時代前期中心
53	11-00955	土師器台付壺口縁部	2	12	古墳時代前期中心
54	11-00956	土師器台付壺体部	11	30	古墳時代前期中心
55	11-00957	土師器壺腹部	10	60	古墳時代前期中心
56	11-00958	土師器小壺壺口縁部	1	3	古墳時代前期中心
340-765グリッド					
57	11-00959	土師器壺底部	5	18	古墳時代前期中心
58	11-00979	土師器壺腹部	4	20	古墳時代前期中心
59	11-00977	土師器口縁部	1	1	平安時代中心
60	11-00972	土師器環底部	4	20	平安時代中心
61	11-00973	土師器壺口縁部	2	10	平安時代中心
62	11-00974	土師器壺底部	2	6	平安時代中心
63	11-00975	須恵器環、轆轤部	2	5	
64	11-00976	須恵器環、轆轤部	1	30	酸化(10℃ 後半)
345-755グリッド					
65	11-00977	土師器高坏脚部	1	20	古墳時代前期中心
66	11-00978	土師器壺体部	10	40	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
345-755グリッド					
67	11-00979	土師器台付壺口縁部	1	18	古墳時代前期中心
345-750グリッド					
68	11-00980	土師器台付壺脚部	1	19	古墳時代前期中心
345-755グリッド					
69	11-00981	土師器壺口縁部	2	10	古墳時代前期中心
70	11-00982	土師器壺底部	10	45	古墳時代前期中心
71	11-00983	土師器口縁部	1	2	平安時代中心
72	11-00984	土師器壺体部	2	5	平安時代中心
73	11-00985	須恵器環、轆轤部	1	6	
74	11-00986	須恵器環、轆轤部	1	3	
345-760グリッド					
75	11-00927	土師器壺体部	12	55	古墳時代前期中心
76	11-00928	土師器壺口縁部	1	4	古墳時代前期中心
77	11-00929	土師器壺体部	6	20	古墳時代前期中心
78	11-00930	土師器環底部	1	2	平安時代中心
79	11-00931	須恵器環、轆轤部	1	2	
80	11-00932	須恵器壺口縁部	1	20	
81	11-00933	須恵器壺体部	2	45	
345-765グリッド					
82	11-00934	土師器壺体部	1	3	古墳時代前期中心
83	11-00935	土師器壺体部	1	3	古墳時代前期中心
84	11-00936	土師器口縁部	1	2	平安時代中心
345-765グリッド					
85	11-00937	土師器環底部	2	2	平安時代中心
86	11-00938	土師器壺口縁部	1	3	平安時代中心
87	11-00939	須恵器環、轆轤部	1	2	
350-760グリッド					
88	11-00980	土師器壺体部	1	7	古墳時代前期中心
89	11-00981	土師器環底部	1	2	平安時代中心
90	11-00982	土師器壺口縁部	1	3	平安時代中心
91	11-00983	土師器壺体部	1	3	平安時代中心
92	11-00984	須恵器環、轆轤足跡	3	15	9 c
350-750グリッド					
93	11-00985	土師器壺体部	2	8	古墳時代前期中心
94	11-00986	土師器台付壺体部	3	6	古墳時代前期中心
95	11-00987	土師器壺口縁部	1	3	古墳時代前期中心
96	11-00988	土師器壺体部	3	70	古墳時代前期中心
355-760グリッド					
97	11-00989	土師器壺体部	12	50	古墳時代前期中心
98	11-00990	土師器台付壺体部	4	50	古墳時代前期中心
99	11-00981	土師器壺口縁部	1	10	古墳時代前期中心
100	11-00982	土師器壺体部	2	30	古墳時代前期中心
355-760グリッド					
101	11-00983	土師器口縁部	1	5	平安時代中心
102	11-00984	土師器環底部	2	6	平安時代中心
103	11-00985	土師器壺体部	4	12	平安時代中心
104	11-00986	須恵器環、轆轤部	1	5	
355-765グリッド					
105	11-00987	土師器台脚部	1	10	古墳時代前期中心

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
305	765グリッド				
106	11-00918	土師器甕形部	6	48	古墳時代前期中心
107	11-00919	土師器甕形部	1	12	古墳時代前期中心
350-780グリッド					
108	11-00920	土師器台付甕形部	2	8	古墳時代前期中心
109	11-00921	土師器甕形部	4	48	古墳時代前期中心
110	11-00922	土師器台付甕形部	1	2	平安時代中心
111	11-00923	土師器甕形部	4	8	平安時代中心
112	11-00924	土師器甕形部	2	3	平安時代中心
113	11-00925	須恵器坏、甕口縁部	2	10	
355-765グリッド					
114	11-00926	須恵器坏、甕形部	1	7	
115	11-00927	須恵器坏、甕底-高台部	1	8	
355-770グリッド					
116	11-00928	土師器高坏形部	1	4	古墳時代前期中心
117	11-00929	土師器甕口縁部	1	8	古墳時代前期中心
118	11-00930	土師器甕形部	15	85	古墳時代前期中心
119	11-00931	土師器台付甕形部	10	45	古墳時代前期中心
120	11-00932	土師器台付甕形部	1	2	古墳時代前期中心
121	11-00933	土師器甕口縁部	1	2	古墳時代前期中心
355-770グリッド					
122	11-00934	土師器甕形部	5	30	古墳時代前期中心
355-775グリッド					
123	11-00935	土師器台付甕形部	1	55	古墳時代前期中心
124	11-00936	土師器甕口縁部	3	60	古墳時代前期中心
355-775グリッド					
125	11-00937	土師器甕形部	9	85	古墳時代前期中心
126	11-00938	土師器台付甕形部	1	4	古墳時代前期中心
127	11-00939	土師器甕形部	8	115	古墳時代前期中心
128	11-00940	土師器甕形部	1	8	古墳時代前期中心
129	11-00941	土師器甕形部	1	5	平安時代中心
130	11-00942	土師器甕形部	5	12	平安時代中心
360-765-760グリッド					
131	11-00943	土師器高坏形部	3	80	古墳時代前期中心
132	11-00944	土師器甕形部	10	68	古墳時代前期中心
133	11-00945	土師器台付甕形部	9	81	古墳時代前期中心
134	11-00946	土師器甕口縁部	1	35	古墳時代前期中心
135	11-00947	土師器甕形部	17	254	古墳時代前期中心
136	11-00948	土師器小型甕口縁部	1	10	古墳時代前期中心
137	11-00949	土師器坏底部	1	10	平安時代中心
138	11-00950	須恵器坏、甕形部	1	10	
360-765-760グリッド					
139	11-00951	土師器甕口縁部	1	22	古墳時代前期中心
140	11-00952	土師器甕形部	1	5	古墳時代前期中心
360-750グリッド					
141	11-00953	土師器高坏形部	4	55	古墳時代前期中心
142	11-00954	土師器高坏形部	1	18	古墳時代前期中心
143	11-00955	土師器甕口縁部	3	12	古墳時代前期中心
144	11-00956	土師器甕形部	25	150	古墳時代前期中心
145	11-00957	土師器台付甕形部	2	10	古墳時代前期中心
146	11-00958	土師器台付甕形部	7	45	古墳時代前期中心
147	11-00959	土師器台付甕形部	4	28	古墳時代前期中心
148	11-00960	土師器甕形部	11	80	古墳時代前期中心
149	11-00961	土師器甕口縁部	3	10	平安時代中心
150	11-00962	土師器坏底部	5	15	平安時代中心
151	11-00963	土師器甕口縁部	2	18	平安時代中心
152	11-00964	土師器甕形部	2	10	平安時代中心
153	11-00965	須恵器坏、甕口縁部	5	35	
154	11-00966	須恵器坏、甕形部	1	5	
155	11-00967	須恵器坏、甕底部	1	20	
156	11-00968	須恵器甕形部	1	8	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
360-750グリッド					
157	11-00969	灰釉陶器甕形部	1	5	
360-770グリッド					
158	11-00970	土師器高坏口縁部	2	10	古墳時代前期中心
159	11-00971	土師器甕口縁部	2	15	古墳時代前期中心
160	11-00972	土師器甕形部	42	340	古墳時代前期中心
161	11-00973	土師器台付甕形部	5	25	古墳時代前期中心
162	11-00974	土師器台付甕形部	1	14	古墳時代前期中心
163	11-00975	土師器甕口縁部	2	10	古墳時代前期中心
164	11-00976	土師器甕形部	17	180	古墳時代前期中心
165	11-00977	土師器甕口縁部	2	12	平安時代中心
360-770グリッド					
166	11-00978	土師器坏底部	5	15	平安時代中心
167	11-00979	土師器甕口縁部	1	10	平安時代中心
168	11-00980	土師器甕形部	2	12	平安時代中心
360-775グリッド					
169	11-00981	土師器甕形部	1	15	古墳時代前期中心
170	11-00982	土師器台付甕形部	1	25	古墳時代前期中心
171	11-00983	土師器台付甕形部	11	75	古墳時代前期中心
172	11-00984	土師器甕形部	8	100	古墳時代前期中心
173	11-00985	土師器坏底部	5	25	平安時代中心
174	11-00986	土師器甕口縁部	3	10	平安時代中心
175	11-00987	土師器甕形部	6	65	平安時代中心
176	11-00988	須恵器坏、甕形部	1	5	
177	11-00989	須恵器坏、甕底部	1	6	
178	11-00990	須恵器甕形部	1	65	
360-780グリッド					
179	11-00991	土師器甕口縁部	1	8	古墳時代前期中心
180	11-00992	土師器甕形部	6	18	古墳時代前期中心
182	11-00993	土師器台付甕形部	1	4	古墳時代前期中心
360-780グリッド					
183	11-00994	土師器甕形部	5	38	古墳時代前期中心
184	11-00995	土師器甕口縁部	1	3	平安時代中心
185	11-00996	土師器坏底部	6	10	平安時代中心
186	11-00997	土師器甕形部	6	20	平安時代中心
365-760グリッド					
187	11-00998	土師器甕形部	1	5	古墳時代前期中心
188	11-00999	土師器台付甕形部	2	7	古墳時代前期中心
189	11-00990	土師器甕形部	3	12	古墳時代前期中心
190	11-00991	土師器甕口縁部	1	6	平安時代中心
191	11-00992	土師器甕形部	1	6	平安時代中心
365-765グリッド					
192	11-00993	土師器甕形部	1	18	古墳時代前期中心
365-770グリッド					
193	11-00994	土師器高坏口縁部	2	20	古墳時代前期中心
194	11-00995	土師器台付甕形部	1	1	古墳時代前期中心
195	11-00996	土師器甕形部	7	50	古墳時代前期中心
196	11-00997	土師器甕口縁部	1	2	平安時代中心
197	11-00998	土師器坏底部	5	15	平安時代中心
198	11-00999	土師器甕口縁部	2	18	平安時代中心
199	11-00999	土師器甕形部	6	18	平安時代中心
200	11-00999	須恵器坏、甕形部	1	2	
201	11-00999	須恵器坏、甕底部	1	7	
365-775グリッド					
202	11-00999	土師器甕形部	1	6	古墳時代前期中心
203	11-00999	土師器甕形部	5	18	古墳時代前期中心
204	11-00999	土師器甕口縁部	2	8	平安時代中心
365-775グリッド					
205	11-00999	土師器坏底部	3	10	平安時代中心
206	11-00999	土師器甕口縁部	1	6	平安時代中心
207	11-00999	土師器甕形部	8	20	平安時代中心

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
365-775グリッド					
208	11-00919	須恵器環、端片部	3	25	
209	11-00920	須恵器環口縁部	2	10	
365-780グリッド					
210	11-00921	土師器高台付壺部	2	20	古墳時代前期中心
211	11-00922	土師器口縁部	1	4	古墳時代前期中心
212	11-00923	土師器環口縁部	1	4	古墳時代前期中心
213	11-00924	土師器壺体部	4	30	古墳時代前期中心
214	11-00925	土師器台付壺体部	1	6	古墳時代前期中心
215	11-00926	土師器台付壺脚部	4	123	古墳時代前期中心
216	11-00927	土師器壺体部	16	120	古墳時代前期中心
217	11-00928	土師器環口縁部	4	12	平安時代中心
218	11-00929	土師器環底部	4	12	平安時代中心
219	11-00930	土師器環口縁部	2	10	平安時代中心
220	11-00931	土師器壺体部	7	18	平安時代中心
221	11-00932	須恵器環、端口縁部	2	9	
222	11-00933	須恵器端片部	1	10	酸化
223	11-00934	須恵器壺体部	1	11	
370-770グリッド					
224	11-00935	土師器高台付環脚部	1	12	古墳時代前期中心
225	11-00936	土師器環口縁部	2	11	古墳時代前期中心
226	11-00937	土師器壺体部	8	40	古墳時代前期中心
227	11-00938	土師器壺底部	3	40	古墳時代前期中心
228	11-00939	土師器台付壺体部	3	18	古墳時代前期中心
229	11-00940	土師器壺口縁部	1	8	古墳時代前期中心
230	11-00941	土師器壺体部	2	18	古墳時代前期中心
231	11-00942	土師器台付壺脚部	1	85	古墳時代前期中心
232	11-00943	土師器環口縁部	3	12	平安時代中心
233	11-00944	土師器環底部	4	20	平安時代中心
234	11-00945	土師器壺体部	6	12	平安時代中心
235	11-00946	須恵器環、残片部	1	10	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
370-775グリッド					
236	11-00947	土師器高台付環一部	3	21	古墳時代前期中心
237	11-00948	土師器環口縁部	3	26	古墳時代前期中心
238	11-00949	土師器壺体部	25	138	古墳時代前期中心
239	11-00950	土師器壺底部	1	7	古墳時代前期中心
240	11-00951	土師器台付壺口縁部	1	12	古墳時代前期中心
241	11-00952	土師器台付壺体部	11	46	古墳時代前期中心
242	11-00953	土師器台付壺脚部	1	52	古墳時代前期中心
243	11-00954	土師器壺口縁部	1	16	古墳時代前期中心
244	11-00955	土師器壺体部	17	120	古墳時代前期中心
245	11-00956	赤土壺体部	1	9	赤色塗彩
370-775グリッド					
246	11-00957	土師器環口縁部	13	30	平安時代中心
247	11-00958	土師器環底部	21	48	平安時代中心
248	11-00959	土師器環口縁部	7	42	平安時代中心
249	11-00960	土師器壺体部	54	150	平安時代中心
250	11-00961	土師器壺底部	3	20	平安時代中心
251	11-00962	須恵器環、端口縁部	9	38	
252	11-00963	須恵器環、残片部	3	10	
253	11-00964	須恵器環、残片一高台部	2	40	
254	11-00965	須恵器壺体部	2	60	
255	11-00966	須恵器壺底部	1	9	
375-770グリッド					
256	11-00967	土師器壺体部	9	58	古墳時代前期中心
257	11-00968	土師器台付壺体部	1	3	古墳時代前期中心
258	11-00969	土師器環底部	2	18	古墳時代前期中心
259	11-00970	土師器環口縁部	2	8	平安時代中心
260	11-00971	土師器壺体一底部	1	5	平安時代中心
370-770グリッド					
261	11-00972	土師器壺口縁部	2	8	平安時代中心
262	11-00973	須恵器壺口縁部	1	8	

8区東部(1層)遺物の出土遺物

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版番号
1	10-00138	土師器台付	胴径 2.9 残高 6.3	受皿状部一翼部上位。上下に3箇所づつ段境で交互に入る凸部の存在。受皿状部内面側で、内面側面側で、断面外側面側で、断面外側面側で。	3世紀末葉	第132図 P.L.80
2	10-00139	土師器壺	口径 11.9 残高 3.7	口縁部。外面見れる。薄盤で	3～4世紀	第132図 P.L.80
3	10-00139	土師器壺	残存 7.7×4.3 残高 3.7	口縁一翼部破片。内面口縁部側で、留部端目後上位段境側で、外面口縁部側で、留一部破片目目	3～4世紀	第132図 P.L.80
4	10-00139	土師器台付壺	胴径 8.6×3.2 残高 5.9	脚部。遠部内面側で、脚部内面側部寄り返し後指換で、外面口縁部側で、断面外側面側で。	3世紀末葉	第132図 P.L.80
5	10-00140	須恵器環	口径(14.0) 底径(7.5) 器高 4.3	1/6。薄元端状。右回転軸線型。底面回転軸切り切りし。縦高台状行	10世紀前半	第132図 P.L.80
6	10-00142	須恵器高台付壺	高径(5.1) 残高 3.1	胴一高台1/6。外面全体に施釉するが、残存部上位右側部。右回転軸線型。底面回転軸切り切りし。縦高台状行	3～4世紀	第132図 P.L.80
7	10-00141	須恵器高台付壺	口径(12.0) 底径(6.6) 器高 1.8	1/6。薄元端状。右回転軸線型。底面回転軸切り切りし。縦高台状行	9世紀後半	第132図 P.L.80
8	10-00139	土師器環	残存 2.3×2.9 残高 2.9	口縁破片。表面に塗彩の一部	10世紀前半	第132図 P.L.80
9	10-00137	須恵	残存 16.7×10.9 残高 10.8	口縁一翼部破片。一部酸化層形成。内外面側部側で	10世紀前半	第132図 P.L.80
10	10-00139	須恵	残存 3.9×5.6 厚み 1.2	破片。厚手の鉄製品で下側に刃部付	第132図	P.L.80
11	20-00081	磁石	径 9.5×10.3 厚み 4.7	河床産使用。酸化マンガンを付着。表面に磁石痕	磁石輝石安山岩	第132図 P.L.80

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
330-755グリッド					
12	11-00818	土師器壺口縁部	1	4	古墳時代前期中心
13	11-00819	土師器壺体部	7	59	古墳時代前期中心
14	11-00820	土師器台付壺口縁部	1	11	古墳時代前期中心
15	11-00821	土師器台付壺体部	1	10	古墳時代前期中心
16	11-00822	土師器壺口縁部	1	15	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
330-755グリッド					
17	11-00823	土師器壺体部	8	50	古墳時代前期中心
300-755グリッド					
18	11-00824	土師器環底部	2	10	平安時代中心
19	11-00825	土師器壺口縁部	1	15	平安時代中心
20	11-00826	土師器壺体部	9	100	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
330-755グリッド					
21	11-008527	須恵器環、陶口縁部	6	50	
22	11-008528	須恵器環、胴体部	1	2	
23	11-008529	須恵器環、胴底-高台部	3	58	
330-760グリッド					
24	11-008530	土師器高環脚部	1	9	古墳時代前期中心
25	11-008531	土師器臺体部	2	22	古墳時代前期中心
26	11-008532	土師器環口縁部	1	2	平安時代中心
27	11-008533	土師器環底部	8	20	平安時代中心
28	11-008534	土師器臺体部	9	42	平安時代中心
29	11-008535	須恵器環、胴体部	1	3	
30	11-008536	須恵器臺体部	1	6	
335-750グリッド					
31	11-008537	土師器高環口縁部	1	5	古墳時代前期中心
32	11-008538	土師器臺口縁部	5	156	古墳時代前期中心
33	11-008539	土師器臺体部	14	195	古墳時代前期中心
34	11-008540	土師器臺蓋部	1	60	古墳時代前期中心
35	11-008541	土師器台付臺体部	1	4	古墳時代前期中心
36	11-008542	土師器台付臺脚部	1	14	古墳時代前期中心
37	11-008543	土師器臺体部	5	60	古墳時代前期中心
38	11-008544	土師器臺体部	4	25	古墳時代前期中心
39	11-008545	須恵器環、陶口縁部	3	10	
40	11-008546	須恵器環、胴体部	1	5	
335-755グリッド					
41	11-008547	土師器高環口縁部	1	30	古墳時代前期中心
42	11-008548	土師器臺体部	5	30	古墳時代前期中心
43	11-008549	土師器台付臺脚部	1	12	古墳時代前期中心
44	11-008550	土師器環口縁部	1	6	古墳時代前期中心
45	11-008551	土師器臺体部	5	31	古墳時代前期中心
46	11-008552	土師器臺底部	1	10	古墳時代前期中心
335-760グリッド					
47	11-008553	土師器臺体部	1	30	古墳時代前期中心
340-750グリッド					
48	11-008554	土師器臺体部	1	26	古墳時代前期中心
49	11-008555	土師器環底部	4	15	平安時代中心
50	11-008556	土師器臺体部	1	3	平安時代中心
51	21-003048	フレーク	1	12	黒色頁岩
345-750グリッド					
52	11-008557	土師器高環口縁部	1	6	古墳時代前期中心
53	11-008558	土師器環口縁部	1	11	古墳時代前期中心
54	11-008559	土師器臺体部	15	70	古墳時代前期中心
55	11-008560	土師器臺底部	1	10	古墳時代前期中心
56	11-008561	土師器台付臺口縁部	1	48	古墳時代前期中心
57	11-008562	土師器台付臺体部	2	20	古墳時代前期中心
58	11-008563	土師器臺体部	4	42	古墳時代前期中心
59	11-008564	土師器環口縁部	4	10	平安時代中心
60	11-008565	土師器環底部	7	30	平安時代中心
61	11-008566	土師器環口縁部	2	15	平安時代中心
62	11-008567	土師器臺体部	8	14	平安時代中心
63	11-008568	須恵器環、陶底部	1	42	9 c
64	11-008569	須恵器脚部	1	20	
345-755グリッド					
65	11-008570	土師器環口縁部	1	2	古墳時代前期中心
66	11-008571	土師器臺体部	1	10	古墳時代前期中心
67	11-008572	土師器臺体部	4	20	古墳時代前期中心
345-755グリッド					
68	11-008573	土師器環口縁部	1	2	平安時代中心
69	11-008574	土師器環底部	2	6	平安時代中心
70	11-008575	土師器臺体部	1	2	平安時代中心
71	11-008576	須恵器環、胴底-高台部	2	50	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
350-750グリッド					
72	11-008577	土師器環口縁部	2	10	古墳時代前期中心
73	11-008578	土師器台付臺口縁部	2	10	古墳時代前期中心
74	11-008579	土師器台付臺体部	1	1	古墳時代前期中心
75	11-008580	土師器台付臺脚部	2	105	古墳時代前期中心
76	11-008581	土師器臺体部	17	230	古墳時代前期中心
77	11-008582	土師器臺底部	14	80	平安時代中心
78	11-008583	土師器臺底部	1	10	平安時代中心
79	11-008584	須恵器環、陶口縁部	1	6	
350-760グリッド					
80	11-008585	土師器高環脚部	1	60	古墳時代前期中心
81	11-008586	土師器臺底部	1	55	古墳時代前期中心
82	11-008587	土師器台付臺口縁部	2	80	古墳時代前期中心
83	11-008588	土師器台付臺体部	1	10	古墳時代前期中心
84	11-008589	土師器台付臺脚部	2	30	古墳時代前期中心
85	11-008590	土師器臺体部	7	40	古墳時代前期中心
86	11-008591	土師器環口縁部	1	6	平安時代中心
87	11-008592	土師器臺体部	3	10	平安時代中心
88	11-008593	須恵器臺体部	1	20	
350-765グリッド					
89	11-008594	土師器臺体部	7	30	古墳時代前期中心
90	11-008595	土師器台付臺体部	6	24	古墳時代前期中心
91	11-008596	土師器環口縁部	2	14	古墳時代前期中心
92	11-008597	土師器臺体部	6	70	古墳時代前期中心
93	11-008598	土師器環底部	1	18	平安時代中心
94	11-008599	須恵器環、陶底部	1	3	
350-770グリッド					
95	11-008600	土師器臺体部	7	70	古墳時代前期中心
96	11-008601	土師器台付臺体部	1	2	古墳時代前期中心
97	11-008602	土師器環口縁部	1	70	古墳時代前期中心
98	11-008603	土師器臺体部	9	120	古墳時代前期中心
99	11-008604	土師器臺体部	1	2	平安時代中心
100	11-008605	土師器臺底部	1	10	平安時代中心
355-755グリッド					
101	11-008606	土師器臺体部	3	20	古墳時代前期中心
102	11-008607	土師器台付臺体部	1	3	古墳時代前期中心
103	11-008608	土師器環口縁部	1	10	古墳時代前期中心
104	11-008609	土師器臺体部	2	10	古墳時代前期中心
105	11-008610	土師器環口縁部	1	1	平安時代中心
106	11-008611	土師器臺体部	3	9	平安時代中心
107	11-008612	須恵器環、胴体部	1	9	
108	11-008613	須恵器環、陶底部	1	20	
109	21-003049	銅片	1	20	黒色頁岩
355-760グリッド					
110	11-008614	土師器高環底部	1	70	古墳時代前期中心
111	11-008615	土師器台付臺口縁部	1	2	古墳時代前期中心
112	11-008616	土師器台付臺体部	1	3	古墳時代前期中心
113	11-008617	土師器臺体部	2	8	平安時代中心
114	11-008618	土師器臺底部	1	8	平安時代中心
115	21-003050	銅片	1	20	黒色安山岩
355-770グリッド					
116	11-008619	土師器高環口縁部	2	10	古墳時代前期中心
117	11-008620	土師器高環脚部	1	22	古墳時代前期中心
118	11-008621	土師器環口縁部	1	5	古墳時代前期中心
119	11-008622	土師器臺体部	36	190	古墳時代前期中心
120	11-008623	土師器台付臺口縁部	1	5	古墳時代前期中心
121	11-008624	土師器台付臺体部	35	120	古墳時代前期中心
122	11-008625	土師器臺体部	19	145	古墳時代前期中心
123	11-008626	土師器臺底部	1	16	古墳時代前期中心
124	11-008627	土師器環口縁部	2	7	平安時代中心
125	11-008628	土師器環底部	1	4	平安時代中心

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(kg)	備考
126	11-00639	土師器壺口縁部	1	3	平安時代中心
127	11-00630	土師器壺体部	2	2	平安時代中心
128	11-00631	須恵器杯、胴体部	1	2	
129	11-00632	須恵器杯、甕流一高台部	4	40	
355-775グリッド					
130	11-00633	土師器壺体部	1	1	古墳時代前期中心
131	11-00634	土師器壺体部	4	92	古墳時代前期中心
356-780グリッド					
132	11-00637	土師器高坏底部	1	10	古墳時代前期中心
133	11-00638	土師器壺口縁部	4	12	古墳時代前期中心
134	11-00639	土師器壺体部	26	140	古墳時代前期中心
135	11-00630	土師器壺体部	1	15	古墳時代前期中心
136	11-00601	土師器台付壺口縁部	5	40	古墳時代前期中心
137	11-00635	土師器台付壺体部	1	5	古墳時代前期中心
138	11-00636	土師器台付壺脚部	1	3	古墳時代前期中心
139	11-00637	土師器壺口縁部	2	20	古墳時代前期中心
140	11-00638	土師器壺体部	11	48	古墳時代前期中心
141	11-00639	土師器小型壺体部	1	8	古墳時代前期中心
142	11-00640	土師器坏口縁部	1	5	平安時代中心
143	11-00641	土師器壺体部	1	2	平安時代中心
360-750グリッド					
144	11-00642	土師器高坏底部	1	16	古墳時代前期中心
145	11-00643	土師器坏口縁部	1	3	古墳時代前期中心
146	11-00644	土師器壺口縁部	2	14	古墳時代前期中心
147	11-00645	土師器壺体部	36	155	古墳時代前期中心
148	11-00646	土師器高坏底部	1	16	古墳時代前期中心
149	11-00647	土師器坏口縁部	1	3	古墳時代前期中心
150	11-00648	土師器壺口縁部	2	14	古墳時代前期中心
151	11-00649	土師器壺体部	36	155	古墳時代前期中心
152	11-00650	土師器台付壺口縁部	5	32	古墳時代前期中心
153	11-00651	土師器台付壺体部	12	31	古墳時代前期中心
154	11-00652	土師器壺口縁部	1	4	古墳時代前期中心
155	11-00653	土師器壺体部	12	120	古墳時代前期中心
156	11-00654	土師器甕底部	1	20	古墳時代前期中心
157	11-00655	土師器坏口縁部	2	5	平安時代中心
158	11-00656	土師器坏底部	12	21	平安時代中心
159	11-00657	土師器壺口縁部	5	12	平安時代中心
160	11-00658	土師器壺体部	13	22	平安時代中心
161	11-00659	須恵器坏、胴口縁部	1	8	
162	11-00660	須恵器壺体部	1	85	
163	11-00661	灰輪陶器甕口縁部	1	10	
164	11-00662	灰輪陶器甕口縁部	1	9	
165	21-00351	銅片	2	35	黒色頁岩
360-760グリッド					
166	11-00660	土師器壺体部	2	70	古墳時代前期中心
167	11-00664	土師器壺体部	1	10	古墳時代前期中心
360-765グリッド					
168	11-00665	土師器壺口縁部	1	2	古墳時代前期中心
169	11-00666	土師器壺体部	3	10	古墳時代前期中心
170	11-00667	土師器坏口縁部	2	3	平安時代中心
171	11-00668	土師器坏底部	2	32	平安時代中心
172	11-00669	須恵器坏、胴口縁部	1	3	
173	11-00670	須恵器坏、胴体部	2	8	
360-770グリッド					
174	11-00671	土師器高坏底部	4	30	古墳時代前期中心
175	11-00672	土師器壺口縁部	2	10	古墳時代前期中心
176	11-00673	土師器壺体部	24	142	古墳時代前期中心
177	11-00674	土師器台付壺口縁部	2	17	古墳時代前期中心
178	11-00675	土師器台付壺体部	6	68	古墳時代前期中心
179	11-00676	土師器台付壺脚部	3	69	古墳時代前期中心
180	11-00677	土師器壺口縁部	19	182	古墳時代前期中心
181	11-00678	土師器坏口縁部	4	16	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(kg)	備考
360-775グリッド					
182	11-00679	土師器坏底部	7	16	平安時代中心
183	11-00680	土師器壺口縁部	1	3	平安時代中心
184	11-00681	土師器壺体部	4	5	平安時代中心
185	11-00682	須恵器坏、胴口縁部	2	10	
186	11-00683	須恵器坏、胴体部	1	8	
187	11-00684	須恵器壺体部	1	10	
360-775グリッド					
189	11-00685	土師器壺口縁部	1	5	古墳時代前期中心
190	11-00686	土師器壺体部	9	140	古墳時代前期中心
191	11-00687	土師器台付壺体部	2	12	古墳時代前期中心
192	11-00688	土師器壺体部	17	230	古墳時代前期中心
193	11-00689	土師器坏口縁部	1	2	平安時代中心
360-780グリッド					
194	11-00690	土師器壺体部	12	82	古墳時代前期中心
195	11-00691	土師器台付壺口縁部	1	1	古墳時代前期中心
196	11-00692	土師器台付壺脚部	1	22	古墳時代前期中心
197	11-00693	土師器壺体部	31	246	古墳時代前期中心
360-790グリッド					
198	11-00694	土師器壺体部	1	19	古墳時代前期中心
199	11-00695	土師器壺体部	1	8	古墳時代前期中心
200	11-00696	須恵器壺体部	1	5	
365-750グリッド					
201	11-00697	土師器壺口縁部	1	4	古墳時代前期中心
202	11-00698	土師器壺体部	16	80	古墳時代前期中心
203	11-00699	土師器台付壺体部	4	18	古墳時代前期中心
204	11-00700	土師器壺体部	8	145	古墳時代前期中心
205	11-00701	土師器坏口縁部	9	20	平安時代中心
206	11-00702	土師器坏底部	27	64	平安時代中心
207	11-00703	土師器壺口縁部	9	46	平安時代中心
208	11-00704	土師器壺体部	12	55	平安時代中心
209	11-00705	須恵器坏、胴口縁部	1	3	
210	11-00706	須恵器坏、胴体部	2	15	
211	11-00707	須恵器坏、甕流一高台部	1	40	
212	11-00708	須恵器壺体部	3	25	
365-755グリッド					
213	11-00709	土師器壺口縁部	2	3	古墳時代前期中心
214	11-00710	土師器壺体部	4	22	古墳時代前期中心
215	11-00711	土師器台付壺体部	1	2	古墳時代前期中心
216	11-00712	土師器壺体部	4	110	古墳時代前期中心
217	11-00713	土師器坏口縁部	2	39	平安時代中心
218	11-00714	土師器坏底部	6	15	平安時代中心
219	11-00715	土師器壺口縁部	3	30	平安時代中心
365-760グリッド					
220	11-00716	土師器高坏底部	3	40	古墳時代前期中心
221	11-00717	土師器壺口縁部	1	2	古墳時代前期中心
222	11-00718	土師器壺体部	36	200	古墳時代前期中心
223	11-00719	土師器壺体部	1	11	古墳時代前期中心
224	11-00720	土師器台付壺口縁部	1	32	古墳時代前期中心
225	11-00721	土師器台付壺体部	7	22	古墳時代前期中心
226	11-00722	土師器台付壺脚部	1	5	古墳時代前期中心
227	11-00723	土師器壺体部	16	45	古墳時代前期中心
228	11-00724	土師器甕底部	1	72	古墳時代前期中心
229	11-00725	土師器坏口縁部	8	22	平安時代中心
230	11-00726	土師器坏底部	9	28	平安時代中心
231	11-00727	土師器壺口縁部	1	25	平安時代中心
232	11-00728	土師器壺体部	8	30	平安時代中心
233	11-00729	須恵器坏、胴口縁部	1	2	
234	11-00730	須恵器坏、甕流一高台部	2	20	
235	11-00731	女瓦	1	125	
236	11-00732	灰輪陶器	1	1	

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
365-760グリッド					
237	11-00852	石板	1	5	
365-765グリッド					
238	11-008721	土師器高坏口縁部	2	28	古墳時代前期中心
239	11-008722	土師器高坏体部	1	30	古墳時代前期中心
240	11-008723	土師器壺口縁部	2	18	古墳時代前期中心
241	11-008724	土師器壺体部	5	40	古墳時代前期中心
242	11-008725	土師器台付壺体部	3	10	古墳時代前期中心
243	11-008726	土師器台付壺脚部	1	45	古墳時代前期中心
244	11-008727	土師器香体部	7	50	古墳時代前期中心
245	11-008728	土師器坏口縁部	2	3	平安時代中心
246	11-008729	土師器坏体部	1	2	平安時代中心
247	11-008730	土師器壺口縁部	4	30	平安時代中心
248	11-008731	土師器壺体部	5	10	平安時代中心
249	11-008732	須恵器坏、陶流部	2	48	
250	11-008733	須恵器壺体部	2	210	
365-770グリッド					
251	11-008734	土師器壺口縁部	2	14	古墳時代前期中心
252	11-008735	土師器壺体部	6	58	古墳時代前期中心
253	11-008736	土師器壺体部	5	15	古墳時代前期中心
254	11-008737	土師器壺体部	1	10	古墳時代前期中心
256	11-008738	土師器坏体部	1	2	平安時代中心
258	11-008739	土師器壺口縁部	1	10	平安時代中心
257	11-008740	土師器壺体部	6	20	平安時代中心
258	11-008741	須恵器坏、陶流部	1	10	
259	11-008742	須恵器壺体部	3	140	
260	11-008743	須恵器壺	3	90	
261	21-00354	銅片	1	18	黒色頁岩
365-780グリッド					
262	11-008744	土師器壺口縁部	4	70	古墳時代前期中心
263	11-008745	土師器壺体部	26	150	古墳時代前期中心
264	11-008746	土師器高坏口縁部	4	28	古墳時代前期中心
265	11-008747	土師器台付壺体部	8	42	古墳時代前期中心
266	11-008748	土師器台付壺脚部	3	22	古墳時代前期中心
267	11-008749	土師器壺口縁部	3	25	古墳時代前期中心
268	11-008750	土師器壺体部	18	90	古墳時代前期中心
269	11-008751	土師器坏体部	8	20	平安時代中心
270	11-008752	土師器壺口縁部	2	6	平安時代中心
271	11-008753	土師器壺体部	4	6	平安時代中心
272	11-008754	須恵器坏、陶流部	2	8	
273	11-008755	須恵器坏、陶流部	1	11	
365-785グリッド					
274	11-008756	土師器壺口縁部	1	2	古墳時代前期中心
275	11-008757	土師器坏体部	1	14	平安時代中心
276	11-008758	土師器壺口縁部	1	20	平安時代中心
277	11-008759	須恵器壺体部	2	110	
370-755グリッド					
278	11-008760	土師器高坏口縁部	2	40	古墳時代前期中心
279	11-008761	土師器高坏体部	2	8	古墳時代前期中心
280	11-008762	土師器高坏脚部	1	20	古墳時代前期中心
281	11-008763	土師器壺口縁部	1	30	古墳時代前期中心
282	11-008764	土師器壺体部	36	255	古墳時代前期中心
283	11-008765	土師器壺体部	1	40	古墳時代前期中心
284	11-008766	土師器台付壺体部	3	15	古墳時代前期中心
285	11-008767	土師器台付壺脚部	6	75	古墳時代前期中心
286	11-008768	土師器壺体部	12	145	古墳時代前期中心
287	11-008769	土師器坏口縁部	9	30	平安時代中心
288	11-008770	土師器坏体部	19	115	平安時代中心
289	11-008771	土師器壺口縁部	3	15	平安時代中心
290	11-008772	土師器壺体部	7	28	平安時代中心
291	11-008773	須恵器坏、陶流部	3	20	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
370-755グリッド					
292	11-008774	須恵器坏、陶流部	1	2	
293	11-008775	須恵器壺口縁部	1	3	
294	21-00354	黒色頁岩	1	20	
370-760グリッド					
295	11-008776	土師器壺口縁部	1	2	古墳時代前期中心
296	11-008777	土師器壺体部	20	90	古墳時代前期中心
297	11-008778	土師器壺体部	1	4	古墳時代前期中心
298	11-008779	土師器台付壺体部	1	3	古墳時代前期中心
299	11-008780	土師器壺体部	2	18	古墳時代前期中心
300	11-008781	土師器坏口縁部	12	34	平安時代中心
301	11-008782	土師器坏体部	25	60	平安時代中心
302	11-008783	土師器壺体部	17	26	平安時代中心
303	11-008784	土師器壺体部	5	25	平安時代中心
304	11-008785	須恵器坏、陶流部	4	19	
305	11-008786	須恵器坏、陶流部	4	5	
306	11-008787	須恵器坏、陶流部、高台部	2	145	
307	11-008788	須恵器壺体部	1	10	
308	11-008789	須恵器壺体部	3	50	
309	41-00004	丸釘	2	9	
370-765グリッド					
310	11-008790	土師器高坏体部	1	20	古墳時代前期中心
311	11-008791	土師器高坏脚部	6	128	古墳時代前期中心
312	11-008792	土師器壺口縁部	2	5	古墳時代前期中心
313	11-008793	土師器壺体部	22	65	古墳時代前期中心
314	11-008794	土師器壺体部	2	30	古墳時代前期中心
315	11-008795	土師器台付壺体部	5	18	古墳時代前期中心
316	11-008796	土師器台付壺脚部	2	30	古墳時代前期中心
317	11-008797	土師器壺口縁部	2	38	古墳時代前期中心
318	11-008798	土師器壺体部	24	380	古墳時代前期中心
319	11-008799	土師器壺体部	1	20	古墳時代前期中心
320	11-008800	土師器坏口縁部	10	60	平安時代中心
321	11-008801	土師器坏体部	18	54	平安時代中心
322	11-008802	土師器壺口縁部	9	42	平安時代中心
323	11-008803	土師器壺体部	16	80	平安時代中心
324	11-008804	須恵器坏、陶流部	1	2	
325	11-008805	須恵器坏、陶流部	2	4	
326	11-008806	須恵器壺口縁部	1	40	
370-775グリッド					
327	11-008807	土師器壺体部	12	76	古墳時代前期中心
328	11-008808	土師器壺体部	1	6	古墳時代前期中心
329	11-008809	土師器台付壺体部	3	10	古墳時代前期中心
330	11-008810	土師器台付壺脚部	3	49	古墳時代前期中心
331	11-008811	土師器壺体部	4	40	古墳時代前期中心
332	11-008812	土師器坏口縁部	2	3	平安時代中心
333	11-008813	土師器壺体部	1	1	平安時代中心
334	11-008814	土師器坏体部	1	2	平安時代中心
335	11-008815	須恵器坏、陶流部	1	4	
370-780グリッド					
336	11-008816	土師器高坏脚部	1	5	古墳時代前期中心
337	11-008817	土師器高坏口縁部	2	85	古墳時代前期中心
338	11-008818	土師器壺体部	20	160	古墳時代前期中心
339	11-008819	土師器壺体部	1	30	古墳時代前期中心
340	11-008820	土師器台付壺体部	7	40	古墳時代前期中心
341	11-008821	土師器台付壺脚部	2	40	古墳時代前期中心
342	11-008822	土師器壺口縁部	1	39	古墳時代前期中心
343	11-008823	土師器壺体部	34	250	古墳時代前期中心
344	11-008824	土師器坏口縁部	6	30	平安時代中心
345	11-008825	土師器壺体部	4	10	平安時代中心
346	11-008826	土師器壺口縁部	1	1	平安時代中心
347	11-008827	土師器壺体部	5	6	平安時代中心

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
	370-780グリッド				
348	11-00838	須恵器環・胴体部	2	5	
349	11-00839	須恵器土器口縁部	1	50	
350	21-00355	砥石	1	20	
	370-800グリッド				
351	11-00830	土師器陶口縁部	1	10	古墳時代前期中心
352	11-00831	土師器身体部	5	15	古墳時代前期中心
353	11-00832	土師器口縁部	1	2	平安時代中心
354	11-00833	土師器高口縁部	1	14	平安時代中心
355	11-00834	土師器土器口縁部	1	2	平安時代中心
356	11-00835	土師器身体部	1	2	平安時代中心
	375-735グリッド				
357	11-00836	土師器高口縁部	1	2	古墳時代前期中心
358	11-00837	土師器高口縁部	5	150	古墳時代前期中心
359	11-00838	土師器土器口縁部	3	50	古墳時代前期中心
360	11-00839	土師器身体部	80	940	古墳時代前期中心
361	11-00840	土師器土器口縁部	1	20	古墳時代前期中心
362	11-00841	土師器台付土器口縁部	1	20	古墳時代前期中心
363	11-00842	土師器台付身体部	18	175	古墳時代前期中心
364	11-00843	土師器台付身体部	15	420	古墳時代前期中心
365	11-00844	土師器土器口縁部	6	140	古墳時代前期中心
366	11-00845	土師器身体部	40	870	古墳時代前期中心
367	11-00846	土師器身体部	3	220	古墳時代前期中心
368	11-00847	土師器口縁部	2	4	平安時代中心
369	11-00848	土師器口縁部	12	18	平安時代中心
370	11-00849	土師器土器口縁部	3	10	平安時代中心
371	11-00850	土師器土器口縁部	10	20	平安時代中心
372	11-00851	須恵器環・胴体部	1	3	
373	11-00852	須恵器環・胴体部	1	5	
374	11-00853	須恵器環・胴体部	1	6	
	375-760グリッド				
375	11-00854	土師器土器口縁部	2	18	古墳時代前期中心
376	11-00855	土師器身体部	47	266	古墳時代前期中心
377	11-00856	土師器台付土器口縁部	1	2	古墳時代前期中心
378	11-00857	土師器台付身体部	12	42	古墳時代前期中心
379	11-00858	土師器台付身体部	2	12	古墳時代前期中心
380	11-00859	土師器土器口縁部	13	129	古墳時代前期中心
381	11-00860	土師器身体部	1	130	古墳時代前期中心
382	11-00861	土師器口縁部	5	10	平安時代中心
383	11-00862	土師器口縁部	15	70	平安時代中心
384	11-00863	土師器土器口縁部	4	10	平安時代中心
385	11-00864	土師器身体部	14	80	平安時代中心
386	11-00865	須恵器環・胴体部	1	1	
	375-760グリッド				
387	11-00866	須恵器土器口縁部	1	2	
388	21-00356	片岩	1	10	

〔8区(東部)1南側高台〕

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
	8区東350-760				
428	11-00906	土師器土器口縁部	1	2	古墳時代前期中心
429	11-00907	土師器身体部	3	8	古墳時代前期中心
430	11-00908	土師器身体部	1	4	古墳時代前期中心
431	11-00909	土師器台付身体部	1	2	古墳時代前期中心
432	11-00910	土師器身体部	2	8	古墳時代前期中心
433	11-00911	土師器身体部	5	8	平安時代中心
	8区東355-760				
434	11-00912	土師器土器口縁部	1	12	
	8区東370-760				
435	11-00913	土師器高口縁部	1	3	古墳時代前期中心
436	11-00914	土師器高口縁部	1	9	古墳時代後期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
	375-770グリッド				
389	11-00867	土師器土器口縁部	2	100	古墳時代前期中心
390	11-00868	土師器身体部	1	10	古墳時代前期中心
391	11-00869	土師器口縁部	1	2	平安時代中心
392	11-00870	土師器身体部	2	3	平安時代中心
	375-775グリッド				
393	11-00871	須恵器身体部	1	50	
	375-780グリッド				
394	11-00872	土師器土器口縁部	1	8	古墳時代前期中心
395	11-00873	土師器身体部	4	20	古墳時代前期中心
396	11-00874	土師器口縁部	2	8	平安時代中心
397	11-00875	土師器口縁部	2	8	平安時代中心
398	11-00876	土師器土器口縁部	5	30	平安時代中心
399	11-00877	土師器身体部	3	4	平安時代中心
	380-765グリッド				
400	11-00878	土師器土器口縁部	2	17	古墳時代前期中心
401	11-00879	土師器身体部	4	18	古墳時代前期中心
402	11-00880	土師器台付身体部	2	6	古墳時代前期中心
403	11-00881	土師器口縁部	1	2	平安時代中心
404	11-00882	土師器口縁部	10	22	平安時代中心
405	11-00883	土師器土器口縁部	2	4	平安時代中心
406	11-00884	土師器身体部	7	20	平安時代中心
407	11-00885	土師器土器口縁部	1	2	平安時代中心
408	11-00886	須恵器環・胴体部	1	2	
409	11-00887	須恵器環・胴体部	5	20	
410	11-00888	須恵器環・胴体部	4	60	
411	11-00889	須恵器身体部	3	30	
	380-770グリッド				
412	11-00890	土師器高口縁部	1	10	古墳時代前期中心
413	11-00891	土師器土器口縁部	1	3	古墳時代前期中心
414	11-00892	土師器身体部	15	70	古墳時代前期中心
415	11-00893	土師器台付土器口縁部	1	5	古墳時代前期中心
416	11-00894	土師器台付身体部	5	18	古墳時代前期中心
417	11-00895	土師器口縁部	1	2	古墳時代前期中心
418	11-00896	土師器身体部	1	5	古墳時代前期中心
419	11-00897	土師器口縁部	6	15	平安時代中心
420	11-00898	土師器口縁部	21	65	平安時代中心
421	11-00899	土師器土器口縁部	11	60	平安時代中心
422	11-00900	土師器身体部	57	195	平安時代中心
423	11-00901	土師器身体部	1	8	平安時代中心
424	11-00902	須恵器環・胴体部	9	40	
425	11-00903	須恵器環・胴体部	4	15	
426	11-00904	須恵器環・胴体部	8	120	
427	11-00905	須恵器身体部	1	10	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
	8区東370-760				
437	11-00915	土師器身体部	14	55	古墳時代前期中心
438	11-00916	土師器台付土器口縁部	1	6	古墳時代前期中心
	8区東370-760				
439	11-00917	土師器台付身体部	1	7	古墳時代前期中心
440	11-00918	土師器身体部	11	115	古墳時代前期中心
441	11-00919	土師器口縁部	10	40	平安時代中心
442	11-00920	土師器口縁部	11	30	平安時代中心
443	11-00921	土師器土器口縁部	2	20	平安時代中心
444	11-00922	土師器身体部	17	45	平安時代中心
445	11-00923	須恵器環・胴体部	1	2	
446	11-00924	須恵器環・胴体部	3	8	

遺物一覽

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
8 区東370-760					
447	11-00855	須恵器坏、碗底部	3	18	
448	11-00856	須恵器钵体部	1	10	
449	11-00867	須恵器薬床部	1	20	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
8 区東370-760					
450	11-00858	羽釜体部	1	45	
451	11-00829	灰胎陶器碗口縁部	1	3	

〔8 区東部1層〕

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
(8 区東中)					
452	11-00830	土師器钵体部	15	75	古墳時代前期中心
453	11-00931	土師器薬床部	2	20	古墳時代前期中心
454	11-00932	土師器台付壺口縁部	1	2	古墳時代前期中心
455	11-00933	土師器台付壺体部	5	25	古墳時代前期中心
456	11-00934	土師器钵体部	4	39	古墳時代前期中心
457	11-00935	土師器坏口縁部	9	20	平安時代中心
458	11-00936	土師器坏底部	14	46	平安時代中心
459	11-00937	土師器坏口縁部	3	8	平安時代中心
460	11-00938	土師器钵体部	27	68	平安時代中心
461	11-00939	須恵器坏、碗口縁部	6	14	
462	11-02940	須恵器坏、碗体部	7	20	
463	11-03941	須恵器坏、碗底一高台部	6	60	
464	11-03942	須恵器薬口縁部	4	85	
465	11-03943	須恵器钵体部	53	1590	
466	11-03944	須恵器钵体部	1	10	
467	11-03945	須恵器钵体部	3	48	
468	11-03946	須恵器钵体部	1	10	
469	11-03947	須恵器口縁部	1	20	
470	11-03948	須恵器钵体部	2	95	現代
471	11-03957	礫石	1	35	柱貫り岩
(8 区東部)					
472	11-00859	土師器台付壺部	1	18	古墳時代前期中心
473	11-00860	土師器坏口縁部	1	8	古墳時代前期中心
474	11-00861	土師器坏坏部	1	115	古墳時代前期中心
475	11-00862	土師器坏坏部	11	100	古墳時代前期中心
476	11-00863	土師器坏坏部	1	20	古墳時代前期中心
477	11-00864	土師器坏口縁部	1	5	古墳時代前期中心
478	11-00865	土師器薬口縁部	19	130	古墳時代前期中心
479	11-00866	土師器钵体部	236	1405	古墳時代前期中心
480	11-00867	土師器薬床部	3	95	古墳時代前期中心
481	11-00868	土師器台付壺口縁部	8	60	古墳時代前期中心
482	11-00869	土師器台付壺体部	43	162	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
(8 区東部)					
483	11-00870	土師器台付壺脚部	10	192	古墳時代前期中心
484	11-00871	土師器坏口縁部	9	65	古墳時代前期中心
485	11-00872	土師器钵体部	102	835	古墳時代前期中心
486	11-00873	須恵器钵体部	3	25	樽式
487	11-00874	須恵器钵体部	1	10	赤丹戸
488	11-00875	土師器坏口縁部	140	565	平安時代中心
489	11-00876	土師器坏底部	353	1240	平安時代中心
490	11-00877	土師器坏口縁部	3	18	平安時代中心
491	11-00878	土師器薬口縁部	84	590	平安時代中心
492	11-00879	土師器钵体部	601	1720	平安時代中心
493	11-00880	土師器薬床部	10	60	平安時代中心
494	11-00881	須恵器坏、碗口縁部	86	360	
495	11-00882	須恵器坏、碗体部	103	380	
496	11-00883	須恵器坏、碗底一高台部	42	705	
497	11-00884	須恵器碗口縁部	10	53	酸化
498	11-00885	須恵器钵体部	6	20	酸化
499	11-00886	須恵器碗底一高台部	18	150	酸化
500	11-00887	須恵器坏、碗口縁部	10	30	黑色処理
501	11-00888	須恵器坏、碗体部	4	15	黑色処理
502	11-00889	須恵器坏、碗底部	11	188	黑色処理
503	11-00890	須恵器薬口縁部	10	260	
504	11-00891	須恵器钵体部	73	1650	
505	11-00892	須恵器薬床部	2	180	
506	11-00893	羽釜口縁部	1	20	
507	11-00894	羽釜体部	3	105	
508	11-00895	須恵器钵体部	5	75	
509	11-00896	瓦瓦	1	140	辻敷
510	11-00897	須恵器鉢口縁部	1	20	
511	11-00898	須恵器鉢体部	4	20	
512	11-00899	須恵器坏、碗口縁部	3	18	
513	11-00900	須恵器坏、碗体部	9	30	
514	11-00901	須恵器坏、碗底一高台部	1	12	

〔8 区東部殿高地〕

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
(殿高地1層)					
515	11-00949	土師器坏底部	2	21	平安時代中心
516	11-00950	須恵器坏、碗口縁部	4	13	
517	11-00951	須恵器坏、碗体部	63	235	
518	11-00952	須恵器坏、碗底一高台部	2	22	
519	11-00953	須恵器薬口縁部	2	40	
520	11-00954	須恵器钵体部	21	220	
521	11-00955	羽釜口縁部	1	38	
522	11-00956	羽釜脚部	1	31	
523	11-00957	羽釜体部	4	68	
524	11-00958	灰胎陶器鉢体部	1	26	
(殿高地)					
525	11-00902	土師器台付壺部	1	35	古墳時代前期中心
526	11-00903	土師器坏坏部一底部	2	18	古墳時代前期中心
527	11-00904	土師器薬口縁部	5	28	古墳時代前期中心
528	11-00905	土師器钵体部	106	710	古墳時代前期中心
529	11-00906	土師器薬床部	1	19	古墳時代前期中心
530	11-00907	土師器台付壺口縁部	2	10	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
(殿高地)					
531	11-00908	土師器台付壺体部	10	39	古墳時代前期中心
532	11-00909	土師器台付壺脚部	7	200	古墳時代前期中心
533	11-00910	土師器坏口縁部	1	5	古墳時代前期中心
534	11-00911	土師器钵体部	29	165	古墳時代前期中心
535	11-00912	土師器坏口縁部	119	435	平安時代中心
536	11-00913	土師器坏底部	358	1070	平安時代中心
537	11-00914	土師器薬口縁部	61	480	平安時代中心
538	11-00915	土師器钵体部	699	1690	平安時代中心
539	11-00916	土師器薬床部	1	5	平安時代中心
540	11-00917	須恵器坏、碗口縁部	74	270	
541	11-00918	須恵器坏、碗体部	53	190	
542	11-00919	須恵器坏、碗底一高台部	49	530	
543	11-00920	須恵器碗口縁部	12	59	酸化
544	11-00921	須恵器钵体部	9	40	酸化
545	11-00922	須恵器碗底一高台部	19	164	酸化
546	11-00923	須恵器坏、碗口縁部	12	35	黑色処理
547	11-00924	須恵器坏、碗体部	3	2	黑色処理

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
(飯高城)					
548	11-00025	須臾器环・碗底一高台部	3	50	黒色地埋
549	11-00026	須臾器壺体部	6	50	
550	11-00027	灰輪陶器碗口縁部	7	25	
551	11-00028	灰輪陶器碗体部	7	25	
552	11-00029	灰輪陶器碗底一高台部	5	110	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
(飯高城)					
553	11-00030	灰輪陶器碗口縁部	2	9	
554	11-00031	灰輪陶器碗底一高台部	1	15	
555	11-00032	灰輪陶器蓋	1	1	
556	11-00033	土塊	2	10	
557	41-00505	鉄片	3	3	

8区東部(1面)遺構外の出土遺物

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
8区2副365-750グリット					
1	11-00712	土埴器壺体部	2	52	古墳時代前期中心

9区

9区1号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00429	須恵器高台付碗	口径 12.7 高台径 6.3 器底 2.9	口縁一部欠損。磨化結成。外周縁長。右側軸線磨化。底面回転全切り後高台層付け。底部内面に磨書	9世紀後半 宇陀段でみず	第155図	P L 100

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
覆土一括					
2	11-010014	土師器壺体部	3	38	古墳時代前期中心
3	11-010015	土師器唇体部	2	63	古墳時代前期中心
4	11-010016	土師器外口縁部	12	40	平安時代中心
5	11-010017	土師器環底部	5	18	平安時代中心
6	11-010018	土師器壺口縁部	5	40	平安時代中心
7	11-010019	土師器壺体部	28	68	平安時代中心
8	11-010020	土師器壺底部	1	10	平安時代中心
9	11-010021	須恵器環、瓶口縁部	2	10	
10	11-010022	須恵器環、胴体部	2	18	
11	11-010023	須恵器環、胴体部	1	10	
12	11-010024	須恵器壺体部	2	44	
13	11-010025	灰輪陶器口縁部	1	3	
14	21-002078	銅片	3	68	軽質銅
15	21-002079	銅片	3	50	磨化輝石安山岩
16	21-002080	磁石	1	18	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
覆土一括					
17	21-002081	磁石	1	200	磨化輝石安山岩
18	11-010026	土師器外口縁部	1	3	平安時代中心
19	11-010027	土師器環底部	4	10	平安時代中心
20	11-010029	土師器壺体部	1	2	平安時代中心
21	11-010031	須恵器環、胴体部	1	2	
息原内土坑					
22	11-010028	土師器外口縁部	2	3	平安時代中心
23	11-010027	土師器環底部	5	8	平安時代中心
24	11-010028	土師器壺口縁部	2	12	平安時代中心
25	11-010029	土師器壺体部	24	50	平安時代中心
26	11-010030	須恵器環、瓶口縁部	9	40	
27	11-010031	須恵器環、胴体部	5	20	
28	11-010032	須恵器環、胴体部	2	20	
29	11-010033	須恵器壺口縁部	1	8	
30	11-010034	須恵器壺体部	2	10	

9区2号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00430	土師器碗	口径 15.7×16.2 器高 2.5	ほぼ完整。口縁磨化で、外一底部内面磨化で。外部外面磨化で。底面周縁磨	9世紀後半	第156図	P L 100
2	10-00431	土師器壺	口径 22.4 器径 8.1×7.1 器高 32.0	1/2。口縁磨化で、内面中段の上下縁部と底部磨化で、外一底部内面一底面磨化	7世紀後半	第156図	P L 100
3	20-00588	板石小	残径 5.9×4.9 厚み 14.2	上下欠損。表面・左側面に磨書形成	軽質銅	第157図	P L 101
4	20-00587	板石	径 4.7×3.7 厚み 11.9	河床使用。表面・左右両面に磨書形成。上下面に散打痕残る	ヒン吉	第157図	P L 100
5	20-00588	台石	残径 8.0×15.4 厚み 6.4	西側と裏側の扁平欠損。表面に磨書形成	ゲイサイト	第157図	P L 100
6	20-00589	台石	径 17.4×15.5 厚み 4.2	やや平らな河床使用。表面に磨書痕と散打痕残る	磨化輝石安山岩	第157図	P L 101
7	40-00055	銅鏡「鏡口内」	残径 2.40 厚み 0.105	半磨化し。右下欠損。「景徳元寶」の「平天寶」の。裏面に「輪平らに近し」	銅鏡鏡	第157図	P L 100

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
覆土					
8	11-010025	土師器外口縁部	5	48	平安時代中心
9	11-010026	土師器環底部	10	50	平安時代中心
10	11-010027	土師器壺口縁部	8	40	平安時代中心
11	11-010028	土師器壺体部	54	252	平安時代中心
12	11-010029	土師器壺底部	3	40	平安時代中心
13	11-010040	須恵器環、瓶口縁部	4	12	
14	11-010041	須恵器環、胴体部	1	9	
15	11-010042	須恵器環、胴体部	3	60	
16	11-010043	瓦	1	20	
17	11-010044	羽釜体部	1	50	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
覆土					
18	11-010045	土師器外口縁部	3	10	平安時代中心
19	11-010046	土師器環底部	3	12	平安時代中心
20	11-010047	土師器壺口縁部	4	60	平安時代中心
21	11-010048	土師器壺体部	8	50	平安時代中心
22	11-010049	土師器壺底部	1	8	平安時代中心
23	11-010050	須恵器環、瓶口縁部	1	10	
24	11-010051	須恵器環、胴体部	1	10	
25	11-010052	羽釜体部	1	40	

9区3号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-01432	土屋	口径(28.4) 直径 9.2 器高 27.8	1/3。口縁磨化で、内面外縁磨化の外で、底面磨化で。外部外面上位磨化で、下位磨化。底面周縁調整	10世紀前半	第158図	P L 101

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
覆土					
2	11-010053	土師器外口縁部	6	5	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
覆土					
3	11-010054	土師器環底部	9	8	平安時代中心

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
		覆土			
4	11-00055	土師器姜口縁部	1	160	平安時代中心
5	11-00056	土師器姜体部	43	120	平安時代中心
6	11-00057	土師器姜底面	1	20	平安時代中心
7	11-00058	須恵器坏、残体部	3	6	
8	11-00059	須恵器姜体部	2	40	
9	11-00060	須恵器姜底面	1	20	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
		覆			
10	11-00061	須恵器坏、残口縁部	5	20	
11	11-00062	須恵器坏、残体部	2	10	
12	11-00063	土師器坏底面	4	12	平安時代中心
13	11-00064	土師器姜、残体部底面	2	12	古墳時代前期末
14	11-00065	土師器姜体部	3	8	平安時代中心
15	11-00066	土師器姜底面	1	5	平安時代中心

9区4号住跡

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
		床上			
1	11-01000	土師器姜体部	1	130	古墳時代後期小?
2	11-01002	須恵器陶瓶-高台部	1	40	酸化

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
		覆			
3	11-01003	須恵器姜体部	2	82	

9区1号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
1	10-00249	埴輪溝	残存 8.9×3.6 残高 3.2 厚み 1.6	口縁-底面外周破片。外面に股状、丸底で内外面積位の溝で	近・現代	第161図	P.L.101

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-01000	土師器姜口縁部	1		古墳時代前期
3	11-01001	須恵器高台付陶底面	1		平安時代

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-01002	須恵器姜体部	1		平安時代
5	11-01003	須恵器陶瓶底面	1		近代

9区4号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
1	10-01431	磁器高台付残	口径(9.6) 高台径 4.1 残長 5.0	口縁-一部破7/8欠損。内外外-底面施釉。外面に青輪模様の文様。底面に紅の染め付け	18世紀後半-19世紀初	第162図-1	P.L.101
2	10-01434	磁器高台付残	口径(9.0) 高台径(3.4) 器高 4.6	1/4。内外外-底面施釉。体部外面に青輪模様の文、高台外面に二重線。底面に紅の染め付け	18世紀後半-19世紀初	第163図	P.L.101
3	10-01435	磁器溝口	口径(7.7) 高台径 3.1 器高 3.5	1/4。内外外-底面施釉。内外面に同心内、内面に黒点文の染め付け	明治-昭和時代 瀬戸窯場遺跡	第163図-1	P.L.101
4	10-01436	陶器高台付残	高台径 4.9 残高 1.6	底面-高台。天目。内面施釉面で貫入あり。瀬戸焼	江戸時代	第163図-1	P.L.101
5	10-01437	磁器小皿	口径 5.8 高台径 2.85 器高 2.3	ヒト入るが完整。内外外-底面施釉。底面内面にコバルトの霞澤絵の具で二重丸	明治-昭和時代 瀬戸窯場遺跡	第163図-1	P.L.101
6	10-01444	罌口	残存5.4×3.8 厚み2.0			第163図-2	P.L.101
7	20-00380	砥石	径 2.8×1.85 残長 6.8	半笠片。表面に硬質面造られ、裏-左右側面に裾の切折痕を残す	砥沢石	第163図-1	P.L.101
8	20-00391	打敷石芥	幅 4.9 残長 10.6 厚み 1.7	磨形を呈し、先端欠損。表裏より調整痕	黒色頁石	第163図-2	P.L.101
9	20-00392	砥石(こも礬み石)	径 4.9×3.6 残長 10.6	下段欠損。上面に磨形を残す。表裏-左右側面に調整痕を残す。中心に常状の磨形痕一面	石英閃緑岩	第163図-2	P.L.101
10	20-00393	石鉢	残存 12.1×13.2 残高 11.0	口縁-一部破片。内面磨形し、磨形外縁はつり残れる	磁胎輝石安山岩	第163図-2	P.L.101
11	20-00394	砥石	径 4.9×4.4 残長 9.9	下段欠損。表裏-右側面に磨形造り。左側面と上面は切り直し。表面に磨形残り。右側面の調整痕	砥沢石	第163図-2	P.L.101
12	20-00395	砥石	径 3.5×3.4 残長 11.4	下段欠損。表裏-右側面に調整痕造る。表面と左右側面には磨形残り左側面に調整痕	砥沢石	第163図-2	P.L.101
13	40-00056	刀子	長さ 1.6 長さ 8.2 厚み 0.55	ほぼ矩形。刃渡り4.5cm。柄は先端丸みを帯び、磨形面を呈す		第163図-2	P.L.102
14	30-00024	杖	①径 3.2×3.9 長さ 47.5 ②径 5.7×2.2 長さ 41.5 ③径 3.7×2.9 長さ 41.8	①・②は欠損品。②は定尺。①・③は丸木材。②は角材	現代小	—	P.L.102
15	30-00020					第163図-2	P.L.102
16	30-00100	角棒	径 2.7×1.6 長さ 27.1	左端部寄り表面縁部が丸まる		第164図	P.L.102
17	30-00101	丸棒	径 2.2×2.2 長さ 20.7	切端面残る磨形付きの自然木		第164図	P.L.102
18	30-00102	把手小	径 4.5×3.0 長さ 40.7	溝の把手小。両端側欠損し磨い面を呈す。断面に3.0×2.7cmの長方形の貫通孔穿れられる	現在純土	第164図	P.L.103
19	40-00100	鋼製「寛永通寶」	径 2.4×2.42 厚 0.145			第164図	P.L.103
20	40-00101	鉄銭「寛永通寶」	1 : 径 2.36×2.97 厚み 0.17 2 : 径 2.6×2.6 厚み 0.18	資料1・2枚重。資料1は表面。資料2は裏面表出。資料1は裏面表出。資料2は裏面平ら	模倣銭	第164図	P.L.103

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
21	11-010064	土師器墨灰部	3	16	古墳時代前期中心
22	11-010065	土師器唇部	1	10	古墳時代前期中心
23	11-010066	土師器環口縁部	5	29	平安時代中心
24	11-010067	土師器環底部	4	12	平安時代中心
25	11-010068	土師器胸口縁部	1	14	平安時代中心
26	11-010069	土師器墨口縁部	1	5	平安時代中心
27	11-010070	土師器変体部	12	44	平安時代中心
28	11-010071	須恵器環、胸口縁部	1	5	
29	11-010072	須恵器環、胴体部	2	28	
30	11-010073	須恵器環、胴体～高台部	10	230	
31	11-010074	須恵器墨口縁部	2	105	
32	11-010075	須恵器変体部	15	1182	
33	11-010076	須恵器墨灰部	1	124	
34	11-010077	須恵器蓋	1	18	
35	11-010078	瓦瓦	2	60	
36	11-010079	すり鉢	2	80	
37	11-010080	埴輪残部	1	35	
38	11-010081	施釉陶器胸口縁部	2	28	
39	11-010082	施釉陶器胴体部	5	20	
40	11-010083	施釉陶器底面部	8	270	
41	11-010084	施釉陶器墨口縁部	2	32	
42	11-010085	施釉陶器変体部	1	15	

9区2号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
1	10-00545	灰輪陶器残	高台部径() 残長 3.2	胴～高台部1/4。内面と外面磨部に施釉	9世紀中葉	第166図 -1	P. L. 103

9区3号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-010102	土師器環口縁部	1	8	平安時代中心	3	11-010104	須恵器陶底～高台部	1	8	強化
2	11-010103	土師器変体部	1	15	平安時代中心	4	11-010105	須恵器変体部	1	50	

9区耕作溝・耕作痕

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
1	10-00511	埴	径 2.0 残長 6.8 厚み 0.6	先端過平小。身は僅かに曲がるが直線的	律令期小	第167図 -1	P. L. 103

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
9-1号耕作溝					
2	11-010575	施釉口縁部	1	9	
3	11-010576	施釉唇部	1	8	
4	11-010577	磁器残	1	12	近世
9区2号耕作溝					
5	11-010578	土師器変体部	1	60	古墳時代前期中心
6	11-010579	土師器環口縁部	2	10	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
9区2号耕作溝					
7	11-010580	土師器変体部	3	10	平安時代中心
8	11-010581	須恵器環、胸口縁部	1	2	
9	11-010582	須恵器環、胴底部	1	25	
10	11-010583	須恵器変体部	2	35	
11	11-010584	耳蓋残部	1	35	

9区8号井戸

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
1	30-00005	磁石	径 3.0×4.1 残長 15.1	下位欠損。表面・左右側面に磁層面作り。初めは使用顕著で中位の径は2.0×2.85cmに減ず。上端切り直し	実質アイサイト	第168図	P. L. 103

9区9号井戸

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
9区9号井戸							
1	30-00020	曲物底板	径 3.0×4.1 厚み 0.2	ほぼ方形。中に木釘による留めと痕跡		第170図	P. L. 104
2	30-00021	曲物底板	径 3.0×4.1 厚み 0.2	小型製品。一部欠損		第170図	P. L. 104
3	30-00022	曲物底板	径 3.0×4.1 厚み 0.2	小型製品。一部欠損		第170図	P. L. 104

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・形態・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
4	30-00223	薄板	径 2.5 × 2.5 × 0.5	径目板、短薄形を呈す。			第170図 P.L104
5	30-00223	角棒	径 2.5 × 2.5 × 2.5	やや薄い角棒、表面面に磨り痕			第170図 P.L104

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
6	11-01013	土師器壺体部	2	15	古墳時代前期中心	12	11-01019	須恵器環、胴体部	5	20	
7	11-01014	土師器壺体部	3	78	古墳時代前期中心	13	11-01020	須恵器環、胴体部一高台部	6	170	
8	11-01015	土師器環口縁部	2	5	平安時代中心	14	11-01021	須恵器壺口縁部	1	60	
9	11-01016	土師器環口縁部	2	2	平安時代中心	15	11-01022	須恵器壺体部	6	182	
10	11-01017	土師器壺体部	16	40	平安時代中心	16	11-01023	須恵器壺口縁部	1	8	
11	11-01018	須恵器環、口縁部	2	6							

9区13号井戸

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-01026	須恵器壺体部	2	58	

9区17号井戸

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-01029	土師器環口縁部	1	9	平安時代中心
2	11-01040	土師器環底面	2	9	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-01041	土師器壺体部	1	5	平安時代中心

9区6号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-01016	土師器環口縁部か?	1	5	古墳時代前期中心
2	11-01017	土師器環口縁部	1	10	平安時代中心
3	11-01018	土師器環口縁部	1	5	平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-01019	須恵器環、胴体部	1	8	
5	11-01020	須恵器壺体部	3	9	
6	21-00306	白石	1	595	

9区風葬木

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-01004	土師器高円器台脚部	1	9	古墳時代前期中心
2	11-01005	土師器壺体部	1	8	平安時代中心
3	11-01006	須恵器壺体部	1	85	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	21-00302	磨石	1	12	磨石
5	21-00303	磨片	1	40	黒色頁岩

9区遺構外系土遺物

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・形態・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
1	10-00148	須恵器環	口径(12.9) 底径 7.5 器高 4.7	1/3. 地味甘く、器面寛れる。右回転軸線型。底面回転軸線型を呈す。	5世紀前半	第177図	P.L104
2	10-00149	須恵器壺	口径(17.0) 器径 3.3 器高 4.1	1/3. 地味甘く、器面寛れる。右回転軸線型。底面回転軸線型を呈す。	8世紀中葉	第177図	P.L105
3	30-00300	磁石	残径×残長	両端面欠損。表面・右側面に研磨痕。両端面研磨による僅み。	磁石	第177図	P.L105
4	10-00146	土師器壺	底径 5.1 残高 5.0	胴部一底面1/3. 内面に粘土層合痕。内面胴部指取で、腰一底面指取で。外部外周面毛目、表面無磨。	3世紀末葉～4世紀	第177図	P.L105
5	10-00147	土師器小壺	口径(12.9) 残高 2.6	口縁破片。内外面研毛目。	3世紀末葉	第177図	P.L105
6	30-00306	磁石	残径 3.2×2.3 残長 5.3	上下・左側面欠損。表面・右側面に研磨面残り。両端面研磨面を呈す。	磁石	第177図	P.L105

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
350-710グリップ					
7	11-01028	土師器壺体部	2	30	古墳時代前期中心
8	11-01029	土師器壺口縁部	3	10	平安時代中心
9	11-01030	須恵器環、口縁部	7	36	
10	11-01031	須恵器環、胴体部	19	46	
11	11-01032	須恵器環、胴体部	6	60	
12	11-01033	須恵器壺口縁部	4	90	
13	11-01034	須恵器壺体部	15	385	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
350-710グリップ					
14	11-01025	須恵器壺高台部	1	30	
15	11-01026	須恵器壺	3	30	
350-710グリップ					
16	11-01027	土師器壺体部	1	10	古墳時代前期中心
17	11-01028	土師器環口縁部	1	5	平安時代中心
18	11-01029	土師器壺体部	2	2	平安時代中心
19	11-01030	須恵器環、口縁部	3	20	

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
355-700グリッド					
20	11-01020	須恵器坏、碗底部	2	15	
21	11-01022	須恵器坏、碗底部	4	128	
22	11-01023	須恵器変成式下部	3	286	
355-700グリッド					
23	11-01024	須恵器環口縁部	3	35	
24	11-01025	須恵器環口縁部	1	60	
25	11-01026	須恵器変成部	17	750	
26	11-01027	須恵器変成部	2	49	
360-680グリッド					
27	11-01028	須恵器坏、碗口縁部	1	4	
28	11-01029	須恵器坏、碗底部	1	65	
29	11-01030	須恵器変成部	2	46	
360-680グリッド					
30	11-01041	糸付磁器	1	30	透世
360-710グリッド					
31	11-01042	土師器変成部	1	80	古墳時代前期中心
32	11-01043	土師器環口縁部	1	2	平安時代中心
33	11-01044	土師器環口縁部	1	2	平安時代中心
34	11-01045	須恵器坏、碗口縁部	1	4	
35	11-01046	須恵器坏、碗底部	1	2	
36	11-01047	須恵器変成部	3	60	
360-720グリッド					
37	11-01048	土師器変成部	2	4	古墳時代前期中心
38	11-01049	土師器変成部	1	2	平安時代中心
39	11-01050	土師器変成部	2	4	平安時代中心
40	11-01051	須恵器坏、碗口縁部	1	2	
41	11-01052	須恵器変成部	2	10	
365-725グリッド					
42	11-01053	土師器変成部	1	20	古墳時代前期中心
365-725グリッド					
43	11-01054	須恵器環口縁部	1	20	
44	11-01055	須恵器変成部	3	130	
375-710グリッド					
45	11-01056	土師器変成部	3	20	古墳時代前期中心
46	11-01057	土師器環口縁部	1	2	古墳時代前期中心
47	11-01058	土師器環口縁部	1	2	平安時代中心
48	11-01059	土師器変成部	1	8	平安時代中心
49	11-01060	須恵器坏、碗口縁部	2	2	
50	11-01061	須恵器坏、碗底部	1	1	
51	11-01062	須恵器坏、碗底部	3	45	
375-710グリッド					
52	11-01063	須恵器変成部	3	59	
53	11-01064	軟質陶器鉢口縁部	1	28	
54	11-01065	銅片	1	35	羅紋石宝山岩
380-710グリッド					
55	11-01071	土師器変成部	3	5	平安時代中心
56	11-01072	須恵器坏、碗口縁部	1	4	
57	11-01073	須恵器坏、碗底部	1	5	
58	11-01074	軟質陶器鉢	1	120	
380-720グリッド					
59	11-01077	土師器変成部	1	50	古墳時代前期中心
60	11-01078	須恵器坏、碗口縁部	2	10	
61	11-01079	須恵器坏、碗底一高台部	1	22	

8・9区公道下出土遺物

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
遺下					
1	11-01102	土師器変成部	2	6	古墳時代前期中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
385-705グリッド					
62	11-01084	土師器環口縁部	1	40	古墳時代前期中心
400-700グリッド					
63	11-01087	土師器環口縁部	1	8	古墳時代前期中心
64	11-01088	土師器変成部	4	40	古墳時代前期中心
65	11-01089	土師器環口縁部	3	12	平安時代中心
380-720グリッド					
66	11-01091	土師器環口縁部	2	48	平安時代中心
67	11-01092	土師器変成部	7	22	平安時代中心
68	11-01093	土師器坏底部	2	12	平安時代中心
69	11-01094	須恵器坏、碗口縁部	1	4	
70	11-01094	須恵器坏、碗底部	1	4	
71	11-01095	須恵器坏、碗底部	1	8	
72	11-01095	須恵器変成部	7	218	
380-720グリッド					
73	11-01097	女瓦	2	108	
74	11-01098	灰輪陶器環口縁部	1	10	
75	11-01099	灰輪陶器碗底部	1	2	
76	11-01099	磁器碗	1	85	現代
350-710表探					
77	11-01107	土師器環口縁部	1	2	平安時代中心
78	11-01107	土師器坏底部	2	4	平安時代中心
79	11-01107	土師器環口縁部	1	5	平安時代中心
80	11-01108	土師器変成部	3	10	平安時代中心
81	11-01101	須恵器坏、碗口縁部	2	8	
82	11-01102	須恵器坏、碗底部	3	10	
83	11-01103	須恵器坏、碗底部	3	38	
84	11-01104	須恵器変成部	4	65	
85	11-01105	女瓦	1	25	
360-710表探					
86	11-01106	土師器変成部	1	2	古墳時代前期中心
87	11-01107	須恵器坏、碗口縁部	8	78	
88	11-01108	須恵器坏、碗底部	5	38	
89	11-01109	須恵器坏、碗底一高台部	5	68	
90	11-01109	須恵器変成部	3	80	
91	11-01109	磁石	1	2	
380-720C 黒土(3箇)					
92	11-01118	土師器変成部	1	10	古墳時代前期中心
93	11-01119	土師器坏底部	1	2	平安時代中心
94	11-01120	土師器変成部	1	1	平安時代中心
95	11-01121	須恵器坏、碗底部	1	2	
96	11-01122	須恵器環口縁部	1	20	
97	11-01123	須恵器変成部	3	150	
98	11-01124	灰輪陶器碗底部	1	10	
99	11-01125	灰輪陶器環口縁部	1	10	
100	11-01126	軟質陶器鉢底部	1	40	
390-730(3箇)					
101	11-01128	土師器環口縁部	2	3	平安時代中心
102	11-01128	土師器坏底部	1	2	平安時代中心
103	11-01140	土師器環口縁部	4	60	平安時代中心
104	11-01141	土師器変成部	8	25	平安時代中心
田9区1号機利					
105	11-01080	土師器変成部	2	5	平安時代中心
106	11-01080	須恵器変成部	2	25	

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
遺下					
3	11-01104	土師器杯口縁部	3	5	平安時代中心
4	11-01105	土師器杯底部	3	8	平安時代中心
5	11-01106	土師器蓋口縁部	1	35	平安時代中心
6	11-01107	土師器蓋体部	10	38	平安時代中心
7	11-01108	須恵器环、胴体部	4	12	
8	11-01109	須恵器环、胴体部	1	34	
9	11-01170	須恵器蓋口縁部	1	10	
10	11-01171	残瓦	1	32	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
跡も込み					
11	11-01102	須恵器环、胴体部	1	4	
12	11-01103	須恵器环、胴体-高台部	2	86	
13	11-01104	須恵器蓋体部	1	204	
14	11-01105	灰釉陶器胴体部	1	4	
電?					
15	11-01002	土師器蓋体部	1	12	平安時代中心
16	11-01003	須恵器高台-高台部	1	16	

1号屋敷

8-12号溝 (周堀)

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
1	10-00430	須恵器皿	口径 10.2 底径 5.1 器高 3.5	2/3, 酸化塩焼成。右側和輪軸部形。底面回転糸切り。切り難し。	11世紀前半		P. L. 129
2	10-00432	須恵器皿	残存 5.7×6.4 厚み 1.0	口縁部破片。酸化塩焼成で焼成甘い。口縁部上下に引かれる。	平安朝		第180図 -2 P. L. 129
3	20-00558	粘漆車	残径 4.8 厚み 12.1	1/3欠損。腹位に算定7mm程の貫通孔。表面丸みを持ち丁字心書き	紀元前		P. L. 129

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-00721	土師器高坏脚部	3	58	古墳時代前期中心	21	11-00738	須恵器坏、網状一高台部	29	430	
5	11-00722	土師器柄口縁部	2	10	古墳時代前期中心	22	11-00739	須恵器網状高足脚部	1	25	酸化
6	11-00723	土師器袋口縁部	8	58	古墳時代前期中心	23	11-00740	須恵器網状一高台部	6	106	酸化
7	11-00724	土師器袋体部	46	340	古墳時代前期中心	24	11-00741	須恵器袋口縁部	2	28	
8	11-00725	土師器台付袋体部	6	20	古墳時代前期中心	25	11-00742	須恵器袋体部	28	1430	
9	11-00726	土師器台付袋体部	4	80	古墳時代前期中心	26	11-00743	須恵器袋体部	1	58	
10	11-00727	土師器袋体部	3	34	古墳時代前期中心	27	11-00744	須恵器袋体部	1	10	
11	11-00728	土師器袋体部	35	510	古墳時代前期中心	28	11-00745	須恵器袋体部	2	46	
12	11-00729	土師器袋体部	1	68	古墳時代前期中心	29	11-00746	軟質陶器脚体部	12	320	
13	11-00730	土師器袋口縁部	2	108	古墳時代後期中心	30	11-00747	須恵器袋体部	1	26	
14	11-00731	土師器袋体部	4	78	古墳時代後期中心	31	11-00748	須恵器袋口縁部	2	8	
15	11-00732	土師器坏口縁部	29	128	平安時代中心	32	11-00749	須恵器袋体部	1	6	
16	11-00733	土師器袋口縁部	45	288	平安時代中心	33	11-00750	須恵器袋体部	1	16	
17	11-00734	土師器袋体部	114	410	平安時代中心	34	11-00751	須恵器袋体部	1	25	
18	11-00735	土師器袋体部	4	64	平安時代中心	35	11-00752	女瓦	9	155	
19	11-00736	須恵器坏、瓶口縁部	17	95		36	20-00522	黒色瓦管	1	20	
20	11-00737	須恵器坏、瓶体部	35	180							

8-16号溝 (周堀)

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図説番号
1	20-00659	磁石	残存 4.6×12.8 厚み 3.4	右側と下位欠損。断面上位割傷。よじれた面全体に全量下。表面面に磁石の形跡。割・削跡が残る。左側に削り痕が残る	戸沢石		第180図 -2 P. L. 129
2	20-00660	磁石	径 4.2×2.1 残長 7.0	上下位欠損。表面折曲。表面・左右側面に研削形成。表面にはっきりした削痕が残る	戸沢石		第180図 -2 P. L. 129

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00739	土師器高坏脚部	2	34	古墳時代前期中心	12	11-00759	土師器袋体部	1	10	平安時代中心
4	11-00740	土師器袋口縁部	3	20	古墳時代前期中心	13	11-00760	須恵器坏、瓶口縁部	3	18	
5	11-00741	土師器袋体部	1	8	古墳時代前期中心	14	11-00761	須恵器坏、瓶体部	6	30	
6	11-00742	土師器袋体部	3	50	古墳時代前期中心	15	11-00762	須恵器袋体部	3	75	
7	11-00743	土師器袋体部	1	50	古墳時代前期中心	16	11-00763	軟質陶器内耳脚体部	1	36	
8	11-00744	土師器坏口縁部	3	10	平安時代中心	17	11-00764	須恵器袋体部	1	30	
9	11-00745	土師器坏底面	12	30	平安時代中心	18	20-00524	黒色瓦管	1	95	
10	11-00746	土師器袋口縁部	7	32	平安時代中心	19	20-00525	板瓦	1	334	
11	11-00747	土師器袋体部	12	40	平安時代中心						

8-17号溝 (周堀)

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00748	土師器袋口縁部	1	3	古墳時代前期中心	6	11-00749	土師器袋口縁部	5	10	平安時代中心
2	11-00749	土師器袋体部	9	100	古墳時代前期中心	7	11-00741	須恵器坏、瓶口縁部	1	6	
3	11-00750	土師器台付袋体部	1	20	古墳時代前期中心	8	11-00742	須恵器袋体部	1	40	酸化
4	11-00751	土師器袋体部	9	100	古墳時代前期中心	9	11-00743	須恵器袋体部	2	70	
5	11-00752	土師器袋体部	1	38	古墳時代前期中心	10	11-00744	須恵器袋体部一高台部	1	10	

遺物一覧

9-5号溝 (周堀)

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-02452	輪軸陶器蓋	残存 8.4×5.7×2.7 蓋部厚 1.0	口縁片。口縁部に泥線を伴う折り返し口縁	加多摩 15-16世紀	第181図	P L 130
2	10-02453	輪軸陶器底	残存 8.2×4.0 残高 1.9	底面片。腰部内面に淡緑色の灰釉残る	古瀬戸か	第181図	P L 130

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-01104	須恵器環・碗底部	5		平安時代	5	11-01106	須恵器環口縁部	1		奈良時代か
4	11-01105	須恵器高台付碗底部	1		平安時代。酸化緑褐色	6	11-01107	輪軸陶器碗底一高台部	1		近世

9-19号溝 (周堀)

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	20-03001	打製石斧	径 4.1×1.4 残長 9.3	基部一部欠損。短時期。表裏面より鈍角調整			
2	20-03002	磁石	径 4.2×3.5 残長 8.1	1/2。一部割離。表裏・左右側面に研削面残る。端部ハ フリ調整		第181図	P L 129

8-20号溝 (郭内)

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00329	須恵器付蓋	径 5.4×5.1 厚み 0.9	碗の底部を転用し、表裏・側縁を研削	平安時代か	第182図	P L 129
2	20-00568	磁石	径 6.3×4.3 厚み 1.6	割片使用。上・右側縁の一部欠損。表面に自然生成し、 下寄り磁層。裏面研削面形成。表裏僅かに削痕	戸沢石	第182図	P L 129

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00769	土師器高杯底部	2	30	古墳時代前期中心	12	11-00747	土師器環底部	33	90	平安時代中心
4	11-00769	土師器環口縁部	6	74	古墳時代前期中心	13	11-00748	土師器環口縁部	14	60	平安時代中心
5	11-00769	土師器蓋体部	36	156	古墳時代前期中心	14	11-00749	土師器蓋体部	55	170	平安時代中心
6	11-00761	土師器高台付蓋体部	5	12	古墳時代前期中心	15	11-00750	須恵器環・碗口縁部	11	40	
7	11-00761	土師器高台付蓋体部	1	36	古墳時代前期中心	16	11-00761	須恵器環・碗体部	18	65	
8	11-00761	土師器蓋体部	8	74	古墳時代前期中心	17	11-00762	須恵器環・碗底一高台部	4	48	
9	11-00761	土師器蓋体部	2	76	古墳時代前期中心	18	11-00762	須恵器蓋体部	5	232	
10	11-00761	須生土部	1	2		19	11-00762	須恵器環口縁部	1	8	
11	11-00761	土師器環口縁部	15	48	平安時代中心						

8-32号溝 (郭内)

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00330	須恵器蓋	底径 (7.5) 残高 2.5	蓋一高台部1/4。高台角張る。釉刷毛痕り	9世紀前半	第182図	P L 129
2	10-00331	須恵器碗	残存 8.2×5.5 残高 7.4	口縁一部破片。酸化緑褐色。輪軸整形。所調輪軸土師器 器か	10世紀	第182図	P L 129
3	40-00471	釘小	径 0.7×0.5 残長 3.7	貫入進行。破片。横断面形積円形を呈す		第182図	P L 129

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-00745	縄文土部	1	28		9	11-00750	土師器蓋体部	3	20	平安時代中心
5	11-00746	土師器高杯底部	2	28	古墳時代前期中心	10	11-00751	須恵器環・碗口縁部	23	145	
6	11-00747	土師器環口縁部	5	46	古墳時代前期中心	11	11-00752	須恵器環・碗体部	43	155	
7	11-00748	土師器蓋体部	31	150	古墳時代前期中心	12	11-00753	須恵器環・碗底一高台部	16	120	
8	11-00749	土師器蓋体部	2	40	古墳時代前期中心	13	11-00754	須恵器環口縁部	2	40	
14	11-00755	土師器高台付蓋口縁部	2	10	古墳時代前期中心	23	11-00764	須恵器蓋体部	18	400	
15	11-00756	土師器高台付蓋体部	3	10	古墳時代前期中心	34	11-00766	須恵器蓋体部	3	66	
16	11-00757	土師器環口縁部	5	45	古墳時代前期中心	35	11-00766	須生土部	1	80	
17	11-00758	土師器蓋体部	23	118	古墳時代前期中心	36	11-00767	輪軸陶器	1	4	
18	11-00759	土師器環口縁部	51	248	平安時代中心	37	11-00768	須恵器環口縁部	3	16	
19	11-00760	土師器環底部	156	502	平安時代中心	38	11-00769	須恵器蓋体部	2	10	
20	11-00761	土師器環口縁部	3	18	平安時代中心	29	11-00770	須恵器環底部	1	12	
21	11-00762	土師器蓋体部	21	150	平安時代中心	30	11-00771	須恵器環口縁部	1	4	

8-32号溝 (郭内)

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
22	11-00763	土師器蓋体部	116	338	平安時代中心	31	21-00205	磁石	1	72	

8-4号窟(竪内)

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00712	土師器壺体部	2	14	古墳時代前期中心	5	11-00716	土師器坏底部	1	8	平安時代中心
2	11-00713	土師器台付壺口縁部	1	3	古墳時代前期中心	6	11-00717	須恵器坏、壺口縁部	1	20	
3	11-00714	土師器壺体部	1	16	古墳時代前期中心	7	11-00718	須恵器体部	1	40	
4	11-00715	土師器坏口縁部	1	4	平安時代中心						

8-1号竪立

No.	資料番号	資料名称	測定値(cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
柱穴13 (8-104号土坑)							
1	40-00074	銅銭「皇宗通宝」小	径 2.56×2.36 厚み 0.12	裏面平坦に近く、銭文が読難。裏面右側輪欠ける	模範銭	第185図	P.1.130
2	40-00075	銅銭「仁宗通宝」	径 2.42×2.42 厚み 0.11	新多し。銭文が読難。裏面平ら気味	模範銭	第185図	P.1.130
3	40-00076	銅銭「皇宗通宝」小	径 2.48×2.48 厚み 0.14	表面輪突出。裏面平ら気味	模範銭	第185図	P.1.130
4	40-00077	銅銭「景德元寶」	径 2.44×2.35 厚み 0.16	上縁欠損。表面荒れる。裏面平ら気味。バリ残る	模範銭	第185図	P.1.130
5	40-00078	銅銭「祥符元寶」小	径 2.42×2.43 厚み 0.105	縁欠ける。質悪く小孔空く。銭文が読難	模範銭	第185図	P.1.130
6	40-00079	銅銭「祥符元寶」	径 2.4×2.4 厚み 0.13	右下縁欠ける。表面荒れ銭文が読難。裏面平ら気味	模範銭	第185図	P.1.130
7	40-00150	布入り銅銭		下記①-⑨の10枚の銅銭が字巻の布に包まれる	①は文様確認	第185図	P.1.131
①	40-00080	銅銭「紹聖元寶」小	径 2.43×2.46 厚み 0.15	表面に布付着。裏面平で孔円形。銭文裏書で読れる	模範銭	第185図	P.1.131
②	40-00081	銅銭「永樂通寶」	径 2.39×2.35 厚み 0.12	孔やや小さい。銭文若干下たい印痕	模範銭小	第185図	P.1.130
③	40-00082	銅銭「元祐通寶」	径 2.43×2.42 厚み 0.17	裏面平坦に近く内郭はびつ。銭文読れる	模範銭	第185図	P.1.130
④	40-00083	銅銭「政和通寶」	径 2.44×2.41 厚み 0.13	輪と内部はしっかりしているが、裏面の銭文やや読れる	模範銭小	第185図	P.1.131
⑤	40-00084	銅銭「熙寧元寶」	径 2.40×2.39 厚み 0.115	裏面平坦に近くバリ残る。銭文裏書で読れる	模範銭	第185図	P.1.131
⑥	40-00085	銅銭「元祐通寶」	径 2.48×2.49 厚み 0.115	裏面平で小孔空きバリ残る。銭文裏書で読れる	模範銭	第185図	P.1.131
⑦	40-00086	銅銭「聖宗元寶」	径 2.46×2.48 厚み 0.109	裏面平で輪太く不均一。バリ残る。銭文裏書で読れる	模範銭	第185図	P.1.131
⑧	40-00087	銅銭「淳化元寶」	径 2.44×2.41 厚み 0.12	裏面平坦に近くバリ残る。厚みと輪の幅不均一	模範銭	第185図	P.1.131
⑨	40-00088	銅銭「祥符通寶」	径 2.50×2.55 厚み 0.12	裏面平坦に近く輪太い。バリ残り。銭文読れる	模範銭	第185図	P.1.131
⑩	40-00089	銅銭「元豊通寶」	径 2.52×2.52 厚み 0.10	裏面平坦に近く。銭文裏書で読れる	模範銭	第185図	P.1.131
7	30-00028	木筒軸			—		P.1.131

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
柱穴12 (8-122号土坑)						柱穴12 (8-122号土坑)					
1	11-00880	土師器壺体部	5	20	古墳時代前期中心	4	11-00885	須恵器坏、胴体部	2	8	
2	11-00881	土師器壺体部	4	18	古墳時代前期中心	5	11-00886	須恵器坏、胴底一高台部	1	18	
3	11-00884	土師器壺体部	1	5	平安時代中心	6	11-00887	須恵器壺体部	2	62	

8-2号竪立

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
柱穴1 (8-103号土坑)						柱穴1 (8-103号土坑)					
1	11-00792	土師器壺体部	1	4	古墳時代前期中心	3	11-00789	須恵器坏、高足脚部	1	28	
2	11-00793	土師器壺体部	1	5	古墳時代前期中心						

8-2号井戸

No.	資料番号	資料名称	測定値(cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00130	須恵器高台付銅	底径 6.1 残高 2.8	胴一広部。透光処理で緑がましい。右側輪縁部彫形。底面彫形をとり成高台高付付け時に捨て、高台部で一部に代換の痕跡	10世紀前半	第187図	P.1.132

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00828	土師器壺体部	1	12	平安時代中心	5	11-00829	須恵器坏、胴口縁部	1	10	
3	11-00829	土師器壺体部	4	28	平安時代中心	6	11-00832	須恵器坏、胴底部	1	10	
4	11-00830	土師器壺体部	1	10	平安時代中心	7	11-00833	須恵器壺体部	1	22	

8-3号井戸

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00834	土師器壺体部	6	28	古墳時代前期中心	5	11-00839	土師器壺口縁部	1	8	平安時代中心
2	11-00835	土師器壺体部	2	12	古墳時代前期中心	6	11-00839	須恵器壺体部	1	50	
3	11-00836	土師器坏口縁部	1	10	平安時代中心	7	11-00870	須恵器部	1	18	
4	11-00837	土師器坏底部	4	16	平安時代中心						